

2020 年度

学 生 便 覧

授 業 計 画

SYLLABUS 2020

第 1・2・3 学年
昭和大学医学部附属看護専門学校

目 次

昭和大学の理念	1
昭和大学医学部附属看護専門学校 設置目的	1
昭和大学宣言	2
昭和大学校歌	3
昭和大学医学部附属看護専門学校の歌	4
1. 教育理念・目標・コンピテンシー	5
コンピテンシーのレベル目標	6
2. 学校法人昭和大学の沿革	8
昭和大学の組織図	12
3. 昭和大学医学部附属看護専門学校学則	13
別表 1 教育内容・科目・単位数	18
別表 2 納入金一覧	21
教育内容・科目・単位数（2019 年度以前の入学生用）	23
55・56 回生	24
4. 昭和大学医学部附属看護専門学校履修要項	28
5. 教育計画・教育課程	33
試験実施に関する注意事項	34
出席管理	36
看護研究における倫理的配慮	37
医療安全教育	38
6. 事務手続	39
7. 図書室の利用	44
8. 学生生活	47
9. 昭和大学ソーシャルメディア利用規程	56
10. 学校見取図	57
11. 関連施設見取図	59
12. 2020 年度 年間予定表	60

昭和大学の理念

本学は、創設者である上條秀介博士の「国民の健康に親身になって尽くせる臨床医家を養成する」という願いのもとに設立された。その後、医学部・歯学部・薬学部および保健医療学部の4学部からなる医系総合大学に発展し、人々の健康の回復・維持・増進に貢献すべく、医療に携わる多くの専門家を輩出してきた。

価値観が多様化し、社会構造の変化が地球規模で進む現代では、人々の医療に対する要求は多様かつ高度になり、医療のあり方もそれぞれの専門領域で深化するとともに分化してきた。その一方で、多種の医療専門職が互いに連携して克服すべき課題も生じ、専門領域の新たな統合も模索されてきている。

このような時代の要請に対して、本学こそ、医系総合大学という特徴を生かして、専門領域の深化と連携をはかり、知の新たな創造をめざすにふさわしく、またその達成が可能であると自ら信ずるものである。これまでも増して、建学以来受け継がれてきた「至誠一貫」の精神を体現し、真心を持って国民一人ひとりの健康を守るために孜孜として尽力することを本学の使命とする。

昭和大学医学部附属看護専門学校 設置目的

昭和大学医学部附属看護専門学校は、私立学校法、学校教育法、及び保健師助産師看護師法に基づき看護師を育成するために必要な専門的教育を施し、もって社会福祉に貢献することを目的とする。

昭和大学宣言

1. 医療人として人類への貢献に自らの人生を捧げます。
1. まごころと持てるかぎりの知識と技術をもって、医療を実践します。
1. 生涯にわたって学習・研究を怠らず、自らの向上に努めます。
1. 教え導いて下さる方への感謝と尊敬を忘れません。
1. 医療を担う仲間を常に敬愛し、支援します。
1. 昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くします。

昭和大学校歌

Con moto M.M. ♩ = 100 (104)

斎藤茂吉 作詞
尾熊善次郎 作曲

こ こ じょう な ん の は た が お か
わ れ ら が ぼ こ う の い し ず え か た し
こう へ い か ん じ の な も た か き
こ じょう の こ こ ろ は わ れ ら が こ こ ろ
が ん の み だ れ に と お り し る
けん も ん か く ち の た だ し き ね が い
い ざ や ま な ば ん
わ が と も よ

四、 いざや讃えん我が母校 無辺の空に轟きわたりの あかねのさきがけなして 万有の血の高鳴りに 青春の血のさきがけなして こびえて高し旗が丘 そびえて高し旗が丘	三、 眺望は清し旗が丘 自給の健児意が上 けがれに染まぬ益夫 真と善の久遠の理想 白衣は吾等が象徴を 弥あはしき社会の道 いざや進まんもろとも	二、 輝く丘は旗が丘 ここに一千健児がこも 富士の高峰をあらぎつ 誓う抱負を激あらた 軽薄不安の世にありて 常に動かぬ節操を保ち いざや奮わん我が友よ	一、 ここ城南の旗が丘 吾等が母校の礎かたし 庸平寛治の名も高き 古将の心は吾等が心 雁のみにだれに道知 見聞の学ばん正しき友 いざや覚知のばん我が友よ
---	--	--	---

昭和大学医学部附属
看護専門学校之歌
(合唱パート)

大岡信 作詞
小原光一 作曲

♩=52 位

やさしく気品をもって

Sop.
M.Sop.

Alt

mp

1. あなく おつめ ばのと かなつ ー おぎ るさせ やにぬ はうゆ たちう のよー だせう ー いるの ー ぼひき

2. ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

3. ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

うかよ にりき いのい ー たなず だみみ くのよ しはこ らてこ ー ゆしに ー りなわ のきけ ー なわひ

(3 番のときは小音符で)

mf

おかと ききを すいみ ー がのと たちら をのん かはよ がばろ みたこ ー にきび てやは ー ひきた

(3 番のときは小音符で)

びきい のゆぼ まくう なひし びとき にをの いあキャ そおん しぎド ー めつる ばつの ー ー みあほ

1. 2. mf (2 番のときは小音符で)

とた せら のし はき るみ ー にち ゆわ めれ はら あひ ふら ー ー ー ー ー

3. mf

の ほ と も え ー ー て や み を て ら さ ん ー

一、青葉かおるや旗の台
帽にいたたく白百合の
直きすがたを鏡にて
日日のまなびにいそしめば
三年の青春に夢はあふるる

二、夏の渚にうち寄せる
光の波のはてしなき
若きいのちのはばたきや
先ゆく人を仰ぎつつ
新しき道われらひらかん

三、汲めど尽きせぬ友情の
きよき泉よここに湧け
人を看取らんよるこびは
戴帽式のキャンドルの
炎と燃えて闇を照らさん

1. 教育理念・教育目標・コンピテンシー



至誠一貫 清楚な美

昭和大学の校章は『百合』をモチーフとしており、建学の精神である「至誠一貫」と、百合のような「清楚な美」が、人間教育の中で調和されることへの願いが込められている。「清楚な美」とは、姿かたちだけの美しさだけでなく、誠実さ・真摯さ・謙虚さを含めた資質である。

教育理念

看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを貫くことができる人材を育成する。また、専門職としての知識・スキル・態度を養うとともに、豊かな知性と判断力を高めることで個人から国際社会にいたるまで広く貢献し、実践・研究・教育など常に看護を探究する努力をつづける資質を育成する。そして、専門職としての誇りの涵養（かんよう）¹⁾を目指す。

¹⁾ 涵養・・・水が自然に染み込むように無理をしないでゆっくり養い育てること

教育目標

「至誠一貫」「清楚な美」の精神のもと、真心と情熱を持って、国民の健康増進と福祉とに寄与する人材を育成する。

1. 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考える誠実さを身につける。
2. 専門職として、倫理に基づく行動を身につける。
3. 社会に貢献するために看護を創造し、実践するための知識・スキル・態度を身につける。
4. 保健・医療・福祉チームにおける看護の役割と責任を理解し、多職種と連携・協働できる能力を身につける。
5. 社会の要請に応じ個人から国際社会にいたるまで広く必要とされる専門職として自己研鑽しつづける姿勢を身につける。

昭和大学医学部附属看護専門学校が卒業時に有している能力（コンピテンシー）

「至誠一貫」「清楚な美」の精神のもと、真心と情熱をもって、国民の健康増進と福祉とに寄与する人材の育成を教育目標としている。全学生は卒業時に以下の7つのコンピテンシーを身につけていることが期待される。

1. プロフェッショナリズム
看護者としての責務を自覚し倫理観をもって行動する態度を身につけることができる。
2. コミュニケーション
1) 思いやりと真心とをもって相手に接し、良好な人間関係を確立する。
2) あらゆる年代の個人・家族・集団・地域社会との援助関係・信頼関係を築くためのコミュニケーション能力を身につけることができる。
3. チーム医療
多職種間の相互理解と連携・協力を基盤として、情報を共有しつつ自らの専門性を発揮し、患者中心のチーム医療に参加する。
4. 専門的实践能力
真心ともてる限りの知識とスキルをもって、科学的根拠にもとづく看護ができる。
5. 社会的貢献
1) 国際社会及び地域社会に貢献できる看護者になる。
2) 自分の生活する社会での問題解決のためにボランティア活動に参加する。
6. 自己研鑽
常に創造力と探究心を絶やさず、成長しつづける姿勢を身につける。
7. アイデンティティ
看護者として昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。

コンピテンシーのレベル目標

	レベル目標 3 (3 年次)
1. プロフェッショナリズム 看護者としての責務を自覚し倫理観をもって行動する態度を身につけることができる。	- 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。 - 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
2. コミュニケーション 1) 思いやりと真心とをもって相手に接し、良好な人間関係を確立する。 2) あらゆる年代の個人・家族・集団・地域社会との援助関係・信頼関係を築くためのコミュニケーション能力を身につけることができる。	- 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。 - 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。 - 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
3. チーム医療 多職種間の相互理解と連携・協力を基盤として、情報を共有しつつ自らの専門性を発揮し、患者中心のチーム医療に参加する。	- 医療とともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。 - 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。
4. 専門的実践能力 真心ともてる限りの知識とスキルをもって、科学的根拠にもとづく看護ができる。	- あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。 - 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。 - 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。
5. 社会的貢献 1) 国際社会及び地域社会に貢献できる看護者になる。 2) 自分の生活する社会での問題解決のためにボランティア活動に参加する。	保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。 自分の生活する社会での問題解決のためにボランティア活動に参加する。
6. 自己研鑽 常に創造力と探究心を絶やさず、成長しつづける姿勢を身につける。	- 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。 - 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。
7. アイデンティティ 看護者として昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

レベル目標 2 (2 年次)	レベル目標 1 (1 年次)
・常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。 ・看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。	・人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。 ・看護者の役割と責任を理解できる。 ・自己の倫理的課題に気付くことができる。
・対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。 ・相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションをとれる。 ・対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。	・看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。 ・コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。 ・相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
・臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。 ・臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。	・チーム医療の意義と目的を理解できる。 ・保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
・対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。 ・自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。 ・自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。	・五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。 ・患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。 ・自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。
・保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。	・看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。 ・保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。
自分の生活する社会での問題解決のためにボランティア活動に参加する。	
・主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。 ・看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。	・看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。 ・看護を探究する意義を理解できる。
・看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。	・本学の伝統や特長を理解することができる。 ・昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

2. 学校法人 昭和大学の沿革

昭和大学沿革概要

昭和3年	昭和医学専門学校設置認可
昭和3年	昭和医学専門学校附属医院開院
昭和6年	附属産婆看護婦講習所設置認可
昭和21年	昭和医科大学設置認可
昭和26年	烏山病院開院
昭和27年	昭和医科大学医学科（専門課程）設置
昭和34年	大学院医学研究科設置認可
昭和39年	昭和大学と改称 薬学部薬学科設置認可 医学部附属高等看護学校設置認可
昭和40年	富士吉田校舎開設
昭和41年	薬学部生物薬学科設置認可
昭和44年	大学院薬学研究科（修士課程）設置認可
昭和47年	烏山病院高等看護学校設置認可
昭和49年	大学院薬学研究科（博士課程）増設認可
昭和50年	藤が丘病院開院 烏山病院高等看護学校第2看護学科増設認可
昭和51年	烏山高等看護学校第1・第2看護学科設置認可（専修学校に切り替え）
昭和52年	歯学部歯学科設置認可
昭和52年	歯科病院開院
昭和53年	医学部附属看護専門学校設置認可（専修学校に切り替え）
昭和57年	豊洲病院開院
昭和58年	大学院歯学研究科設置認可
平成2年	藤が丘リハビリテーション病院開院
平成6年	昭和大学附属烏山看護専門学校と名称変更
平成8年	昭和大学医療短期大学設置認可
平成9年	昭和大学医療短期大学開学
平成9年	昭和大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程及び医療薬学専攻博士課程設置承認 （改組）
平成11年	昭和大学病院附属東病院開院
平成13年	昭和大学横浜市北部病院開院 昭和大学診療放射線専門学校開校
平成13年	保健医療学部設置認可
平成14年	保健医療学部開設、附属烏山病院入院棟竣工
平成17年	昭和大学医療短期大学閉校 昭和大学附属烏山看護専門学校閉校
平成18年	教養部を富士吉田教育部に改組 豊洲クリニック開院

平成18年	保健医療学部看護学科助産師学校指定 薬学部6年制教育開始に伴い薬学科・生物薬学科を薬学科に改組 大学院保健医療学研究科（修士課程）設置認可
平成20年	創立80周年記念式典・祝賀会举行 「昭和大学80年」（記念誌・記念 DVD）刊行
平成21年	大学機関別認証評価について日本高等教育評価機構より認定を受ける
平成23年	診療放射線専門学校廃止 大学院薬学研究科博士課程（前期）廃止 大学院薬学研究科博士課程（後期）募集停止 大学院薬学研究科博士課程（4年制課程）設置届出 大学院保健医療学研究科課程変更認可（保健医療学専攻博士課程（前期・後期））
平成24年	助産学専攻科 助産師学校指定
平成26年	昭和大学江東豊洲病院開院
平成27年	スポーツ運動科学研究所開院
平成28年	歯科病院内科クリニック
令和元年	創立90周年記念式典・祝賀会举行 「昭和大学80年」（記念誌・記念 DVD）刊行

昭和大学医学部附属看護専門学校の沿革

昭和39年3月30日	昭和大学医学部附属高等看護学校設置認可 東京都認可番号 品荏庶収第1762号 校長 鳥山 晃、主事 赤坂 裕、教務主任 石井 満 定員20名 総定員60名
昭和39年 4月1日	昭和大学医学部附属高等看護学校指定認可 文部省指定番号 地第75号
昭和39年 4月	第1回入学式举行（入学生11名）
昭和42年 3月	第1回卒業式举行（卒業生8名）
昭和43年 3月	学則変更承認 定員増（入学定員20名を30名に変更） 保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則改正に伴いカリキュラム変更
昭和46年 3月	全寮制廃止、原則として第1学年のみ全寮制とする
昭和49年 9月	看護学校校舎落成、新校舎へ移転
昭和50年 4月	学則変更承認 定員増（入学定員30名を50名に変更）
昭和53年 7月	専修学校設置許可申請（切替）
昭和53年11月	専修学校設置許可申請承認 東京都認可番号 品総総認第12号 昭和大学医学部附属看護専門学校と改称
昭和56年 4月	学則変更承認 定員増（入学定員50名を80名に変更）
平成 2年 4月	保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則改正に伴いカリキュラム変更
平成 5年 4月	全寮制廃止
平成 7年 4月	看護専門学校校舎落成
平成 8年 4月	学則変更承認 定員増（入学定員80名を100名に変更）

平成 9年 4月 保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則改正に伴いカリキュラム変更
 平成21年 4月 保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正に伴いカリキュラム変更
 平成22年 4月 学則変更承認 定員増（入学定員100名を150名に変更）

大学施設所在地

名 称	所 在 地		電 話
医学部・歯学部・薬学部	〒142-8555	東京都品川区旗の台 1-5-8	03(3784)8000
保健医療学部	〒226-0025	神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865	045(985)6500
富士吉田校舎	〒403-0005	山梨県富士吉田市上吉田 4562	0555(22)4403
昭和大学病院	〒142-8666	東京都品川区旗の台 1-5-8	03(3784)8000
昭和大学病院附属東病院	〒142-0054	東京都品川区西中延 2-14-19	03(3784)8000
昭和大学藤ヶ丘病院	〒227-8501	神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30	045(971)1151
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	〒227-8518	神奈川県横浜市青葉区藤が丘 2-1-1	045(974)2221
昭和大学横浜市北部病院	〒224-8503	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1	045(949)7000
昭和大学江東豊洲病院	〒135-0061	東京都江東区豊洲 5-1-38	03(6204)6000
昭和大学附属烏山病院	〒157-8577	東京都世田谷区北烏山 6-11-11	03(3300)5231
昭和大学歯科病院	〒145-8515	東京都大田区北千束 2-1-1	03(3787)1151
昭和大学医学部附属看護専門学校	〒142-0064	東京都品川区旗の台 1-2-26	03(3784)8097
長津田総合運動場	〒226-0025	神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865	045(981)1395
昭岳舎	〒403-0065	山梨県富士吉田市上吉田 4562	0555(23)8657
大岡山テニスコート	〒145-0062	東京都大田区北千束 1-38-1	
50 年記念館	〒142-0064	東京都品川区旗の台 2-2-15	03(3784)8067
自然教育園			

歴代学校長

初代学校長	烏 山 晃	昭和 39 年 4 月 1 日～昭和 44 年 5 月 31 日
2 代学校長	川 上 保 雄	昭和 44 年 6 月 1 日～昭和 45 年 8 月 31 日
3 代学校長	稲 田 豊	昭和 45 年 9 月 1 日～昭和 55 年 6 月 30 日
4 代学校長	新 谷 博 一	昭和 55 年 7 月 1 日～昭和 61 年 7 月 27 日
5 代学校長	高 橋 昭 三	昭和 61 年 7 月 28 日～平成 2 年 5 月 7 日
6 代学校長	奥 山 和 男	平成 2 年 5 月 8 日～平成 4 年 5 月 11 日
7 代学校長	鬼 塚 卓 弥	平成 4 年 5 月 12 日～平成 6 年 3 月 31 日
8 代学校長	矢 内 原 巧	平成 6 年 4 月 1 日～平成 11 年 3 月 31 日
9 代学校長	竹 田 稔	平成 11 年 4 月 1 日～平成 12 年 3 月 31 日
10 代学校長	細 山 田 明 義	平成 12 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日
11 代学校長	安 原 一	平成 14 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
12 代学校長	安 本 和 正	平成 20 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
13 代学校長	有 賀 徹	平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日
14 代学校長	板 橋 家 頭 夫	平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
15 代学校長	久 光 正	平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
16 代学校長	小 川 良 雄	令和 2 年 4 月 1 日～

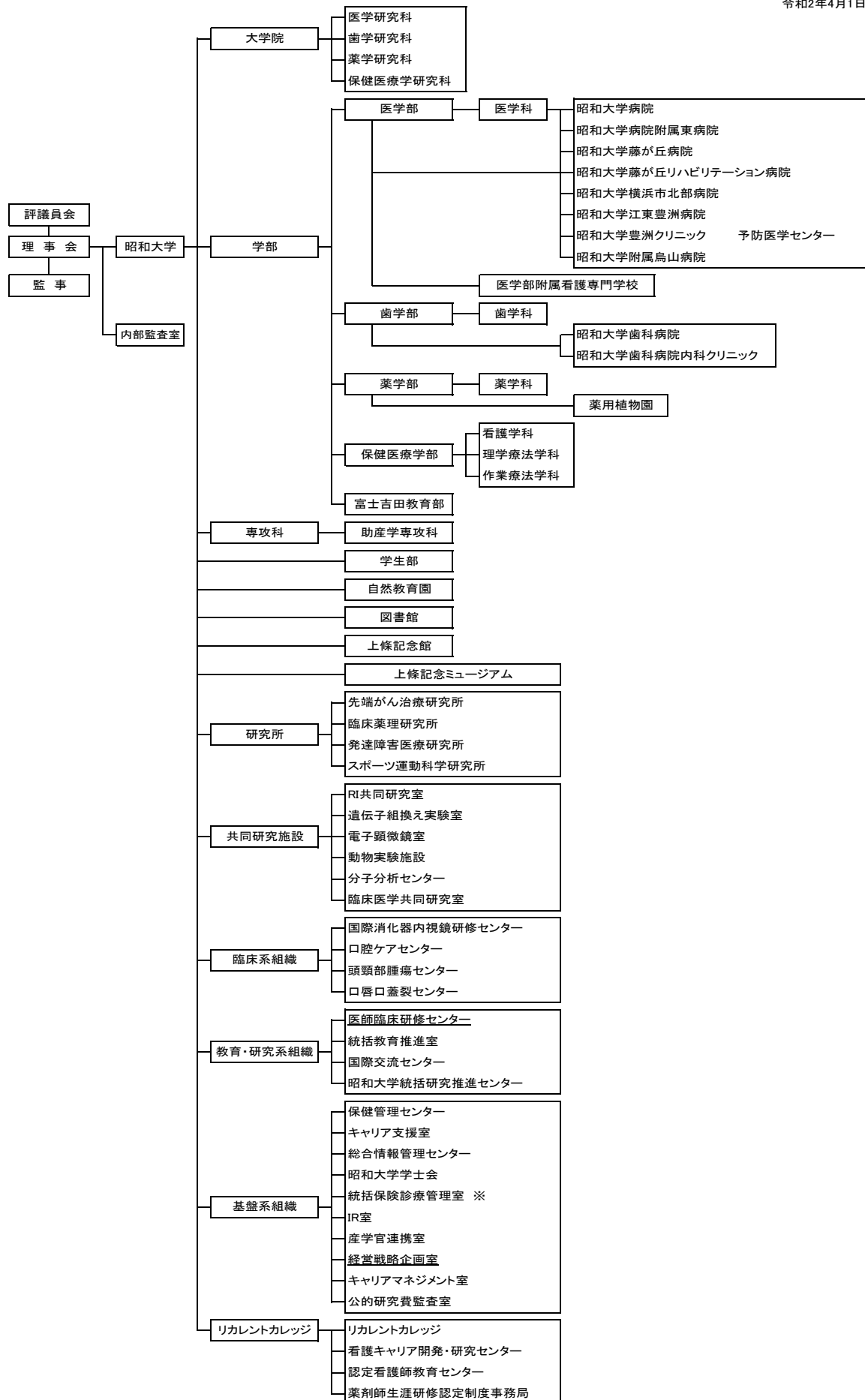
歴代主事・副校長

初代主事	赤 坂 裕	昭和 39 年 4 月 1 日～昭和 44 年 6 月 30 日
2 代主事	松 井 将	昭和 44 年 7 月 1 日～昭和 45 年 9 月 30 日

3 代主事	石 井 満	昭和 45 年 11 月 1 日～昭和 60 年 4 月 9 日
4 代主事	高 橋 昭 三	昭和 60 年 12 月 1 日～昭和 61 年 7 月 27 日
※平成 4 年	主事を副校長と改称(学則変更)	
5 代副校長	伊 藤 敏 哉	平成 5 年 4 月 1 日～平成 9 年 3 月 31 日
6 代副校長	藤 田 八 重 子	平成 9 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日
7 代副校長	川 島 俊 子	平成 14 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
8 代副校長	岡 本 泰 子	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
9 代副校長	岡 紀 子	平成 28 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
10 代副校長	柴 田 雅 子	平成 31 年 4 月 1 日～

昭和大学の組織図

令和2年4月1日



3. 昭和大学医学部附属看護専門学校学則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 昭和大学医学部附属看護専門学校（以下「本校」という）は、私立学校法、学校教育法及び保健師助産師看護師法に基づき、看護師を育成するために必要な専門教育を施し、もって社会福祉に貢献することを目的とする。

(名 称)

第2条 本校の名称は、昭和大学医学部附属看護専門学校という。

(位 置)

第3条 本校は、学校法人昭和大学がこれを設置し、東京都品川区旗の台1丁目2番26号に置く。

(自己点検・評価)

第4条 本校は、教育の一層の充実を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第2章 課程、学科及び修業年限、定員並びに休業日

(課程及び学科)

第5条 看護専門課程として看護学科（3年課程）を置く。

(修業年限)

第6条 本校の修業年限は、3年とする。

(定 員)

第7条 本校の学生定員は、次のとおりとする。

入学定員 150名 総定員 450名

(学年及び学期)

第8条 本校の学年は、4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。

2 学期は、次のとおりに分ける。

前 期 4月1日から9月30日まで

後 期 10月1日から翌年3月31日まで

(休 業 日)

第9条 本校の休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律で規定する休日

(3) 昭和大学創立記念日 11月15日

(4) 春季休業 3月21日から3月31日まで

(5) 夏季休業 7月25日から8月31日まで

(6) 冬季休業 12月25日から翌年1月5日まで

2 前項第4号から第6号の休業の期間は、都合により変更することができる。

3 学校長が必要と認めたときは臨時に休業日を定め、また休業日でも臨時に授業を行うことがある。

第3章 教育課程及び教職員組織

(教育課程)

第10条 本校の教育課程は、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ、専門分野Ⅱ、統合分野の構成とし、その教育内容、科目、単位数は別表1のとおりとする。

(始業、終業時間)

第11条 本校の始業時間は9時、終業時間は17時とする。

2 学校長が教育上必要と認めたときは変更することがある。

(教職員組織)

第12条 本校に次の教職員を置く。

(1) 学校長 1名

(2) 副校長 1名

(3) 専任教員 19名以上（うち1名は教育主任とする）

- (4) 講 師 50 名以上
- (5) 事務職員 2 名以上（うち 1 名は事務長とする）
- (6) 学校医 1 名

第 4 章 入学、休学、復学及び退学

（入学資格）

第 13 条 本校に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- (1) 高等学校、または中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年間の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における 12 年間の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣が指定した者
- (6) 大学入学資格検定又は高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- (7) その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業したと同等以上の学力があると本校が認めた者

（入学時期）

第 14 条 入学の時期は、学年の始めとする。

（受験手続・入学手続）

第 15 条 入学の手続は、次のとおりとする。

- (1) 入学志願者は、次の書類に入学検定料を添えて指定期日までに提出しなければならない。
 - ① 入学願書（本学所定）
 - ② 卒業証明書または卒業見込証明書
 - ③ 成績証明書
 - ④ その他必要と認める書類
- (2) 入学志願者については、学力試験、面接試験及び提出された書類について選考の上、入学を許可する。
- (3) 入学を許可された者は、保証人 2 名を定め、本校所定の誓約書を指定の期日までに提出しなければならない。

2 学校長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

（在学年限）

第 16 条 本校の在学年限は、5 年を超えることができない。ただし、同一年次に 2 年を超えて在学することはできない。

（休 学）

第 17 条 休学を希望する者は、その理由を詳記して保証人連署の上休学願を提出し、学校長の許可を受けなければならない。なお、休学が疾病その他やむを得ない事由による場合は、その事由を証明する書類を添付しなければならない。

2 休学期間は 1 年以内とする。ただし、学校長が必要と認めた場合は、さらに 1 年に限り許可することがある。

（休学命令）

第 18 条 疾病その他やむを得ない事由で 3 か月以上欠席する者には休学を命ずることがある。

（復 学）

第 19 条 休学中の者が復学しようとするときは、保証人連署の上復学願を提出し、学校長の許可を受けなければならない。なお、休学理由が疾病その他やむを得ない事由の場合は、その事由を証明する書類を添付しなければならない。

2 休学者は、休学当時の学年の始めでなければ復学することができない。

（退 学）

第 20 条 退学を希望する者は、その理由を詳記して保証人連署の上退学願を提出し、学校長の許可を受けなければならない。なお、退学の理由が疾病その他やむを得ない事由の場合は、その事由を証明する書類を添付しなければならない。

第5章 履修、単位認定、卒業

(除 籍)

第21条 次の各号の一に該当する者は、学校長がこれを除籍する。

- (1) 正当な理由がなく学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者
- (2) 第16条に規定している本校の在学年限を超えた者
- (3) 死亡または、1年以上行方がわからない者

(履 修)

第22条 本校の学生は、学則第10条に規定する教育内容、科目、単位を履修しなければならない。なお、履修の評価については、別に定める履修要項による。

(単位取得)

第23条 1科目に対する必要な時間を満たし、所定の試験に合格した者には単位を与える。

(既修得単位認定)

第24条 大学卒業生または社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第39条第1項第1号から第3号までの規定に該当する者で本校に入学した者の単位の認定については、本人からの申請に基づき、個々の既修の学習内容を評価し、本校における教育内容に相当すると認められる場合には本校における履修に替えることができる。

(卒業認定)

第25条 別表1に規定する時間数を満たし、所定の単位を修得した者に卒業を認める。

(卒業証書・専門士の称号授与)

第26条 所定の教育課程を修了し、卒業の認定を受けた者には、卒業証書を授与する。

2 卒業証書を授与された者には、専門士（医療専門課程）の称号を授与する。

第6章 保証人

(保証人)

第27条 保証人は、第1保証人を保護者とし、第2保証人は、独立の生計を営み、本人に関し在学中一切の責任を負う者でなければならない。

(保証人等変更)

第28条 本人あるいは保証人が、改姓、または改名したとき、または住所等に変更があったときは、すみやかに本校に届出なければならない。

2 保証人が死亡したときは、速やかに他の保証人を定め、保証書を提出しなければならない。

第7章 運営委員会

(運営委員会)

第29条 本校に運営委員会を置く。

2 運営委員会は学校長がこれを招集し、本校の教育・教務及び運営に関する事項を審議する。

3 運営委員会は、学校長、副校長、教育主任、事務長をもって構成する。ただし、学校長が必要と認めたときはその他の教職員を出席させることができる。

第8章 教育委員会

(組 織)

第30条 本校教育委員会は学則第12条第1項第1号より第3号の教員をもって構成する。ただし、学校長が必要と認めたときは、その他の教職員を出席させることができる。

(審 議)

第31条 教育委員会は、学校長がこれを招集しその議長となり、学生の学籍異動（入学・進級・休学・退学・卒業）、教育及びその他の重要事項について審議する。

2 学校長に事故ある場合は、副校長がこれを代行し、副校長に事故ある場合は学校長が予め権限を委任した者によってこれを審議することができる。

3 教育委員会は、教育及び研究に関して小委員会をつくることができる。

(所 管)

第32条 教育委員会には、学事部長及び看護専門学校事務課が出席し、事務処理を行う。

第9章 入学金、授業料等

(学納金)

第33条 入学金、授業料、実習費その他の納入金の額及び納入の方法は別表2のとおりとする。

2 一旦納入した授業料等は返還しない。

3 入学を許可された者が、3月末日までに入学辞退を申し出た場合には、入学金以外について返還する。

4 正当な理由なく、かつ、所定の手続を行わずに授業料等を滞納し、その後においても納入の見込みがないときは除籍を命ずることができる。

5 停学、休学中であっても定められた期限内に学納金を納入しなければならない。

(奨学金貸与)

第34条 学生の奨学金は、別に定める奨学金に関する規程によりこれを行う。

第10章 学生寮

(学生寮)

第35条 本校に学生寮を置く。

2 寮則については、別に定める。

第11章 健康管理

(健康管理)

第36条 学生の健康管理は、別に定める保健管理センター規程によりこれを行う。

第12章 看護キャリア支援

(看護キャリア支援)

第37条 学生の進路相談、就職活動等についてキャリアコンサルティング、カウンセリングを行い看護キャリア形成を支援する。

2 看護キャリア支援に関する規程は、別に定める。

第13章 賞 罰

(表 彰)

第38条 品行方正、成績優秀で一般学生の模範とするに足る者は、表彰することがある。

2 表彰に関する規程は、別に定める。

(懲 戒)

第39条 本校の定める規則を守らず、学生の本分に反する等の行為のあった者に対しては、懲戒処分を行うことができる。

2 懲戒は、訓告、停学及び退学とする。

3 次の各号のいずれかに該当する学生に対して、運営委員会の議を経て、校長が懲戒を命ずる。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 正当の理由がなくて出席常でない者

(3) 学則その他諸規則に違反し、その他学生としての本分に反した者

(4) 学力劣等で成績向上の見込みがないと認められた者

附 則

1. この学則の実施に必要な細則は、学校長が別に定める。

2. この学則は、昭和39年4月1日から施行する。

3. この学則は、昭和43年4月1日から施行する。

4. この学則は、昭和46年4月1日から施行する。

5. この学則は、昭和50年4月1日から施行する。

6. この学則は、昭和53年11月10日から施行する。

7. この学則は、昭和55年4月1日から施行する。

8. この学則は、昭和56年4月1日から施行する。

9. この学則は、昭和 58 年 4 月 1 日から施行する。
10. この学則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。
11. この学則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。
12. この学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。
13. この学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。
14. この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。
15. この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。（納入金は平成 2 年度入学生から適用する。ただし、寮費・食費については昭和 61 年度入学生から適用する。）
16. この学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。
17. この学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。
18. この学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。
19. この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。（指定規則改正）
20. この学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。
21. この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。
22. この学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
23. この学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
24. この学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
25. この学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
26. この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
27. この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。（別表 1 改正）
28. この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。（別表 1 改正）
29. この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。
30. この学則の改廃は、昭和大学医学部附属看護専門学校運営委員会の審議を経て理事会の承認を要するものとする。

別表 1 教育内容・科目・単位数

区分	授業科目	単位数	時間数	履修年次及び時間数		
				1 年次	2 年次	3 年次
基礎分野	社会学	1	15	前期		
	教育学	1	15	前期		
	心理学	1	15	前期		
	論理学	1	15	後期		
	倫理学	1	15	前期		
	人間関係論	1	15	前期		
	生活科学	1	15	前期		
	健康科学	1	15	前期		
	医療情報と統計処理の基礎	1	30	前期		
	国際関係論	1	15	前期		
	家族関係論	1	15	前期		
	コミュニケーション論	1	15	後期		
	英語 I	1	15	通年		
	英語 II	1	15	後期		
	音楽	1	15	前期		
	国語文章論	1	15	後期		
計		16	255	255	0	0
専門基礎分野	形態機能学 I	1	30	前期		
	形態機能学 II	1	30	前期		
	形態機能学 III	1	30	前期		
	形態機能学 IV	1	30	前期		
	薬理学	1	30	通年		
	微生物学	1	15	通年		
	医療概論	1	15	前期		
	生化学	1	30	前期		
	栄養学	1	15	後期		
	公衆衛生学と関係法規	1	30	通年		
	社会福祉	1	30	通年		
	健康教育論	1	15	後期		
	リハビリテーション論	1	15	後期		
	病理学	1	15	通年		
	緩和医療	1	15		後期	
	臨床医学 I	1	15	通年		
	臨床医学 II	1	30	通年		
	臨床医学 III	1	30	後期		
	臨床医学 IV	1	30	後期		
	臨床医学 V	1	30	通年		
	臨床医学 VI	1	30		前期	
	臨床医学 VII	1	30		前期	
	臨床医学 VIII	1	30		通年	
計		23	570	465	105	0

区分	授業科目	単位数	時間数	履修年次及び時間数		
				1 年次	2 年次	3 年次
専門分野Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1	30	通年	
		看護理論	1	15	通年	
		看護過程の展開	1	30		前期
		共通基本技術	1	15	前期	
		日常生活援助《理論編》	1	30	前期	
		日常生活援助《実践編》	1	45	通年	
		治療処置における援助《理論編》	1	30		通年
		治療処置における援助《実践編》	1	30		通年
		臨床看護総論	1	30	通年	
		フィジカル・アセスメント	1	45	通年	
		基礎看護学実習Ⅰ	1	45	後期	
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90		前期
専門分野Ⅱ	成人看護学	成人看護対象・目的論	1	30	通年	
		成人看護援助論Ⅰ	2	45		通年
		成人看護援助論Ⅱ	1	30		通年
		成人看護援助論Ⅲ	1	30		後期
		成人看護援助論Ⅳ	1	15		前期
		成人看護学実習Ⅰ	3	135		後期
		成人看護学実習Ⅱ	3	135		通年
	老年看護学	老年看護対象・目的論	1	30	通年	
		老年看護援助論Ⅰ	1	15	後期	
		老年看護援助論Ⅱ	1	30		通年
		老年看護援助論Ⅲ	1	30		通年
		老年看護学実習Ⅰ	1	45		前期
		老年看護学実習Ⅱ	3	135		通年
	小児看護学	小児看護対象論	1	30	通年	
		小児看護目的論	1	15		前期
		小児看護援助論Ⅰ	1	30		後期
		小児看護援助論Ⅱ	1	30		後期
		小児看護学実習	2	90		通年
	母性看護学	母性看護対象・目的論	1	30	通年	
		母性看護援助論Ⅰ	2	60		通年
		母性看護援助論Ⅱ	1	30		後期
		母性看護学実習	2	90		通年
	精神看護学	精神看護対象論	1	15		前期
		精神看護目的論	1	15		前期
		精神看護援助論Ⅰ	1	30		通年
		精神看護援助論Ⅱ	1	30		後期
		精神看護学実習	2	90		通年

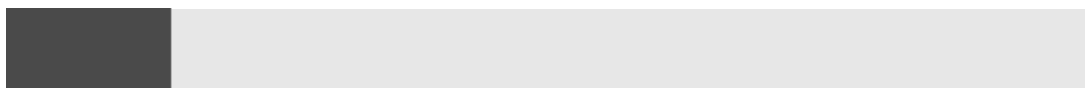
区分		授業科目	単位数	時間数	履修年次及び時間数		
					1 年次	2 年次	3 年次
統合分野	在宅看護論	地域・在宅看護概論Ⅰ	1	15	後期		
		地域・在宅看護概論Ⅱ	1	30		前期	
		地域・在宅看護援助論Ⅰ	2	45		通年	
		地域・在宅看護援助論Ⅱ	1	15		後期	
		地域・在宅看護援助論Ⅲ	1	15		後期	
		地域・在宅看護論実習	2	90			通年
	看護の統合と実践	看護研究	1	30		通年	
		医療安全Ⅰ	1	15	前期		
		医療安全Ⅱ	1	15		通年	
		災害看護	1	15		通年	
		看護の統合と実践Ⅰ	1	15		後期	
		看護の統合と実践Ⅱ	1	30			通年
		領域横断演習	1	30		後期	
		統合実習	2	90			後期
計		68	2175	420	1005	750	
総 合 計		107	3000	1140	1110	750	
卒業に必要な総授業時間数		107	3000	1140	1110	750	

別表 2 納入金一覧表

納 入 金	金 額	備 考
入 学 検 定 料	2 0, 0 0 0 円	受 験 時
入 学 金	1 0 0, 0 0 0 円	入 学 時
授 業 料	3 0 0, 0 0 0 円	年 額
実 習 費	1 0 0, 0 0 0 円	年 額

教育内容・科目・単位数

2019 年度以前の入学生用



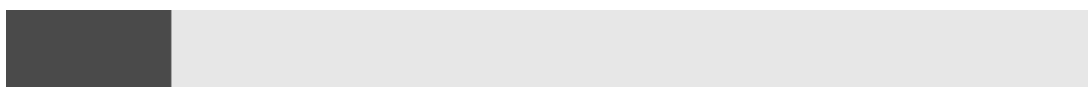
55・56 回生 教育内容・科目・単位数

*53・54 回生は、社会福祉 2 年、精神看護対象論及び精神看護目的論が 1 年開講である。

区分	授業科目	単位数	時間数	履修年次及び学期		
				1 年次	2 年次	3 年次
基礎分野	社会学	1	15	前期		
	教育学	1	15	前期		
	心理学	1	15	前期		
	認識論	1	15	前期		
	倫理学	1	15	前期		
	人間関係論	1	15	前期		
	生活科学	1	15	前期		
	健康科学	1	15	前期		
	統計学	1	15	前期		
	情報科学	1	15	前期		
	国際関係論	1	15	前期		
	家族関係論	1	15	前期		
	コミュニケーション論	1	15	後期		
	英語Ⅰ	1	15	後期		
	英語Ⅱ	1	15	後期		
	音楽	1	15	前期		
計		16	240	240	0	0
専門基礎分野	形態機能学Ⅰ	1	30	前期		
	形態機能学Ⅱ	1	30	前期		
	形態機能学Ⅲ	1	30	前期		
	形態機能学Ⅳ	1	30	前期		
	薬理学	1	30	後期		
	微生物学	1	15	後期		
	医療概論	1	15	後期		
	生化学	1	30	前期		
	栄養学	1	15	後期		
	公衆衛生学	1	15	後期		
	社会福祉	1	30	後期		
	関係法規	1	15	後期		
	健康教育論	1	15	後期		
	リハビリテーション論	1	15	後期		
	病理学	1	15	後期		
	緩和医療	1	15		後期	
	臨床医学Ⅰ	1	15	後期		
	臨床医学Ⅱ	1	30	後期		
	臨床医学Ⅲ	1	30	後期		
	臨床医学Ⅳ	1	30	後期		
	臨床医学Ⅴ	1	30	後期		
	臨床医学Ⅵ	1	30		前期	
	臨床医学Ⅶ	1	30		前期	
	臨床医学Ⅷ	1	30		通年	
	臨床医学Ⅸ	1	15		前期	
計			585	465	120	0

区 分		授業科目	単位数	時間数	履修年次及び学期		
					1 年次	2 年次	3 年次
専 門 分 野 I	基 礎 看 護 学	看護学概論	1	30	前期		
		看護理論	1	15	後期		
		看護過程の展開	1	30		前期	
		共通基本技術	1	15	前期		
		日常生活援助《理論編》	1	30	前期		
		日常生活援助《実践編》	1	45	通年		
		診療に伴う看護	1	30	通年		
		治療処置における援助《理論編》	1	30		通年	
		治療処置における援助《実践編》	1	30		通年	
		臨床看護総論	1	15	後期		
		フィジカル・アセスメント	1	30	通年		
		基礎看護学実習Ⅰ	1	45	後期		
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90		前期	
		専 門 分 野 II	成人看護学	成人看護対象・目的論	1	30	通年
成人看護援助論Ⅰ	2			60		通年	
成人看護援助論Ⅱ	2			45		通年	
成人看護援助論Ⅲ	1			30		通年	
成人看護学実習Ⅰ	3			135		後期	
成人看護学実習Ⅱ	3			135			通年
老年看護学	老年看護対象・目的論		1	30	通年		
	老年看護援助論Ⅰ		1	15	後期		
	老年看護援助論Ⅱ		1	30		通年	
	老年看護援助論Ⅲ		1	30		通年	
	老年看護学実習Ⅰ		1	45		前期	
	老年看護学実習Ⅱ		3	135			通年
小児看護学	小児看護対象論		1	30	通年		
	小児看護目的論		1	15		前期	
	小児看護援助論Ⅰ		1	30		後期	
	小児看護援助論Ⅱ		1	30		後期	
	小児看護学実習		2	90			通年
母性看護学	母性看護対象・目的論		1	30	通年		
	母性看護援助論Ⅰ		2	60		通年	
	母性看護援助論Ⅱ		1	30		後期	
	母性看護学実習		2	90			通年
精神看護学	精神看護対象論		1	15		前期	
	精神看護目的論		1	15		前期	
	精神看護援助論Ⅰ		1	30		通年	
	精神看護援助論Ⅱ		1	30		通年	
	精神看護学実習		2	90			通年
統 合 分 野	在宅看護論	在宅看護概論	1	30		前期	
		在宅看護援助論Ⅰ	2	45		通年	
		在宅看護援助論Ⅱ	1	15		後期	
		在宅看護援助論Ⅲ	1	15		後期	
		在宅看護論実習	2	90			通年
	看護の統合と実践	看護の統合と実践Ⅰ	1	15		通年	
		看護の統合と実践Ⅱ	1	30		通年	
		看護の統合と実践Ⅲ	1	15			後期
		看護の統合と実践Ⅳ	1	30			通年
		総合学習	2	90			通年
		統合実習	2	90			後期
計			67	2205	390	960	855
総 合 計			108	3030	1095	1080	855
卒業に必要な総授業時間数				3030	1095	1080	855

4. 昭和大学医学部附属看護専門学校履修要項



4. 昭和大学医学部附属看護専門学校履修要項

目的

第1条 看護専門学校における履修内容、成績評価、進級、卒業等に関することは、この履修要項によって定める。

単位・授業時間

第2条 1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により算定するものとする。

- (1) 講義及び演習は、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
講義及び演習の時間は以下のとおりとする。単位を計算する上での1時間は45分とし、1時限は2時間（90分）と換算する。5時限目を行うことがある。ただし、1時間と換算する。

1時限目 9:00～10:30

2時限目 10:40～12:10

3時限目 13:00～14:30

4時限目 14:40～16:10

5時限目 16:20～17:10

- (2) 実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。臨地実習は1時間を60分とし、実習時間は1日8時間とする。

- (3) 講義、演習、実習又は実技のうち2つ以上の方法の併用により授業科目を行う場合については、その組み合わせに応じ、前項(2)に規定する基準により算定した時間の授業をもって1単位とする。

2 教育課程における科目別単位数及び科目別時間数は、別表1（2020年度以降入学生）、55・56回生 教育内容・科目・単位数（2019年度以前入学生）のとおりとする。

既修得単位の認定

第3条 この規則は、昭和大学医学部附属看護専門学校学則第24条の規定に基づき、既修得単位の認定に必要な事項を定める。

2 大学卒業者(短大含む)または社会福祉士及び介護福祉士法（昭和62年法律第30号）第39条第1項第1号から第3号までの規定に該当する者で本校に入学した学生に対して教育上有益と認めるときは、「基礎分野」の科目において修得したものとして認定することができる。ただし、認定単位数の上限は14単位とする。

3 既修得単位の認定を受けようとする者は、単位認定申請書(別紙様式)に単位修得を証明する書類を添えて、所定の期日までに学校長に届出なければならない。

4 既修得単位の認定は、運営委員会の議を経て学校長が行う。

5 認定した当該授業科目の成績評価は「認定」とし、その単位数とともに学籍簿に記載し、本人に通知する。

授業科目・演習等

第4条 看護専門学校各学年において履修科目、単位数及び配当年次は第2条2のとおりとする。

2 看護専門学校各学年において履修する科目の評価は、シラバスに記載された方法で行う。

第5条 原則として、各科目の総時間数の2/3以上出席しなければその科目は、評価しない。

第 6 条 総合学習の履修資格を次のとおりとする。

- (1) 不合格科目（講義・演習及び臨地実習）がない者
- (2) 授業時間数の 2/3 以上出席した者

第 7 条 遅刻・欠課・欠席する場合は、本人が学校(事務課)に電話連絡をする。ただし、試験当日は教員に連絡する。

2 遅刻・早退・欠課・欠席をした場合は、「遅刻・早退・欠課届」または、「欠席届」を速やかに事務課に届出なければならない。

3 病気その他やむを得ない事由で 5 日以上欠席した場合は、その事由を証明する書類を「欠席届」に添付して事務課に届出なければならない。なお、10 日以上引き続いて欠席した者は、「長期欠席届」を事務課に届出なければならない。

4 遅刻・早退・体調不良により授業を一時的に退席した場合は、以下のとおりとする。

- (1) 15 分以上 45 分未満 — 欠課（1 時間）
- (2) 45 分以上 — 欠課（2 時間）

5 15 分以上 45 分未満の交通機関の遅れ等の場合は、「遅刻・早退・欠課届」に遅延証明書を添付して事務課に届出なければならない。この場合は遅刻として取り扱わない。

6 交通機関の遅れ等の場合でも授業に 15 分未満、または 45 分以上遅れた場合には、本条第 4 項を適用する。

実習

第 8 条 原則として、各科目の総時間数の 4/5 以上出席を満たなければその科目は評価しない。

2 評価は、態度、技能、レポート、筆答・口頭試問等をもとに総合して判定する。

第 9 条 追実習は、以下の基準に基づいて行う。

- (1) 病気(学校保健安全法指定による感染症を含む)や両親、兄弟姉妹、祖父母の忌引きなどやむを得ない理由により当該科目の実習総時間の 4/5 以上の出席に満たなかった者に対して、所定の追実習を行う。原則として追実習の追実習は行わない。第 19 条(1)の事由、添付書類と同様とする。
- (2) 追実習は、実習、再実習、それぞれの実習終了後、所定の期間に 1 回行う。
- (3) 追実習の履修者は、指定された期日までに追実習願を事務課に提出しなければならない。なお、追実習の履修者には追実習料を課す。
- (4) 追実習の成績はその得点の 80%とする。ただし、インフルエンザ等の学校保健安全法で定められた感染症や忌引きで欠席した場合の追実習の得点はその得点とするが、最高得点は各科目の 90%とする。

第 10 条 再実習は以下の基準に基づいて行う。

- (1) 実習、追実習の結果、不合格となった者に対して所定の期間に再実習を 1 回行う。
- (2) 再実習の履修者は、指定された期日までに再実習願を事務課に提出しなければならない。なお、再実習の履修者には再実習料を課す。
- (3) 再実習の結果、合格した者の成績は 60 点とする。

第 11 条 履修資格を次のとおりとする。

- (2 学年) 基礎看護学実習Ⅱ及び老年看護学実習Ⅰに合格した者には、成人看護学実習Ⅰの履修資格を与える。
- (3 学年) 専門分野Ⅱ及び在宅看護論実習に合格した者には、統合実習の履修資格を与える。

第 12 条 遅刻・欠席する場合は、本人が実習場所並びに学校に電話連絡をし、担当教員に報告する。

2 遅刻・早退・欠席をした場合は、「遅刻・早退・欠課届」または、「欠席届」を速やかに事務課に届出なければならない。

- 3 病気その他やむを得ない事由で5日以上欠席した場合は、その事由を証明する書類を「欠席届」に添付して事務課に届出なければならない。ただし、欠席日数のいかんを問わず、学校が必要と判断した場合は、欠席の事由を証明する書類を「欠席届」に添付して届出なければならない。なお、10日以上引き続いて欠席した場合は、「長期欠席届」を届出なければならない。
- 4 遅刻・早退の場合は、以下のとおりとする。
- (1) 60分未満 — 遅刻・早退
- (2) 60分以上 — 欠席
- 5 15分以上60分未満の交通機関の遅れ等の場合は、遅延証明書を実習担当教員に届出なければならない。この場合は遅刻として取り扱わない。
- 6 交通機関の遅れ等の場合でも15分未満、または60分以上遅れた場合には、本条第4項を適用する。

試験等

- 第13条 試験は、終講試験、臨時試験、定期試験、総合試験（2020年度以降入学生は卒業試験）、追試験、再試験がある。
- 2 受験資格は、科目の授業時間数の2/3以上出席した者に与える。
- 第14条 試験方法は、筆記・実技試験・レポート提出等であり、これらは併用実施することがある。
- 第15条 正当な理由なくして、試験を受験しなかった者あるいは、追試験を受験しなかったものは、当該試験の評点を0点とする。
- 第16条 終講試験は、以下の基準に基づいて行う。
- (1) 科目の終了時に行う。
- (2) 終講試験は、シラバスに記載された日程、または指定された日程で実施する。
- 第17条 臨時試験（小テスト等）は以下の基準に基づいて行う。
- (1) 終講試験以外に、授業中、あるいは特定な時間を設けて臨時試験を行う場合がある。
- (2) 臨時試験の得点は、科目の成績の一部となる。
- 第18条 定期試験は、各学期末（9月、2月）に行う。
- 第19条 追試験は以下の基準に基づいて行う。
- (1) 病気（学校保健安全法指定による感染症等を含む）や両親、兄弟姉妹、祖父母の忌引き等やむを得ない理由により試験を受験できなかった者に対して所定の期日に追試験を行う。追試験の受験者は、速やかに欠席届に理由を明記し、追試験願及び以下の添付書類と共に学年担当教員に提出しなければならない。提出のない場合や添付書類がない場合は、追試験の受験資格を与えない。この理由により試験を欠席した者には、追試験の受験を許可する。原則として追試験の追試験は行わない。

事 由	添 付 書 類
①病気、けが	①試験当日の欠席理由が判断できる診断書
②忌引（日数は休日含む） ● 配偶者及び1親等（父母、子） …連続5日以内 ● 2親等（祖父母、兄弟姉妹等） …連続3日以内	②忌引を証明するものもしくは保証人（又は保証人に準ずる者）の証明書
③その他やむを得ない事由	③やむを得ない事由を証明する書類

- (2) 追試験は、速やかに実施し、所定の期日に1回行う。
- (3) 追試験の受験者は、追試験願に事務手数料を添えて、指定された期日までに、事務課に提出しなければならない。提出がない場合は、原則として受験資格を喪失する。
- (4) 追試験の成績は、その得点の80%とする。ただし、インフルエンザ等の学校保健安全法で定められた感染症や忌引きで欠席した場合の試験の得点はその得点とする。最高得点は各科目の90%とする。

第20条 再試験は以下の基準に基づいて行う。

- (1) 再試験は、終講試験、定期試験、総合試験（2020年度以降入学生は卒業試験）の結果、不合格となったものに対して所定の期日で1回行う。
- (2) 再試験の受験者は、再試験願に事務手数料を添えて指定された期日までに、事務課に提出しなければならない。提出がない場合は、原則として受験資格を喪失する。
- (3) 再試験の結果、合格した者の成績は、60点とする。

第21条 総合試験（2020年度以降入学生は卒業試験）は以下の基準に基づいて行う。

- (1) 総合試験（卒業試験）は、原則として履修すべき科目のすべてに合格した者に対して行う。

成績等

第22条 全ての科目の成績は100点満点とし、次の表の基準に基づいて行う。ただし、総合試験（卒業試験）は、67%以上を合格とし、音楽においては合・否での判定とする。

成績	点数	合・否
A	80点以上	合格
B	70～79点	
C	60～69点	
D	59点以下	不合格

進級等

第23条（第1学年・第2学年）

当該学年において履修すべき全科目を合格した者は、単位が認められ、進級することができる。

- 2 再実習の結果、実習科目の不合格者は、留年とする。

第24条（第3学年）

当該学年において履修すべき全科目、及び総合試験（卒業試験）に合格しなければならない。

- 2 再実習の結果、実習科目の不合格者は、留年とする。

第25条（全学年）

各学年を2年以内に修了できない者は、特別な理由がない限り、成業の見込みがないものとする。なお、休学した者は、休学期間を含め1学年3年以内とし、通算して5年を越え在籍することはできない。

- 2 留年者は、当該学年の全科目を再度履修しなければならない。
- 3 休学の期間は修業年限に算入する。
- 4 休学した者が復学する場合は、当該学年の全科目を再履修しなければならない。

卒業

第26条 学則の定める所定の単位を修得し、総合試験（卒業試験）に合格した者を卒業とする。

その他

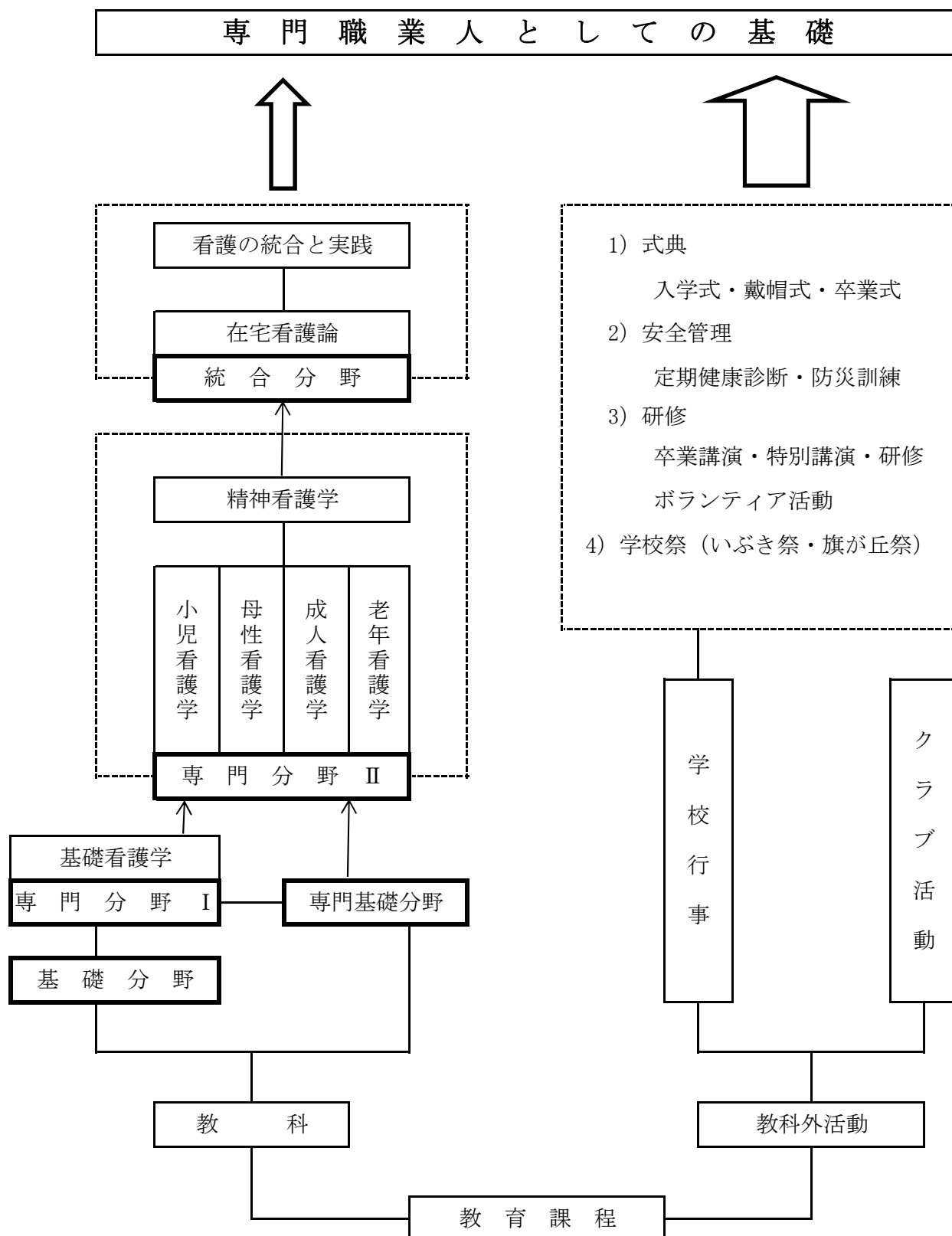
第 27 条 進級及び卒業決定等の重要事項並びに特例に関しては、教育委員会の審議を経て、学校長が決定する。

附則

1. 学則及び履修要項に定められていない事項は、教員会の議を経て、学校長が定める。
2. この要項の変更は、教員会の議を経て、学校長が行う。
3. この要項は、平成 9 年 4 月 1 日より適用する。
4. この要項は、平成 11 年度入学生より適用する。
5. この要項は、平成 12 年 4 月 1 日より適用する。
6. この要項は、平成 13 年 4 月 1 日より適用する。
7. この要項は、平成 14 年 4 月 1 日より適用する。
8. この要項は、平成 15 年 4 月 1 日より適用する。
9. この要項は、平成 16 年 4 月 1 日より適用する。
10. この要項は、平成 17 年 4 月 1 日より適用する。
11. この要項は、平成 21 年 4 月 1 日より適用する。
12. この要項は、平成 23 年 4 月 1 日より適用する。
13. この要項は、平成 24 年 4 月 1 日より適用する。
14. この要項は、平成 25 年 4 月 1 日より適用する。
15. この要項は、平成 30 年 4 月 1 日より適用する。
16. この要項は、平成 31 年 4 月 1 日より適用する。
17. 学則及び履修要項に定められていない事項は、教育委員会の議を経て、学校長が定める。
18. この要項の変更は、教育委員会の議を経て、学校長が行う。
19. この要項は、令和 2 年 4 月 1 日より適用する。

5. 教 育 計 画

教 育 課 程



試験実施に関する注意事項

<筆記試験>

1. 試験時は学生証を机上の指定された位置に置く。学生証を忘れた場合は本人とわかる証明書（保険証・免許証などの公的な身分証明）を提示のうえ事務課で「受験許可書」の発行を受ける。尚、「受験許可書」は使用後、学生が破棄する。
2. 遅刻は試験開始15分以内まで許可する。交通機関の影響など、やむを得ない理由による15分以上の遅刻の場合は、それを証明する書類を登校時に学年担当教員へ提出し、その後の指示を受ける。
3. 試験中の途中退室は認めない。
 - 1) 体調不良等でやむを得ず途中退室した場合は、再入室はできない。
 - 2) トイレの場合は、試験監督者に申し出て、試験監督者の指示に従う。
4. 試験中の質問などは、試験監督者に挙手をして申し出る。ただし、試験終了10分前からの質問は受け付けない。
5. 不正行為またはそれに類似した行為があった場合は、下記の処分をする。
 - 1) その科目の試験の得点を0点とする。
 - 2) 学校長は運営委員会の議を経た後、当該者に対し保護者同席のもとに懲戒を命じる。
6. 試験を受ける際の具体的手順
 - 1) 試験時は、所定の席に座る。
 - 2) 試験開始前には、以下の内容を厳守する。以下の点が守れない場合は、不正行為とみなされる場合がある。
 - (1) 学生証・鉛筆・シャープペン・消しゴム以外のものは机の上に置かない。その他のものは、鞆の中にしまい、椅子の下へ置く。
 - (2) ポケットティッシュに関しては試験監督者の許可が得られた場合は置いてよいが、ポケットティッシュの袋から出して置く。
 - (3) 学生証はケースから出し、机の右上に置く。
 - (4) 携帯電話は電源を切って、教員の指示に従い提出する。
 - (5) 机の中に何も無いことを目視で確認する。もし、試験中に机の中に資料があることを発見した場合、例えその資料が自分のものでなくても不正行為とみなされる場合がある。
 - (6) 試験中のコート着用・ひざ掛け・ストールの使用は禁止とする。
*試験会場に入る前にコートやストール・ひざ掛け等は、各自のロッカーまたは、鞆に入れる。椅子に掛けたり、膝に掛けたりすることはできない。
 - 3) 試験終了後、指示があるまでは席を立たない。問題用紙・解答用紙の回収・確認後、指示に従い速やかに退室をする。

<レポート>

1. レポートの体裁は、担当講師の指示に従う。また、提出場所や提出締め切り日時を厳守する。
2. 提出締め切り日時の15分以内であればレポートを受け付ける。ただし15分を過ぎた場合は、試験を欠席したと同様の扱いとなる。
3. 提出に関しては、指示された方法で本人が直接提出する。
4. 引用（参考書の記述や、他人の意見を紹介すること）の際に、「剽窃（ひょうせつ）」*が確認された場合は、不正行為とみなし、その試験は0点とする。

*「剽窃」：他人の詩歌・文章などの文句または説をぬすみ取って、自分のものとして発表すること（広辞苑）

<口頭試問>

1. 試験場所・時間は担当講師の指示に従う。
2. 遅刻者は原則として受験できない。ただし、担当講師がやむを得ない理由であると認めた場合には受験させることがある。

<実 技>

1. 試験場所・時間は担当講師の指示に従う。
2. 服装、頭髪の色、その他指示された事が守られない場合は、その試験は0点とする。
3. 遅刻者は試験開始後15分以内ならば受験できる。交通機関の影響等、やむを得ない理由による15分以上の遅刻の場合は、それを証明する書類を登校時に学年担当教員へ提出し、その後の指示を受ける。

出席管理

1. 教科、および教科外活動の出欠席は「出席管理システム」を用いる。
2. 出席管理システムに用いるものは学生証である。
学生証をカードリーダーにタッチすることで、氏名・学籍番号が表示され打刻時間が機械の中に記録される。
3. 打刻忘れは欠席とする。
※打刻忘れとは、学生証を忘れた、あるいは学生証をカードリーダーにタッチすることを忘れたことである。
4. 届出について
 - 1) 忌引（2親等以内）、学校感染症で欠席する場合は、その事由を証明する書類を添付して登校後直ちに欠席届を事務課に提出する。
 - 2) 交通機関の遅延の場合は、当日 17 時までに事務課に遅延証明書と遅刻届を提出する。
 - 3) 早退の場合は、学年担当教員に報告し、事務課に早退届を提出する。
5. カードリーダーの使用方法
 - 1) 週番が授業開始前にカードリーダーを事務課に取りに行き、すべての授業終了後直ちに事務課に返却する。
 - 2) 教室移動の時は週番がカードリーダーを移動する。
 - 3) 各授業開始時刻（以下の時刻）までに教室に準備されているカードリーダーに学生証をタッチする。
1 限：8：40～8：59 2 限：10：20～10：39 3 限：12：40～12：59 4 限：14：20～14：39
5 限：16：00～16：19
 - 4) カードリーダーに正しくタッチした場合は、カードリーダーに氏名・学籍番号が表示され「ピッ」という音が鳴る。
氏名・学籍番号が表示されたのを確認する。（図 1）注）同時刻に同カードを 2 回以上タッチするとエラーになる場合がある。
 - 5) 授業の途中からの出席でも学生証をカードリーダーにタッチする。画面が消えている場合は電源を入れてタッチする。
6. 出席管理システム利用上の注意事項
 - 1) 本人が打刻する。打刻後、退席する場合は学年担当教員に必ず申し出る。
 - 2) 出欠席に関して担当講師に申し入れをすることは出来ない。
 - 3) 学生証は常に携帯する。
 - 4) 学生証は破損しないように自己管理する。
（他の IC カードと同封すると、正確に読み取れない場合がある。学生証は単独で使用する。）
 - 5) 出席の管理は自己で行う。
 - 6) 学生証紛失時の事務手続きを行い、再発行されるまで学年担当教員に出席の確認を受ける。
 - 7) 学生証を忘れた場合、または学生証再発行申請者は、別紙：出席表（学生証再発行申請者用）に必要事項を記載し、科目の担当教員にサイン又は捺印してもらい、事務課へ提出する。
7. このシステムを使用しないのは、以下とする。
 - 1) 実習
 - 2) 試験
 - 3) 学校外での教科・教科外活動
 - 4) その他指示があった場合
8. 指示された出席管理方法に従わなかった場合は欠席とする。
9. 出席管理システムを不正に利用した場合は、処分の対象とする。

図 1

20200000
昭和太郎

看護研究における倫理的配慮

看護研究の目的は、看護者（看護学生）は研究を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与するものとする。

看護者の倫理綱領2003 日本看護協会

- 1 「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会規定」に準ずる。
(http://www.showa-u.ac.jp/about_us/org/m_ethics_committee/regs.html)
- 2 学生が、人間を対象とした看護学の研究及び関連領域の研究，行為を行う上で遵守しなければならない考え方、行動の在り方は以下の3項目を規範とする。
 - 1) 「看護者の倫理綱領 2003 日本看護協会」
 - 2) 「看護研究における倫理指針 2003 日本看護協会」
 - 3) 当校の臨地実習における倫理的配慮

医療安全教育

本校の医療安全教育目標は以下のよう定める。

1. 教育目標

安全が保障された看護実践を提供するために、医療安全の基礎的知識を習得できる。

2. 行動目標

1) 1年生

- (1) 指導者・教員の助言をもとに日常生活援助に潜む危険を認識することができる。
- (2) 危険を回避するためのルールを遵守し、「あれ、おかしい」と感じた時には、速やかに伝えることができる。
- (3) 危険を予防・回避するために看護場面で自分が「できない」ことは「できない」と言え、「してはならない」ことは断ることができる。
- (4) ヒヤリ・ハットが発生した場合、速やかに教員・指導者の両者に報告できる。
- (5) 報告・連絡・相談の違いを理解することができる。

2) 2年生

- (1) ヒューマンエラーを起こす存在であることを自覚することができる。
- (2) 指導者・教員の助言をもとに、対象の看護実践に潜む危険を予知できる。
- (3) 指導者・教員の助言をもとに対象の看護実践において、危険回避の方策を考えることができる。
- (4) 危険を回避するためのルールを遵守し「あれ、おかしい」と感じた時には、速やかに伝えることができる。
- (5) 危険を予防・回避するために看護場面で自分が「できない」ことは「できない」と言え、「してはならない」ことは断ることができる。
- (6) 報告・連絡・相談の違いを意識して表現することができる
- (7) 事故が起きた場合の対処方法を考えることができる。
- (8) ヒヤリ・ハットが発生した場合、速やかに教員・指導者の両者に報告できる。

3) 3年生

- (1) ヒューマンエラーを起こす存在であることを自覚し、自己モニタリングすることができる。
- (2) 対象の看護実践に潜む危険性を個人及びチームで考えることができる。
- (3) 看護計画には、危険回避のための内容も含め、助言を受けて実践できる。
- (4) 看護計画上では想定していなかった危険な場面があった場合、危険を回避する方法を振り返ることができる。
- (5) 危険を回避するためのルールを遵守し、「あれ、おかしい」と感じた時には、速やかに伝えることができる。
- (6) 危険を予防・回避するために看護場面で自分が「できない」ことは「できない」と言え、「してはならない」ことは断ることができる。
- (7) 系統立てた伝達方法を理解することができる。
- (8) 事故が起きた場合の対処方法を個人及びチームで考えることができる。
- (9) ヒヤリ・ハットが発生した場合、速やかに教員・指導者の両者に報告できる。

6. 事 務 手 続

1) 事務取扱時間 平日 8:30～17:00

2) 学生証

(1) 交付 入学時交付される。

(2) 紛失した場合

① 事務課で再発行の手続きをする。証明書交付願と再発行料1,000円＋消費税を添えて提出する。

② 1週間後に交付する。

※再発行後に紛失した学生証が見つかった場合、必ず事務課へ返却する。

3) 学生旅客運賃割引（学割証）

(1) 学割証は「修学上の経済的負担を軽減し学校教育の振興に寄与す」という主旨のもとに発行されている。

(2) 学割証は1枚で往復の乗車券購入が可能である。

(3) 学割証の有効期限は交付日より3カ月間である。

(4) 学割証は「学生旅客運賃割引証交付願」を事務課に提出してから3日後に交付する。受け取る際には、必ず学生証を持参する。学生証を持参しない者には交付しない。

(5) 学割証を不正に使用したとき（他人名義の学割証を使用するなど）は、追徴金とられるばかりでなく、以後学校がこれらの発行停止の処分を受けるので、不正使用しないよう特に注意する。

4) 通学定期乗車券の購入および「通学証明書」の交付

(1) 通学定期券の購入に際し、学生証裏面の在籍シールが通学証明書となる。在籍シールに住所・通学区間を記入し、各鉄道会社の販売窓口に提示することで通学定期券の購入が可能である。

引っ越し等により住所および通学区間を変更する場合は事務課に申し出ること。住所変更届の提出と引き換えに、新しい在籍シールを交付する。

(2) 実習病院へ通学する際の定期乗車券を購入するには、「通学証明書」が必要である。

(3) 「通学証明書」の交付を受ける際は、実習開始日の1ヶ月前までに「実習定期申込書」を事務課に提出する。各鉄道会社への申請に最大1ヶ月を要するため、期日を過ぎての申請は一切受け付けられない。なお、年度内であればまとめた申請が可能である。

5) 拾得物、遺失物の届出

(1) 拾得物、遺失物については、速やかに事務課に届け出る。

6) 諸手続き

下記手続きを行う際は、各種申請書・届出書を昭和大学ホームページ内の医学部附属看護専門学校（学内専用ページ）よりプリントアウトすること。

(1) 各種証明書の交付申請

① 証明書の交付は、「証明書交付申込書」と交付料を事務課に提出する。

② 交付料および交付日は次の表を参照する。

種 類	交 付 料	交 付 日
成績単位修得証明書	500 円	2 週間後
在 学 証 明 書	300 円	3 日後
卒業見込証明書	300 円	〃
卒 業 証 明 書	300 円	〃
学 割 証	無料	〃
種 類	交 付 料	交 付 日
通 学 証 明 書	無料	3 日後
学 生 証 再 発 行	1,000 円＋消費税	1 週間後

※納入した交付料は理由のいかんに関わらず返還しない。

(2) 各種届出

保証人又は本人及び保証人の住所、連絡先(携帯番号等)、氏名(改姓)等に変更のあった場合には速やかに事務課に届け出なければならない。

(3) 各種願い出

休学、退学、復学をしようとする者は、医師の診断書または事由書を添え保証人連署で速やかに事務課を経て学校長に願い出なければならない。

(4) 電車遅延に伴う遅刻

15分以上45分未満の交通機関の遅れ等の場合は、「遅刻・早退・欠課届」に遅延証明書を添付して事務課に届出なければならない。この場合は遅刻として取り扱わない。

(5) 忌引による欠席

忌引きによる欠席は、葬儀等の行事を終えた後、速やかに「欠席届」を事務課へ会葬礼状等とともに提出する。

続 柄	日数(休日含む)
配偶者及び1親等(父母、子)	連続5日以内
2親等(祖父母、兄弟姉妹等)	連続3日以内

(6) 学生診療費扶助

本学附属病院を受診し、診療費を支払った学生に対し、保険診療費の一部を扶助する。

- ① 扶助を受けようとする学生は、受診の受付の際に必ず学生証を窓口に提出する。
- ② 扶助を受けようとする学生は、受診後、所定の用紙に必要事項を記入し、病院受診領収書を添付し、事務課で申請手続きをとる。申請手続きは、1か月分の診療費をまとめて行うこととし、期限は診療月の翌月の10日までとする。

(7) 正課中の傷病害

- ① 実習、授業、クラブ活動(事前に「課外活動届」を提出した場合に限る)の傷病害については、診療に要した保険診療費の一部を支給する。なお、「課外活動届」の提出方法は、学校生活の項を参照とする。
- ② 正課中の傷病害であることを証明する「正課中の傷病害証明書」及び「正課診療費支給申請書」を提出しなければならない。

＊ 学生診療費扶助・正課中の傷病害ともに高額療養費を超える部分は本人負担とする。
ただし、本人負担分は各種健康保険より還付される。

7) 追試験・追実習・再試験・再実習

追試験・追実習・再試験・再実習の受験手続きは、各試験の手続き方法(履修要項の項を参照)に従って、対象者の発表翌日の8:50までに済ませる。手続用紙を昭和大学ホームページ内の医学部附属看護専門学校(学内専用ページ)よりプリントアウトし、必要事項を記入の上、1科目につき1,000円の事務手数料を添えて事務課へ申し込む。ただし、再実習は、事務手数料の他に別に定める再実習料が必要となる場合がある。

8) 奨学金

(1) 昭和大学医学部附属看護専門学校奨学金貸与希望者は事務課に申し出る。

- ① 学内において選考を行う。
- ② 年度単位での貸与となる。

- ① 貸与希望者は事務課に申し出、必要書類を受け取り期日までに提出する。
- ② 学内において選考を行い東京都に推薦する。

- ① 新入生で予約制度による奨学金の採用をされた学生は、入学後直ちに「進学届」を事務課に提出する。
- ② 定期の募集は原則として毎年春に掲示をする。また、二次募集等については随時掲示する。貸与希望者は事務課に申し出、必要書類を受け取り期日までに提出する。
- ③ 学内において選考を行い日本学生支援機構に推薦する。
- ④ 本校入学以前に日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていた学生は、「在学届」を提出することにより返還期限の猶予がされる。

9) 書類一覽

–41–

住所変更届

昭和大学医学部附属看護専門学校長 殿

第 学年 学籍番号

氏 名

保証人氏名

次のとおり変更いたしましたので、お届けいたします。

1. 旧住所

住所 〒

電話

1. 新住所

住所 〒

電話

改姓届

昭和大学医学部附属看護専門学校長 殿

第 学年 組 番

氏 名

年 月 日

により改姓いたしましたので
戸籍抄本を添えてお届けいたします。

1. 旧 姓

1. 新 姓

年 月 日

氏 名

保証人氏名

保証人変更届

看護専門学校長 殿

第 学年 学籍番号

氏 名

新保証人氏名

下記のとおり第（一・二）保証人を変更いたしましたので、お届けいたします。

1. 前保証人

氏名

住所 〒

電話

1. 新保証人

氏名

住所 〒

電話

保証人住所変更届

看護専門学校長 殿

第 学年 学籍番号

氏 名

保証人氏名

下記のとおり第（一・二）保証人の住所を変更いたしましたので、お届けいたします。

1. 旧住所

住所 〒

電話

1. 新住所

住所 〒

電話

証明書交付申込書

年 月 日申込

学籍番号

学年

氏名

生年月日

昭和・平成

年

月

日

用途

自宅電話番号

携帯電話番号

各種証明書	(代金)	申込数	金額	交付日	備 考
成績・単位修得証明書	(500円)	通	円	2週間後	
在学証明書	(300円)	通	円	3日後	
卒業見込証明書	(300円)	通	円	※	
卒業証明書	(300円)	通	円	※	
その他() (円)	通	円	2週間後		
学生証再発行() (円)	通	円	1週間後		
証明費料合計		通	円		

※ 3年生の卒業見込証明書・成績証明書・調査書・内申書等申込み時には教員の確認印が必要です→()

現金・小為替

7. 図書室の利用

1. 利用時間

	図書室	貸出・返却	問い合わせ
平日	9:00～22:00	10:30～13:00／14:00～22:00	19:00 まで
土曜・日曜・祝日	9:00～17:00	9:00～17:00	(一)

◇平日 17:00 以降、土曜・日曜・祝日は入室の際に学生証が必要なため、常に着用する。

◇臨時の利用時間変更や休室日は、その都度学内掲示板または OPAC（図書館蔵書検索システム）トップページ <https://opac.showa-u.ac.jp/drupal/> で案内する。

2. 休室日

年末年始・本学創立記念日（11 月 15 日）・本校入試日

3. 貸 出

冊 数	期 間
〈図書のみ〉3 冊	7 日

◇雑誌は貸出不可。

◇学生証で貸出できる。

4. 延長・予約

◇貸出中の資料は、他の利用者から予約が入っていない場合に貸出期間の延長ができる。学生証と現物を持参のうえ、カウンターで手続きする。

◇必要な資料が貸出中の場合は予約ができる。カウンターで手続きする。

◇延長・予約は「マイライブラリ」からも手続きできる。→8. マイライブラリ参照

5. 返 却

◇図書室の開室時間内にカウンターで返却する。ブックポストの設置はない。

◇返却期限を厳守する。延滞中の資料がある場合はすべて返却するまで貸出停止になる。

6. 購入希望

◇備えてほしい資料がある場合は、購入希望図書のリクエストをすることができる。必要と認められたものは購入される。

7. 相互利用

◇昭和大学内の図書館・図書室はすべて利用することができる。来館・来室する際は、学生証を持参する。

◇必要な資料が図書室にない場合は、昭和大学内の図書館・図書室または他機関から文献や資料を取り寄せたり（有料）、直接行って閲覧したりすることができる。カウンターに申し出て所定の手続きをする。

8. マイライブラリ

◇図書室利用に関する個人のページで、貸出延長や他の利用者が貸出中の資料の予約等ができる。

OPAC トップページ <https://opac.showa-u.ac.jp/drupal/> からログインして利用する。

◇利用するためにはカウンターに申し出て所定の手続きをする。

9. コピー機の利用

◇図書室内の資料は著作権法で許可される範囲内でコピーすることができる。現金またはコピーカード（事務課・生協で販売）を用意する。

10. パソコンの利用

◇学習、教科外活動、印刷（有料）、文献検索等のために自由に利用できる。

◇インターネットを利用する際は Showa-ID(学籍番号)とパスワードが必要である。

◇パソコンを利用する際は、他の利用者の迷惑にならないようにキータッチ音に気をつける。

11. 電子リソースの利用

◇図書室のパソコンからは、昭和大学が契約している電子ジャーナルや電子ブックを利用することができる。

これらは大量のダウンロード（例：雑誌1冊分等）をせず、必要な箇所のみ利用する。

12. 資料の検索

◇所蔵資料は OPAC（図書館蔵書検索システム）から検索できる。OPAC はインターネットに接続されている環境であればどこからでも利用できる。図書室には検索専用のパソコンがある。

◇OPAC の検索結果に表示される「請求記号」は、図書の背に貼ってあるラベルの記号と同じである。
このラベルを元に図書を探す。

＜ラベルのみかた＞

N571	① 請求記号（分類記号）----- 同じ分野（＝主題）の資料が集まるようにつけられた記号
M-77n	② 著者記号----- 著者姓のアルファベット読みにもとづいた記号
e2	③ 副本記号----- 版表示やシリーズ番号、出版年等（空欄の場合あり）

＜書架のみかた＞

資料は左から右に並び、一番下の段まで行くと隣の列に移る。

1	7	13	19	25
2	8	14	20	26
3	9	15	21	27
4	10	16	22	28
5	11	17	23	29
6	12	18	24	30

次の書架へ

◇雑誌は図書とは別に、雑誌名のアルファベット順に並んでいる。

原則として出版後1年以上経過したものは製本し、図書室奥の集密書架に並んでいる。

<分類記号のみかた>

看護分野は日本看護協会看護学図書分類表第2版、その他の分野は日本十進分類法（NDC）に準ずる。

日本看護協会看護学図書分類表第2版（抜粋）

N000	総記	N100	看護学基礎
N010	看護情報学	N110	看護理論
N020	看護史	N120	哲学・看護倫理
N030	参考図書	N200	看護学
N039	試験問題集	N300	母性看護学
N040	論集・評論・随筆・文学・雑著	N400	小児看護学
N050	年鑑・統計・逐次刊行物・白書	N500	成人看護学
N060	学会・団体・会議	N600	老年看護学
N070	目録	N700	精神看護学
N080	叢書・全集・講座・図集	N800	地域看護学・在宅看護論
N090	国際看護・国際保健	N900	状態別看護

日本十進分類法（NDC）新訂10版（抜粋）

491.1	解剖学	493.4	消化器疾患
491.3	生理学	493.7	神経科学・精神医学
491.5	薬理学	493.9	小児科学
491.6	病理学	494	外科学
492.26	輸血・輸液	494.5	腫瘍・肉腫・癌
492.29	救急処置	494.7	整形外科学
493	内科学	494.78	リハビリテーション
493.123	糖尿病	494.9	泌尿器科学
493.185	老年医学	495	婦人科学・産科学
493.2	循環器疾患	498.55	栄養学
493.3	呼吸器疾患	499	薬学

13. 注意事項

◇資料を故意または過失により破損・紛失した場合は弁償しなければならない。大切に扱う。

◇飲食物の持ち込みは厳禁とする。

◇携帯電話はマナーモードに設定し、通話はしない。

◇携帯電話および電子機器の充電は厳禁とする（パソコン利用のための電源の使用は可）。

充電の現場を発見次第、理由の如何を問わず没収する。

◇図書室では静粛にし、話し声やキータッチ音等は他の利用者の迷惑にならないよう気をつける。

◇図書室の利用に際し不都合が生じた場合は利用停止となる場合がある。ルールを守り使用する。

8. 学 生 生 活

1) 伝達方法

通知や連絡はすべて掲示またはポータルサイトによって行う。

(1) 一般掲示

学生への公示、告示、修学上必要な事項の通達等はすべて所定の掲示板またはポータルサイト（学生ホールまたは各学年の掲示板）に掲示する。

掲示板またはポータルサイトは、登校時・放課後に必ず確認する。学生が、掲示板及びポータルサイトを確認しなかったことによって生じる不利益はすべて学生自身の責任となる。

(2) 休講掲示

休講については、掲示板またはポータルサイトに掲示する。

急な場合には、事務課から直接クラスに知らせることもある。

授業開始時刻 15 分を過ぎても担当教員から連絡がない場合は、週番が事務課へ問い合わせる。

(3) ポータルサイト

① ポータルサイトとは

ポータルサイトとは、本学の学生向け情報を提供するインターネット上の窓口である。

ポータルサイトへのアクセスは、パソコンの他にスマートフォンからでも可能である。

② 利用にあたって

ポータルサイトの利用には、入学時に配布したユーザーID（Showa-ID）とパスワードが必要である。なお、パスワードは昭和大学の学内ホームページで変更ができる。

③ アンケートへの回答

授業科目終講時には授業評価アンケートへの回答ができる。

④ 携帯電話への「連絡メール」

ポータルサイトに携帯電話のメールアドレスを登録することにより、最新情報をいち早く確認することができる。なお、メールアドレスに変更が出た場合はポータルサイト内の「メールアドレス変更」画面より各自変更を行う。

⑤ その他の機能

・ 連絡事項

教員や事務課より学年全体または学生個人宛に出された連絡事項（授業変更・休講情報など）が閲覧できる。

2) オフィス・アワー

- (1) オフィス・アワーとは、学生と教員のコミュニケーションを充実させるために設けられた時間帯のことをいう。

この時間帯には、学生からの授業内容等に関する質問や勉強の方法、さらには就職や将来の進路について個人的な相談を受けるために、教員が教員室などで待機している。

- (2) オフィス・アワーは、あらかじめ設定された時間帯に専任の教員が教員室で待機し、質問や相談を受けやすくするための制度である。どの教員を訪ねてもかまわない。授業・履修に関すること、進路相談など、気軽に相談できるように各教員は待機している。

- (3) オフィス・アワーの活用

オフィス・アワーの活用の際は、シラバスに掲載されている事前連絡の必要の有無、実施される曜日・時間・必要な手続き等を確認する。

基本的な手順は、以下のとおりである。

- ① シラバスに記載されているオフィス・アワーを確認する。
- ② 相談を希望する教員のオフィス・アワーの実施時間を確認し、特記事項のある場合はそれに従う。事前に予約が必要な場合もある為、確認したうえで教員室を訪問する。
*ただし、臨時の会議や出張などにより担当教員が不在となる可能性もある為、事前に教員と日程調整をすることを勧める。
なお、専任教員以外の担当する授業科目に関して質問がある場合は、授業終了後の時間などを利用する。
- ③ メールでの質問は、オフィス・アワーにアドレスを掲載している教員のみとし、平日の9:00～17:00の時間帯とする。
- ④ メールの内容は、原則、授業に関する質問とする。
- ⑤ メール返信に関しては、臨時の会議や出張などによりタイムリーにできない可能性もある。

3) 学生証

- (1) 学生証は本校学生の身分を証明するもので、入学時に交付する。
- (2) 学生証は常時携帯し、次の場合これを提示しなければならない。
 - ① 試験を受ける時
 - ② 本校職員の求めがあった場合
- (3) 学生証は他人に貸与したり譲渡したりしてはならない。
- (4) 学生証は退学等により学籍を失ったときは、直ちに発行者に返却する。
- (5) 学生証を紛失した場合、記載内容に変更がある場合は直ちに学年担当教員に報告し、その後再発行の手続きをする。
- (6) 学生証ケースには、指定されたもの以外は入れない。

4) 事故発生時の対応

- (1) 学内での事故発生時は、速やかに学年担当教員に報告後、事故報告書に記載する。
- (2) 実習時の事故発生時は、速やかに実習担当教員および実習指導者に報告後、事故報告書に記載する。

5) 受講に際して

医療人を目指し学ぶものとして、講義、諸行事に臨む際は、学内外を問わず、以下のことを遵守する。万一、守られない場合は、状況により教室・実習場所等からの退去を命じられ、その授業等が欠課扱いとなる。

- (1) 私語をしない。
- (2) 授業と関係のないもの（ペットボトル等の飲み物も含む）は机上に置かない。
- (3) 飲食（あめを舐めたりガムを噛むことも含む）をしない。
- (4) 授業と関係ないことを行わない。（ゲーム、雑誌・漫画の閲覧他）
- (5) PC、携帯電話（スマートフォンを含む）、タブレット端末は原則使用禁止とする。一時電源を切るかマナーモードにし、机上に置かない。守られない場合は、PC、携帯、タブレット端末を没収する。ただし、担当教員の許可がある場合は、この限りではない。
- (6) ICレコーダー等による録音は原則禁止とする。
- (7) 服装・身だしなみ

学生は常に本校の学生であることを自覚し、その場に応じた装いをする。

- ① 学生証を装着し、他者に見えるようにつける。

- ② メイクは自然で健康的に感じる範囲にする。
- ③ 男子学生は、髭を剃る。
- ④ 茶髪等、脱色した頭髪を禁止する。
- ⑤ 頭髪の色は、日本カラー協会基準の7番以下とする。
- ⑥ 公式の場では、黒、紺、グレー系、いずれかの色のスーツを着用しワイシャツ、ブラウスは白とする。
- ⑦ 肌の露出が過度な服装は避ける。
- ⑧ 靴は安全で騒音に配慮したものとする。
- ⑨ 実習・技術演習時の身だしなみ等に関しては実習の手引き準じる。
- ⑩ ユニホームの着用時、学校病院間の往復途中に買物はしない。ただし、病院売店・大学生協での買物は良い。

6) クラス運営

必要に応じてクラスで役員を選出する。

(1) 役員の役割

- ① クラス委員
 - ・ クラス運営が円滑にできるようにリーダーシップをとる。
 - ・ 学校祭でのクラス企画運営を行う。
 - ・ クラス費（卒業時の諸費用、クラスの共有物品購入費等）の集金と管理を行う。
- ② 学校祭委員
 - ・ 学校祭の企画運営を行う。

(2) 週番の役割

- ① 週番は授業を円滑に受けることができるよう教室の環境整備・授業に使用する物品の準備を行う。
- ② 週番は各クラス3名とし、水曜日から始めその週1週間継続する。
- ③ 火曜日（昼休みまたは放課後）に次の週番に引き継ぐ。引き継ぐときには、仕事内容・物品の場所・注意点などをノートにまとめ申し送る。
- ④ 原則1週間交替とする。ただし、不備がある場合は、この限りではない。
- ⑤ 具体的な仕事内容
 - a) 環境整備
 - ・ 換気、冷暖房等で室温調整を行う。
 - ・ 教室移動や下校前の戸締りや各スイッチの点検を行う。
 - ・ いつも清潔に保つよう心がける。
 - b) 授業の準備
 - ・ 毎時間授業開始前に事務課で準備物品を確認し、必要時はパソコン・ビデオ・DVD、CDプレイヤー・書画カメラ・プロジェクターの準備、プリントの配布を行う。
 - ・ 毎時間黒板はきれいにしておき、チョークまたはホワイトボード用のペンを適時補充する。
 - ・ 授業の開始、終了時の挨拶の号令をかける。
 - ・ 授業開始時間15分を経過しても担当教員から連絡がない場合は事務課に連絡する。
 - ・ レポート等提出物の回収がある場合は、クラス別に出席番号順に集めて提出する。
 - c) カードリーダーの準備、片付け
 - ・ 授業開始前に事務課に取りに行き、カードリーダーを各教室に持っていく。
 - ・ 1日の全授業終了後は、カードリーダーを直ちに事務課に返却する。

(3) 清掃

- ① ゴミは分別して所定のゴミ箱に捨てる。分別方法は表示に従う。
- ② 各教室使用後は、私物を片付け清掃を行う。

7) 健康管理

(1) 保健管理センター

学生の心身の健康を管理し、かつ健康保持に関する相談に応じるため大学構内に保健管理センターが置かれている。保健管理センターは平日 8 時半～17 時まで開館。電話番号 03-3784-8071

(2) 定期健康診断

学校保健安全法に基づき、学生の健康状態を知るとともに、病気の早期発見につとめるため 毎年 1 回定期健康診断を実施する。

① 実施時期・健診科目

- ・実施時期：4 月
- ・健診の項目：胸部レントゲン間接撮影・血液検査（HBs 抗原、抗体）・尿検査・問診・血圧測定・視力測定・身長、体重測定

② 健康診断の結果、再検査の必要な学生に対しては、再検査を実施し、精密検査、治療の必要な学生に対しては病院受診を指示する。

(3) 定期健康診断を受けていない学生に対しては、学校保健安全法に基づき医療機関による健康診断書の提出を指示する。

(4) 便検査

- ① 老年看護学実習 I に伴う便細菌検査を 2 年前期に行う。

(5) 健康診断書

進学に関して必要な健康診断書の交付は、保健管理センターに備え付けてある「証明書交付願」を提出してから原則として 3 日後に交付する。

(6) 本学附属病院を受診する場合

① 「受診票」について

本学附属病院への受診を希望する学生は、保健管理センター発行の「受診票」が必要である。受診の当日または前日に保健管理センターに出向き、受診票の発行を受ける。その際、「保険証」「学生証」が必要である。

② 各病院の初診受付時間は以下の通りである。

- ・昭和大学病院： 月～土 8 時 00 分～11 時 00 分
- ・昭和大学附属東病院： 月～土 8 時 30 分～11 時 00 分
- ・昭和大学藤が丘病院： 月～土 8 時 00 分～14 時 00 分
- ・昭和大学横浜市北部病院： 月～金 8 時 30 分～12 時 00 分
土 8 時 30 分～11 時 00 分
- ・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院：
月～金 8 時 30 分～14 時 00 分（事前予約要）
土 8 時 30 分～11 時 00 分（眼科を除く）
- ・昭和大学附属烏山病院： 月～土 8 時 30 分～11 時 30 分、13 時 00 分～15 時 00 分
- ・昭和大学歯科病院： 月～土 8 時 30 分～15 時 00 分
- ・昭和大学江東豊洲病院 日～土 8 時 00 分～14 時 00 分

(7) 学校感染症

「学校感染症」に罹患、あるいはその疑いがあると診断された場合は、登校してはならない。

- ① すみやかに学校へ連絡した上で、医師の指示を守り、治療に専念する。
- ② 登校に関しては、医師の治癒証明書を学校に提出することで許可する。インフルエンザの場合は、医師の証明書（病名、自宅療養の期間、登校可能日が入ったもの）を登校日に学校に提出する。

★「学校感染症」（学校保健安全法施行規則第 18 条）とは以下のものをさす

第一種： エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸症候群（病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）、鳥インフルエンザ（H5N1）

※ 上記以外に、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 6 条 7 項から第 9 項までに規定する「新型インフルエンザ等感染症」「指定感染症」「新感染症」は第一種の伝染病とみなす。

第二種： インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く）、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風疹、水痘、咽頭結膜熱、結核、髄膜炎菌性髄膜炎

第三種： コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の伝染病（注）

（注） 「その他の伝染病」に関しては流行の状況によって学校が決定する。

(8) 学生相談

学生生活の中で生じる対人関係・学業・進路・心身に関する疑問・悩み等、日頃考えている問題について、相談員が共に考え、問題を解決して円滑な学生生活を送るために、大学 10 号館に相談室が置かれている。

相談は原則として予約制。プライバシーは十分守られるよう配慮される。（匿名による相談も可）

カウンセラー： 臨床心理士 2 名

開室日時： 火曜日 15 時～18 時

金曜日 15 時～18 時

開室場所： 10 号館（学生会館）

電 話： 03-3784-8285（直通）開室時のみ

8) 施設の使用

- (1) 校舎は警報システムにより管理されている。
- (2) 校舎は月曜日から金曜日まで使用できる。
- (3) 入学試験期間、年末年始休暇時は使用できない。
- (4) 校舎は 7:30 に開錠し、19:00 に施錠する。学生は 18:50 には学校から退出しなければならない。施錠時間を過ぎると退出できない。
- (5) 部外者は無断で校舎内に入れない。
- (6) 校内の公共の場所に放置された私物は処分する。
- (7) 携帯電話および電子機器の充電は厳禁とする。充電の現場を発見した場合は、理由のいかんを問わず処分する。

(8) 各施設の使用の仕方については下記のとおりである。

① 教室

- ・講義終了後は教室より速やかに退出する。
その際、私物は持ち歩くかロッカーに入れる。机等に放置しておくとは紛失・盗難の原因となるため、厳守する。特に貴重品は常時身につけ放置しないようにする。

② 実習室

- ・時間外（17：00～18：45）の技術練習時には、前日までに「講堂・講義室・実習室等借用願」を事務課へ提出する。
- ・温湯を使用する場合は「講堂・講義室・実習室等借用願」の備考欄にその旨を明記する。
- ・実習室以外への備品持ち出しは、原則禁止とする。ただし、学校行事等で実習室以外へ備品を持ち出す場合は、この限りではない。その場合は、「備品等借用願」に必要事項を記載し、領域担当教員のサインをもらった後、事務課へ提出する。

③ 更衣室

- ・入室時は暗証番号で開錠し入室後は内から施錠する。退出後は外から施錠する。
- ・更衣室内の一段上がったところからは土足厳禁とし、室内を整理整頓する。

④ 更衣室ロッカー・教室ロッカーの管理

- ・ロッカーの上、周辺に私物は置かない。靴は各自のロッカーに収納する。
- ・貸与されたロッカーの鍵は各自で責任を持って保管する。
- ・ロッカーの鍵を忘れた場合、原則として貸し出さない。
万一、破損紛失した場合は、事務課で手続きをする。鍵の作成にかかる費用は自己負担とする。
- ・教室ロッカーは、年度毎に変更するので、年度末には清掃し、鍵を事務課に返却する。
- ・更衣室ロッカーは原則3年間継続して使用する。常に整理整頓に努め、卒業時に清掃して鍵を事務課に返却する。

⑤ 保健室

- ・保健室は一時休養をとることで症状が軽減する場合に使用する。
- ・症状が軽減しない場合、すみやかに病院受診し、対処する。
- ・使用前および退室時は教員に報告をする。
- ・使用した学生は、ベッドメイキングおよび備品の後片付けをして退室する。

⑥ 講堂

- ・使用時は事前に「講堂・講義室・実習室等借用願」を事務課へ提出する。

⑦ 16号館

おもに薬学部学生と本校の学生が使用する。

- ・平日（月曜日～金曜日）8時から入室可となる。19時を過ぎると、自動で扉が施錠される。
- ・授業終了後は速やかに退室する。
- ・忘れものが無いように気をつける。
- ・昼食は、学校に戻り取る。
- ・教室、1Fロビーは飲食禁止。
- ・傘は入口で傘袋に入れ3階の傘立てに入れる。
- ・ゴミは、各自片付ける。
- ・館内の美化に心がける。

⑧ 他施設

- ・大学校内の許可された教室以外の使用は認めない。

⑨ その他

- ・施設の使用時は、備品は大切に扱い、使用後は備品の片付け、電気、戸締まり、火気の安全を確認して退出する。
- ・校舎内は禁煙とする。
- ・飲食は各階の講義室・共同講義室・演習室・調理実習室のみ許可とする。
- ・教員に用事のある場合は、教員室に入って左のホワイトボードの教員別行動予定表で在室を確認する。

(9) 長期休暇中に施設を利用する場合

来校の際には、事務課の前に設置されている所定の用紙に必要事項を記入し施設を使用する。

9) 通学方法

- (1) 車、バイクでの通学は許可しない。
- (2) 自転車については、大学 10 号館学生課に届け出てステッカーを受け取った後、駐輪場を利用できる。
- (3) 自転車の乗車時はヘルメット着用を原則とする。
- (4) 登下校時大声で話しながら歩いたり、歩道を占領して歩く等近隣に迷惑をかけないように注意する。

10) 賠償責任保険の加入について

学生は入学と同時に加入する。

11) 課外活動

- (1) 学内において、課外活動を行う場合は「課外活動届」を前月の 25 日までに事務課に提出する。
届け出用紙は 1 つの活動につき 1 か月 1 枚使用する。
* 届け出がない場合の受傷は、賠償責任保険の対象とならない。
- (2) 課外活動における移動・運搬は公共交通機関を使用する。車・バイクの使用は禁止する。
- (3) 募金・物品販売・署名運動
学内・外において募金・物品販売および署名運動等をする場合は、目的および内容を明記した書類を提出し、学校長の許可を受ける。
- (4) 掲示および印刷物の配布
学内において文章・ポスター等を掲示しようとする場合は、事務課に届け出て、承認印を受けたものは所定の場所に掲示ができる。その際、ポスターの裏に掲示責任者と掲示期間と除去日を明記する。除去日には責任をもって除去する。印刷物の配布、立て看板についても承認を得る。

12) 海外渡航の届出

- (1) 海外へ出かける場合は、健康管理上および安全管理上、事前に教員へ届け出る。
- (2) 海外渡航禁止区域、制限区域の旅行を禁止する。
※各自で旅行会社、外務省ホームページ等で渡航先の安全確認を必ず行う。

13) 違法薬物について

大麻や麻薬の薬物乱用は本人の健康を害するものだけでなく、他人に危害を加える危険があり、社会的制裁を受け学生生活やその後の人生まで崩壊する危険がある。違法薬物の問題は、身近におこる可能性があり、薬物乱用の誘惑に負けない理性と勇気をもつこと。社会の一員として責任ある行動をとること。

14) 緊急時の授業の取り扱い(詳細は、災害対策マニュアル参照)

(1) 台風等の自然災害(特別警報含む)、交通障害等による休講措置

- ① 午前 6 時現在で台風等の自然災害により、「東京都全域」または「東京 23 区」のいずれかに「暴風警報」、「大雨警報」、「大雪警報」が発令されている場合は、午前の授業を休講とする。午前 10 時現在で発令されている場合は、午後の授業を休講とする。なお、それ以外の「警報」、「注意報」の場合は、原則として休講とはしない。

※警報の発令は、以下にて確認できる。

- ・ 気象庁ホームページ
- ・ 地方気象台

- ② 台風やストライキ等により、午前 6 時現在で主要の交通機関が長時間にわたり運休している場合は、午前の授業を休講とする。午前 10 時現在で運休している場合は、午後の授業を休講とする。ただし、実習及び演習はストライキに関わらず行う場合がある為、ポータルサイトで確認する。

※主要の交通機関とは

東急大井町線、東急池上線、東急目黒線、JR 山手線とする。

- ③ 授業開始後に警報が発令された場合は、学校長の判断により措置する。
- ④ 東京都以外での実習場所の場合は、実習地域の状況による。
- ⑤ 上記のほか、大学が学生の安全確保等のため必要があると判断した場合は、休講等の措置を行うことがある。

(2) 大規模地震に関する注意情報の発表及び警戒宣言が発令された場合の休講措置

首都直下地震、東海地震、東南海・南海地震等の大規模地震が予想予測され、「地震対策大綱」に基づき「注意情報」が発信された場合、休講となる。

- ① 「注意情報」が発表された後、警戒宣言が発令されなかった場合の対応場合は、翌日から講義を行う。
- ② 警戒宣言が発令された場合は、休講とする。
- ③ 警戒解除宣言が発せられた場合は、翌日から講義を行う。

(注 1) 定期試験の場合も、原則として同様の休講措置を準用する。

(注 2) 当日は掲示・ポータルサイト、テレビ、ラジオ等の報道によく注意し、電話による問い合わせは控える。

(3) 休講措置に伴う補講

休講となった授業・実習の補講については、掲示板・ポータルサイトで通知する。

病院実習等学外での実習の場合は、実習先病院等の指示に従う。

【運休】とは

運転休止の略で、定期的に動く電車やバスなどの交通機関が、運転や運航をとりやめることをいう。運転自体を取りやめる扱いとなり、途中の駅などまで運転していた列車について運転の再開は行われない。

【運転見合わせ】とは

電車やバスなどの交通機関が、悪天候や災害のために通常通りの運転を一旦控えてしばらく様子を見ることを意味する。

運転を再開できるようになる見通しが立つまで待機した後に、途中の駅などまで走っていた列車などについて遅れて運転を再開する。

15) 学校への電話連絡

- (1) 学校の電話対応可能な時間は、8：30～17：30 とする。
- (2) 夜間、休日で緊急を要する場合は、大学守衛室へ連絡する。(大学守衛室から事務長へ連絡され、用件に応じて対応する)
- (3) 遅刻や欠席の場合は、必ず事務課へ電話連絡する。
- (4) 以下の場合は、教員室へ電話連絡する。
 - ① 直接教員への連絡が必要な場合
 - ② 試験を欠席する場合
 - ③ 実習中に遅刻や欠席をする場合

連絡先

- ・ 事務課： 03-3784-8097 または 03-3784-8098
- ・ 教員室： 03-3784-8095 または 03-3784-8096
- ・ 大学守衛室： 03-3784-8066

16) 教員室入室時の留意点

- (1) 教員室での対応は、原則として、9：00～17：30 とする。ただし、教員から時間指定のあった場合や緊急時の場合は、この限りではない。
- (2) 教員からの呼び出しで教員室に訪室する場合は、メモ帳と筆記用具を持参する。
- (3) 教員に用件がある場合は、「学年、クラス、番号、氏名」を名乗り、教員を呼ぶ。

9. 昭和大学ソーシャルメディア利用規程

(目 的)

第1条 この規程は、学生・職員がソーシャルメディアを安全・適正に利用し、正しい情報を発信するために必要な事項を定める。

(定 義)

第2条 ソーシャルメディアとは、Facebook、Twitter、YouTube、maxi、ブログ、掲示板等に代表される、インターネット上で利用者が情報を発信することにより形成されるサービスの総称のことをいう。

(遵守事項)

第3条 ソーシャルメディアを利用するにあたり、以下のことを遵守すること。

- (1) 関連する法令を遵守すること。
- (2) 基本的人権、肖像権、プライバシー権、著作権、商標権等を侵害しないこと。
- (3) 本学の一員として正確な情報を伝えること。
- (4) 発信内容に対する責任は、発信者が負うこと。
- (5) 誤った情報を発信した場合は、直ちにそのことを認め、早急に訂正すること。
- (6) 本学に関する情報を発信する場合は、個人的な見解であり、本学からの正式な見解ではないことを明示すること。

(機密情報の取り扱い)

第4条 教育及び職務上知りえた守秘義務のある情報（患者情報、研究上の秘密等）を発信しないこと。ただし、これは「公益通報者保護法」に基づく情報発信を排除するものではない。

(免 責)

第5条 本学に所属する一員によるソーシャルメディアでの活動において、何らかの係争に発展した場合、若しくは本学が相応しくないと判断した場合、本学は当該利用者に対して損害賠償等を求めることができる。

(違反行為に対する措置)

第6条 本規程を逸脱するような行為があった場合、「昭和大学学則」「昭和大学大学院学則」「学校法人昭和大学就業規則」により懲戒する場合がある。

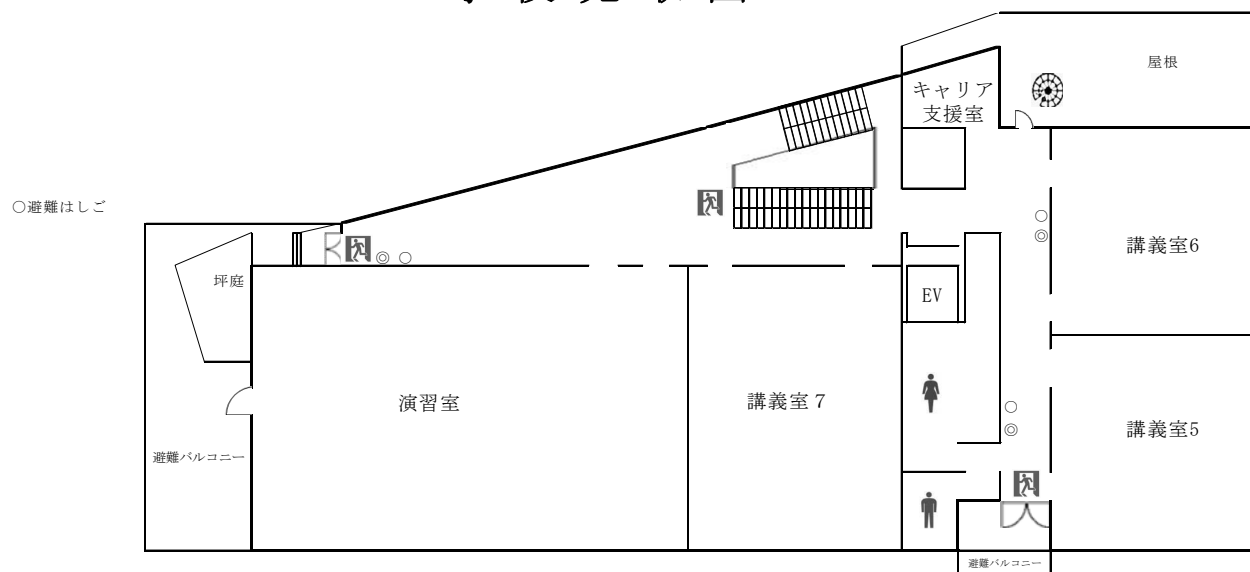
2 本学はその品位を守り、社会的責任を果たす目的で、所属する一員のソーシャルメディアでの活動について調査することがある。

附 則

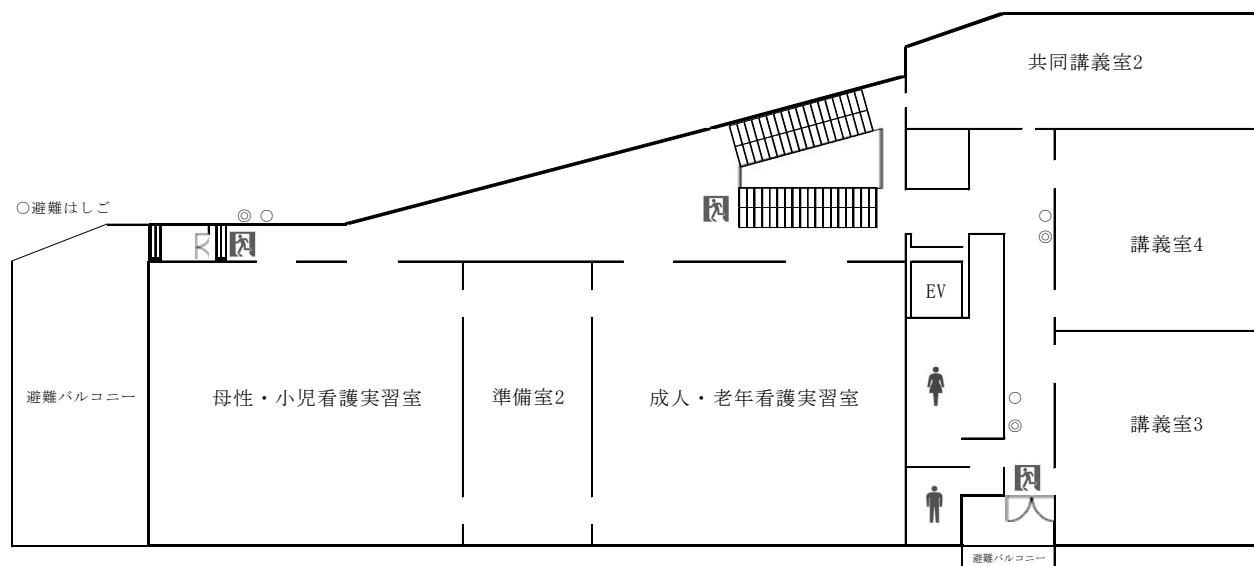
1. この規程は、平成26年6月10日から施行する。
2. この規程の施行に伴い、「昭和大学ソーシャル・ネットワーキング・サービス利用規程」（平成26年4月1日施行）を廃止する。
3. この規程の改廃は、総括担当理事協議会の議を経て理事会の承認を要するものとする。

10. 学校見取図

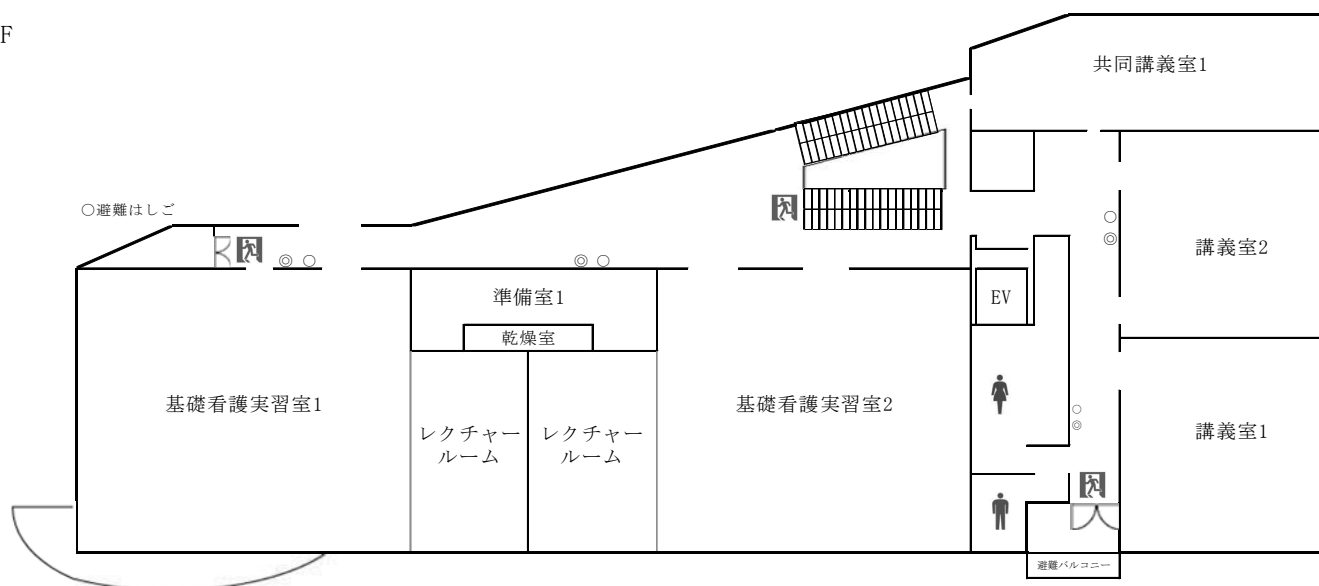
4F



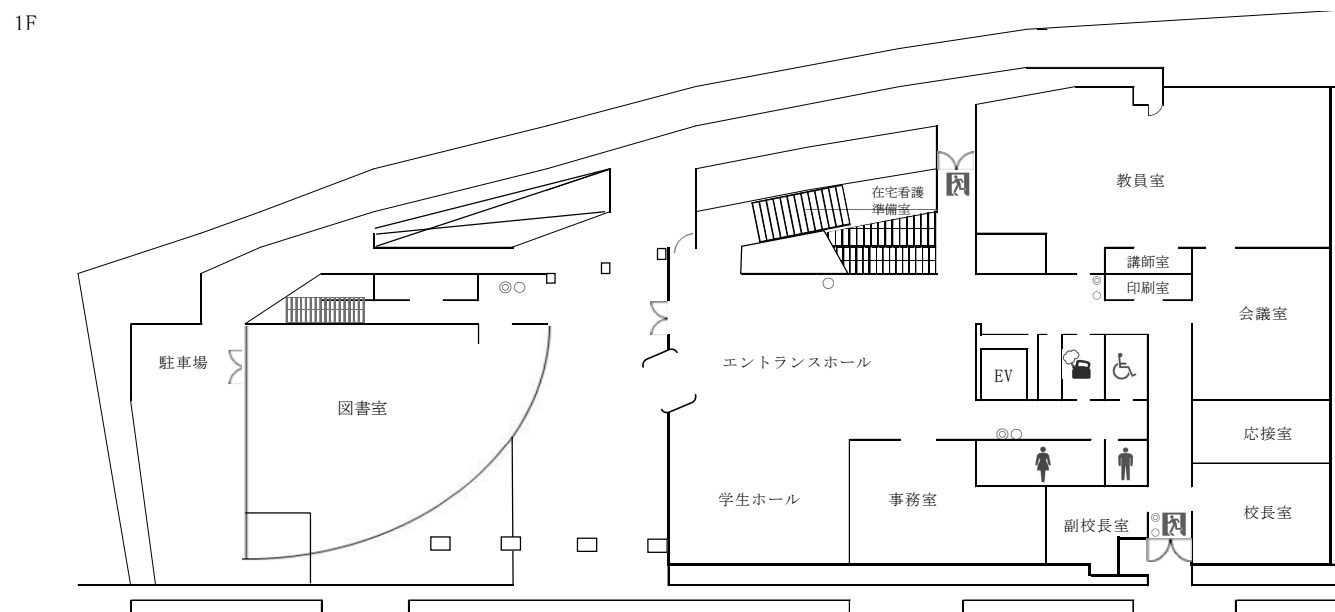
3F



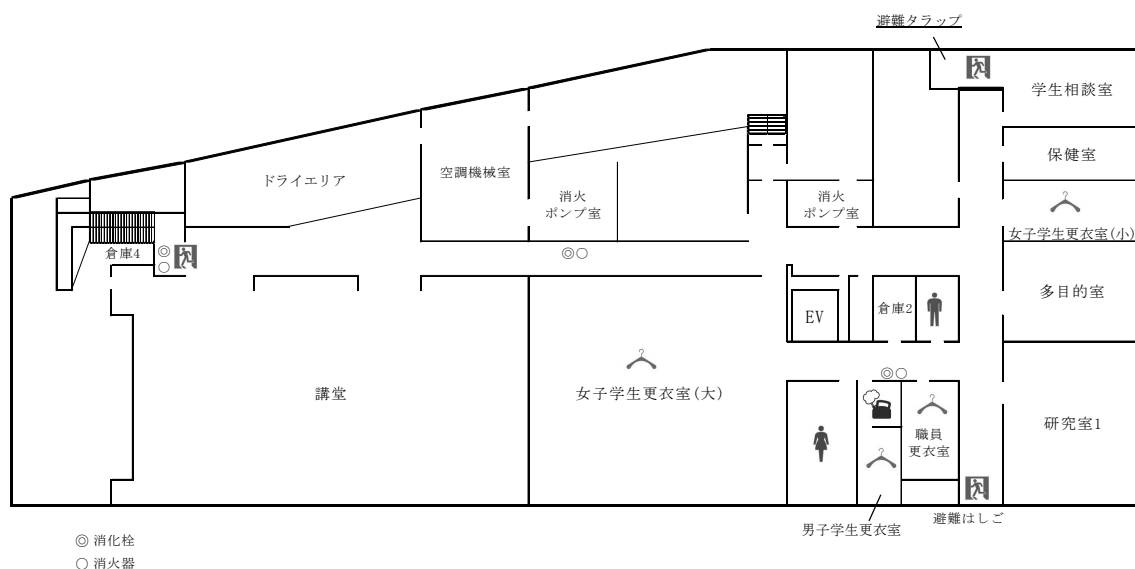
2F



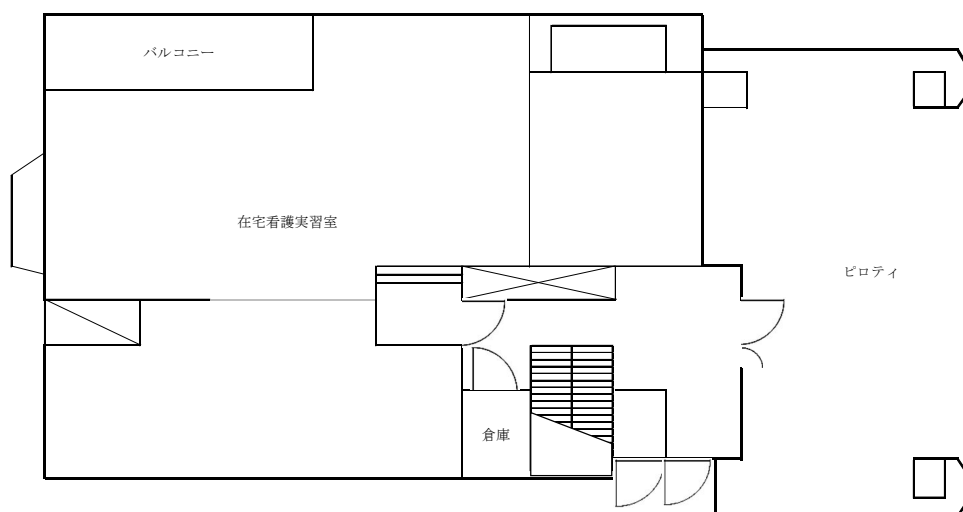
1F



B1F



在宅看護実習室
(第4旗の台寮1階)



旗の台キャンパス

HATANODAI CAMPUS

① 1号館

② 2号館

③ 3号館

④ 4号館

⑤ 5号館

⑥ 6号館

⑦ 7号館

⑧ 8号館

⑨ 9号館

⑩ 10号館

⑪ 11号館

⑫ 12号館

⑬ 13号館

⑭ 14号館

⑮ 15号館

⑯ 16号館

⑰ 19号館

⑱ 上條講堂

⑲ 上條記念館

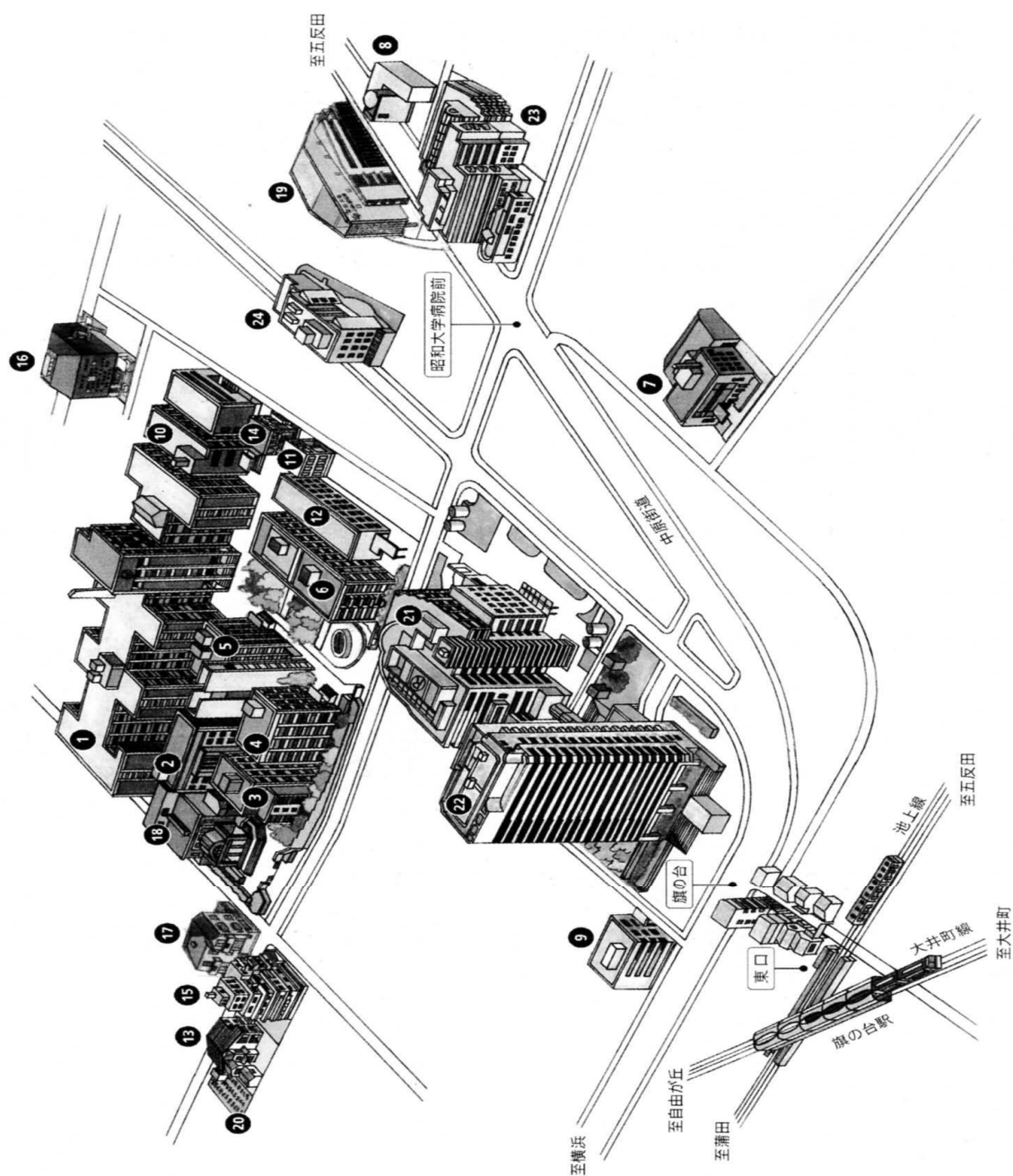
⑳ 葉草園

㉑ 昭和大学病院中央棟

㉒ 昭和大学病院入院棟

㉓ 昭和大学病院附属東病院

㉔ 医学部附属看護専門学校



11. 関連施設見取図

12. 令和2年（2020年）度 年間予定表

月 日	曜日	予 定	月 日	曜日	予 定
4 月			10 月		
1 日	水	新入生入学前登校	1 日	木	1・2 年生 後期授業開始
2 日	木	入学式 保護者説明会	9 日	金	1・2 年生 いぶき祭準備
3 日 ～10 日	金～	1 年生 入学時オリエンテーション 防災訓練	10・11 日	土・日	いぶき祭
8 日	水	定期健康診断（全学年）			
10 日	水	1 年生 前期授業開始			
			11 月		
			3 日	火	推薦・学士入学試験
			12 月		
5 月			25 日	金	授業終了
15 日	金	戴帽式	26 日	土	冬季休暇
6 月					
			2021 年		
7 月			1 月		
22 日	金	授業終了	6 日	水	授業開始
23 日	月	1・2 年生 夏季休暇 3 年生 夏季休暇	11 日	月	一般選抜Ⅰ期入学試験
			未定		卒業判定会議
8 月			2 月		
1 日	土	3 年生 夏季休暇		日	第 110 回看護師国家試験 （予定）
24 日	月	3 年生 授業開始	未定		3 年生 特別講演
9 月			17 日～	水～	1・2 年生 後期末試験
1 日	火	1・2 年生 授業開始	3 月	2 日	一般選抜Ⅱ期入学試験
23 日～	水～	1・2 年生 前期末試験	5 日	金	卒業式
30 日	水	前期終了	未定		進級認定会議
			日		終業
			日	火	春季休暇
			未定		最終進級認定会議

2020 年度

授 業 計 画

SYLLABUS 2020

第 1・2・3 学年

昭和大学医学部附属看護専門学校

「授業計画（シラバス）」の読み方

この「授業計画（シラバス）」は第1学年～第3学年までの各授業科目について、その目標、授業方法、授業内容などを解説したものである。以下、各授業科目の解説の中で使用されている用語とその意味について説明する。

「一般目標(GIO)」における GIO は “General Instructional Objective” の略であり、その日本語表現が「一般目標」である。通常、「一般目標」というより GIO と英語で表現されることが多いので、ここでもあえて英語表現をつけている。これは、学修者がその授業の学修の結果期待される成果を総括的に示したものである。

「行動目標 (SB0s)」におけるは SB0s “Specific Behavioral Objectives” の略であり、その日本語表現が「行動目標」である。やはり GIO と同様、SB0s と英語で表現されることも多いので英語表現もつけてある。SB0s は、知識・技能・態度の3つの領域においてどのようなことができるようになることが望ましいかを具体的に記述したものである。ここに掲げられた SB0s がすべて達成できたとき、GIO が達成されたことになる。なお、SB0s の個々の目標を表すとき、日本語としては「～できるようになること」などと名詞形で表現する方が自然であるが、通常「～できる。」と文章の形で表されるので、ここでもそのようにしている。

GIO と SB0s とは成績評価をなるべく客観的に行なうために考え出された概念である。学生は SB0s を読むことにより、その授業における学習のポイントをつかむことができる。

「評価方法・評価基準」にはその科目の評価の仕方と評価基準が書かれている。

「教材」にはその科目での指定テキスト、参考書が書かれている。

「予定表」には各回での授業予定が書かれている。これを参考にすれば授業の全体像をつかむことができ、また各授業の準備を行うことができる。

学生はこのシラバスを上手に活用して、各科目の学習に役立ててもらいたい。

1 年

基礎分野

社会学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 森本 恭代・上田 衛
 授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

現代社会の諸特徴と医療・看護を結び付けて考察する見方を得るために、人間と社会の関わりについて理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 社会学を学ぶ意義を理解し、社会の中の人間について考察できる。
- ☐ 2. 現代社会の様々な社会関係と集団、制度について考察する。
- ☐ 3. 現代社会の特徴と医療・看護について考察できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナルリズム
 - 1) 看護者の役割と責任を理解できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉遣いに配慮する。
3. チーム医療
 - 1) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
4. 社会的貢献
 - 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。

●担当教員

森本 恭代 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師
 上田 衛 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
森本 恭代	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。必要があれば、次回講義の前後に、別途、個別に時間を設けるので、授業終了後に相談すること。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
上田 衛	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	

●授業概要

社会的存在としての人間観を踏まえ、現代社会の特徴を様々な観点から捉え、医療と看護を社会的文脈におき、社会と関連づけて理解できるようにする。

●教材

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学分野社会学 (第6版)	石川ひろの・進藤雄三・山崎喜比古	医学書院	2012

●準備学習 (予習・復習)

各講義の SBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語、概念をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 医療概論、看護学概論、人間関係論、生活科学、成人看護対象・目的論、老年看護対象・目的論
2 年の科目全般
3 年の科目全般

●予定表 *ABCD の4クラス制で行う。

回	年月日	曜日	クラス	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 17	金	A	3	社会学を学ぶ意義	1. 社会学とは何か 2. 社会的存在としての人間 3. 行動と行為（相互行為） 4. 社会学の方法論（調査法） 5. 社会調査の理論 1) 社会調査の技法 2) 調査票の作成、解析	1	AC 上田 BD 森本
			B	3				
			C	4				
			D	4				
2	2020. 4. 24	金	A	3				
			B	3				
			C	4				
			D	4				
3	2020. 5. 01	金	A	3	現代社会のさまざまな 社会関係と集団	1. 集団（未組織集団、組織集団） 2. 大衆と世論形成 3. 官僚制 4. ネットワーク 5. 逸脱と制度 6. ジェンダー 7. 性と医療化 8. 男女雇用機会均等法 9. 労働 10. 健康、病気の社会格差 11. 地域社会と保健医療	2	
			B	3				
			C	4				
			D	4				
4	2020. 5. 08	金	A	3				
			B	3				
			C	4				
			D	4				
5	2020. 5. 22	金	A	3				
			B	3				
			C	4				
			D	4				
6	2020. 5. 29	金	A	3	現代社会の特徴と医療 ・看護	1. 社会的視座における健康/病 2. 死の自己決定（尊厳死） 3. 患者 - 医療者関係 （患者役割、インフォームドコン セント） 4. 保健医療の専門職	3	
			B	3				
			C	4				
			D	4				
7	2020. 6. 05	金	A	3				
			B	3				
			C	4				
			D	4				

教育学

対 象 学 年 : 1 学年 前期
 単 位 ・ 時 間 数 : 1 単位 15 時間
 責 任 者 名 : 藤野 法子・深堀 友寛
 授 業 形 式 等 : 講義

●一般目標 (GIO)

人を理解し、社会を理解し、社会に生きる人間を理解するために、人間が成長発達、世代交代していくために不可欠な教育の本質を理解し、自他の成長を促す教育の役割と効果を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 教育とは何かが、説明できる。
- ☐ 2. 教育の場と種類について説明できる。
- ☐ 3. 人を教えるということについて説明できる。
- ☐ 4. 教育を受けて成長することについて説明できる。
- ☐ 5. 教育の目標と評価について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●担当教員

藤野 法子：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

深堀 友寛：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
藤野 法子	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
深堀 友寛	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	

●授業概要

看護師を目指すものとして、人を理解し、社会を理解し、社会に生きる人間を理解するために、人間が成長発達、世代交代していくために不可欠な教育について学ぶ。教育とは何かを日本の教育制度を基盤として、社会におけるいろいろな教育について学ぶ。さらに、対象の健康に責任を持つ看護師として、人の健康を維持改善させるための理論（健康教育論）への理解の基盤となる内容とする。

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
2. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実施できる。
3. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●教材

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	系統看護学分野 基礎分野 教育学	木村 元 編集	医学書院	2015

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 社会学・看護学概論・人間関係論
 2年 健康教育論他・2年の科目全般
 3年の科目全般

●予定表

*AB 合同クラス・CD 合同クラスで行う

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 6. 17	水	1 2	教育とは何か	1. 教育学の定義 2. 教育の歴史 3. 教育についての法律	1	AB 深堀 CD 藤野
2	2020. 6. 24	水	1 2				
3	2020. 7. 01	水	1 2	教育の場と種類	1. 世界の教育 2. 教育の種類 3. 現代教育の諸問題	2	
4	2020. 7. 08	水	1 2				
5	2020. 7. 15	水	1 2	人を教えるということ	1. 学校教育 2. キャリア教育 3. 生涯学習	3	
6	2020. 7. 22	水	1 2	教育と成長	1. 発達を支える・促す 2. 教育による発達の理論 ピアジェ、エリクソン 3. 教育による発達	4	
7	2020. 9. 02	水	1 2	教育の目標と評価	1. 評価と目標の関係 2. 現在の目標・評価論 3. パフォーマンス課題とルーブリック	5	

心理学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 対馬 早希子
 授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護の対象である人間の心理を推測しよりよい援助を実践するために、人間の心の働きや人間の行動原理を多面的に理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 知覚の働きや、知覚の成立・種類について説明できる。
- ☐ 2. 記憶の分類、記憶の過程を述べ、忘却に影響する条件を説明できる。
- ☐ 3. 学習の基本的原理と、学習に影響する条件を説明できる。
- ☐ 4. 思考の働きや、思考力の発達について説明できる。
- ☐ 5. パーソナリティの概念について説明できる。
- ☐ 6. 適応過程における心の働きを述べることができる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
2. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
3. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

対馬 早希子：昭和大学東病院 臨床心理士／公認心理師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
対馬 早希子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電話でも質問を受け付ける。	(PHS) 3987

●授業概要

看護師は、対人援助職である。対人援助職は、援助する相手の自主性や自己決定を尊重し、相手の感情状態を的確に把握し、相手の成長を促すような心理的対応が求められる。これらにこたえるために人間の心や行動のメカニズムの基礎を学ぶ。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	新体系看護学全書 基礎科目 心理学	早坂泰次郎 他著	メヂカルフレンド社	2017

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の各領域の科目全般
2 年の各領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 16	木	4	心理学 知覚	1. 心理学とは 2. 知覚とは 3. 知覚の成立・種類 4. 心理的環境	1	對馬
2	2020. 4. 23	木	4	記憶と忘却	1. 記憶の働きと発達 2. 忘却の過程と条件 3. 記憶の変化と工夫	2	
3	2020. 5. 07	木	4	学習の原理や影響	1. 心理学における学習とは 2. 学習に関連する諸理論 3. 学習に影響する諸条件	3	
4	2020. 5. 14	木	4	思考	1. 思考の作用と思考力の発達 2. 言語の心理	4	
5	2020. 5. 28	木	4	パーソナリティの概念	1. 知能・人格・性格とは何か 2. 自己とパーソナリティ 3. 知能検査、性格検査、適性検査	5	
6	2020. 6. 04	木	4				
7	2020. 6. 11	木	4	適応過程における心の働き	1. 適応とは何か 2. 感情、情緒とは何か 3. 適応の機制	6	

論理学

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 飯島 裕子
 授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

ものごとを筋道立てて段階的に判断し、自己の考えを系統立てて表現できるようになるために、論理的思考とその思考を表現できる力を身につける。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 論理的思考とは何かを説明できる。
- ☐ 2. 論説文の読み方、議論の方法について説明できる。
- ☐ 3. 論理的思考の有効性について、説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

飯島 裕子：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
飯島 裕子	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

看護を考える上で、事象（対象から得られた情報＝事実）から推論し、対象の状態を判断するという科学的思考力や論理的思考とその思考を表現できる力の必要性を理解できるようにする。

●教材

講義時にプリントを配布する。

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認し、予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の科目全般
2 年の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 10. 05	月	3	論理的思考の基礎	1. 論理とは 2. 論理的思考とは	1	飯島
2	2020. 10. 05	月	4				
3	2020. 10. 16	金	1	論説文の読み方、議論の方法	1. 論説文の読み方 2. 議論の方法とは	2	
4	2020. 10. 16	金	2				
5	2020. 10. 23	金	1	論理的思考の有効性	1. 論理的思考の有効性について、説明できる。	3	
6	2020. 10. 23	金	2				
7	2020. 10. 30	金	2	まとめ		1 2 3	

倫理学

対象学年 : 1 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 小林 如乃・福地本 晴美

授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

医療者として、自己の価値観の形成や他者の価値観を尊重する姿勢を身につけるために、医療倫理（生命倫理含む）について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 倫理とは何かを説明できる。
- ☐ 2. 日常生活の中で起こる倫理的課題について考える。
- ☐ 3. 医療従事者と生命倫理について説明できる。
- ☐ 4. 患者の権利とインフォームドコンセントの必要性について、説明できる。
- ☐ 5. 死を共有する医療の現状と倫理的課題について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（70%）・レポート（30%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 自己の倫理的課題に気づくことができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために、表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
3. 専門的実践能力
 - 1) 患者の安全を最優先に考え、看護師と共によりよい看護を提供できる。
4. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。

●担当教員

小林 如乃 : 医学部 衛生学公衆衛生学講座

福地本 晴美 : 昭和大学江東豊洲病院 昭和大学保健医療学部看護学科

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小林 如乃	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	yukinology@med.showa-u.ac.jp
福地本 晴美		fukutimoto@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

倫理学とは、何がよいことで、何が悪いことなのかという判断が、どのような基準や根拠に基づいているのかを明らかにしようとするものである。日常生活のなかで浮かび上がってくるような問いを考え、先人の思索や知恵に学び、現代社会における倫理的問題について考える。また、看護を実践していくものとして向き合う必要が生じる、生命倫理（医療倫理）や患者の権利、インフォームドコンセントについて、倫理的視点から具体的なエピソードを通して臨床現場における倫理判断の基本について理解を深めるために臨床経験豊富な教員が教授にあたる。

●教材

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	よくわかる看護者の倫理綱領	東京医科大学看護専門学校 編著	照林社	2017

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年の科目全般
2年の科目全般
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 6.11	木	2	倫理とは	1. 倫理とは何かを説明できる 1) 倫理とは何か 2) 倫理と道徳、法の違い 3) 倫理、道徳、法の関係	1	小林
2	2020. 6.18	木	2	倫理的課題	1. 日常生活の中で起こる倫理的課題について考える 1) 基本的人権 2) 人間についての理解 3) 自己の価値観の形成 4) 他者の価値観の尊重	2	小林
3	2020. 6.25	木	1	倫理的判断	1. 医療従事者と生命倫理について考える 1) 生命倫理とは 2) 医療従事者の倫理的判断能力とは 3) 倫理的判断の実際 自律尊重、善行、公正、正義、誠実・忠誠、無危害 4) 医療専門職の倫理規定 ・医療に関わる専門職の倫理原則 ・日本看護協会 看護倫理綱領	3	小林
4	2020. 6.25	木	2				
5	2020. 7.16	木	1	インフォームドコンセント	1. 患者の権利とインフォームド・コンセントの必要性について考える 1) 患者と医師の関係 2) インフォームドコンセントとは 3) 患者の権利とインフォームドコンセントを取り巻く日本の現状と課題	4	福地本
6	2020. 7.16	木	2				
7	2020. 9.3	木	2	死と倫理	1. 死を共有する医療の現状と倫理的課題について説明できる 1) 尊厳死とは	5	小林

人間関係論

対象学年 : 1 学年 前期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 高橋 浩子
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

基本的な人間関係を築く能力を養うために、人間関係のあり方やその特徴を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 人間関係の基本的意義を述べることができる。
- ☐ 2. 人間関係における社会的相互作用を述べることができる。
- ☐ 3. グループダイナミックスとは何かを述べることができる。
- ☐ 4. 保健医療チームにおける人間関係の意義について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
3. チーム医療
 - 1) チーム医療の意義と目的が理解できる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。
5. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。
6. アイデンティティ
 - 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
 - 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

高橋 浩子：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
高橋 浩子	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

看護の対象である人との関係を築くための基本的な人間関係のあり方について、相互作用やカウンセリングの観点から学修する。さらにグループダイナミクスを効果的に活用するための基本理論と保健医療チームの特質とチームワークの意義について学修する。

●教材

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論	長谷川 浩編	医学書院	2018

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語、概念をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の各領域の科目全般
2 年の各領域の科目全般
3 年の科目全般

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの2 クラス制で行う。

●予定表

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 15	水	1 2	人間関係の基本的意義	自分を見つめることの重要性について	1	高橋
2	2020. 4. 22	水	1 2	人間関係における相互作用	社会的役割と地位とは何か	2	
3	2020. 5. 13	水	1 2	人間関係における相互作用	ホーソン研究、PM 理論から相互作用について学ぶ	2	
4	2020. 5. 20	水	1 2	人間関係を円滑にするためのスキル	カウンセリング技法の紹介	1 2	
5	2020. 5. 27	水	1 2	集団理論	グループダイナミクスとは 個人と集団の違い・集団の特徴	3	
6	2020. 6. 03	水	1 2	集団の働きと相互作用	集団と個人の相互作用	3	
7	2020. 6. 10	水	1 2	保健医療チームの人間関係の意義	保健医療チームの特質とチームワークの意義	4	

生活科学

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 金子 礼子
 授業形式等 : 講義・演習

●一般目標

看護者としてその人らしい生活を支援するために、日常生活の事象を科学的に捉えながら人と生活との関係を理解する。

●行動目標

チェック欄

- ☐ 1. 人間が生活することの意義を述べることができる。
☐ 2. 人間の生活環境が説明できる。
☐ 3. 人間の生活動作の原理とメカニズムがわかる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

金子 礼子：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

小林 栄治：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
金子 礼子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
小林 栄治		

●授業概要

生活科学とは、生活者・消費者の視点から人間生活の向上をめざして、人間が人間らしく生きるために必要な条件を科学的に迫及し、実践する学問である。看護者として人々が健康に資するよう生活過程を整えられるように人間が生活することの意義や人間の生活環境を学ぶ。

●教材

講義時にプリントを配布する。

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、資料等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の領域の科目全般
2 年の領域の科目全般
3 年の科目全般

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの2 クラス制で行う。

●予定表

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 15	水	4 3	人間が生活することの意義と生活環境	1. 生活概念の理解 1) 生活とは何か (日常生活とは何かも含む)	1 2	金子
2	2020. 4. 22	水	4 3		2. 生活の変遷		
3	2020. 5. 13	水	4 3		3. 生活環境 1) 衣生活・住生活		
4	2020. 5. 20	水	4 3		4. 家庭経済		
5	2020. 5. 27	水	4 3		5. 生活設計 6. 消費者問題		
6	2020. 6. 03	水	4 3	人間の生活動作の原理とメカニズム	1. 挺子の原理と体の動き 1) 重心・摩擦	3	小林
7	2020. 6. 10	水	4 3				

健康科学

対 象 学 年 : 1 学年 前期
 単 位 ・ 時 間 数 : 1 単位 15 時間
 責 任 者 名 : 青木 隆行・目黒 拓也
 授 業 形 式 等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

健康の保持増進に必要な身体運動を知り、それらを指導・教育できる看護師になるために、健康を維持し、体力を高めるための知識と技能を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 健康の保持増進に必要な身体運動の意義について説明できる。
- ☐ 2. 自己の身体や体力に関する測定をし、運動能力や機能を評価できる。
- ☐ 3. 健康寿命を高めるために良いとされている各種運動の効果を説明でき、実施できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心と持てる限りの知識とスキルをもって、日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

青木 隆行：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

目黒 拓也：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
青木 隆行	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。 電話でも質問を受け付ける。	080-5504-0119
目黒 拓也	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

超高齢社会を迎えようとしている昨今、医療の高度化により、急性期の疾病そのものは治癒するが、後遺症等による生活の不自由を抱えながらの健康問題が長期化、複雑化している。さらに、人々の健康の「価値観」は変わりつつあり、健康寿命をより高めることは社会保障制度の観点からも大きな課題である。健康科学では、看護師として対象の健康の保持増進とともに、高齢社会における健康寿命を高めるための支援方法を運動の観点から理解する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	スポーツ・健康科学テキスト第3版	弘卓三・森田恭光編著	杏林書院	2015
	健康・運動の科学 —介護と生活習慣病予防のための運動処方—	田口貞善監修	講談社	2012

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、予習をしてから講義、演習にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の領域の科目全般
2 年の領域の科目全般
3 年の領域の科目全般

●予定表

*ABCD の4クラス制で行う。

回	年月日	曜日	クラス	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 5. 29	金	A	4	健康と運動	1. 健康の保持増進のための方法 2. 健康と運動の必要性 3. スポーツが引き起こす障害や 予防対策	1	目黒
	2020. 4. 17		B	4				
	2020. 5. 29		C	3				
	2020. 4. 17		D	3				
2	2020. 4. 24	金	A	4	身体測定	運動能力・機能測定	2	目黒
	2020. 5. 01		B	4				
	2020. 4. 24		C	3				
	2020. 5. 01		D	3				
3	2020. 5. 08	金	A	4	各種運動効果	有酸素運動	3	目黒
	2020. 5. 22		B	4				
	2020. 5. 08		C	3				
	2020. 5. 22		D	3				

回	年月日	曜日	クラス	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
4	2020. 6.05	金	A	4	種運動効果	レジスタンス運動	3	青木
	2020. 4.24		B	4				
	2020. 6.05		C	3				
	2020. 4.24		D	3				
5	2020. 6.19	金	A	1		ストレッチング		青木
	2020. 6.12		B	2				
	2020. 6.19		C	2				
	2020. 6.12		D	1				
6	2020. 6.26	金	A	2		ロコモーショントレーニング		青木
	2020. 5.29		B	4				
	2020. 6.26		C	1				
	2020. 5.29		D	3				
7	2020. 7.17	金	A～D		まとめ		1 2 3	

医療情報と統計処理の基礎

対象学年 : 1 学年 前期
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 小風 暁
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

情報化に対応し得る能力を養い、情報の取り扱いを適切に行うセンスとスキルを身につけるために、情報倫理、情報リテラシー、ネットワーク、病院情報システムなどについて理解する。また、正確な状況判断および、実践で得られた知見を活用して看護の質を向上させるために、統計処理の基礎を学び、データの解析法と解釈の仕方を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 情報の概念について説明できる。 |
| ☐ | 2. コンピューター、インターネットに関する基本的な機能・構成について説明できる。 |
| ☐ | 3. 医療における情報の活用について述べることができる。 |
| ☐ | 4. 看護における情報の取り扱いについて説明できる。 |
| ☐ | 5. 統計学と医療、看護の関わりについて説明できる。 |
| ☐ | 6. データの種類とまとめ方を説明し、実践できる。 |
| ☐ | 7. 確率と分布の概念を学び、データを正しく解釈できる。 |
| ☐ | 8. データに合わせた統計解析手法を選択できる。 |
| ☐ | 9. 母集団・標本の概念および推定について説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。2) 看護者の役割と責任を理解できる。3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。2. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) チーム医療の意義と目的が理解できる。2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。3. 社会的貢献<ol style="list-style-type: none">1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。4. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。2) 看護を探究する意義を理解できる。 |
|---|

●担当教員

吉本 隆彦 : 医学部 衛生学公衆衛生学講座
大久保 茂子 : 医学部 衛生学公衆衛生学講座
長嶋 大地 : 医学部 衛生学公衆衛生学講座

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
吉本 隆彦	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	yoshimotot@med.showa-u.ac.jp
大久 保茂子		arita@med.showa-u.ac.jp
長嶋 大地		d.nagashima@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

情報化に対応し得る能力を養い、情報の取り扱いを適切に行うセンスとスキルを身につけるために、情報倫理、情報リテラシー、ネットワーク、病院情報システムなどについて基本的な知識を学ぶ。

また、コンピューターで情報がどのように処理されているのか基本原理を学び、知的財産権、プライバシーなど情報をめぐる倫理的問題や法について学ぶとともに、情報をどのように扱うべきかを理解する。さらに、インターネットによって瞬時に情報が世界をめぐる社会である中で、情報通信技術がどのように活用されるべきか情報システムの基本的知識について学ぶ。

情報化により、様々なデータを収集・閲覧することが容易となった現代において、データの正しい解釈は必要不可欠な能力となっている。そこで、看護分野での統計学とその関わりについて理解するとともに、記述統計や推測統計の概念について基本的な知識を学ぶ。また、データの種類やまとめ方を学び、データに基づいた統計学的手法を選択できるようになることを目指す。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	看護医療系のための情報科学入門 新訂版	椎橋実智男 他著	サイオ社	2013

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目（当該科目に関連する既修得科目や履修中の科目とその科目の年次を記載）

1 年～3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 16	木	3	情報の概念	1. 情報とは何か 2. 情報リテラシー 3. 情報の特性 4. 情報処理 5. 情報の保護	1	吉本
2	2020. 4. 23	木	3				
3	2020. 4. 30	木	3	コンピューター、インターネットの機能と構成	1. コンピューターの機能・構成要素 情報の量 2. 論理演算（インターネット検索） 3. インターネット、セキュリティ、 情報モラル	2	
4	2020. 5. 07	木	3				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
5	2020. 5. 28	木	3	医療における情報の活用	1. 医療の情報化が果たす役割 2. 病院情報システム 3. 情報化による医療の変化の実際 4. ヘルスリテラシー	3	吉本
6	2020. 6. 04	木	3				
7	2020. 6. 11	木	3	看護における情報の取り扱い	1. 看護記録と情報管理 2. 診療記録の原則 3. 看護における情報の活用	4	
8	2020. 6. 09	火	3	統計学と医療、看護の関わり	1. 記述統計と推計統計 2. 統計学と医療、看護の関わり 3. 調査・研究と統計学	5	大久保 長嶋
9	2020. 6. 16	火	3	データの種類とまとめ方	1. データの種類 2. データのまとめ方 3. グラフ化	6	大久保 長嶋
10	2020. 7. 06	月	3	確率と分布の概念	1. 確率とさまざまな確率分布 2. 正規分布の意味と使い方 3. カイ二乗分布の意味と使い方	7	大久保 長嶋
11	2020. 7. 07	火	3	データに合わせた統計解析 手法	1. 適切な統計手法の選択法1 1) t 検定 2) カイ二乗検定	8	大久保 長嶋
12	2020. 7. 09	木	3		2. 適切な統計手法の選択法2 1) 散布図 2) 相関	9	大久保 長嶋
13	2020. 7. 16	木	3	母集団と標本の概念	1. 母集団と標本 1) 標本抽出法 2) 2 つの誤差	10	大久保 長嶋
14	2020. 7. 21	火	3		2. 推定の意義 1) 点推定 2) 区間推定 3) 総括	11	大久保 長嶋
15	2020. 9. 03	木	1	まとめ		1 ～ 11	

国際関係論

対象学年 : 1 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 上田 衛

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

保健・医療・福祉に関する国際的動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解するために、国と国との関係と諸事情を理解し、その中の健康に関連した諸問題に対して、諸外国の対応および日本の問題点について学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1. 国際関係とは何かを述べることができる。 |
| ☐ | 2. わが国を取り巻く国際問題を述べることができる。 |
| ☐ | 3. 国際連合の組織と役割、世界保健機構について述べることができる。 |
| ☐ | 4. 日本の政府開発援助 (ODA) と国際協力機構 (JICA) について述べることができる。 |
| ☐ | 5. 医療の国際化 (医療チーリズムの動向) について述べることができる。 |
| ☐ | 6. 国際社会におけるわが国の現状と課題を述べることができる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| 1. プロフェッショナリズム |
| 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。 |
| 2. 専門的実践能力 |
| 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。 |
| 3. 社会貢献 |
| 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。 |
| 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。 |
| 4. 自己研鑽 |
| 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。 |

●担当者

上田 衛 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
上田 衛	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

グローバル化に伴い、看護の対象は日本人だけでなく、多様な状況下にあるさまざまな国や地域の人々に拡大している。自然災害や紛争などが国境を越えて被害をもたらすなど世界の状況は劇的に変化しており、看護はその変化に対応していく必要がある。そこで、国際関係の概要や国際社会において生起する健康問題を含めたさまざまな事象について学ぶ。

●教材

授業時にプリントを配布する。

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の各領域の科目全般
2 年の各領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 6. 12	金	4	国際関係	1. 国際関係とは何か 2. 主催とは何か 1) 領土 2) 領海 3) 領空 4) 国内法と国際法 3. わが国の周辺諸国との諸問題	1	上田
2	2020. 6. 19	金	4	各国の諸事情と関連性	各国が抱える経済・医療・保健・文化事情	2	
3	2020. 6. 26	金	4	国際連合	1. 国際連合とその専門機関 1) UNICEF（国際連合児童基金） 2) WHO（世界保健機関） 3) UNESCO（国連教育科学文化機関） 4) OCHA（国連人道問題調整事務所） 5) UNHCR （国連難民高等弁務官事務所） 6) WFP（国連世界食糧計画） 7) FAO（国連食糧農業機関） 8) UNDP（国連開発計画） 9) ILO（国際労働機関） 10) ICRC（赤十字国際委員会） 11) JDR（日本政府国際緊急救助隊）	3	
4	2020. 7. 10	金	4	日本の政府開発援助	政府開発援助の歴史と現状	4	
5	2020. 7. 17	金	4	国際協力機構	1. JICA の活動 2. NGO の活動	4 5	
6	2020. 9. 04	金	2	医療の国際化	医療ツーリズムの動向		
7	2020. 9. 11	金	2	わが国の現状と課題	1. わが国の現状と将来の課題 2. 国際結婚	6	

家族関係論

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 相川 頌子
 授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護者として、家族全体を対象とし適切な援助を提供するために、家族間の人間関係の心理や行動について学び、家族と健康問題の関連について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 家族とは何かを説明できる。
- ☐ 2. 夫婦関係論が説明できる。
- ☐ 3. 親子関係論が説明できる。
- ☐ 4. 家族と社会が説明できる。
- ☐ 5. 家族関係における理論が述べられる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
2. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
3. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

相川 頌子：お茶ノ水女子大学大学院 人間文化創生科学研究科

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
相川 頌子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	初回の授業で提示する。

●授業概要

看護の対象は、患者とその家族である。そのため、患者と家族を一単位として捉え、家族を援助の対象とする視点は必要不可欠である。家族全体を対象とし適切な援助を提供するために、我が国の家族の変遷、家族関係、家族を理解するための基礎理論や家族の健康問題について学ぶ。

●教材

講義時にプリントを配布する。

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことはコメントペーパー、次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の各領域の科目全般
2 年の各領域の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 6. 02	火	2	家族とは何か	家族をめぐる基本概念と家族の変貌	1	相川
2	2020. 6. 09	火	2				
3	2020. 6. 16	火	2	夫婦関係論	夫と妻のパートナーシップについて	2	
4	2020. 6. 23	火	2	親子関係論	親、子、孫の絆と役割	3	
5	2020. 6. 30	火	2	家族と社会	1. 社会の変化が家族に及ぼす影響 1) 生活 2) 地域 3) 職場 4) 高齢化社会と少子化 5) 健康問題	4	
6	2020. 7. 07	火	2				
7	2020. 7. 21	火	2	家族関係における理論	1. 家族システム論 2. 家族発達段階論	5	

コミュニケーション論

対象学年 : 1 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 田中 周一
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

専門職として看護実践に必要な質の高い円滑なコミュニケーション能力を身につけるために、コミュニケーションとは何かについての基本的知識を理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. コミュニケーションにはどのような種類とポイントがあるのかを説明できる。
- ☐ 2. 医療現場におけるコミュニケーションの主な種類とポイントを概説できる。
- ☐ 3. 相手の立場、習慣などによってコミュニケーションのあり方が異なることを概説できる。
- ☐ 4. 良好な人間関係を築くためのコミュニケーションのあり方を示すことができる。
- ☐ 5. 患者に寄り添うために必要なコミュニケーションのあり方を例示することができる。
- ☐ 6. 人との接し方の基本となるマナーやモラルについて概説できる。
- ☐ 7. 礼儀正しい挨拶の基本を実践できる。
- ☐ 8. 他者の話への傾聴の姿勢を実践できる。
- ☐ 9. 対人関係に係る身体表現の特徴を学び、その表現を活用することができる。
- ☐ 10. 高齢者とコミュニケーションをとる際に留意すべきポイントを指摘することができる。
- ☐ 11. 悩みを抱える他者の問いかけへの答えをグループ作業で討議することができる。
- ☐ 12. 国家試験形式のコミュニケーション関連問題にグループ作業で取り組むことができる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（60％） 各種グループ作業の参加態度・積極性（10％） 提出物（30％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- 1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
- 2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
- 3. 専門実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
- 4. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。
- 5. アイデンティティ
 - 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
 - 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

田中 周一 : 昭和大学富士吉田教育部

加藤 夕紀子 : 外部講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
田中 周一	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	shuichi-t@cas.showa-u.ac.jp

●授業概要

専門職として看護実践に必要な質の高い円滑なコミュニケーション能力を身につけるために、コミュニケーションとは何かについての基本的知識を学ぶとともに、各種の身体的訓練をおこなう。

●教材

講義時に多数のプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	事例で学ぶ医療コミュニケーション・スキル	マーガレット・ロイド／ロバート・ボア	西村書店	2007 (第2刷)
参考図書	わかりあえないことから コミュニケーション能力とは何か	平田オリザ	講談社現代新書	2012
参考図書	あたりまえだけどなかなかできない 敬語の ルール	山岸弘子	明日香出版社	2007
参考図書	すべらない敬語	梶原しげる	新潮新書	2008

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し授業に臨む。授業終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義などで積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の領域の科目全般
2 年の領域の科目全般
3 年の科目全般

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。

●予定表

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 12. 15	火	3 4	コミュニケーションの概要	コミュニケーションとはいかなるものかについて全般的な導入をおこなう。	1 2	田中
2	2020. 12. 22	火	3 4	礼儀作法の基本	接遇・傾聴・挨拶の重要性を理解し、実践する。	1～8	
3	2021. 1. 28	木	4 3	身体表現の基礎	他者とのコミュニケーションの際に用いる多様な身体表現を学ぶ。	9	
4	2021. 1. 29	金	3 4	患者体験にふれる *講師：加藤夕紀子	患者の体験談から医療者に求められるあり方を学ぶ。	2 3 5	
5	2021. 2. 04	木	4 3	高齢者とのコミュニケーションの基本	高齢者とのコミュニケーションの際のポイントとなることを学ぶ。	1 3 4 10	
6	2021. 2. 05	金	3 4	他者の悩みに向き合う	人生相談を素材に他者の悩みに答える討議をグループ作業で実践する。	2 5 11	
7	2021. 2. 16	火	1 2	医療人にとってのコミュニケーションの基本	医療現場で想定されるコミュニケーション場面を考えるとともに、国家試験形式の設問に取り組む。	1～5 12	

英語 I

対 象 学 年 : 1 学年 通年
 単 位 ・ 時 間 数 : 1 単位 15 時間
 責 任 者 名 : 小松 薫
 授 業 形 式 等 : 講義

●一般目標 (GIO)

医療の状況に応じて、英語でコミュニケーションがとれるようになるために、英会話力を身につける。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 医療の状況に応じて英語でコミュニケーションがとれるようになる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. コミュニケーション
 - 1) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 2) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

小松 薫：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小松 薫	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

日常生活や医療現場での英会話力を身につける。

●教材

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	ナースのための病院英会話	野田小枝子	(株) シナジー	2016

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。また、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 英語 II

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 9.30	水	2	状況に応じた英会話力 を身につける	初診受付から会計まで	1	小松
2	2020. 10.07	水	2				
3	2020. 10.14	水	2			2	
4	2020. 10.21	水	2				
5	2020. 10.28	水	2			3	
6	2020. 11.04	水	2				
7	2020. 11.25	水	2	まとめ		1 2 3	

英語Ⅱ

対 象 学 年 : 1 学年 後期
 単 位 ・ 時 間 数 : 1 単位 15 時間
 責 任 者 名 : 小松 薫
 授 業 形 式 等 : 講義

●一般目標 (GIO)

医療の現場で使える英語力を養い、医療に役立つ情報収集のために、英語の文献を理解する読解力を身につける。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 医療の状況に応じて英語でコミュニケーションがとれるようになる。
☐ 2. 英語の文献を理解する。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. コミュニケーション
 - 1) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 2) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

小松 薫：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小松 薫	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

医療に関連する最新の英語論文を理解するには、基本的な英語表現だけでなく、医療英語表現や単語に関する知識を持つ必要がある。この講義では、医療に関連した英語の文章を精読し、その内容を素早く、正確に理解することによって、医療に関する知識を身につけ、医療現場での英会話を身につけることを目指す。

●教材（教科書、推奨参考書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	ナースのための病院英会話	野田小枝子	(株) シナジー	2016

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 英語Ⅰ・コミュニケーション論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 12. 02	水	2	英語文献の理解	文献購読	2	小松
2	2020. 12. 09	水	2				
3	2020. 12. 16	水	2	状況に応じた英会話	1. やけどの患者の診察介助 2. 台帳内視鏡検査の各種説明と 介助 3. 救急患者と家族への対応	1	
4	2021. 1. 06	水	2				
5	2021. 1. 13	水	2				
6	2021. 1. 20	水	2				
7	2021. 1. 27	水	2	まとめ		1 2	

音楽

対象学年：1学年 前期
 単位・時間数：1単位 15時間
 責任者名：松崎 由樹子
 授業形式等：演習

●一般目標 (GIO)

豊かな感性を養い、情緒的発達を促すための音楽を理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 合唱を通して、ハーモニーの重要性を理解する。
☐ 2. 合唱や音楽鑑賞を通して感じたことを表現することができる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（実技試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. アイデンティティ

- 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

松崎 由樹子：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
松崎 由樹子	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

看護師はその豊かな感性を持って、患者さんの思いに寄り添う姿勢が求められる。この授業では、合唱を通して、調和することの大切さと、音楽鑑賞を通して感じることを表現することで、豊かな感性を育む。

●教材

講義時にプリントを配布する。

●準備学習（予習・復習）

演習が主となる授業であり、特に昭和大学校歌や看護専門学校の歌は学校行事で必ず合唱するため、歌詞やメロディーを復習し、素敵なハーモニーができるように臨むこと。

●全学年を通しての関連科目

1～3年の科目全般

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの2 クラス制で行う。(5 回目全クラス合同)

●予定表

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対 象 SBOs	担当
1	2020. 4. 17	金	1	ハーモニーの重要性 合唱や音楽鑑賞	1. 課題曲や自由曲の合唱や独唱 2. 音楽鑑賞	1 2	松崎
			2				
2	2020. 4. 24	金	1				
			2				
3	2020. 5. 01	金	1				
			2				
4	2020. 5. 08	金	1				
			2				
5	2020. 5. 14	木	2				
6	2020. 5. 22	金	1				
			2				
7	2020. 5. 29	金	1				
			2				

国語文章論

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 田中 周一
 授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

言語運用とはいかなることなのかを理解するために、日常生活のなかで無意識に運用している言語、すなわちわたしたちの大半にとって手足のように運用できる唯一の言語である母語、日本語というものにあらためて自覚的に向きあう姿勢を確立する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1. 授業内容を簡潔にまとめることができる。 |
| ☐ | 2. 言語にかかわる多様な問題に意識的に取り組むことができる。 |
| ☐ | 3. 漢字書き・かな書きの適切な使い分けができる。 |
| ☐ | 4. みずからの語彙力を高めることができる。 |
| ☐ | 5. 文学的な文章と実務的な文章の区別ができる。 |
| ☐ | 6. 主観的な文と客観的な文の区別ができる。 |
| ☐ | 7. 400 文字前後の文章の趣旨を的確に把握することができる。 |
| ☐ | 8. 200 文字前後の文章の趣旨を的確に把握することができる。 |
| ☐ | 9. ブレインストーミングを実践することができる。 |
| ☐ | 10. 意見構築の必須条件への理解を論証的意見文というかたちで表現することができる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| 1. 専門的実践能力 |
| 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。 |
| 2. 自己研鑽 |
| 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。 |

●担当教員

田中 周一：昭和大学富士吉田教育部

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
田中 周一	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	shuichi-t@cas.showa-u.ac.jp

●授業概要

日本語運用のための基盤を確立するため、日本語にまつわる多様な局面にふれるとともに、文書作成の基本的要件、すなわち漢字力・語彙力をはじめ、まとまった分量の文章を書くために必要な様々な文章能力の向上を目指す。

●教材

講義時に多数のプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
参考図書	日本語練習帳	大野 晋	岩波新書	1999
参考図書	日本語の作文技術（新装版）	本田勝一	講談社	2005
参考図書	理科系の作文技術	木下是男	中公新書	1981
参考図書	問題な日本語	北原保雄	大修館書店	2004
参考図書	悪文一裏返し文章読本	中村 明	ちくま学芸文庫	1995
参考図書	漢字と日本人	高島俊男	文春文庫	2001
参考図書	日本語と外国語	鈴木孝夫	岩波新書	1990
参考図書	知的な科学・技術文章の徹底演習	塚本真也	コロナ社	2007

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し授業に臨む。授業終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義などで積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年～3年の全科目

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 12. 03	木	3	書くことの意義	読み書きする能力の重要性を確認する。 あわせて、看護師国家試験をはじめとする医療分野国家試験の出題傾向の変化（長文化）を考察する。	1 2	田中
2	2020. 12. 10	木	3	漢字	漢字で書くか、かなで書くかという日本語における文字表記の問題に実践的に取り組む。	2 3	
3	2021. 1. 07	木	3	類義語 慣用句	類義語の練習問題をおこなう。 類語辞典の使用法と必要性を理解する。	2 4	
4	2021. 1. 14	木	3	文章の種類 主観と客観	文章の種類ならびに客観的な文と主観的な文とを区別する力を養う。	2 5 6	
5	2021. 1. 21	木	3	読解力の養成	比較的短めの文章の内容をできるだけ早く的確に把握する力を養う。	2 7 8	
6	2021. 2. 09	火	3	ブレインストーミング	書くための材料集めとして、頭のなかに嵐を起こすブレインストーミングの実践をおこなう。	1 2 9	
7	2021. 2. 16	火	3	論証的意見文	ブレインストーミングの結果を活用し、説得力をもって意見構築するための基本練習をおこなう。	1 2 10	

1 年

專門基礎分野

形態機能学 I

対象学年 : 1 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 大塚 成人 (医学部 解剖学講座 肉眼解剖学部門)

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、人体の正常構造と機能を系統的に理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 人体を構成する諸器官とその位置関係を説明できる。
- ☐ 2. 頭蓋、体幹、上肢、下肢の骨の名称と位置関係を正しく説明できる。
- ☐ 3. 頸部、胸腹部、上肢、下肢の筋の名称と位置関係を正しく説明できる。
- ☐ 4. 骨、関節、靱帯、筋の相互関係および動作との関係を説明できる。
- ☐ 5. 上肢・下肢の骨格、関節、靱帯、筋、血管の構造とそれらの神経支配を説明できる。
- ☐ 6. 中枢神経系、末梢神経系の構造と分布域が正しく説明できる。
- ☐ 7. 脈管系の構造・名称と位置関係を正しく説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的实践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

森山 浩志 : 医学部 肉眼解剖学 肉眼解剖学部門

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
森山 浩志	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	veloce@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

形態機能学は、人体の構造と機能を学ぶ学問であり、看護師にとって最重要の基礎となるものである。看護は、人々の健康増進および疾病予防、病気や障がいをもつ人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。そのため、フィジカル・アセスメントや疾病の理解の基盤ともなる人体を構成する各器官の形態、構造を器官系別に学び、各臓器相互のつながりを統合的に理解できるようにする。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学	坂井建雄 他著	医学書院	2018

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅱ～Ⅳ、生化学、フィジカル・アセスメント、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学
2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 5. 12	火	3	人体の形態と構造 運動器の総論	1. 人体の構造と区分 2. 方向と位置を示す用語 3. 人体の骨格と骨の連結 4. 骨格筋	1 4	森山
2	2020. 5. 19	火	3	体幹の骨格と筋	1. 脊柱と胸郭 2. 背部、胸部、腹部の筋	2 3 4	
3	2020. 5. 26	火	3	上肢の骨格と筋	1. 上肢の骨格と筋 2. 上肢の運動	2 3 4	
4	2020. 6. 02	火	3	下肢の骨格と筋	1. 下肢の骨格と筋 2. 下肢の運動	2 3 4	
5	2020. 6. 09	火	1	頭頸部の骨格と筋 筋の収縮	1. 頭頸部の骨格と筋 2. 咀嚼運動と顔面表情運動 3. 骨格筋の収縮機構と特性	2 3 4	
6	2020. 6. 16	火	1	神経系の構造と機能	1. 神経細胞と支持細胞 2. 興奮の伝導と伝達 3. 神経系の構造	6	
7	2020. 6. 23	火	3	脳室と髄膜 大脳と間脳	1. 脳室と髄膜の構造 2. 脳脊髄液の循環 3. 大脳と間脳の構造と機能	6	
8	2020. 6. 30	火	3	脳幹、小脳、脊髄	1. 脳幹の構造と機能 2. 小脳の構造と機能 3. 脊髄の構造と機能	6	
9	2020. 7. 07	火	1	脊髄神経と脳神経	1. 脊髄神経の構造と機能 2. 脳神経の構造と機能	5 6	
10	2020. 7. 14	火	2	脳の高次機能 下行および上行伝導路	1. 脳の高次機能と障害 2. 運動機能と下行伝導路 3. 感覚と上行伝導路	6	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
11	2020. 7. 16	木	4	循環器系総論 心臓の構造 心臓の血管と神経	1. 循環器系の構成 2. 体循環と肺循環 3. 心臓の位置、外形、構造 4. 冠状血管系 5. 心臓に分布する神経	7	森山
12	2020. 9. 01	火	3	心臓の拍出機能	1. 刺激伝導系と心電図 2. 心拍出量と血圧 3. 心周期	7	
13	2020. 9. 03	木	3	末梢循環系総論 体循環の動脈	1. 血管の構造 2. 側副循環と吻合 3. 大動脈弓、胸大動脈 4. 腹大動脈、総腸骨動脈	7	
14	2020. 9. 09	水	3	体循環の静脈	1. 上大静脈に集まる静脈 2. 下大静脈に集まる静脈 3. 門脈系と奇静脈系	7	
15	2020. 9. 17	木	3	血液循環の調節 リンパとリンパ管	1. 血圧と血流量の調節 2. 循環器系の病態生理 3. リンパ管の構造 4. リンパの循環	7	

	2020. 10. 02	金	4 ・ 5	解剖見学		1	森山
--	-----------------	---	-------------	------	--	---	----

形態機能学Ⅱ

対象学年 : 1 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 本田 一穂 (医学部 顕微解剖学)

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、人体の正常構造と機能を系統的に理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 細胞の構造と機能を説明できる。
- ☐ 2. 組織を分類し、それぞれの構造と機能を説明できる。
- ☐ 3. 呼吸器系・消化器系・泌尿器系の位置、構造および機能を説明できる。
- ☐ 4. 生殖器系の位置、構造、機能および人体の発生過程を説明できる。
- ☐ 5. 感覚器系の位置、構造および機能を説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

舟橋 久幸 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
舟橋 久幸	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	hisafuna37@aol.com

●授業概要

形態機能学は、人体の構造と機能を学ぶ学問であり、看護師にとって最重要の基礎となるものである。看護は、人々の健康増進および疾病予防、病気や障がいをもつ人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。そのため、フィジカル・アセスメントや疾病の理解の基盤ともなる人体を構成する各器官の形態、構造を器官系別に学び、各臓器相互のつながりを統合的に理解できるようにする。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学	坂井建雄 他著	医学書院	2018

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワー質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅰ、形態機能学Ⅲ、形態機能学Ⅳ、生化学、フィジカル・アセスメント、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学
2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4.13	月	1	細胞の構造と機能	人体とは、細胞の構造	1	舟橋
2	2020. 4.13	月	2		細胞の機能		
3	2020. 4.20	月	1	組織の構造と機能	組織（上皮、支持、筋、神経）	2	
4	2020. 4.20	月	2	消化器系の構造および機能	1. 消化器系の構造 「消化管」	3	
5	2020. 4.27	月	1		2. 消化器系の構造 「付属器」「腹膜」		
6	2020. 6.29	月	1	呼吸器系の構造および機能	1. 呼吸器系の構造 「気道」	3	
7	2020. 6.29	月	2		2. 呼吸器系の構造 「肺」 「胸膜」 「縦隔」		
8	2020. 7.06	月	1	泌尿器系の構造および機能	1. 泌尿器系の構造 「腎」	3	
9	2020. 7.06	月	2		2. 泌尿器系の構造 「排尿路」		
10	2020. 7.13	月	1	生殖器系の構造・機能および 人体の発生過程	1. 男性生殖器系の構造 「精巣」 「精路と付属生殖腺」 「外陰部」	4	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
11	2020. 7.13	月	2	生殖器系の構造・機能および 人体の発生過程	2. 女性生殖器系の構造 「卵巣」 「卵管・子宮・膣」 「外陰部・会陰」「乳腺」	4	舟橋
12	2020. 9.07	月	1	生殖器系の構造・機能および 人体の発生過程	人体の発生 「受精」 「胎児の発生」	4	舟橋
13	2020. 9.07	月	2	感覚器系の位置、構造および 機能	1. 感覚器系の構造 「視覚器」	5	
14	2020. 9.14	月	1		2. 感覚器系の構造 「聴覚平衡覚器」		
15	2020. 9.14	月	2		3. 感覚器系の構造 「味覚器、嗅覚器、皮膚」		

形態機能学Ⅲ

対象学年 : 1 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 泉崎 雅彦 (生体調節機能学部門)

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、人体の正常構造と機能を系統的に理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 人体の恒常性を保つ機能を説明できる。
- ☐ 2. 栄養の消化・吸収機構を説明できる。
- ☐ 3. 呼吸機能と呼吸の調節機構を説明できる。
- ☐ 4. 体温とその調節機構を説明できる。
- ☐ 5. 血液の成分と生体内における機能を説明できる。
- ☐ 6. 心臓機能の調節および血圧調節機構を説明できる。
- ☐ 7. 尿の産生機構と体液の調節機構、排尿機構を説明できる。
- ☐ 8. 酸塩基平衡とその異常を説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当者

泉崎 雅彦 : 医学部生理学 (生体調節機能学部門)

坂井 泰 : 医学部生理学 (生体調節機能学部門)

飯塚 眞喜人 : 医学部生理学 (生体調節機能学部門)

政岡 ゆり : 医学部生理学 (生体調節機能学部門)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
泉崎 雅彦	①授業終了後、講義室②放課後 (月曜日から金曜日)・大学1号館5階520号室。②の場合は、事前にメールでアポイントを取るのが望ましい。	masahiko@med.showa-u.ac.jp
坂井 泰		ysakai@med.showa-u.ac.jp
飯塚 眞喜人		iizukam@med.showa-u.ac.jp
政岡 ゆり		faustus@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

形態機能学は、人体の構造と機能を学ぶ学問であり、看護師にとって最重要の基礎となるものである。看護は、人々の健康増進および疾病予防、病気や障がいを持つ人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。そのため、フィジカル・アセスメントや疾病の理解の基盤ともなる人体を構成する各器官の形態、構造を器官系別に学び、各臓器相互のつながりを統合的に理解できるようにする。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学	坂井建雄 他著	医学書院	2018

●準備学習（予習・復習）

各講義の SB0 sを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

- 1年 形態機能学Ⅰ、形態機能学Ⅱ、形態機能学Ⅳ、生化学、フィジカル・アセスメント、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学、生化学
 2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
 3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 14	火	4	人体の恒常性を保つ機能	1. 人体の素材としての細胞・組織 2. 構造と機能から見た人体	1	坂井
2	2020. 4. 21	火	4	栄養の消化・吸収機構	1. 口、咽頭、食道の構造と機能 2. 腹部消化管の構造と機能①	2	坂井
3	2020. 4. 28	火	4		3. 腹部消化管の構造と機能② 4. 膵臓、肝臓、胆嚢の構造と機能		
4	2020. 5. 12	火	4	呼吸機能と呼吸の調節機構	1. 内呼吸と外呼吸 2. 呼吸器と呼吸運動、呼吸気量	3	泉崎
5	2020. 5. 19	火	4		3. ガスの交換とガスの運搬 4. 肺の循環と血流		
6	2020. 5. 26	火	4		5. 呼吸運動の調節 6. 呼吸器系の病態生理		
7	2020. 6. 02	火	4	体温とその調節機構	1. 体温とその調節	4	政岡
8	2020. 6. 09	火	4	血液の成分と生体内における機能	1. 血液の組成と機能 2. 赤血球 3. 血漿タンパク質 4. 赤血球沈降速度	5	政岡
9	2020. 6. 16	火	4		5. 白血球、生体の防御機構 6. 血小板 7. 血液の凝固と線維素溶解 8. 血液型		
10	2020. 6. 23	火	4	心臓機能の調節および 血圧調節機構	1. 心臓の拍出機能 2. 末梢循環系の構造	6	飯塚
11	2020. 6. 30	火	4		3. 血液循環の調節	6	飯塚
12	2020. 7. 07	火	4		4. リンパとリンパ管 5. 循環器系の病態生理		
13	2020. 7. 21	火	4	尿の産生機構と体液の 調節機構、排尿機構	1. 腎臓での尿の産生機構	7	
14	2020. 9. 01	火	4		2. 体液の調節機構 3. 排尿機構		
15	2020. 9. 08	火	4	酸塩基平衡とその異常	1. 酸塩基平衡とその異常	8	泉崎

形態機能学Ⅳ

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 砂川 正隆
 授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、人体の発生・構成及び運動生理を含む機能を系統的に理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 生体機能の調節について概説できる。
- ☐ 2. ホルモンの生理機能について説明できる。
- ☐ 3. 神経系と筋・骨格系の機能および運動の機序について説明できる。
- ☐ 4. 感覚のしくみについて説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験 (MCQ と記述) (100%)

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当者

砂川 正隆：医学部 生理学講座生体制御学部門
 塚田 愛：医学部 生理学講座生体制御学部門
 池本 英志：医学部 生理学講座生体制御学部門

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
砂川 正隆	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	suna@med.showa-u.ac.jp
塚田 愛		m-tsukada@med.showa-u.ac.jp
池本 英志		h_ikemoto@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

形態機能学は、人体の構造と機能を学ぶ学問であり、看護師にとって最重要の基礎となるものである。看護は、人々の健康増進および疾病予防、病気や障がいを持つ人々あるいは死に臨む人々のケアが含まれる。そのため、フィジカル・アセスメントや疾病の理解の基盤ともなる人体を構成する各器官の形態、構造を器官系別に学び、各臓器相互のつながりを統合的に理解できるようにする。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能① 解剖生理学	坂井建雄 他著	医学書院	2018

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、課題をもとに事後学修を進め、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	形態機能学Ⅰ～Ⅲ、生化学、フィジカル・アセスメント、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学、生化学
2 年	臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3 年	科目全般

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。

●予定表

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 15	水	2 1	生体機能の調節	1. 神経性調節 2. 体液性調節	1	砂川
2	2020. 4. 22	水	2 1	ホルモンの生理機能	1. 内分泌器官、分泌調節機構 2. ホルモンの概要、作用機序 3. 代表的疾患と病態 4. 生殖機能	2	
3	2020. 5. 13	水	2 1				
4	2020. 5. 20	水	2 1				
5	2020. 5. 27	水	2 1				
6	2020. 6. 03	水	2 1				
7	2020. 6. 10	水	2 1	神経系の機能	1. 神経系の構造と機能 2. 脊髄の構造と機能 3. 脳の構造と機能 4. 脊髄神経と脳神経 5. 自律神経による内臓機能の調節	3	
8	2020. 6. 17	水	2 1				
9	2020. 6. 24	水	2 1				
10	2020. 7. 01	水	2 1	感覚機能	1. 感覚の種類と性質 2. 体性感覚 3. 視覚 4. 聴覚 5. 平衡覚 6. 味覚 7. 嗅覚 8. 痛み	4	
11	2020. 7. 08	水	2 1				
12	2020. 7. 15	水	2 1				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
13	2020. 7. 22	水	2 ----- 1	筋・骨格系の機能	1. 筋の収縮機構 2. 運動系の制御機構、錐体路系と 錐体外路系	3	池本
14	2020. 9. 02	水	2 ----- 1				
15	2020. 9. 09	水	2 ----- 1	生体機能の調整	全体のまとめ	1 2 3 4	砂川

薬理学

対象学年 : 1 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 木内 祐二 (薬理学)
授業形式等 : 講義

●一般目標(GIO)

対象に対して正しい与薬や服薬指導を実践するために、薬物の特徴・作用機序、人体への影響および薬物の管理を理解する。

●行動目標(SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 薬理作用と薬物動態について説明できる。
- ☐ 2. 薬物の特徴に応じた管理方法を説明できる。
- ☐ 3. 末梢神経作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
- ☐ 4. 中枢神経系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
- ☐ 5. 循環器系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
- ☐ 6. 呼吸器系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
- ☐ 7. 消化器系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
- ☐ 8. ホルモン系作用薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
- ☐ 9. 抗感染症薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
- ☐ 10. 抗悪性腫瘍薬と生体との相互作用および作用機序と副作用について説明できる。
- ☐ 11. 医薬品添付文書の読み方を説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●担当者

木内 祐二 : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門)
辻 まゆみ : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門)
小山田 英人 : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門)
宇高 結子 : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門)
佐々木 晶子 : 医学部 薬理学 (医科薬理学部門)

●コンピテンシーとの関連

- 1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
- 2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
木内 裕二	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	ykiuchi@med.showa-u.ac.jp
辻 まゆみ		tsujim@med.showa-u.ac.jp
小山田英人		oyamadah@med.showa-u.ac.jp
宇高 結子		ykanda@med.showa-u.ac.jp
佐々木 晶子		sakiko@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護師には、医師に指示された薬剤を正しく与薬する責務がある。与薬後は、対象の観察を行い、薬剤の効果や副作用を確認する。また、薬剤師と連携・協働し服薬指導をすることも看護師の重要な役割である。そのため、薬理学の概念や薬物療法の基礎知識を学修し、使用する薬剤の管理方法・薬剤の作用・副作用、期待される効果を正しく理解できるようにする。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	わかりやすい薬理学	安原 一・小口勝司 編	ヌーヴェルヒロカワ	2014

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、病理学、生化学
2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3年の科目全般

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。

●予定表

*時限—上段 AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9. 01	火	1	薬理学の概念	第1章 総論 (P. 1～50) 1) 薬物療法の目的 2) 薬理作用と薬物動態 3) 薬物療法に影響を与える要因 4) 副作用と相互作用 5) 医薬品の添付文書 6) 医薬品の管理	1 2 11	木内 辻
			2				
2	2020. 9. 08	火	1				
			2				
3	2020. 9. 15	火	1	末梢神経系作用薬	第2章 末梢神経作用薬 (P. 51～70) 1) 末梢神経作用薬 2) 局所麻酔薬	3	辻
			2				
4	2020. 9. 29	火	1				
			2				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
5	2020. 10. 06	火	1 2	中枢神経系作用薬	第3章 中枢神経作用薬 (P. 73～100) (麻薬・大麻・覚せい剤等の取 り扱いも含む)	4	宇高
6	2020. 10. 13	火	1 2				
7	2020. 10. 20	火	1 2	心臓・血管作用薬	第4章 心臓・血管作用薬 (P. 101～123、P. 126～140) 1) 抗高血圧薬 2) 心臓作用薬 3) 輸液・腎臓作用薬	4	宇高
8	2020. 10. 27	火	1 2				
9	2020. 11. 24	火	1 2	抗炎症薬と呼吸器系作用薬	第5章 抗炎症薬 第6章 呼吸器系作用薬 (P. 155～194)	6	宇高
10	2020. 12. 01	火	1 2				
11	2020. 12. 08	火	1 2	抗感染症薬	第9章 抗感染症薬・消毒薬	9	宇高
12	2020. 12. 15	火	1 2	心臓・血管系、消化器系およ びホルモン、生殖器系作用薬	第4章 心臓・血管作用薬 1) 脂質異常症 (P123～125) 2) 血液・造血器系作用薬 (P141～154)	5 7	小山田
13	2020. 12. 22	火	1 2		第7章 消化器系作用薬 (P195～212)		
14	2021. 1. 12	火	2 1		第8章 ホルモン系・生殖器系 作用薬 (P213～240)	8	佐々木
15	2021. 1. 19	火	1 2		第9章 抗悪性腫瘍薬 (P268～276)	10	佐々木

微生物学

対象学年 : 1 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 伊與田 雅之
 授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、微生物の特徴と生体に及ぼす影響および病原微生物の感染予防について理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 微生物の特徴と感染の機序が説明できる。
- ☐ 2. 生体の免疫機構が説明できる。
- ☐ 3. おもな滅菌法と消毒法を列挙し、説明できる。
- ☐ 4. 細菌の特徴と発病の予防について説明できる。
- ☐ 5. ウイルスの特徴と発病の予防について説明できる。
- ☐ 6. 真菌の特徴と発病の予防について説明できる。
- ☐ 7. 原虫の特徴と発病の予防について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●担当者

柳川 容子：医学部 微生物学

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柳川 容子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	yyana@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

病原微生物の種類と特徴、感染経路、ヒトの生体防御機構について学ぶ。看護職は感染対策において中心的な役割を担っており、さらに指導的な役割を担うことが期待されている。対象者と接するにあたり、自身の感染防止とともに感染予防の観点から正しい知識を身につけ、合理的な対応、対策を行えるように基礎知識の修得を目指す。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進④ 微生物学	南嶋 洋一 他著	医学書院	2018
テキスト	パワーアップ問題演習 微生物学	牛島廣治 監修 西條政幸 出題	医学芸術社	2015

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーにて質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、専門分野Ⅰ
2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3 年の科目全般

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う。

●予定表

*時限—上段 AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9. 29	火	4 3	病原微生物の種類と特徴	1. 微生物の生物学的位置 2. 細菌の形態、構造、栄養、 病原因子	1 3	柳川
2	2020. 10. 06	火	4 3	感染経路と感染予防策	1. 感染経路、標準予防策 2. 滅菌法、消毒薬		
3	2020. 10. 13	火	4 3	感染に対する生体防御機構	1. 免疫担当細胞 (B細胞、T細胞) 2. 抗原、抗体、補体 3. 予防接種、ワクチン	2	
4	2020. 10. 20	火	4 3	細菌感染症	1. グラム陽性菌 1) ブドウ球菌 2 レンサ球菌 3 ボツリヌス菌 4) 破傷風菌 5) ジフテリア菌 6) 結核菌など	4	
5	2020. 10. 27	火	4 3		2. グラム陰性菌 1) 淋菌 2) 髄膜炎菌 3) 大腸菌 4) サルモネラ 5) コレラ菌 6) ヘリコバクター 7) 百日咳菌 8) スピロヘータ 9) リケッチア 10) クラミジア	4	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
6	2020. 11. 24	火	4 3	ウイルス感染症	1. DNA ウイルス 1) 単純ヘルペスウイルス、 2) 水痘・帯状疱疹ウイルス 3) サイトメガロウイルス 4) B 型肝炎ウイルス 5) 痘瘡ウイルス 2. RNA ウイルス 1) インフルエンザウイルス 2) 麻疹ウイルス 3) ヒト免疫不全ウイルス 3. プリオン	5	柳川
7	2020. 11. 26	火	3 4	真菌・原虫感染症	1. 真菌・原虫 1) カンジダ 2) クリプトコッカス 3) マラリア原虫など	6 7	柳川

医療概論

対象学年 : 1 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 柴田 雅子
 授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

保健・医療・福祉の連携を知り健康生活を守る医療人となるために、医学の歩みから医療の本質を考え、現代医療における医療者の役割、医療技術の進歩について学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 近代医学の歴史と変遷について説明できる。
- ☐ 2. 医療システムの現状と課題について説明できる。
- ☐ 3. 医療関係職種および医師の役割、看護師・医師の関係について説明できる。
- ☐ 4. 医療事故を防ぐ様々な取組について説明できる。
- ☐ 5. 現代医療の展望と課題について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 自己の倫理的課題に気づくことができる。
2. チーム医療
 - 1) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
3. 専門的実践能力
 - 1) 患者の安全を最優先に考え、看護師と共によりよい看護を提供できる。
4. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。

●担当教員

小川 良雄：医学部 泌尿器科学

西田 幸典：保健医療学部 医事法学

榎田 恵：保健医療学部 看護学科

柴田 雅子

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小川 良雄	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールおよび電話でも質問を受け付ける。	ogawayos@med.showa-u.ac.jp 03-3784-8699
西田 幸典	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	ynishida@nr.showa-u.ac.jp
榎田 恵		m.enokida@nr.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護学を学び、質の高い看護の実践能力を身につけるためには、あるべき医療の姿を正しく捉えることが必要である。最初に近代医学の進歩の歴史、医学が人間の生命や尊厳をどう捉えているか、病気の診断、治療、予防、健康の増進、生活の質といったことを医学はどう具現化しているのかなど学ぶ。次に、最近の医療を取り巻く環境は刻々と変化しており、医療の考え方や仕組みも大きく変わりつつある。現在、そして将来の医療はどうあるべきか、どんな課題があるのかについて、最近の医療の動向を踏まえて考える。また、医療に従事する専門職として、他職種との連携を通して行うチーム医療の必要性について学ぶ。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	学生のための医療概論	千代豪昭 他編	医学書院	2012

●準備学習（予習・復習）

各講義のSB0sを確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。事後学習として、講義の理解度を教科書にある各章の最終項にあるゼミナールで確認すること。また、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年の科目全般
2 年の科目全般
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020 4. 16	木	2	医学と医療	1. 近代医学の誕生と今後の課題 1) 感染症に対する医学との闘いと疾病構造の変化 2. 日本の近代化と医療の発達 1) 医学とは、医療とは	1	小川
2	2020 4. 28	火	1	保健医療サービスのしくみ	1. 保健医療サービスの提供体制 1) 医療施設 （病院、診療所、助産所、医療計画） 2) 医療関連施設 地域包括ケア病棟、医療療養病床、介護療養型医療施設 3) 公衆衛生のための機関—保健所、市町村保健センター 4) 医療非営利の原則と医療機関運営 5) 医療費の効率化と合理化 2. 医療と経済 1) 診療報酬のしくみ 病院への収益、保険点数 2) 産業としての医療 3) 社会保障としての医療 4) 国民医療費の動向	2	西田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2020 4.30	木	2	医療関係職種連携	1. 医療を支える人々 ～様々な医療関係職種とチーム医療～ 1) 医療に関係する職種：医療関係資格法 (医師法、歯科医師法など) 2) 医師について 3) 看護師について 4) チーム医療の発展 救急医療や外科手術におけるチーム医療とコ・メディカルスタッフ間との連携におけるチーム医療の必要性←慢性疾患の増加、ターミナルケア	3	榎田
4	2020 5.07	木	2	医療事故	1. 医療事故とは 2. 医療事故の原因 3. 医療従事者の質の確保 4. チームパフォーマンス 5. ヒューマンエラー対策	4	柴田 (雅)
5	2020 5.21	木	2				
6	2020 5.28	木	2	患者中心の医療	1. 患者中心の医療 1) QOL を目指した現代医療 2) 先端医療の発達と患者の自己決定権の発達 (インフォームドコンセントのあり方) 3) 医療従事者と守秘義務 (個人情報保護法における守秘義務違反) 2. 医療技術の発達とチーム医療：多職種協働 3. 臓器移植医療の現状と課題 4. ゲノム医学の登場 5. 代替医療から統合医療	5	小川
7	2020 6.04	木	2	まとめ		1～5	

生 化 学

対 象 学 年 : 1 学年 前期
 単 位 ・ 時 間 数 : 1 単位 30 時間
 責 任 者 名 : 宮崎 章 (生化学)
 授 業 形 式 等 : 講義

●一般目標 (GIO)

生体の性状なくみ・機能の破綻した状態である疾病を理解し看護実践するために、人体の生命現象をつかさどる化学物質の性状・動態・物質代謝・エネルギー代謝の仕組みを理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 糖質の種類と特性および代謝について説明できる。
- ☐ 2. 脂質の種類と特性および代謝について説明できる。
- ☐ 3. タンパク質の種類と特性および代謝について説明できる。
- ☐ 4. アミノ酸の種類と特性および代謝について説明できる。
- ☐ 5. DNA と RNA の構造と機能および核酸代謝が説明できる。
- ☐ 6. 酵素とビタミンの種類と機能を説明できる。
- ☐ 7. 遺伝情報と先天性代謝異常症の仕組みを説明できる。
- ☐ 8. ホルモンの種類と機能を説明できる。
- ☐ 9. 血清タンパク質の種類と機能について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）
 評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当者

宮崎 拓郎：医学部 生化学
 原口 省吾：医学部 生化学

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
宮崎 拓郎	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	taku@pharm.showa-u.ac.jp
原口 省吾	電子メールでも質問を受け付ける。	shogo@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

生体がどのような化合物で成り立っていて、それらの化合物がどのように作られ、壊され、生体の恒常性が保たれているかということの基礎を学ぶ。生化学を学ぶことによって生体の性状・機能の破綻した状態である疾病の理解を目指す。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能② 生化学	三輪一智 他著	医学書院	2019

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、病理学、臨床医学Ⅰ～Ⅴ
2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 14	火	2	生化学の基礎	1. 生体の構成成分 1)糖質 2)脂質 3)タンパク質 4)核酸	1 2 3 4 5	原口
2	2020. 4. 21	火	2		2. 元素の性質と原子の結びつき 3. 物質の量・酵素 4. 酸と塩基 5. 同化作用と異化作用	6 7 8 9	
3	2020. 4. 28	火	2				
4	2020. 5. 12	火	2				
5	2020. 5. 19	火	2	ホルモンの種類と機能	1. ホルモンと生理活性物質	8	原口
6	2020. 5. 26	火	2	ビタミンと補酵素の種類 と機能	1. ビタミンと補酵素	6	
7	2020. 6. 08	月	4	酵素反応の特性	1. 酵素反応の特性、阻害 2. 酵素の応用		
8	2020. 6. 15	月	4	糖質の代謝	1. 糖質代謝	1	宮崎
9	2020. 6. 22	月	4	脂質の代謝	1. 脂質代謝	2	
10	2020. 7. 06	月	4	タンパク質とアミノ酸代謝	1. タンパク質代謝	3 4	
11	2020. 7. 20	月	4				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
12	2020. 9. 07	月	4	DNA と RNA の構造と機能および代謝	1. 核酸代謝	5	宮崎
13	2020. 9. 10	木	1	代謝異常および関連疾患	1. 代謝の異常	7	
14	2020. 9. 14	月	4	血液の構成成分と働きおよび尿の生成と臨床検査	1. 血液および尿	9	
15	2020. 9. 15	火	3	遺伝情報と先天性代謝異常症の仕組み	1. 遺伝情報 2. 先天代謝異常	7	原口

栄 養 学

対 象 学 年 : 1 学年 後期
 単 位 ・ 時 間 数 : 1 単位 15 時間
 責 任 者 名 : 宮崎 章 (生化学)
 授 業 形 式 等 : 講義

●一般目標 (GIO)

食生活・栄養管理の指導を実践するために、各ライフステージにおける生活活動と栄養の関係、食事療法の基礎的知識を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 肥満とやせ、BMI、基準体重の定義を説明できる。
- ☐ 2. 日本人の食事摂取基準における推奨量、目安量、目標量を説明できる。
- ☐ 3. 特定健康診査と特定保健指導を説明できる。
- ☐ 4. 5大栄養素の特徴を概説できる。
- ☐ 5. ビタミン・ミネラルの意義とその欠乏症を説明できる。
- ☐ 6. 各ライフステージにおける栄養学的問題点を概説できる。
- ☐ 7. 糖尿病、高血圧の診断基準と食事指導を説明できる。
- ☐ 8. 脂質異常症、肥満症、メタボリックシンドロームの診断基準と食事指導を説明できる。
- ☐ 9. 痛風、虚血性心疾患、脳卒中、肝炎・肝硬変に対する食事指導を概説できる。
- ☐ 10. 膵炎・胆石症、慢性腎臓病、潰瘍性大腸炎・クローン病に対する食事指導を概説できる。
- ☐ 11. 胃切除術後、摂食・嚥下障害、褥瘡に対する食事指導を概説できる。
- ☐ 12. 経腸栄養法と静脈栄養法を概説できる。
- ☐ 13. 栄養サポートチーム (NST) を説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）
 評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

宮崎 章 : 医学部 生化学

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
宮崎 章	講義終了後、または昭和大学 1 号館 3 階 346 号室 (生化学講座教授室) で随時質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	miya@med.showa-u.ac.jp 03-3784-8115 (教授室直通)

●授業概要

人間にとって食べることは、個人が健康を守るための基本である。そのため、子どもから高齢者まで食生活の管理ができる社会の形成が期待されている。看護師は、個人が自分の健康維持・増進・疾病回復のために食生活管理を行うための知識・実践力を身につけることを支援する必要がある。そこで、本授業では、各ライフステージにおける生活活動と栄養の関係、食事療法の基礎的知識を学修する。

●教材

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	わかりやすい栄養学	中村美知子 他編	ヌーヴェルヒロカワ	2020

●準備学習（予習・復習）

講義終了後、教科書の関連ページを熟読し、理解を深めて次回の講義に臨む。

●全学年を通しての関連科目

1年 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、生化学、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
 2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ・各領域の科目
 3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 10. 01	木	1	健康と栄養 日常生活と栄養	1. 肥満とやせ、BMI、基準体重 2. 日本食の特徴 3. 日本人の食事摂取基準 4. スポーツと栄養	1 2	宮崎
2	2020. 10. 08	木	1	栄養指導・保健指導 食物と栄養	1. 病院食と約束食事箋 2. 特定健康診査と特定保健指導 3. 栄養素のはたらき	3 4	
3	2020. 10. 15	木	1	食物と栄養 ライフステージと健康教育	1. ビタミン・ミネラルとその欠乏 症 2. 妊婦・授乳婦、新生児、学童、 思春期、成人期、老年期の栄養	5 6	
4	2020. 10. 22	木	1	疾患別食事指導の実際	1. 糖尿病、高血圧の診断基準とそ の食事指導	7	
5	2020. 10. 29	木	1	疾患別食事指導の実際	1. メタボリックシンドローム 2. 脂質異常症 3. 肥満 4. 痛風 5. 虚血性心疾患 6. 肝炎・肝硬変の食事指導	8 9	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
6	2020. 11. 05	木	1	疾患別食事指導の実際	1. 膵炎 2. 胆石症 3. 慢性腎臓病 4. 潰瘍性大腸炎・クローン病 5. 胃切除後 6. 摂食・嚥下障害 7. 褥瘡の食事指導	10 11	
7	2020. 11. 26	木	1	栄養療法	1. 栄養療法の種類と適応 2. 経腸栄養法と静脈栄養法 3. 栄養サポートチーム (NST)	12 13	

公衆衛生学と関係法規

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 小風 暁 (公衆衛生学)

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

人々の健康の保持増進や疾病予防に必要な知識を習得するために公衆衛生の動向や組織的な保健活動及び看護に必要な保健医療福祉に関する法令と対象への活用について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| ☐ | 1. 公衆衛生の理念を説明できる。 |
| ☐ | 2. 公衆衛生の現状と動向を説明できる。 |
| ☐ | 3. 集団検診と疫学の基本技法を説明できる。 |
| ☐ | 4. 感染症とその対策について説明できる。 |
| ☐ | 5. 食品衛生栄養について説明できる。 |
| ☐ | 6. 環境の変化が人々に与える影響と環境保全について説明できる。 |
| ☐ | 7. 地域保健活動について説明できる。 |
| ☐ | 8. わが国の母子保健の現状と今後の課題について説明できる。 |
| ☐ | 9. 学校保健について説明できる。 |
| ☐ | 10. 生活習慣病と健康づくり対策について説明できる。 |
| ☐ | 11. 健康教育とヘルスプロモーションについて説明できる。 |
| ☐ | 12. 精神保健福祉について説明できる。 |
| ☐ | 13. 産業衛生について説明できる。 |
| ☐ | 14. 法概念について説明できる。 |
| ☐ | 15. 衛生法規の概念とその分類について説明できる。 |
| ☐ | 16. 医事法について説明できる。 |
| ☐ | 17. 保健衛生法について説明できる。 |
| ☐ | 18. 労働法について説明できる。 |
| ☐ | 19. 環境法について説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。2. 社会的貢献<ol style="list-style-type: none">1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。3. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。 |
|--|

●担当教員

箕浦 明：衛生学公衆衛生学講座

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
箕浦 明	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールまたは電話でも質問を受け付ける。	minoaki@med.showa-u.ac.jp 03-3784-8135（直通）

●授業概要

本科目では、人々の健康の保持・増進及び疾病予防に必要な基礎的知識を習得するために、公衆衛生の領域と活動対象、環境衛生、疾病予防、健康教育、健康管理、衛生行政、保健医療福祉に関する諸制度の概要とそれを規定する諸法令などを学ぶ。
--

●教材

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	わかりやすい公衆衛生学	清水忠彦・南波正宗 編集	ヌーヴェルヒロカワ	2019
テキスト	国民衛生の動向	吉崎正義等監修	財団法人 厚生労働統計協会	2020 発行
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 健康支援と社会保障制度④ 看護関係法令	森山幹夫 著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 社会福祉、基礎看護学概論、成人看護対象・目的論、小児対象論、母性対象・目的論、地域・在宅看護概論Ⅰ
2 年 小児看護目的論、精神看護対象論、精神看護目的論、地域・在宅看護概論Ⅱ
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9.04	金	3	公衆衛生の理念	公衆衛生の始まりと健康を維持する要因	1	箕浦
2	2020. 9.04.	金	4	公衆衛生の現状と動向	1. 公衆衛生の現状と動向 2. 公衆衛生に関する法規	2	
3	2020. 9.11	金	3	疫学の基礎	疫学と健康指標	3	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
4	2020. 9. 11	金	4	感染症とその関連法規	1. 感染症の現状と動向 2. 感染症の予防及び感染法の患者に対する医療に関する法律	4	箕浦
5	2020. 9. 18	金	3	食品保健と栄養	1. 食品衛生と食品に関する法 2. 公衆衛生と栄養	5	
6	2020. 9. 18	金	4	生活環境と地域保健活動	1. 化学的環境、社会的環境、 地球環境、身の回りの環境 2. 地域保健活動の現状と動向 および地域保健法	6 7	
7	2020. 10. 02	金	2	母子保健と学校保健	1. 母子保健の現状と動向および その関係法規 2. 学校保健の現状と動向および その関係法規	8 9	
8	2020. 10. 02	金	3	生活習慣病と健康教育	1. 生活習慣病の現状と動向 2. 生活習慣病予防に関する法規 3. 健康教育 (ヘルスプロモーション)	10 11	
9	2020. 10. 16	金	3	精神保健福祉	1. 精神保健福祉の現状と動向 2. 精神保健福祉に関する法規	12	
10	2020. 10. 16	金	4	産業保健	1. 産業保健の現状と動向 2. 産業保健に関する法規	13	
11	2020. 10. 30	金	3	法の概念と衛生法規	1. 法の概念 2. 衛生法規とは 1) 医事法規 2) 薬事法規	14 15	
12	2020. 10. 30	金	4	医事法	1. 医事法 医療法、医療関係資格法、 保健医療福祉資格法および 医療を支える法	16	
13	2020. 11. 06	金	3	保健衛生法	1. 保健衛生法 1) 共通保健法 2) 分野別保健法	17	
14	2020. 11. 06	金	4	労働法と環境法	1. 労働法 2. 環境法 3. 労働法および環境法に関する 我が国の課題	18 19	
15	2020. 11. 27	金	4	総まとめ	まとめ	1～19	

社会福祉

対象学年 : 1 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 上田 衛
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

人々の地域や家庭での生活へのトータルケアマネジメントの基礎的能力を身につけるために、現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向、医療保険、介護保障、所得補償、公的扶助、社会福祉の各制度の課題とサービスを理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. わが国の社会保障制度について説明できる。 |
| ☐ | 2. 現代社会の変化（人口動態・人口構成・地域社会の変化）と社会保障・社会福祉の動向を説明できる。 |
| ☐ | 3. 社会保険制度について説明できる。 |
| ☐ | 4. 医療保障制度について説明できる。 |
| ☐ | 5. 介護保険制度について説明できる。 |
| ☐ | 6. 公的扶助制度について説明できる。 |
| ☐ | 7. 福祉関連法について説明できる。 |
| ☐ | 8. 医療と社会福祉の連携とその実際について説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）
評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。2) 看護者の役割と責任を理解できる。2. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。3. 社会的貢献<ol style="list-style-type: none">1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。4. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。 |
|---|

●担当教員

上田 衛 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師
菊池 健志 : 実践ソーシャルワーク塾

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
上田 衛	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
菊池 健志		

●授業概要

看護師には、人々の地域や家庭での生活へのトータルケアマネジメントの視点とともに、様々な福祉職への理解と連携の姿勢が期待されている。そのため、看護師には社会保障・社会福祉制度に関する知識・素養がますます必要となってくる。そこで、本授業は社会保障・社会福祉制度とそれらの政策的課題を学ぶ内容とする。

●教材

講義時に必要に応じてプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度③ 社会保障・社会福祉	福田素生 他著	医学書院	2020
テキスト	社会福祉小六法	ミネルヴァ 書 房編集部	ミネルヴァ書房	2019
テキスト	国民福祉と介護の動向		厚生労働統計協会	2020 発行
テキスト	国民衛生の動向	吉崎正義 編	厚生労働統計協会	2020 発行

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 公衆衛生学と関係法規、母性看護対象・目的論、地域・在宅看護概論Ⅰ
2年 地域・在宅看護概論Ⅱ、地域・在宅看護援助論Ⅰ～Ⅲ、各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9.04	金	1	わが国の社会保障制度	1. 社会保障制度の概念、体系	1 8	AB : 上田 CD : 菊池
2	2020. 9.11	金	1		2. 社会保障の体系 1) 社会保険 2) 公的扶助 3) 社会福祉 4) 公衆衛生および医療 3. 社会保障の内容 1) 所得保障 2) 医療保障 3) 社会福祉サービス 4) 社会保障給付費		

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2020. 9. 18	金	1	現代社会の変化と社会保 障・社会福祉	1. 現代社会の変化 1) 人口動態、家族、世帯の変化 2) 有訴率、通院率 3) 妊産婦死亡率、乳児死亡率 4) 高齢化率 5) 少子高齢化 6) 家族構成の変化	2 8	AB : 上田 CD : 菊池
4	2020. 10. 02	金	1	社会福祉の法制度	1. 社会福祉の法制度の歴史的展 開 2. 社会福祉サービスの内容とサ ービス提供の仕組み	3 8	
5	2020. 10. 30	金	1		3. 社会福祉と福祉六法 1) 社会福祉法 2) 生活保護法 3) 児童福祉法 4) 身体障害者福祉法 5) 知的障害者福祉法 6) 老人福祉法 7) 母子及び父子並びに寡婦福祉 法		
6	2020. 11. 06	金	1	わが国の医療保障制度	1. 医療保障制度の沿革、構造と体 系 1) 類型 2) 特徴 3) 種類 4) 国民皆保険	4 8	
7	2020. 11. 27	金	1		2. 健康保険と国民健康保険		
8	2020. 12. 04	金	1	高齢者医療制度	1. 高齢者医療制度の仕組み	5 8	
9	2020. 12. 18	金	1	介護保険制度	1. 介護保険制度の概要 1) 保険者、被保険者 2) 要介護・要支援の認定 3) 保険給付		
10	2020. 1. 08	金	1		2. 介護保険制度の課題と展望		
11	2020. 1. 15	金	1	公的扶助制度	1. 所得保障制度の仕組み 2. 年金保険制度 3. 生活保護制度の仕組み 4. 社会保険 5. 社会手当制度 6. 労働保険制度 7. 生活福祉資金貸し付け制度	6 8	
12	2020. 1. 22	金	1				
13	2020. 1. 29	金	1				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
14	2020. 2. 05	金	1	福祉関連法	1. 身体障害者福祉法 2. 知的障害者福祉法	7 8	AB : 上田 CD : 菊池
15	2020. 2. 12	金	1		3. 児童福祉法 4. 母子及び父子並びに寡婦福祉法 5. 母子保健法 *次世代育成支援対策推進法 *少子化対策基本法 } 含む		

健康教育論

対象学年 : 1 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 磯 絢子
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

対象が自己の健康を保持増進するための行動変容が出来るよう、支援者として必要な健康教育の基本理念・概念を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 健康とは何かについて説明できる。
- ☐ 2. 健康モデルの変遷（指導モデルから学習援助モデルへ）について説明できる。
- ☐ 3. 健康教育モデルの変遷（KAP モデルからヘルスビリーフモデル）について説明できる。
- ☐ 4. 保健行動をとるためのシーソーモデルについて説明できる。
- ☐ 5. ソーシャルサポートの重要性について説明できる。
- ☐ 6. セルフケア、エンパワメントを支えるセルフエフィカシーについて説明できる。
- ☐ 7. 行動変容の段階を説明できる。
- ☐ 8. 行動変容をおこす健康教育の方法を説明できる。
- ☐ 9. 討議における司会とメンバーの役割を説明できる。
- ☐ 10. 事例に対して健康教育モデルをどのように展開するか説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- 1. プロフェッショナリズム
 - 1) 看護者の役割と責任を理解できる。
- 2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
- 3. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
- 4. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

磯 絢子 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
磯 絢子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

健康教育は、単に人々に健康について教える教育ではなく、人々が自分自身で、あるいは自分たちで求め獲得できるように支援することが基本となる。そのため、支援者として必要な健康教育の基本理念・概念を学修する。
--

●教材

講義時にプリントを配布する。

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 公衆衛生学と関係法規、専門分野Ⅰ
2年の領域の科目全般
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SBOs	担当
1	2021. 2. 10	水	1	健康の概念	1. WHO 健康の定義 2. プライマリーヘルスケア、ヘルスプロモーション 3. 健康教育方法について学ぶ	1	磯
2	2021. 2. 10	水	2	教育の概念	1. 指導モデルから学習援助モデルへの変換 2. KAP モデルから保健信念モデル、プリシード・プリシードモデルへの変遷	2 3	磯
3	2020. 2. 10	水	3	シーソーモデルとソーシャルサポート	1. 保健行動をとるときシーソーモデル 2. シーソーモデルの支点としてのソーシャルサポート	4 5	磯
4	2020. 2. 10	水	4	セルフケア・エンパワメント・セルフエフィカシー	1. セルフケア・エンパワメントについて 2. セルフエフィカシー（自己効力感）を高める情報について	6	磯
5	2021. 2. 15	月	1	行動変容の段階に応じた健康教育の方法	1. 行動変容の5つの段階 2. 行動変容をおこす健康教育の留意点	7 8	磯

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
6	2021. 2. 15	月	3	健康教育の方法としての集団 討議	1. 集団討議の種類 2. 司会者・メンバーなどの役割	9	磯
7	2021. 2. 15	月	4	理論を生かした健康教育の実 際	1. 禁煙やダイエットへの健康教 育 2. 効果的なプレゼンテーション	10	磯

リハビリテーション論

対象学年 : 1 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 仲保 徹
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

障害をもつ人々に対し、社会復帰に向けての看護実践に必要なリハビリテーションを実施できる能力を身につけるために、リハビリテーションとその技術を幅広く学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| ☐ | 1. リハビリテーションの概要について説明できる。 |
| ☐ | 2. 運動器疾患のリハビリテーションについて説明できる。 |
| ☐ | 3. 脳血管疾患のリハビリテーションについて説明できる。 |
| ☐ | 4. 呼吸理学療法について説明できる。 |
| ☐ | 5. 虚血性心疾患のリハビリテーションについて説明できる。 |
| ☐ | 6. リハビリテーションにおける機能評価等の基本的技術を習得する。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) チーム医療の意義と目的が理解できる。2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。2. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。3. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。2) 看護を探究する意義を理解できる。 |
|---|

●担当教員

仲保 徹 : 保健医療学部 理学療法学科
川手 信行 : リハビリテーション医学診療科
前田 卓也 : 昭和大学病院リハビリテーションセンター (理学療法士)
鶴田 かおり : 昭和大学病院リハビリテーションセンター (理学療法士)
松本 有祐 : 昭和大学病院リハビリテーションセンター (理学療法士)
関 雅良 : 昭和大学病院リハビリテーションセンター (作業療法士)
上条 史子 : 保健医療学部 理学療法学科
石原 剛 : 保健医療学部 理学療法学科

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
仲保 徹	電子メールで質問を受け付ける。	nakabo@nr.showa-u.ac.jp
川手 信行		kawate@med.showa-u.ac.jp
前田卓也		maeda.t@med.showa-u.ac.jp
鶴田かおり		k.tsuruta@med.showa-u.ac.jp
松本有祐		matsu-2118@med.showa-u.ac.jp
関 雅良		otseki@med.showa-u.ac.jp
上条史子		kamijo@nr.showa-u.ac.jp
石原 剛		trepaese08@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

看護師には対象となる人々が地域や家庭での生活をその人らしく、障害があっても出来る限り不自由がないように支える能力が期待される。そのため、後遺症が残しやすい主な疾患のリハビリテーションの知識とともに、日常生活において看護師が関わる基本的技術を習得する内容とする。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護	武田 宣子他	医学書院	2015

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、日常生活援助《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
 2 年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目
 3 年の科目全般

●予定表 6, 7 回目はAB 合同クラス・CD 合同クラスの2 クラス制で行う

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 12. 17	木	3	リハビリテーションの概要	1. リハビリテーションの定義と概念 2. リハビリテーションの対象 3. 疾病・障害・生活機能分類 4. リハビリテーションの分野 5. リハビリテーション看護の対象	1	川手

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
2	2020. 12. 24	木	3	運動器疾患のリハビリテーション	1. 運動器系の障害とリハビリテーション 1) 骨折のリハビリテーションプログラム 2) 変性疾患のリハビリテーション 3) 末梢神経障害のリハビリテーション 2. 廃用性症候群の予防 1) 関節拘縮 (1) メカニズム (2) 評価 (3) 予後 2) 筋萎縮 (1) メカニズム (2) 評価 (3) 予後・回復 (4) 治療・訓練と看護 3. 運動器系の障害に対する運動療法	2	前田 仲保
3	2021. 1. 07	木	4	脳血管疾患のリハビリテーション	1. 脳神経障害とリハビリテーション 1) リスク管理 2) 片麻痺の運動機能評価 3) 高次脳機能評価 4) 片麻痺に対する運動療法 (1) ベッドサイドでのリハビリテーション (2) 基本動作獲得に向けたトレーニング 5) 社会生活復帰に向けた支援	3	関 仲保
4	2021. 1. 14	木	4	呼吸理学療法	1. 基本概念 2. 呼吸運動の指導 1) リラクゼーション・ストレッチ 2) 口すぼめ呼吸 3) 腹式呼吸 3. 気道浄化 1) 排痰手技(スクイーピング) 4. 運動療法 1) 持久力トレーニング 2) 筋力増強運動 3) ADL トレーニング 4) リスク管理	4	鶴田 仲保
5	2021. 1. 21	木	4	虚血性心疾患のリハビリテーション	1. 急性期リハビリテーション 1) 段階的な離床 2. 回復期リハビリテーション 1) 運動療法 (1) ウォームアップ (2) 持久力トレーニング (3) レジスタンストレーニング (4) レクリエーション運動 (5) クールダウン 2) リスク管理	5	松本 仲保

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
6	2021. 1. 28	木	3	リハビリテーションにおける機能評価等の基本的技術	1. 演習にてベッドサイドで行う身体機能の評価・運動療法を実施 1) 運動機能の評価（関節運動、筋力） 2) 関節運動トレーニング（可動域改善・筋力強化） 3) リスク管理 2. 演習にて病棟でのリハビリテーションを実施 1) 各種歩行補助具の使用方法 2) 歩行介助 3) リスク管理	6	1. 担当 仲保 石原 2. 担当 尾崎 上条
			4				
7	2021. 2. 05	金	4				
			3				

病 理 学

対 象 学 年 : 1 学年 通年
 単 位 ・ 時 間 数 : 1 単位 15 時間
 担当講師名 : 矢持 淑子
 授業形式等 : 講義

●一般目標(GIO)

科学的根拠に基づいた看護を実践するために、疾患の原因、発症、進展過程について理解できる。

●行動目標(SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 病理学の定義・分類が説明できる。
- ☐ 2. 疾病の原因と分類が説明できる。
- ☐ 3. 先天異常について説明できる。
- ☐ 4. 代謝障害について説明できる。
- ☐ 5. 循環障害について説明できる。
- ☐ 6. 炎症について説明できる。
- ☐ 7. 免疫について説明できる。
- ☐ 8. 腫瘍について説明できる。
- ☐ 9. 老化と死が生物学的に説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

矢持 淑子 : 医学部 臨床病理診断学

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
矢持 淑子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	onizuka@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

病理学は看護師が科学的根拠に基づいた看護を行う場合の土台となる学問であり、疾患の発症・進展の過程、患者に対する影響を学ぶ。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学	坂本穆彦 編集	医学書院	2015

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは積極的に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、臨床看護総論、老年看護対象・目的論、成人看護対象・目的論
小児看護対象論
2年 臨床医学Ⅵ～Ⅷ、各領域の科目全般
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9. 07	月	3	病理学の定義・分類、疾病の原因・分類	1. 病理学の定義、分類 2. 疾病の原因 1) 内因、外因 2) 公害病、 3) 医原病など 3. 疾病の分類 1) 先天異常 2) 代謝障害 3) 循環障害 4) 炎症	1 2	矢持
2	2020. 9. 14	月	3	先天異常・代謝障害	1. 先天異常 1) 診断と予防法 (1) 遺伝障害 (2) 胎児奇形 (3) 先天異常 2. 代謝障害 1) 脂質・タンパク質・糖質の代謝障害 2) 退行性病変、進行性病変	3 4	
3	2020. 10. 19	月	3	循環障害 老化と死	1. 循環障害 1) 血液・リンパ節の循環障害、 組織変化 2. 老化と死	5 9	
4	2020. 11. 02	月	4	炎症と免疫	1. 生体防御作用としての炎症 2. 免疫の働き 3. アレルギー	6 7	
5	2020. 11. 30	月	4				

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
6	2020. 12. 07	月	4	腫瘍	1. 腫瘍 1) 発生や分類 2) 転移と進行度 3) 診断	8	矢持
7	2020. 12. 14	月	4				

臨床医学 I

対象学年 : 1 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 福地 邦彦
 扇谷 芳光
 伊藤 芳紀
 大嶽 浩司
 宮下 亮一

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、診察手技、症候、診断方法および主な治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 臨床検査とその役割について説明できる。
- ☐ 2. 画像診断とその役割について説明できる。
- ☐ 3. 疾患に対して行われる主な治療とその意義や特徴について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

福地 邦彦 : 昭和大学大学院 保健医療学研究科
 扇谷 芳光 : 医学部 放射線医学 (放射線科学部門)
 伊藤 芳紀 : 医学部 放射線医学 (放射線科治療学部門)
 大嶽 浩司 : 医学部 麻酔科学
 宮下 亮一 : 医学部 麻酔科学

●オフィス・アワー : 授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
福地 邦彦	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	kfukuchi@med.showa-u.ac.jp
扇谷 芳光		ohgiya@med.showa-u.ac.jp
伊藤 芳紀		yito@med.showa-u.ac.jp
大嶽 浩司		otake@med.showa-u.ac.jp
宮下 亮一		miyashi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

臨床現場における各種検査、画像診断、放射線治療、外科的治療とその意義について実例を示しながら解説する。

●教材

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床検査	大久保昭行 編集	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学	福田国彦 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永勝彦 編集	医学書院	2017

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅱ～Ⅴ、フィジカル・アセスメント
 2年 治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、各領域の科目
 3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SBOs	担当
1	2020.9.30	水	4	臨床検査とその役割	1. 一般検査	1	福地
2	2020.10.07	水	4		2. 血液検査		
3	2020.10.14	水	4		3. 化学検査		
					4. 免疫・血清検査		
					5. ホルモン検査		
					6. 微生物検査		
					7. 病理検査		
					8. 生理機能検査		
4	2020.10.21	水	4	画像診断とその役割 主な治療とその意義	1. 放射線診断	2	扇谷
5	2020.10.28	水	4		1) X線診断		扇谷
6	2020.11.04	水	4		2) 血管造影		
					3) IVR		
					4) MRI		
					5) 超音波検査		
					6) 核医学診断		
					2. 放射線治療		
					人体に対する影響、治療の3原則		
					治療の方法		伊藤

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
7	2020. 11. 25	水	4	主な治療とその意義	1. 外科的治療 1) 手術侵襲と生体反応	3	大嶽
8	2020. 12. 02	水	4				宮下

臨床医学Ⅱ

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 安達 太郎・大西 司

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、系統的疾患（循環器・呼吸器）の病態生理・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 主な循環器疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
☐ 2. 主な呼吸器疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力

- 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。

2. 自己研鑽

- 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員 :

安達 太郎 : 医学部 循環器内科
 住田 有弘 : 医学部 循環器内科
 正司 真 : 医学部 循環器内科
 松本 英成 : 医学部 循環器内科
 伊藤 啓之 : 医学部 循環器内科
 小貫 龍也 : 医学部 循環器内科
 児玉 雄介 : 医学部 循環器内科
 塚本 茂人 : 医学部 循環器内科
 大西 司 : 昭和大学江東豊洲クリニック
 相良 博典 : 医学部 内科学（呼吸器・アレルギー内科学部門）
 田中 明彦 : 医学部 内科学（呼吸器・アレルギー内科学部門）
 鈴木 慎太郎 : 医学部 内科学（呼吸器・アレルギー内科学部門）

●オフィス・アワー :

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
安達 太郎	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	adachitaro@med.showa-u.ac.jp
住田 有弘	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
正司 真	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	mashoji@med.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
松本 英成	電子メールでも質問を受け付ける。	matsumoto.hidenari@med.showa-u.ac.jp
伊藤 啓之		hiroic2004@med.showa-u.ac.jp
小貫 龍也		onutatu@med.showa-u.ac.jp
児玉 雄介		yk2857@med.showa-u.ac.jp
塚本 茂人		shigeosaka777@med.showa-u.ac.jp
大西 司		tohnishi@med.showa-u.ac.jp
相良 博典		sagarah@med.showa-u.ac.jp
田中 明彦		tanakaa@med.showa-u.ac.jp
鈴木 慎太郎		szshintr@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各種疾患の病態生理・症状・治療・検査について実例を示しながら解説する。

●教材

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器	浅野浩一郎 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 循環器	上塚芳郎 他著	医学書院	2019

●準備学修（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅱ～Ⅴ、フィジカル・アセスメント
2年 治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9. 03	木	4	循環器系の病状と病態生理	1. 動悸 2. 呼吸困難 3. 胸痛 4. チアノーゼ 5. 浮腫など	1	住田
2	2020. 9. 10	木	4	循環器系の検査と介助	1. X線検査 2. 心電図 3. 心エコー 4. 心臓カテーテル 5. 核医学など		安達
3	2020. 9. 17	木	4	循環器系の代表的な治療法	1. 内科的治療法 2. 外科的治療法		正司

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
4	2020. 10. 01	木	4	循環器系の主な病態と治療	1. 心不全、ショック、動脈硬化など	1	松本
5	2020. 10. 15	木	4	循環器系の主な疾患の 病態生理・症状・治療	1. 血圧異常 2. 血管系疾患 1) 大動脈 2) 末梢動脈 3) 静脈系		伊藤
6	2020. 10. 22	木	4		3. 不整脈		小貫
7	2020. 10. 29	木	4		4. 心臓弁膜症 5. 心膜心筋疾患 6. 先天性心疾患		児玉
8	2020. 11. 05	木	4		7. 虚血性心疾患		塚本
9	2020. 9. 30	水	1	呼吸器系の主な症状と病態 生理	1. 呼吸器の基礎 1) 解剖生理 2) 病態 3) 症候	2	大西
10	2020. 10. 07	水	1	呼吸器系の検査と介助	1. 閉塞性疾患（喘息、COPD）		相良
11	2020. 10. 14	水	1	呼吸器系の主な疾患の病態 生理・症状・治療	1. 感染症 1) 感冒 2) 肺炎 3) 結核 4) 非結核性抗酸菌症		大西
12	2020. 10. 21	水	1		2. びまん性肺疾患 1) サルコイドーシス 2) 過敏性肺臓炎 3) 抗酸球形肺炎		鈴木
13	2020. 10. 28	水	1		3. 胸膜疾患 4. 縦隔疾患 5. 肺塞栓症		鈴木
14	2020. 11. 04	水	1		6. 肺がん 7. 腫瘍性疾患 (気管支鏡、CT 下穿刺などの検査含む)		田中
15	2020. 11. 25	水	1		8. 呼吸不全 (SAS, HOT や人工呼吸器含む)		田中

臨床医学Ⅲ

対象学年 : 1 学年 後期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 五藤 哲・吉田 仁・伊與田 雅之・眞田 大介

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、主な系統的疾患（消化器・腎臓）の病態生理・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 主な消化器系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
☐ 2. 主な腎臓疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力

- 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。

2. 自己研鑽

- 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当者

五藤 哲 : 医学部 外科学（消化器・一般外科学部門） 吉田 仁 : 医学部 内科学（消化器内科学部門）
 高野 祐一 : 昭和大学藤が丘病院 消化器内科 江口 潤一 : 昭和大学江東豊洲病院 消化器内科
 伊藤 敬義 : 昭和大学江東豊洲病院 消化器内科 眞田 大介 : 医学部 内科学（腎臓内科学部門）
 伊與田 雅之 : 医学部 内科学（腎臓内科学部門）

●オフィス・アワー :

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五藤 哲	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	sg46284628@med.showa-u.ac.jp
吉田 仁		hyoshida@med.showa-u.ac.jp
高野 祐一		yuichi1028@med.showa-u.ac.jp
伊藤 敬義		tito@med.showa-u.ac.jp
江口 潤一		j.eguchi@med.showa-u.ac.jp
伊與田 雅之		iyoda@med.showa-u.ac.jp
眞田 大介		dsanada@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各種疾患の病態生理・症状・治療・検査について実例を示しながら解説する。

●教材

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器	金田 智 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器	大東 貴志 他著	医学書院	2019

準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅱ～Ⅴ、フィジカル・アセスメント
 2年 治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、各領域の科目
 3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 10. 19	月	1	消化器系疾患の病状と病態	1. 嚥下困難 2. 嘔吐 3. 吐血、下血 4. 下痢、便秘 5. 腹部膨満、腹痛、腹水	1	五藤 他
2	2020. 10. 26	月	1	主な消化器系の検査	1. 肝機能検査 2. 放射線検査 3. 内視鏡検査 4. 腹部超音波検査 5. CT 6. MRI 7. シンチグラフィ生検 8. 血管造影		
3	2020. 11. 02	月	1	主な消化器系疾患と治療 ・手術療法 ・放射線療法 ・化学療法 ・内視鏡療法	1. 食道がん、胃がん 2. 胃・十二指腸潰瘍 3. 大腸がん 4. 潰瘍性大腸炎 5. クローン病 6. 腸閉塞症 7. 腹膜炎		
4	2020. 11. 30	月	1				
5	2020. 12. 07	月	1				
6	2020. 12. 14	月	1				
7	2020. 11. 26	木	2		8. 肝疾患① 1) 肝炎、肝硬変症 2) 門脈圧亢進症，肝不全、肝がん		吉田

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
8	2020. 12. 03	木	4	主な消化器系疾患と治療 ・手術療法 ・放射線療法 ・化学療法 ・内視鏡療法	9. すい臓がん 10. 膵炎	1	高野
9	2020. 12. 10	木	4		11. 肝疾患② 1) 肝炎、肝硬変症 2) 門脈圧亢進症 3) 肝不全、肝がん		伊藤
10	2020. 12. 17	木	4		12. 胆石 13. 胆嚢・胆管炎		江口
11	2020. 12. 09	水	4	主な腎臓疾患の症状と病態 生理	1. 浮腫 2. 高血圧 3. 尿毒症 4. 水電解質 5. 血液異常	2	眞田
12	2020. 12. 16	水	4	腎臓疾患の検査	1. 腎機能検査、超音波検査 2. 放射線検査、CT, MRI 3. シンチグラフィー、生検、血管造影		眞田
13	2021. 1. 06	水	4	主な腎臓疾患と治療	1. 腎不全 2. 血液透析、薬物療法、食事療法 3. ネフローゼ症候群 4. 腎腫瘍、腎硬化症		伊與田
14	2021. 1. 13	水	4				
15	2021. 1. 20	水	4				

臨床医学Ⅳ

対象学年 : 1 学年 後期
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 寺崎 道重
 福井 智康
 森 雄作
 小原 信
 黄川 恵慈
 飯田 達也
 広村 宗徳
 若林 邦伸
 齋藤 文護
 授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、主な系統的疾患（代謝系、内分泌系、アレルギー・膠原病、血液系）疾患の病態生理・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 主な代謝系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
- ☐ 2. 主な内分泌系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
- ☐ 3. 主なアレルギー・膠原疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
- ☐ 4. 主な血液系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
2. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当教員

寺崎 道重：医学部 内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）
 福井 智康：医学部 内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）
 森 雄作：医学部 内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）
 小原 信：医学部 内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）
 黄川 恵慈：医学部 内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）
 飯田 達也：医学部 内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）
 広村 宗徳：医学部 内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）
 若林 邦伸：医学部 内科学（リウマチ・膠原病内科学部門）
 齋藤 文護：医学部 内科学（血液内科学部門）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
寺崎道重	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	ttmichi@med.showa-u.ac.jp
福井智康		showauft@med.showa-u.ac.jp
森 雄作		u-mori@med.showa-u.ac.jp
小原 信		s6018@med.showa-u.ac.jp
黄川 恵慈		y.kigawa@med.showa-u.ac.jp
飯田 達也		tatsu-ii@med.showa-u.ac.jp
広村 宗徳		hiromura@med.showa-u.ac.jp
若林 邦伸		kuninobu@med.showa-u.ac.jp
齋藤 文護		b-saito@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各種疾患の病態生理・症状・治療・検査について実例を示しながら解説する。

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ・臨床医学Ⅱ～Ⅴ・フィジカル・アセスメント
2年 治療処置における援助《理論・実践》・成人看護援助論Ⅰ・各領域の科目
3年の科目全般

●教材

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器	飯野京子 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝	黒江ゆり子 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑪ アレルギー・膠原病 感染症	岩田健太郎 他著	医学書院	2020

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 1. 07	木	2	代謝系の主な疾患の病態 生理・症状・検査・治療	1. 糖尿病 2. 高脂血症 3. 尿酸代謝異常など	1	寺崎
2	2021. 1. 08	金	3				福井
3	2021. 1. 18	月	1				森
4	2021. 1. 25	月	2				小原
5	2021. 1. 27	水	4	内分泌系の主な疾患の病 態生理・症状・検査・治療	1. クッシング病 2. バセドウ病 3. 褐色細胞腫	2	黄川
6	2021. 2. 03	水	2				飯田
7	2021. 2. 09	火	1				広村
8	2021. 1. 13	水	1	アレルギー・膠原病の主な 疾患の病態生理・症状・検 査・治療	1. 免疫学的検査 2. 病理組織検査 3. 薬物療法、物理免疫療法 4. 理学療法、手術療法 5. 疾患 1) アレルギー疾患 2) SLE 3) 慢性関節リウマチ 4) 全身性硬化症 5) 多発性動脈炎 6) 皮膚筋炎 7) 多発性筋炎など	3	若林
9	2021. 1. 20	水	1				
10	2021. 1. 27	水	1				
11	2021. 2. 03	水	1				
12	2020. 11. 27	金	2	血液系疾患の病態生理・症 状・検査・治療	1. 正常の造血、白血球、赤血 球、血小板の役割 2. 骨髄穿刺、出血傾向の検査	4	齋藤
13	2020. 11. 27	金	3				
14	2020. 12. 04	金	2		3. 貧血、白血球、血小板の異常、 出血性素因 4. 造血器腫瘍（白血病・悪性リ ンパ腫）の診断と治療 5. 造血幹細胞移植、移植のチー ム医療	4	
15	2020. 12. 04	金	3				

臨床医学Ⅴ

対象学年 : 1 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 稲垣 克記
 永井 隆士
 鈴木 佳宣
 石垣 征一郎
 詫間 隆博
 授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために、主な系統的疾患（運動器、脳神経疾患、感染症）疾患の病態生理・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 主な運動器系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
- ☐ 2. 主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。
- ☐ 3. 感染症の概念・分類・発生の機序とその原因菌、感染経路について説明できる。
- ☐ 4. 主な感染症疾患の病態生理・症状・治療・検査について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. 専門的実践能力

- 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
- 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。

2. 自己研鑽

- 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。

●担当者

稲垣 克記 : 医学部 整形外科
 永井 隆士 : 医学部 整形外科
 鈴木 佳宣 : 医学部 脳神経外科学
 石垣 征一郎 : 医学部 内科学（神経内科学部門）
 詫間 隆博 : 医学部 内科学（臨床感染症学部門）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
稲垣 克記	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	katsu@med.showa-u.ac.jp
永井 隆士	電子メールでも質問を受け付ける。	ppp4989@med.showa-u.ac.jp
鈴木 佳宣	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学学校教員室を連絡窓口とする。
石垣 征一郎	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	s.gaki1117@med.showa-u.ac.jp
詫間 隆博	電子メールでも質問を受け付ける。	takuma@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各種疾患の病態生理・症状・治療・検査について実例を示しながら解説する。

●教材

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器	織田弘美 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経	竹村信彦 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑪ アレルギー・膠原病 感染症	岩田健太郎 他著	医学書院	2020
参考図書	東京都感染症マニュアル	東京都感染症マニュアル検討委員会監修	東京都情報連絡室	

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、臨床医学Ⅱ～Ⅴ、フィジカル・アセスメント
2年 治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、各領域の科目
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2021. 1. 07	木	1	主な運動器系の検査	1. 関節可動域、 2. 関節造影 3. 脊髄造影 4. 骨密度	1	永井 他
2	2021. 1. 14	木	1	主な運動器系疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 骨折、脱臼、捻挫、打撲神経損傷 2. 脊髄損傷、腰椎椎間板ヘルニア 3. 骨髄炎、骨腫瘍、骨粗しょう症 4. 重症筋無力症		
3	2021. 1. 21	木	1		5. 変形性関節症、ばね指、テニス肘 6. 小児整形外科疾患		
4	2021. 1. 28	木	1		7. ギプス、牽引、運動療法、水療法、 温熱療法、作業療法、手術療法、義肢、 装具		
5	2021. 2. 04	木	1				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
6	2020. 9. 16	水	4	主な脳・神経系疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 意識障害、高次機能障害 運動機能障害、感覚機能障害 反射性運動の障害、頭蓋内圧亢進症状、 髄膜刺激症状、頭痛	2	鈴木
7	2020. 10. 19	月	4		2. 血管造影、CT、MRI、MRA、脳波、筋電図		
8	2020. 10. 26	月	4		3. クモ膜下出血、脳内出血、脳梗塞 脳腫瘍、脳外傷、頭蓋内感染症		
9	2021. 1. 25	月	4		4. パーキンソン病、筋ジストロフィー、 筋委縮性側索硬化症、クロイツフェルト・ヤコブ病、脱髄性疾患（多発性硬化症）、脊髄の外相、ギランバレー症候群、圧迫性神経障害		石垣
10	2021. 2. 01	月	4		5. 薬物療法、手術療法、放射線療法 理学療法、神経ブロック、電気治療		
11	2021. 2. 08	月	4				
12	2020. 11. 30	月	3	主な感染症検査	1. 血液検査、特異的血清学的診断 2. 塗抹検査、培養検査	3 4	詫間
13	2020. 12. 07	月	3	感染症疾患の病態生理・症状・治療・対策	1. 細菌性感染症・クラミジア性疾患 2. スピロヘータ感染症、リケッチア疾患、 原虫疾患		
14	2020. 12. 14	月	3		3. ウイルス性感染症、真菌症、 抗酸菌感染症		
15	2020. 12. 21	月	3		4. 動物由来感染症、院内感染、日和見感染 5. 薬物療法、手術療法、血清療法		

1 年

専門分野 I

看護学概論

対象学年 : 1 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 五嶋 洋子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

専門職である看護師としての役割を考察するために、看護の基本となる概念を学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1. 看護の役割と実践について説明できる。 |
| ☐ | 2. 看護実践に関する法律と法的責任について説明できる。 |
| ☐ | 3. 看護の発展と今後の課題を説明できる。 |
| ☐ | 4. 看護の理論的枠組みである「看護」「人間」「環境」「健康」を説明できる。 |
| ☐ | 5. 病院見学を通して、院内における他部門の役割と看護師との連携について説明できる。 |
| ☐ | 6. 基礎看護学実習での看護をケアリングの視点で振り返り、記述できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（35%）・レポート（25%）・演習成果（25%）・グループワーク（15%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。2) 看護者の役割と責任を理解できる。3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) チーム医療の意義と目的が理解できる。2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。4. 専門的实践能力<ol style="list-style-type: none">1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。5. 社会的貢献<ol style="list-style-type: none">1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。6. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。2) 看護を探究する意義を理解できる。7. アイデンティティ<ol style="list-style-type: none">1) 本学の伝統や特長を理解することができる。2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。 |
|---|

●担当教員

長谷川 和美 (実務教員)	福永 聖子 (実務教員)	五嶋 洋子 (実務教員)
浅田 恵子 (実務教員)	神尾 由紀 (実務教員)	秋庭 良子 (実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
長谷川 和美	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	k-hasegawa@cmed. showa-u. ac. jp
福永 聖子		fukunaga@cmed. showa-u. ac. jp
五嶋 洋子		yoko. goto@cmed. showa-u. ac. jp
浅田 恵子		showaasada@cmed. showa-u. ac. jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed. showa-u. ac. jp
秋庭 良子		akiba. r@cmed. showa-u. ac. jp

●授業概要・教員紹介

【概要】看護の主要な概念や理論、看護実践における知識・技能、看護実践の評価などの視点から、学問としての看護を考える。また、看護がもつ社会的機能・役割について理解し、保健医療福祉の専門職として、人々の健康・生活へどのようにアプローチしていくかを考える。 【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、看護の概要について教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 著	メディカ出版	2017
テキスト	看護覚え書	フローレンス・ナイチンゲール 湯槇ます 他訳	現代社	2016
テキスト	キラリ看護	川島みどり	医学書院	2016
テキスト	看護の基本となるもの	バージニア・ヘンダーソン 小玉香代子 訳	日本看護協会 出版	2006

●準備学習（予習・復習）

【予習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。 【復習】テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める。
--

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護理論、共通基本技術、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》

●予定表

*9・14回、AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 21	火	1	看護の役割と実践	1. 看護の定義 2. 看護の役割と実践	1	長谷川
2	2020. 4. 27	月	2				
3	2020. 5. 11	月	1	看護実践に関する法律と法的責任	1. 保健師助産師看護師法 2. 看護基礎教育と養成施設・制度 3. 看護職者の就業状況と継続教育 4. 看護師等の人材確保の促進に関する法律		
4	2020. 5. 18	月	1	看護の発展と今後の課題	1. 看護の原点 2. 看護の歴史 1) 日本における職業としての看護の確立 2) 職業としての看護の発展と展開	3	
5	2020. 5. 25	月	1	看護の理論的枠組み	1. 「看護」「人間」「健康」「環境」とは	4	
6	2020. 6. 01	月	1	看護の理論的枠組み	1. 「人間」「健康」「環境」「看護」の定義について、理論家の考えをもとに深める。 2. 発表とまとめ	4	
7	2020. 6. 08	月	1				
8	2020. 6. 15	月	1				
9	2020. 6. 26	金	1 2	他部門の役割と看護職の連携	1. 病院内の他部門の役割	5	福永
10	2020 7. 02	木	1		1. 施設内（病院内）における看護職と他職種との連携の実際 *病院内見学詳細は別紙 2. 病院見学の発表とまとめ	5	
	2020. 7. 03	金	1				
11	2020. 7. 02	木	2				
	2020. 7. 03	金	2				
12	2020. 7. 02	木	3				
	2020. 7. 03	金	3				
13	2020. 11. 02	月	3	ケアリングの概念	1. ケアリングとは 2. 各理論家が考えるケアリング	6	
14	2020. 11. 26	木	4 3		1. 基礎看護学実習Ⅰで実践した看護をケアリングの視点で振り返る 2. 発表とまとめ		
15	2020. 12. 02	水	1				

看護理論

対象学年 : 1 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 五嶋 洋子
 授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

科学的看護の実践について考察するために、看護実践の基礎となる代表的な看護理論について学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 看護理論の必要性について説明できる。
- ☐ 2. ナイチンゲール理論の実践への活用について説明できる。
- ☐ 3. ヘンダーソン理論の実践への活用について説明できる。
- ☐ 4. 科学的看護論の実践への活用について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 終講試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
2. 社会的貢献
 - 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。
3. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。

●担当者

五嶋 洋子 (実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五嶋 洋子	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

- 【概要】看護の主要な理論から、対象のニーズを充足するための看護技術、看護アプローチの方法を学修し、学問としての看護を考える。
- 【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、看護理論を看護実践に活用する知識を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	看護覚え書	フローレンス・ナイチンゲール 湯愼 ます 他訳	現代社	2016
テキスト	看護の基本となるもの	バージニア・ヘンダーソン 小玉香代子訳	日本看護 協会出版会	2006
参考図書	科学的看護論	薄井坦子	日本看護 協会出版会	2008

●準備学習（予習・復習）

- 【予習】教科書の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を授業で確認し、明確な理解に達するようにする。
- 【復習】教科書、講義資料を用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。不明点は、オフィス・アワーを活用し確認する。

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9. 16	水	2	看護理論の必要性	1. 看護理論の定義 2. 看護理論の分類 3. ウェルネス	1	五嶋
2	2020. 9. 16	水	3	ナイチンゲール理論	1. フローレンス・ナイチンゲールの唱える看護	2	五嶋
3	2020. 9. 30	水	3				
4	2020. 10. 07	水	3	ヘンダーソン理論	1. バージニア・ヘンダーソンの唱える看護	3	五嶋
5	2020. 10. 14	水	3				
6	2020. 10. 21	水	3	科学的看護論	1. 薄井坦子の唱える科学的看護論	4	五嶋
7	2020. 10. 28	水	3				

共通基本技術

対象学年 : 1 学年 前期

単位・時間 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 五嶋 洋子

授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

看護実践のあらゆる場面に共通する基本的な看護技術を修得するために、看護に必要な基本原則について学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 看護技術の基本原則（安全・安楽・自立）について説明できる。
- ☐ 2. 感染予防の意義について説明できる。
- ☐ 3. 感染予防に必要な基本的知識・技術を説明できる。
- ☐ 4. 感染予防に必要な基本的技術が実施できる。
- ☐ 5. 看護におけるコミュニケーションの意義について説明できる。
- ☐ 6. 看護におけるコミュニケーションの基本的知識を説明できる。
- ☐ 7. 看護におけるコミュニケーションの基本的技術ができる。
- ☐ 8. 看護における観察・記録・報告の意義、目的について説明できる。
- ☐ 9. 看護における医療安全の意義と予防策について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 終講試験（筆記試験）（100%）

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
3. チーム医療
 - 1) チーム医療の意義と目的が理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。
5. 社会的貢献
 - 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。

●コンピテンシーとの関連

6. 自己研鑽
- 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。
7. アイデンティティ
- 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
 - 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当者

五嶋 洋子（実務教員）	藤田 明里咲（実務教員）	関根 和佳（実務教員）
桧山 優子（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）	植田 光剛（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五嶋 洋子	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		a1218@med.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

- 【概要】人間関係を通して自己および他者の理解を深めるとともに、看護における「積極的関心」と「援助的関係」の意味を考える。また、看護実践のあらゆる場面に共通する基本的な看護技術を学修する。
- 【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、看護実践のあらゆる場面に共通する基本的な看護技術の知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
テキスト	よくわかる看護者の倫理綱領	東京医科大学看護専門学校	照林社	2010

●準備学習（予習・復習）

- 【予習】テキストの該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を授業で確認し、明確な理解に達するようにする。また、関連動画を視聴する。
- 【復習】テキスト、講義資料を用いて、学修した内容を整理し理解を深める。不明点は、オフィス・アワーを活用し確認する。

●全学年を通しての関連科目

1年 看護学概論、日常生活援助〈理論編〉

●予定表

*3回のみ、AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 4. 14	火	3	看護技術の基本原則	1. 安全・安楽・自立 2. 基本原則の優先順位	1	五嶋
2	2020. 4. 21	火	3	感染予防を推進する技術	1. 感染予防の意義 2. 感染症に関する法律 3. 感染症を成立させる要素と成立過程 4. 感染症を予防するためのプロセス 5. 感染予防のための援助方法	2 3	
3	2020. 4. 24	金	2 1		1. 実習室にて、感染予防のための援助を実施する。 1) 手指衛生の実際 2) エプロンの着脱 3) 手袋の着脱	4	五嶋
4	2020. 5. 11	月	4		1. 感染症発症時の対応	3	五嶋
5	2020. 5. 18	月	4	人間関係を成立・発展させるための技術	1. コミュニケーション技術 2. 看護画面での効果的なコミュニケーション技術 3. 看護と人間尊重	5 6 7	
6	2020. 5. 25	月	4		1. 観察・記録・報告の実際 1) 意義 2) 基本的知識・技術 3) 記録物の種類と管理方法	8	
7	2020. 6. 01	月	4	安全を守る技術	1. 医療安全の意義と確保 2. 主な医療事故とその予防 3. 外傷、チューブ・ラインの予防策 4. 誤薬の予防策 5. 誤嚥・窒息の予防策 6. 放射線・薬剤暴露の予防策	9	

日常生活援助《理論編》

対象学年 : 1 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 五嶋 洋子

授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

看護技術の基本的な成り立ちおよび人間の生活の特徴の理解に基づき、さまざまな状況にある人間の生活を整えるために、必要な看護技術の知識を学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---------------------------------------|
| ☐ | 1. 患者を取り巻く生活環境の整備を説明できる。 |
| ☐ | 2. 患者と看護師の双方が、安全・安楽な体位で、援助する方法を説明できる。 |
| ☐ | 3. 車椅子、ストレッチャーへの移動・移送について説明できる。 |
| ☐ | 4. 患者に応じた休息・睡眠のとり方を説明できる。 |
| ☐ | 5. 患者が日常生活を送るために必要な排泄の援助方法が説明できる。 |
| ☐ | 6. 患者が日常生活を送るために必要な清潔の援助方法を説明できる。 |
| ☐ | 7. 栄養と食事のニーズを充足するための援助方法を説明できる。 |
| ☐ | 8. 危篤・終末時における援助を説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。2) 看護者の役割と責任を理解できる。3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) チーム医療の意義と目的が理解できる。2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。5. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。2) 看護を探究する意義を理解できる。 |
|--|

●担当教員

五嶋 洋子（実務教員）

藤田 明里咲（実務教員）

秋庭 良子（実務教員）

塩川 優子（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五嶋 洋子	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
藤田 明里咲		a1218@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

【概要】看護技術の基本的な成り立ちおよび人間の生活過程の特徴の理解に基づき、さまざまな状況にある人間の生活過程を整えるために必要な看護を学修する。看護実践において対象の日常生活に関わるニーズを判断し、個別性を考慮する。そして、科学的根拠に基づく適切な方法で、人間の尊厳や権利の擁護、安全・安楽・自立に配慮した援助を実施するための知識・スキル・態度を学修する。

【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、多様な生活様式を持ちながら日常生活を送っている対象を理解し、基本的ニーズを充足する看護援助を行うため、必要な生理的メカニズム、アセスメントの視点、看護援助方法の知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
参考図書	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド社	2015

●準備学習（予習・復習）

【予習】各講義のSB0sを確認し、テキストを予習する。わからない用語や内容はノートにまとめておき、講義時に確認する。また、関連動画を視聴する。

【復習】講義時の配布資料、テキストを復習する。講義で理解したこと、気付いたこと、感じたことを自分の言葉で整理すること。不明な点があれば、オフィス・アワーを活用し担当教員に直接質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学、生化学、人間関係論、医療概論、心理学、家族関係論、栄養学、病理学、臨床医学、リハビリテーション論、看護学概論、看護理論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、日常生活援助《実践編》、臨床看護総論、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論

●予定表

*1 回目のみ、AB 合同クラス・CD 合同クラスの2 クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 4. 20	月	3 4	快適な環境をつくる技術	事例を用いた病床環境の グループワークの実施	1	藤田 五嶋
2	2020. 4. 23	木	2		1. 環境の意義 2. 環境を整える技術 1) 患者の状態に合わせた方法 の選択 2) 留意点、患者への配慮 3. 環境のアセスメント	1	藤田
3	2020. 4. 28	火	3	効率的で安全な動きをつくり 出す技術	1. 安楽な体位 2. ボディメカニクス	2	
4	2020. 4. 30	木	1	活動・運動を支援する技術	1. 活動・運動の意義 2. 活動・運動の生理学的メカニズ ム 3. 活動・運動のニーズのアセスメ ント 4. 活動・運動を支援する援助の実 際 1) 体位変換 2) 移動・移送	2 3	
5	2020. 5. 07	木	1	休息・睡眠を促す技術	1. 休息・睡眠の意義 2. 休息・睡眠のメカニズム 3. 休息・睡眠のニーズに関するア セスメント 4. 休息・睡眠を促す援助の実際	4	
6	2020. 5. 11	月	2	排泄を援助する技術	1. 排泄・排便の意義 2. 排尿・排便の生理学的メカニズ ム 3. 排尿・排便のニーズのアセスメ ント 4. 排尿・排便障害の種類 5. 排尿・排便の援助	5	
7	2020. 5. 18	月	2				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
8	2020. 5. 25	月	2	身体の清潔を援助する技術	事例を用いた清潔の グループワークの実施	6	五嶋
9	2020. 6. 01	月	2	身体の清潔を援助する技術	1. 清潔の意義 2. 皮膚・粘膜の生理的メカニズム とケア 3. 清潔のニーズのアセスメント 4. 入浴・シャワー浴の援助方法		
10	2020. 6. 08	月	2	身体の清潔を援助する技術	1. 手浴、足浴の援助方法と 根拠		
11	2020. 6. 15	月	2	身体の清潔を援助する技術	1. 洗髪の援助方法と根拠		
12	2020. 6. 19	金	3	身体の清潔を援助する技術	1. 寝衣交換の援助方法と根拠		秋庭
13	2020. 6. 22	月	2	身体の清潔を援助する技術	1. 清拭の援助方法と根拠		
14	2020. 6. 26	金	3	食事・栄養摂取を促す援助	1. 食事・栄養の意義 2. 食事に関する生理学的メカニ ズム 3. 食事と栄養に関する基礎知識 4. 栄養状態のメカニズム 5. 食事・栄養に関する援助の 実際 1) 経口栄養 2) 経管栄養法 3) 空腸瘻法 4) 口腔ケア	7	塩川
15	2020. 6. 30	火	1	危篤・終末時における援助	1. 人間にとっての危篤・終末時の 意味 2. 危篤・終末時の心理的变化 3. 危篤・終末時の患者と家族の心 理的ケア、身体的ケア 4. 危篤・終末時の生理的变化とケ ア 5. 終末を迎えた後のケア	8	五嶋

日常生活援助《実践編》

対象学年 : 1 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 45 時間
責任者名 : 五嶋 洋子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

看護技術の基本的な成り立ちおよび人間の生活の特徴の理解に基づき、さまざまな状況にある人間の生活を整えるために、必要な看護技術を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1. 患者を取り巻く生活環境の整備が実施できる。 |
| ☐ | 2. ボディメカニクスが、援助過程において実施できる。 |
| ☐ | 3. 患者と看護師の双方が、安全・安楽な体位で、効果的・効率的にケアを実施できる。 |
| ☐ | 4. 車椅子への移動・移送を実施できる。 |
| ☐ | 5. ストレッチャーへの移動・移送を実施できる。 |
| ☐ | 6. ベッドメイキングが実施できる。 |
| ☐ | 7. 臥床患者のシーツ交換が一人で実施できる。 |
| ☐ | 8. 患者が健康的な生活を送るために必要な排泄の援助方法を実施できる。 |
| ☐ | 9. 患者が健康な生活を送るために必要な清潔の援助方法を効果的・効率的に実施できる。 |
| ☐ | 10. 健康のレベル・食事行動の自立度に応じた栄養と食事のニーズを充足する援助方法を実施できる。 |
| ☐ | 11. 患者への配慮が援助過程において実施できる。 |
| ☐ | 12. 日常生活援助に興味・関心を持ち、学生同士で協力し合い、グループで意見を言える。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：臨時試験・終講試験（実技試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。2) 看護者の役割と責任を理解できる。3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) チーム医療の意義と目的が理解できる。2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。5. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。2) 看護を探究する意義を理解できる。 |
|--|

●担当者

担当者一覧参照

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
藤田 明里咲	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	chobi@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

- 【概要】日常生活援助《理論編》の学習に基づき、援助技術とは何かということを探究し、看護実践において対象の日常生活に関わるニーズを判断し、個性性を考慮する。そして、科学的根拠に基づく適切な方法で、人間の尊厳や権利の擁護、安全・安楽・自立に配慮した援助を実施するための対象のニーズを充足するための基本的知識・スキル・態度を模擬患者への援助を実施することで、援助の技術を修得する。
- 【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、日常生活援助の知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 編	メディカ出版	2017
参考図書	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド社	2015

●準備学習（予習・復習）

- 【予習】テキストと関連書籍の該当頁、日常生活援助《理論編》の講義資料を熟読するとともに、理解できない箇所を授業で確認し、明確な理解に達するようにする。また、関連動画がある場合は視聴する。
- 【復習】演習終了後演習の振り返りを行い、理解できなかったことは演習終了後もしくはオフィス・アワーを活用し担当教員に直接質問すること。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 形態機能学、生化学、人間関係論、医療概論、医療情報、心理学、家族関係論、栄養学、病理学、臨床医学、リハビリテーション論、看護学概論、看護理論、共通基本技術、臨床看護総論、日常生活援助《理論編》、フィジカル・アセスメント、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論

●予定表

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 22	水	3 4	快適な環境をつくる技術	1. 環境整備の実施	1 11 12	藤田 五嶋
2	2020. 5. 13	水	3 4	効果的で安全な動きをつくり出す技術 活動・運動を支援する技術	1. ボディメカニクスの実施 2. 体位変換の実施 3. 移動・移送の実施	2 3 4 5 11 12	藤田 加賀美
3	2020. 5. 20	水	3 4				
4	2020. 5. 27	水	3 4				
5	2020. 6. 03	水	3 4				
6	2020. 6. 10	水	3 4	効果的で安全な動きをつくり出す技術 活動・運動を支援する技術	1. ベッドメイキングの実施 1) ボディメカニクス 2) 体位変換	2 3 6 7 11 12	加賀美
7	2020. 6. 17	水	3 4				
8	2020. 6. 24	水	3 4				
9	2020. 7. 01	水	3 4	排泄を促す技術	1. 排尿・排便の援助実施	2 3 8 11 12	塩川
10	2020. 7. 08	水	3 4	身体の清潔を援助する技術	1. 足浴の援助の実施 2. 洗髪の実施	2 3 9 11 12	五嶋 浅田
11	2020. 7. 15	水	3 4				
12	2020. 9. 02	水	3 4				
13	2020. 9. 09	水	1 2	身体の清潔を援助する技術	1. 足浴の援助の実施 2. 洗髪の実施	2 3 9 11 12	
14	2020. 9. 15	火	2 1				
15	2020. 9. 29	火	3 4				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
16	2020. 10. 06	火	3 4	身体の清潔を援助する技術	1. 寝衣交換の援助の実施 1) 臥床患者 2) 骨折している患者 3) 点滴ラインが入っている 患者	2 3 9 11 12	秋庭 五嶋
17	2020. 10. 13	火	3 4				
18	2020. 10. 20	火	3 4				
19	2020. 10. 27	火	3 4	身体の清潔を援助する技術	1. 清拭・整容の実施 1) 臥床患者の全身清拭	2 3 9 11 12	
20	2020. 11. 24	火	3 4				
21	2020. 12. 01	火	3 4				
22	2020. 12. 08	火	3 4	食事・栄養摂取を促す援助	1. 食事・栄養に関する援助の実 施	3 10 11 12	塩川 五嶋

実技試験	2020. 7. 22	水	3 4	前期技術試験	試験内容：未定
	2021. 2. 12	金	3 4	後期技術試験	試験内容：未定

●担当教員一覧

五嶋 洋子 (実務教員)
 浅田 恵子 (実務教員)
 関根 和佳 (実務教員)
 江副 秀美 (実務教員)
 長谷川 和美 (実務教員)
 田中 比露美 (実務教員)
 室屋 眞由美 (実務教員)
 加賀美 美穂子 (実務教員)
 築瀬 真由美 (実務教員)

福永 聖子 (実務教員)
 神尾 由紀 (実務教員)
 植田 光剛 (実務教員)
 五味 淳子 (実務教員)
 小塚 智子 (実務教員)
 塩川 優子 (実務教員)
 藤田 明里咲 (実務教員)
 花井 恵美子 (実務教員)
 英 千秋 (実務教員)

宮崎 志穂 (実務教員)
 秋庭 良子 (実務教員)
 柴田 恵美 (実務教員)
 桧山 優子 (実務教員)
 矢嶋 裕里 (実務教員)
 柴田 浩子 (実務教員)
 菅原 睦子 (実務教員)
 玉川 百里 (実務教員)

臨床看護総論

対象学年 : 1 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 五嶋 洋子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

あらゆる健康段階、診療過程に適した看護を実践するために、それぞれの健康段階の特徴・診療の基礎知識と看護について学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 診療過程における看護の役割について説明できる。
- ☐ 2. 健康状態の経過にもとづく対象の特徴と看護について説明できる。
- ☐ 3. 多様化する看護活動の場と保健医療における看護の役割について説明できる。
- ☐ 4. 多職種の役割、多職種間との協働と連携、チーム医療の仕組みなどについて説明できる。
- ☐ 5. 病気を自覚していない健康な段階から急性期・回復期・慢性期・終末期へと、各段階に必要な看護活動を説明できる。
- ☐ 6. 検査・治療の意義、検査治療における看護者の役割を説明できる。
- ☐ 7. 化学療法の基礎知識と看護について説明できる。
- ☐ 8. 放射線療法を受ける患者の看護について説明することができる。
- ☐ 9. 主症状のメカニズムとその看護について説明することができる。
- ☐ 10. 主体的・積極的な学修態度で講義・グループワークに取り組むことができる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- 1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
- 2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
- 3. チーム医療
 - 1) チーム医療の意義と目的が理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。

●担当者

神尾 由紀（実務教員）

田中 比露美（実務教員）

花井 恵美子（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
神尾 由紀	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2452@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

【概要】あらゆる健康段階にある対象の特徴と診療の意義を学習する。グループワークを通して「症状のメカニズムとその看護」について考えられるようにする。
【教員】担当教員は病院で勤務した経験があり、実務経験に基づいて診療の意義と看護の役割について教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論	任和子・大西弘高 編	メディカ出版	2014
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 著	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント	志自岐康子 著	メディカ出版	2018
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 著	メディカ出版	2017

●準備学習（予習・復習）

【予習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。SBOsを確認し教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点は聴講時に確認すること。
【復習】テキストおよびプリントを見直し、理解できなかった点については次回講義時またはオフィス・アワーに質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 健康科学、薬理学、健康教育論、形態機能学、臨床医学、看護学概論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント
--

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 6. 04	木	1	臨床看護総論の枠組み	1. 臨床看護総論とは 2. 看護師の役割 3. 看護師の臨床判断プロセス	1 2	田中
2	2020. 6. 11	木	1	看護活動の視点	1. 看護活動の場および機会 2. 患者の経過段階と看護	3 4 5	

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2020. 6. 18	木	1	検査・治療を安全かつ正確 に行う技術	1. 検査の意義・目的・看護の役割 2. 生体検査 3. 穿刺による検査	6	花井
4	2020. 6. 25	木	3				
5	2020. 7. 09	木	1				
6	2020. 7. 09	木	2				
7	2020. 9. 08	火	3	化学療法を受ける患者の 看護	1. 化学療法とは 2. 化学療法時の看護	7	神尾
8	2020. 9. 17	木	1				
9	2020. 9. 17	木	2	放射線療法を受ける患者の 看護	1. 放射線療法とは 2. 放射線療法時の看護	8	
10	2020. 10. 05	月	1				
11	2020. 10. 08	木	2	症状のメカニズムとその看 護	1. 呼吸機能障害 1) 咳嗽・喀痰のメカニズム関連 図を含む 2) 咳嗽・喀痰時の看護	9 10	
12	2020. 10. 15	木	2		1. 各症状のメカニズムと その看護についてのグループ ワークを実施 1) 呼吸困難 2) チアノーゼ 3) 胸痛 4) 浮腫 5) 吐き気、嘔吐のメカニズム 6) 吐血・喀血		
13	2020. 10. 22	木	2				
14	2020. 10. 29	木	2	症状のメカニズムとその看 護	1. 発表 2. まとめ	9 10	神尾 他
15	2020. 11. 05	木	2				

フィジカル・アセスメント

対象学年 : 1 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 45 時間
責任者名 : 五嶋 洋子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標(GIO)

看護におけるフィジカルアセスメントを修得するために、患者の一般状態の観察や系統的な身体診査の技術を学修する。

●行動目標(SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. ヘルスアセスメントの意義および必要性を説明できる。
- ☐ 2. 人間を身体的・心理的・社会側面的にとらえる重要性を説明できる。
- ☐ 3. 環境の調整、対象者の準備、看護師の準備ができる。
- ☐ 4. 必要物品の特徴と使用用途について説明できる。
- ☐ 5. 対象者にわかりやすい言葉を使用し問診できる。
- ☐ 6. 視診、触診、打診、聴診ができる。
- ☐ 7. 身体計測と基本的技法を説明できる。
- ☐ 8. バイタルサインの正確な測定方法ができる。
- ☐ 9. 各系統別の構造と機能について説明できる。
- ☐ 10. 各系統別の身体的情報から対象者の健康レベルや正常・異常の判断をし、報告・記述できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
3. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。
4. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。

●担当者

担当教員一覧参照

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
仲保 徹	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	nakabo@nr.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

【概要】看護におけるヘルスアセスメントの目的・意義を理解し、対象者の健康状態を身体的・心理的・社会的側面から総合的にアセスメントをするための知識と基本的技術を学ぶ。特に身体的アセスメント（フィジカル・アセスメント）については、フィジカル・アセスメント技術の修得を図る。さらに対象者から得た身体の情報については、正常・異常の判断ができるよう学習を深める。 【教員】担当教員は、病院で理学療法士や看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、フィジカル・アセスメントに必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント	志自岐康子 著	メディカ出版	2018
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 著	メディカ出版	2017

●準備学習（予習・復習）

【予習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。ヘルスアセスメントの授業の該当身体部位については、人体の構造と機能で学習したことを復習し、専門用語を確認しておく。 【復習】テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。自分の身体を用いて、発する音や反応を確認する。日常生活の中での身体変化に注意を向ける。 【演習】フィジカルイグザミネーション方法をまとめ演習に臨み、実践を振り返り事後学習として整理する。

●全学年を通しての関連科目

1年	形態機能学Ⅰ～Ⅳ、生化学、栄養学、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、人間関係論、心理学、病理学、看護学概論、共通基本技術、臨床看護総論、日常生活援助《理論編・実践編》、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論、基礎看護学実習Ⅰ
----	--

●予定表

*6～15・17～22回のみ、AB 合同クラス・CD 合同クラスの2クラス制で行う。

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 5. 11	月	3	ヘルスアセスメントと看護 の役割	1. 身体を理解とそれに基づく判 断力の重要性 2. ヘルスアセスメントとは 3. フィジカルアセスメントとは 4. フィジカルアセスメントの展 開 5. 身体を理解と判断力の日常的 鍛錬	1 2 3 4 5 6	神尾
2	2020. 5. 14	木	3	フィジカルアセスメントの 必要物品とアセスメントの テクニック	1. アセスメントに臨む姿勢 2. フィジカルアセスメントの必 要物品 3. 問診 4. 視診、触診、打診、聴診		
3	2020. 5. 18	月	3	身体計測と基本的技法	1. 身体計測とは 2. 身体計測の方法の実際 3. アセスメントの進め方	7	
4	2020. 6. 18	木	3	生命の徴候を観察する技術	1. 観察とは 2. バイタルサインとは 1) 意識 2) 呼吸 3) 脈拍 4) 血圧 5) 体温	8	
5	2020. 6. 23	火	1	生命の徴候を観察する技術	1. バイタルサインの測定の実際 2. バイタルサインの測定解釈と 報告方法	8	
6	2020. 9. 01	火	2 1	生命の徴候を観察する技術	実習室にて技術演習の実施 1. バイタルサインの測定の実際 2. バイタルサインの測定解釈と 報告方法	8	神尾 五嶋
7	2020. 9. 08	火	2 1			8	
8	2020. 9. 29	火	2 1			8	
9	2020. 10. 06	火	2 1			8	

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
10	2020. 10. 13	火	2 ----- 1	生命の徴候を観察する技術	実習室にて技術演習の実施 1. バイタルサインの測定の実際 2. バイタルサインの測定解釈と報告方法	8	神尾 五嶋
11	2020. 10. 20	火	2 ----- 1	肺（呼吸器系） のアセスメント	1. 肺（呼吸器系）の構造と機能 2. 肺（呼吸器系）の問診 3. 肺（呼吸器系）の視診、触診、 打診、聴診 4. アセスメントの進め方	9 10	秋庭
12	2020. 10. 27	火	2 ----- 1	肺（呼吸器系） のアセスメント	実習室にて技術演習の実施 1. 肺（呼吸器）のアセスメント の実際	10	秋庭 神尾
13	2020. 11. 24	火	2 ----- 1	心臓・血管系（循環器系） のアセスメント	1. 心臓・血管系の構造と機能 2. 心臓・血管系の問診 3. 心臓・血管系の視診、触診、 打診、聴診 4. アセスメントの進め方	9 10	秋庭
14	2020. 12. 01	火	2 ----- 1	心臓・血管系（循環器系） のアセスメント	実習室にて技術演習の実施 1. 心臓・血管系（循環器系）の アセスメントの実際	10	秋庭 桧山
15	2020. 12. 08	火	2 ----- 1	筋・骨格系のアセスメント	1. 筋・骨格系の構造と機能 2. 筋・骨格系の問診 3. 筋・骨格系の視診、触診 4. アセスメントの進め方	9 10	仲保
16	2020. 12. 09	水	1	腹部（消化器系） のアセスメント	1. 腹部（消化器系）の構造と 機能 2. 腹部（消化器系）の問診 3. 腹部（消化器系）の視診、聴 診、打診 4. アセスメントの進め方	9 10	秋庭
17	2020. 12. 15	火	2 ----- 1	神経系のアセスメント	1. 神経の構造と機能 2. 神経系のアセスメントの目的 3. 脳神経のアセスメント 4. 神経系の問診 5. 神経系の診査 1) 腱反射 2) 感覚 3) 小脳機能	9 10	仲保

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
18	2020. 12. 22	火	2 1	筋・骨格系のアセスメント 神経系のアセスメント	実習室にて技術演習の実施 1. 筋・骨格系のアセスメントの 実際 2. 神経系のアセスメントの実際	10	秋庭 桧山
19	2021. 1. 12	火	2 1			10	
20	2021. 1. 19	火	2 1	腹部（消化器系） のアセスメント	実習室にて技術演習の実施 1. 腹部（消化器系）のアセスメ ントの実際	10	
21	2021. 1. 26	火	1 2	腹部（消化器系） のアセスメント	実習室にて技術演習の実施 1. 腹部（消化器系）のアセスメ ントの実際	10	
22	2021. 2. 02	火	1 2	生命の徴候を観察する技術 肺（呼吸器系） 心臓・血管系（循環器系） 腹部（消化器系） のアセスメント	実習室にて技術演習の実施 1. バイタルサインの測定の実際 2. バイタルサインの測定解釈と 報告方法 3. 肺（呼吸器）のアセスメント の実際 4. 心臓・血管系（循環器系）の アセスメントの実際 5. 腹部（消化器系）のアセスメ ントの実際	8 10	神尾 秋庭

●担当教員一覧

五嶋 洋子（実務教員）	福永 聖子（実務教員）	花井 恵美子（実務教員）
浅田 恵子（実務教員）	神尾 由紀（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）
関根 和佳（実務教員）	植田 光剛（実務教員）	柴田 恵美（実務教員）
江副 秀美（実務教員）	五味 淳子（実務教員）	桧山 優子（実務教員）
加賀美 美穂子（実務教員）	菅原 睦子（実務教員）	宮崎 志穂（実務教員）
長谷川 和美（実務教員）	小塚 智子（実務教員）	矢嶋 裕里（実務教員）
田中 比露美（実務教員）	塩川 優子（実務教員）	柴田 浩子（実務教員）
室屋 眞由美（実務教員）	藤田 明里咲（実務教員）	玉川 百里（実務教員）
築瀬 真由美（実務教員）	英 千秋（実務教員）	
仲保 徹（実務教員）：昭和大学保健医療学部 理学療法学科		

基礎看護学実習 I

対象学年 : 1 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 45 時間
責任者名 : 五嶋 洋子
授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

学内の講義・演習で学修した対象への日常生活援助に関する知識・技術・態度を身につけるために、入院患者を受け持ち、基本的ニーズの充足状況の判断に基づく日常生活援助を実施する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 入院患者が生活する病床・病床周囲の設備や物品を含めた環境を説明できる。
- ☐ 2. 看護職としての倫理的態度・行動について説明できる。
- ☐ 3. 受け持ち患者の『生活習慣を獲得し発展させる過程』に関する情報収集をし、記述できる。
- ☐ 4. 受け持ち患者の収集した情報に基づき基本的ニーズの充足状況を判断し、記述できる。
- ☐ 5. 受け持ち患者に必要な日常生活援助とその目的を明確にし、記述できる。
- ☐ 6. 受け持ち患者の状況に応じた日常生活援助計画が、記述できる。
- ☐ 7. 受け持ち患者の状況に応じた日常生活援助を、安全・安楽・自立を踏まえて実施できる。
- ☐ 8. 日常生活援助の実践の過程を通して、受け持ち患者の反応を観察し、記述できる。
- ☐ 9. 受け持ち患者に実施した日常生活援助の振り返り、記述ができる。
- ☐ 10. 看護における日常生活援助の意義を記述できる。
- ☐ 11. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容 (80%) 実習態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- 1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
- 2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
- 3. チーム医療
 - 1) チーム医療の意義と目的が理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
- 4. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。

●コンピテンシーとの関連

5. 社会的貢献

- 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
- 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。

6. 自己研鑽

- 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
- 2) 看護を探究する意義を理解できる。

7. アイデンティティ

- 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
- 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

担当教員一覧参照

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること。主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導にあたる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
福永 聖子	実習時間内に質問、時間の調整を受け付ける。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

シャドーイングを通して、入院患者が生活する病床・病床周囲の設備や物品を含めた環境の確認、看護職としての倫理的態度・行動についての理解を学修する。

入院患者を受け持ち、基本的ニーズの充足状況の判断に基づく援助を通し、学内の講義・演習で学修した対象への日常生活援助に関する知識・スキル・態度の統合・向上をはかる。また、今後の看護学の学修に向けて、看護実践能力獲得の視点から自己の課題を明確にする。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、実習指導者と連携をし、対象への日常生活援助に関する知識・スキル・態度を教授する。

●教材

基礎看護学実習Ⅰに関連した科目の講義時のプリント

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学⑤ 臨床看護総論	任和子・大西弘高 編	メディカ出版	2014
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論	志自岐康子 著	メディカ出版	2017
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学② ヘルスアセスメント	志自岐康子 著	メディカ出版	2018
テキスト	ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術	志自岐康子 著	メディカ出版	2017
参考図書	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編 著	メヂカルフレンド社	2015

●準備学習（予習・復習）

- 【予 習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁、関連する講義での資料を熟読するとともに、理解でき
- 【実習中】個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。バイタルサインの測定・日常生活援助を学生同士で練習する。
- 【復 習】復習においてはテキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 形態機能学、生化学、人間関係論、医療概論、医療情報、心理学、社会福祉、家族関係論、栄養学、病理学、臨床医学、リハビリテーション論、看護学概論、共通基本技術、看護理論、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、フィジカル・アセスメント、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論

●予定表

「2020 年度 基礎看護学実習Ⅰの実習要項」を参照

●担当教員一覧

五嶋 洋子（実務教員）	福永 聖子（実務教員）	花井 恵美子（実務教員）
浅田 恵子（実務教員）	神尾 由紀（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）
関根 和佳（実務教員）	植田 光剛（実務教員）	柴田 恵美（実務教員）
江副 秀美（実務教員）	五味 淳子（実務教員）	桧山 優子（実務教員）
加賀美 美穂子（実務教員）	菅原 睦子（実務教員）	宮崎 志穂（実務教員）
長谷川 和美（実務教員）	小塚 智子（実務教員）	矢嶋 裕里（実務教員）
田中 比露美（実務教員）	塩川 優子（実務教員）	柴田 浩子（実務教員）
室屋 眞由美（実務教員）	藤田 明里咲（実務教員）	玉川 百里（実務教員）
築瀬 真由美（実務教員）	英 千秋（実務教員）	

1 年

専門分野Ⅱ

成人看護対象・目的論

対象学年 : 1 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 関根 和佳
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

成人期にある対象の看護実践に必要な基礎的知識を修得するために、社会的動向の特徴と関連させて成人期の身体的、精神的、社会的特徴と健康増進の方法について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 成人の生活の特徴について説明できる。
- ☐ 2. 成人各期の特徴を説明できる。
- ☐ 3. 成人期の家族・社会における役割やその変化を説明できる。
- ☐ 4. 発達段階における成人の発達課題を具体的に記述できる。
- ☐ 5. 成人期における生活習慣病の特徴と健康増進の方法について説明できる。
- ☐ 6. 職業性疾患の特徴と対応策を説明できる。
- ☐ 7. 成人学習者の特徴と学習方法について説明できる。
- ☐ 8. ストレスに関連する健康課題と対処法について説明できる。
- ☐ 9. 代替医療の中の東洋医学について述べられる。
- ☐ 10. セクシュアリティに関連する健康障害を述べられる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（80％）・演習態度（10％）・課題レポート（10％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
3. チーム医療
 - 1) チーム医療の意義と目的が理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。

●コンピテンシーとの関連

5. 社会的貢献

- 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
- 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。

6. 自己研鑽

- 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
- 2) 看護を探究する意義を理解できる。

7. アイデンティティ

- 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
- 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

柴田 恵美（実務教員）
 五味 淳子（実務教員）
 関根 和佳（実務教員）
 植田 光剛（実務教員）
 砂川 正隆（実務教員）：医学部 生体制御学
 田中 大介（実務教員）：保健管理センター 学校医

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
砂川 正隆	授業終了後 5～10 分、講義室で質問を受ける。 または、次回の講義で質問を受ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	sun@med.showa-u.ac.jp
田中 大介		datalabo@nr.showa-u.ac.jp
関根 和佳	（月）～（金）16：30～17：30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。 電子メールでも質問を受け付ける	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
五味 淳子		showa53105@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛	原則（月）～（金）9：00～17：00 時間帯とする。 事前にメール等でアポイントメントをとる。 電子メールでも質問を受け付ける。	mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

成人期の発達段階をふまえた身体的・精神的・社会的な特徴を理解する中に、成人期の対象が疾病を患った際に看護師が果たす役割・責任・課題についてグループワーク・ディスカッションを行い理解を深める。
 さらに、成人の健康増進については、代替医療の中でも東洋医学に焦点を当て、漢方や鍼、お灸、ツボ押しの基礎をセルフケアの視点もふまえて学修する。また社会的認知度が高まっている性の多様化については、幅広い視野を持ち、その特性についての理解を深める。担当教員は病院で医師や看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論	安酸史子 他	メディカ出版	2015
参考図書	看護師のための東洋医学入門	下平唯子 他	医歯薬出版株式会社	2012

●準備学習（予習・復習）

各講義のSB0₂、学習内容を確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。成人看護学の授業においては授業終時にリアクションペーパーを配布して学生からの意見、感想、疑問点などを共有したいと考えているが、早期に解決したいこと、理解したいことなどはオフィス・アワーを活用し、担当教員に直接質問すること。担当教員は、病院での実務経験があり、その実務経験を基について成人看護学に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●全学年を通しての関連科目

1年 看護学概論、看護理論、公衆衛生学と関係法規、栄養学、健康教育論、家族関係論、人間関係論
教育学、社会学
2年 看護過程の展開

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 4.30	木	4	成人の生活	1. 成人の定義 2. 生活とは何か 3. 成人の生活の場 1) 生活の場 2) 生活様式 4. 成人各期における生活の特徴	1 2 3 4	柴田
2	2020. 5.21	木	1	成人期の発達課題の特徴	1. 成人の発達段階 1) 発達段階に関する理論 2) 青年期の特徴 3) 壮年期の特徴 4) 向老期の特徴 2. 個人の成長発達		
3	2020. 5.25	月	3	事例で考える成人の発達課題と役割	事例を用いてグループワーク、発表会		五味 関根 植田 柴田
4	2020. 5.28	木	1	成人期の家族・社会における役割と変化	1. 成人の役割 1) 家族における役割 2) 社会における役割		柴田
5	2020. 6.01	月	3	生活習慣に関連する健康障害	1. 生活習慣病の要因 2. 健康障害と対応策 1) 生活様式における食生活 2) 行動パターン 3) ストレス	5	柴田
6	2020. 6.08	月	3	職業性疾患の特徴と課題	1. 職業に関連する健康障害と特徴 1) じん肺・有機溶剤中毒 2) 振動性障害 3) VDT 作業による健康障害 4) 過労死	6	柴田

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
7	2020. 6.15	月	3	生活習慣および職業性疾患に 関連した健康障害への対応策	事例を用いてグループワーク、 発表会	5 6	柴田
8	2020. 6.22	月	3	成人学習者の特性と学習方法	1. おとなの学びの特徴 2. 成人教育学の概念 1) アンドゴラジーモデル 3. おとなの学びの目標	7	柴田
9	2020. 6.29	月	3	ストレスコーピング理論・ 危機理論	1. ストレスコーピング理論 1) ストレスコーピング 2) ラザルスのストレスコーピン グ理論	8	柴田
10	2020. 9.10	木	3		2. 危機の特徴 1) アギュレラを活用した危機介 入 2) フィンクの危機介入		
11	2020. 10.08	木	3	代替医療の中の東洋医学	1. 東洋医学について 1) 西洋医学との違い 2) 医療の歴史 2. 東洋医学の基本となる概念 1) 気・血・水 2) 陰陽	9	砂川
12	2020. 10.08	木	4		3. 東洋医学の治療方法 1) 漢方薬の特徴 2) 治療の特徴		
13	2020. 11.25	水	3	東洋医学を活用した看護ケア	1. ツボ押しのポイント 1) 症状緩和のツボ 2) ツボ押しの実際		柴田
14	2021. 1.13	水	3	セクシュアリティとジェンダ ー及びヒトの発生・性分化の メカニズム	1. セクシュアリティと健康に関 連する概念 1) セクシュアリティ 2) ジェンダー 2. ヒトの発生・性分化のメカニズ ム 1) 遺伝性 2) 性腺の分化 3) 性分化疾患	10	田中
15	2021. 1.20	水	3	性の多様性	1. LGBT 2. 性同一性障害 (GID) 1) 診断 2) 戸籍の性別変更 3) 専門外来	10	

老年看護対象・目的論

対象学年 : 1 学年 通年
 単位・時間数 : 1 単位 30 時間
 責任者名 : 桧山 優子
 授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

老年看護の役割を担うために、老年期を生きる人の特徴を加齢変化から理解し、高齢社会の動向と保健医療福祉施策や社会問題について学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1. 老年期を生きる人々を多角的にとらえ、発達と成熟について説明できる。 |
| ☐ | 2. 加齢こともなう心身の諸機能の変化と生活への影響を説明できる。 |
| ☐ | 3. 生理的老化がおよぼす日常生活への影響について説明できる。 |
| ☐ | 4. 高齢者におけるやすい健康問題について説明できる。 |
| ☐ | 5. 高齢者の時代背景と人生経緯について説明できる。 |
| ☐ | 6. 高齢者を取り巻く社会的状況・保健医療福祉の動向について説明できる。 |
| ☐ | 7. 日本における超高齢社会の特徴と生活について説明できる。 |
| ☐ | 8. 高齢者を支える保健医療福祉の施策やサポートシステムについて説明できる。 |
| ☐ | 9. 老年看護の理念と倫理的課題について考察できる。 |
| ☐ | 10. 高齢者の権利擁護と関与制度について説明できる。 |
| ☐ | 11. 高齢者の特性をふまえた看護の役割を説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（90%）・レポート（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
3. チーム医療
 - 1) チーム医療の意義と目的が理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。

●コンピテンシーとの関連

5. 社会的貢献
 - 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。
7. アイデンティティ
 - 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
 - 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

桧山 優子（実務教員） 江副 秀美（実務教員）
 菅原 睦子（実務教員） 柴田 雅子（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桧山 優子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

「老いる」とは、どういうことなのかを知り、看護に必要な知識を学ぶ。現代の世界・日本で生きぬく高齢者の生活に目を向け、高齢者の生きてきた時代・背景に関心をもてるようにワークを取り入れながら、高齢者の身体面・心理面・社会的側面の理解を深められるようにする。また超高齢社会の背景や高齢者医療制度の変遷から倫理的課題を踏まえた、老年看護の役割を学ぶ。担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害	堀内 ふき他編	メディカ出版	2016
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践	堀内 ふき他編	メディカ出版	2016
テキスト	国民衛生の動向	吉崎正義等監修	財団法人 厚生協会統計	2020 発行

●準備学習（予習・復習）

事前にテキストを読み、わからないことを明確にして講義に臨む。関連動画がある場合は視聴する。
また高齢者関連のニュースを確認する。復習してもわからない点はノートにまとめ、聴講時に確認する。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、公衆衛生学と関係法規、社会福祉、老年看護援助論Ⅰ

●予定表

*2回目—上段：ABクラス、下段：CDクラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 5. 14	木	1	加齢にともなう変化	1. 老年期の特徴 1) 加齢と老化 2) 老年期の定義・意義 3) 老年期の発達段階と課題 2. 生涯発達と成熟	1 2	桧山
2	2020. 7. 10	金	1 2	老化が及ぼす日常生活への影響	1. 高齢者疑似体験 1) 高齢者・援助者・観察者の立場で演習を行う。 2) 演習後に生理的老化が日常生活に影響を及ぼすかグループワークを行う	2 3 4	菅原 桧山 柴田
3	2020. 7. 10	金	3				
4	2020. 9. 16	水	1	加齢に伴う身体的変化と特徴	1. 身体の高齢変化 1) 外皮系 2) 感覚系 3) 運動系	2	菅原
5	2020. 10. 01	木	3				
6	2020. 10. 26	月	3	高齢者の健康と生活	1. 高齢者の多様性 1) 時代背景と人生経験 2) 生活習慣、生活様式 3) ライフヒストリー	2 5	桧山
7	2020. 11. 30	月	2	加齢に伴う身体的変化と特徴	1. 身体の高齢変化 1) 循環系 2) 呼吸器系 3) 消化吸収系 4) 内分泌系 5) 泌尿生殖系	2	菅原
8	2020. 12. 03	木	1	高齢者を取り巻く社会的状況	1. 超高齢社会の現況 1) 家族構成、役割、生計 2) 住宅、就労、社会活動 3) 余暇活動、生きがい 2. 保健医療福祉の動向	6 7	桧山
9	2020. 12. 03	木	2				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
10	2020. 12. 04	金	4	高齢者の権利擁護と関連制度	1. 老年看護の倫理的課題 1) エイジズム 2) 高齢者虐待と関連法規 3) 成年後見制度	8 9 10	菅原
11	2020. 12. 07	月	2				
12	2020. 12. 14	月	2	高齢者を支える保健医療福祉の施策やサポートシステム	1. 高齢者のソーシャルサポート 1) 保健医療福祉サービスの 変遷 2) 高齢者医療に関する法律 3) 高齢者を支える職種と活動 2. 介護保険法 1) 介護保険サービス 2) 高齢者の保健福祉関連施設 の特徴 3) 介護家族の課題	6 7 8	江副
13	2020. 12. 16	水	3				
14	2020. 12. 18	金	4				
15	2021. 1. 06	水	3	高齢者の特性をふまえた看護の役割	1. 老年看護の特徴 1) 高齢者に対する看護の 役割 2) 老年看護に役立つ理論・概念	11	桧山

老年看護援助論 I

対象学年 : 1 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 桧山 優子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

高齢者の健康を維持・向上と看護を援助するために、老年期を生きる人々の生活および多様性を多角的に理解し、老年看護に必要な基礎的知識と技術を学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 高齢者のヘルスアセスメントの特徴が説明できる。 |
| ☐ | 2. 高齢者の総合的機能評価が説明できる。 |
| ☐ | 3. 高齢者の日常生活に活用するヘルスアセスメントが記述できる。 |
| ☐ | 4. 加齢こともなう生じる栄養状態の背景と特徴から、健康を支える食生活について説明できる。 |
| ☐ | 5. 高齢者の清潔における特徴から、加齢現象を考えた清潔ケアを説明できる。 |
| ☐ | 6. 加齢こともなう排泄行動のプロセスから、尊厳を守る排泄ケアを説明できる。 |
| ☐ | 7. 高齢者の活動と休息の特徴から、生活リズムの調整について説明できる。 |
| ☐ | 8. 高齢者のセクシュアリティについて説明できる。 |
| ☐ | 9. 高齢者が事故に見舞われやすい環境を知り、日常生活における事故防止対策を説明できる。 |
| ☐ | 10. 高齢者が感染症にかかりやすい背景を知り、罹患しやすい感染症の看護と予防策を説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（90%）・レポート（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <p>1. プロフェッショナリズム</p> <ul style="list-style-type: none">1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。2) 看護者の役割と責任を理解できる。3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。 <p>2. コミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none">1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。 <p>3. チーム医療</p> <ul style="list-style-type: none">1) チーム医療の意義と目的が理解できる。2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。 |
|---|

●コンピテンシーとの関連

4. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。
5. 社会的貢献
 - 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。
7. アイデンティティ
 - 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
 - 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

江副 秀美（実務教員） 柴田 雅子（実務教員） 塩川 優子（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
江副 秀美	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

超高齢社会の中で、高齢者の特徴を踏まえた看護の基礎を学ぶ。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害	堀内 ふき他編	メディカ出版	2016
テキスト	ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践	堀内 ふき他編	メディカ出版	2016

●準備学習（予習・復習）

高齢者の特徴を踏まえながら、高齢者の健康状態のアセスメントや看護を展開するために必要な基礎的知識と援助方法を学ぶ。老年看護対象・目的論での高齢者の特徴を復習し、授業に臨む。
また関連動画がある場合は視聴する。講義ごとに関連する他の授業内容とともに復習する。

●全学年を通しての関連科目

1年 老年看護学対象・目的論、形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、日常生活援助《理論編》・《実践編》
フィジカル・アセスメント、コミュニケーション論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 12. 18	金	3	高齢者のヘルスアセスメント の特徴	1. 高齢者のヘルスアセスメント 2. 高齢者の総合的機能評価 1) BADL 2) IADL 3) 心理・情緒機能 4) 活動と社会参加	1 2 3	江副
2	2020. 12. 24	木	4				
3	2021. 1. 08	金	2	高齢者の心身の機能を活性化 する日常生活の援助	1. 高齢者に対する援助の基本 2. 高齢者の心身の機能を活性化 する日常生活の援助 1) 清潔と衣生活 2) 排泄（排泄障害） 3) 食生活、栄養状態 4) 活動と休息（睡眠障害） 5) 性（セクシュアリティ） 6) 高齢者に多い事故と対策 7) 高齢者に多い感染症と対策	3 ～ 10	江副 柴田 塩川
4	2021. 1. 15	金	2				
5	2021. 1. 22	金	2				
6	2021. 1. 28	木	2				
7	2021. 2. 05	金	2				

小児看護対象論

対象学年 : 1 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 柴田 浩子

授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

子どもと家族がより良い健康状態を保ちながら生活できるように援助するために、成長・発達の特徴と健康状態の保持・増進のために子どもと家族に必要な援助方法を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 子どもの成長・発達の特徴が説明できる。
- ☐ 2. 小児各期（乳児期・幼児期・学童期・思春期）における健康状態の保持・増進のための子どもと家族への看護が説明できる。
- ☐ 3. 子どもと家族を取り巻く環境が説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（90%）・発表（内容・態度）（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
 - 3) 自己の倫理的課題に気付くことができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。
 - 2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。
 - 3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。
3. チーム医療
 - 1) チーム医療の意義と目的が理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観視し、看護の意味や価値を見出すことができる。
5. 社会的貢献
 - 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。
7. アイデンティティ
 - 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
 - 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

柴田 浩子 (実務教員)
 花井 恵美子 (実務教員)
 田中 大介 (実務教員) : 保健管理センター 学校医
 副島 賢和 : 昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 浩子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	sari2452@cmed.showa-u.ac.jp
田中 大介	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	daisuket@med.showa-u.ac.jp
副島 賢和	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	akahana@nr.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

子どもの成長・発達を支援する看護を理解するために、発達理論を活用し、子どもと家族の特徴と生活について学ぶ。また子どもを取り巻く社会の環境・子育てに関する現状と課題を知り、支援方法を学ぶ。特に幼児期の成長・発達を考えるためにおもちゃ作りのグループワークを通して学びを深める。担当教員は、医師や看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて小児看護に関する必要な知識を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間美保 他著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

看護学概論で学修した看護の対象について、復習してから授業に臨む。
 授業後、各発達段階の子ども・家族の特徴について、復習する。

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、母性看護対象・目的論、家族関係論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9. 09	水	4	小児医療・小児看護の変遷 子どもの成長・発達の原則と 影響因子	1. 小児医療・小児看護の変遷と課題 2. 成長・発達の概念 3. 成長・発達の原則 4. 成長・発達に影響する因子 5. 発達課題・発達理論	1	柴田
2	2020. 9. 10	木	2	子どもの成長・発達の アセスメント	1. 形態的成長と機能的発達の評価 2. 身体発育の評価 3. 発達検査 4. 心理・社会的発達の評価 5. 養育環境	1	柴田

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2020. 10. 15	木	3	小児期における成長・発達の特徴	1. 神経系・運動器系・感覚器系循環器系・免疫系・呼吸器系・消化器系・代謝系・泌尿器系・体温調節 2. 大泉門・小泉門 3. 生歯 4. 認知・思考 5. 社会性・道徳性 6. コミュニケーション・言語 7. 情緒 8. アタッチメント・分離不安	1	柴田
4	2020. 10. 19	月	2				
5	2020. 10. 22	木	3	乳児期の成長・発達に応じた生活への支援	1. 栄養と離乳 2. 運動と遊び 3. 感染予防と予防接種 4. 事故防止 5. 親子関係の確立 6. 家族の育児技術の獲得	2	柴田
6	2020. 10. 23	金	3	幼児期の成長・発達に応じた生活への支援	1. 食生活と食育 2. 運動と遊び 3. 生活リズムの確立 4. 感染予防と予防接種	2	柴田
7	2020. 10. 26	月	2		5. 事故防止と安全教育 6. 親子関係の確立 7. 社会化 8. 育児技術の獲得	2	柴田
8	2021. 1. 19	火	4		9. 幼児期の子どもへのおもちゃ作成(1回目)	2	柴田 花井
9	2021. 1. 26	火	4		10. 幼児期の子どもへのおもちゃ作成(2回目)	2	
10	2021. 2. 09	火	4		11. 幼児期の子どもへのおもちゃ作成(3回目)	2	
11	2020. 10. 29	木	3	学童期の成長・発達に応じた生活への支援―①	1. 肥満や食生活の乱れ 2. う歯の予防 3. 近視の予防 4. スポーツ外傷の予防 5. 学校感染症の予防 6. 生活習慣の予防 7. 事故防止と安全教育 8. セルフケアと保健教育 9. 食生活と食育	2	柴田
12	2020. 11. 04	水	3	学童期の成長・発達に応じた生活への支援―②	1. 学習と遊び 2. 仲間との関係や学校への適応 3. 学童期の発達課題と支援の特徴	2	副島

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
13	2020. 11. 02	月	4	思春期の成長・発達に応じた生活への支援－①	1. 体格と体力 2. 第二性徴 3. アイデンティティの確立 4. 情緒的变化と家族関係 5. 仲間との関係 6. 性（セクシャリティ）意識の変化と逸脱行動 7. 異性への関心 8. ライフスタイルと生活リズムの変化 9. 喫煙・飲酒の防止 10. 不登校の実態と支援 11. いじめ・校内暴力の防止 12. 自殺の防止	2	柴田
14	2021. 1. 12	火	4	思春期の成長・発達に応じた生活への支援－②	1. 思春期の発達課題と支援の特徴	2	田中
15	2021. 2. 16	火	4	子どもと家族を取り巻く社会資源の活用	1. 母子保健施策の活用 2. 小児保健医療福祉施策の活用	3	柴田

母性看護対象・目的論

対象学年 : 1 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 小塚 智子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

リプロダクティブヘルス/ライツの観点から女性とその家族をより健康に導くための看護の基礎を修得するために、母性の対象およびその特性や母性看護における社会的ニーズを知り、母性の健康維持、増進する方法を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 母性の看護にかかわる諸概念および母性看護の目的を理解することで母性看護の役割を説明できる。 |
| ☐ | 2. 母性を取り巻く環境を理解し、次世代育成を社会全体で行うための施策・方略を説明できる。 |
| ☐ | 3. 人間の性と生殖、リプロダクティブヘルス/ライツを理解することで女性の健康を守る方法を説明できる。 |
| ☐ | 4. 母性・父性及び親性の特徴を知りそれぞれの違いを説明できる。 |
| ☐ | 5. 女性のライフサイクル各期の特徴を理解することで必要な保健指導を説明できる。 |
| ☐ | 6. 女性をめぐる文化・社会的問題を理解し、必要な看護が説明できる。 |
| ☐ | 7. 女性を取り巻く性と生殖の倫理的問題について自己の考えが記述できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（70%） 参加態度（20%）・課題レポート（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。2) 看護者の役割と責任を理解できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 看護を志す人としての自覚を常に持ち、服装や身だしなみを整え、言葉づかいに配慮する。2) コミュニケーションをとるために、相手の時間・場所・状況に配慮できる。3) 相手が話しやすい雰囲気をつくるために表情や視線・しぐさ・声のトーンに配慮できる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 五感を用いて対象に必要な援助を考え、真心ともてる限りの知識とスキルをもって日常生活援助を実践できる。5. 社会的貢献<ol style="list-style-type: none">1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。 |
|---|

●担当教員

小塚 智子（実務教員）
 矢嶋 裕里（実務教員）
 塩川 優子（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小塚 智子	（月）～（金）12:10～13:00、16:10～17:00 の時間帯で随時教員室で質問を受け付ける。 実習等で不在の場合は電子メールで質問を受け付ける。ただし返信は1週間ほどの猶予が必要な場合がある。	tomokozu@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里	（月）～（金）12:10～13:00、16:10～17:00 の時間帯で随時教員室で質問を受け付ける。 実習等で不在の場合は電子メールで質問を受け付ける。ただし返信は1週間ほどの猶予が必要な場合がある。	yuriyajill128@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子	（月）～（金）12:10～13:00 の時間帯で随時教員室で質問を受け付ける。	uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

この授業は母性看護の対象である女性とその家族がどのような看護のニーズを持っているかを様々な角度から学修する。皆さんには授業を通して次世代を育成するために看護が社会から期待されている役割について考えてほしい。

担当教員は病院で助産師として勤務した経験があり、実務経験に基づき母性看護に必要な知識を教授する。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	国民衛生の動向	吉崎正義 編	財団法人 厚生統計協会	2020 発行

●準備学習（予習・復習）

既修科目である形態機能学Ⅱの「男性生殖器及び女性生殖器の構造、機能」と「人体の発生について」復習しておくこと。また授業前に各講義のSBOsを確認し教科書を予習してから臨むこと。授業終了後教科書、プリントを見直しても理解できなかった点は講義終了後や次回の講義時またはオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅱ・関係法規・家族関係論・小児看護対象論
 2年 臨床医学Ⅵ・母性看護援助論Ⅰ・母性看護援助論Ⅱ
 3年 母性看護学実習

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 7. 13	月	3	母性の看護にかかわる諸概念 および母性看護の目的	1. 母性の概念 2. 親になることと母性 3. 母性の特性 4. 母性看護の理念	1 6	
2	2020. 9. 15	火	4	人間の性と生殖、リプロダク ティブヘルス/ライツ	1. 人間の性と生殖 2. リプロダクティブヘルス/ライツ 3. ヘルスプロモーション 4. 性周期 5. 性機能	3	
3	2020. 10. 05	月	2				
4	2020. 11. 06	金	2	母性・父性及び親性の特徴	1. 現代女性のライフサイクルとラ イフコース 2. 家族の発達 3. 母性の発達・成熟・継承 4. 母性行動と母子関係 5. 母性意識の発達 (母子相互作用) 6. 父性の発達	2 4	小塚
5	2020. 12. 02	水	3	母性を取り巻く環境と母性の 健康を守る施策・方略	1. 母子保健の変遷 2. 母性看護の課題と展望 3. 母子保健にかかわる施策 4. 母子保健統計の推移 5. 母性にかかわる法律	2	
6	2020. 12. 09	水	3				
7	2020. 12. 10	木	2	女性のライフサイクル各期の 特徴と必要な保健指導	1. 思春期・成熟期・更年期の対象の 身体的・生理的・社会的特徴と保 健指導について	5	矢嶋
8	2020. 12. 16	水	1				
9	2021. 1. 12	火	3				
10	2021. 1. 19	火	3		1. 演習（グループワーク） 思春期・成熟期・更年期の保健指 導案の作成	5	小塚 矢嶋 塩川
11	2021. 1. 26	火	3				
12	2021. 2. 01	月	2				
13	2021. 2. 03	水	3				
14	2021. 2. 08	月	2	女性とその家族めぐる文化・ 社会的問題	1. 家族計画と避妊法 2. 性感染症とその看護 3. ドメスティック・バイオレンス	6 7	小塚
15	2021. 2. 15	月	2	4. 性暴力被害者への援助 5. 母性看護の国際化 6. 災害時の母子支援	5		

1 年

統合分野

地域・在宅看護概論 I

対象学年 : 1 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 石田 千絵
授業形式 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

社会の動向に応じた看護活動を理解するために、地域の特性と保健医療福祉の関係について説明できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 公衆衛生及び地域・在宅の概念や保健医療福祉の関係職種について説明できる。
- ☐ 2. 地域・在宅における健康問題とそのとらえ方について説明できる。
- ☐ 3. 地域診断の手法を用いて、特定地域の特性を抽出できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（演習成果）（80％）レポート（20％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解できる。
2. チーム医療
 - 1) チーム医療の意義と目的が理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
3. 社会的貢献
 - 1) 看護を取り巻く国際社会及び地域社会の動向と特性を理解できる。
 - 2) 保健・医療・福祉制度と政策的課題を含めた成り立ちを理解できる。
4. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。
5. アイデンティティ
 - 1) 本学の伝統や特長を理解することができる。
 - 2) 昭和大学の一員としての誇りを持ち、良識やマナーの必要性を理解し（責任ある）規範となる行動がとれる。

●担当教員

石田 千絵 (実務教員)：日本赤十字看護大学
柴田 雅子 (実務教員)
福永 聖子 (実務教員)
長谷川 和美 (実務教員)
田中 比露美 (実務教員)
加賀美 美穂子 (実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
石田 千絵	講義終了後、5～10分講義室にて質問を受け付ける。 それ以外の時間の場合は、臨時の会議や出張などにより担当教員が不在となる可能性もあるため、事前に日程調整してからとする。 電子メールでも質問を受け付ける。	c-ishida@redcross.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
福永 聖子		fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

地域で暮らす療養者を支え地域包括ケアシステムを推進するためには、地域特性に応じた看護活動が必要となる。そこで、ここでは地域に関わる概念を整理し、地域・在宅における健康問題のとらえ方を学ぶ。さらに、特定の地域を実際に歩いたのち、主観的・質的データと客観的・量的データを統合し、地域の特性を抽出する。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて訪問看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時に必要に応じてプリントを配布する。

種別	図書名	著者名	出版社名	改訂年
テキスト	ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア	石田 千絵他	メディカ出版	2019年
テキスト	地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド	佐伯 和子編著	医歯薬出版	2018年

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、テキスト等を予習してから講義に臨むこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として理解できたこと、できなかったことを整理し、できなかったことは積極的に質問すること。演習は各自の役割を明確にし、責任感を持って行うこと。

●全学年を通しての関連科目

1年 医療概論、社会学、社会福祉、公衆衛生学と関係法規、健康教育論、老年看護対象・目的論
2年 地域・在宅看護概論Ⅱ、地域・在宅看護援助論Ⅰ～Ⅲ、成人看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅰ
3年の各科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 12. 18	金	2	地域の概念	1. 地域とは 2. 地域社会とは 3. 地域包括とは (医療、介護、予防、生活支援)	1	石田
2	2020. 12. 25	金	1	生活環境と健康	1. 自然環境の変化と人々の健康問題 2. 少子・高齢化現象 3. 社会環境の変化と人々の健康問題 4. 文化的な環境と人々の健康	2	石田
3	2020. 12. 25	金	2	地域理解	1. 地域の特性を捉える方法	3	石田 柴田 福永 田中 長谷川 加賀美
4	2021. 1. 21	木	2		2. 地区踏査準備		
5	2021. 1. 22	金	3		3. 地区踏査 ワークのテーマ 『地域を歩き、地域特性を見出す（検討する）』 1) 調査対象地域 (1)品川区 (2)世田谷区 (3)江東区 (4)青葉区・都筑区		
6	2021. 1. 22	金	4				
7	2021. 1. 29	金	2		4. 地区踏査の発表とまとめ		

医療安全 I

対 象 学 年 : 1 学年 前期
 単 位 ・ 時 間 数 : 1 単位 15 時間
 責 任 者 名 : 浅田 恵子
 授 業 形 式 等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

安全な医療を提供するために、看護業務と医療事故の現状や医療事故対策の基礎知識を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 看護業務の特性と医療事故について説明できる。
☐ 2. 医療安全と医療の質の保証のために必要な対策について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（演習参加態度）（50％）・（レポート）（50％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 人間の生命・尊厳および権利を尊重し、対象を保護する必要性を理解できる。
 - 2) 自己の倫理的課題に気づくことができる。
2. チーム医療
 - 2) 保健・医療・福祉チームに携わる職種の役割を理解できる。
3. 専門的実践能力
 - 2) 患者の安全を最優先に考え、看護師と共によりよい看護を提供できる。
4. 自己研鑽
 - 1) 看護の知識やスキルを身につけるために自らの意思で積極的に学修に取り組める。
 - 2) 看護を探究する意義を理解できる。

●担当教員

柴田雅子（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

医療安全の基本的な知識と、実際の事例を通じて、臨床現場で行っている実際の取り組みについて、演習等を通じて理解を深める。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて医療安全に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

授業時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	5 日間で学ぶ医療安全 超入門	監修日本医療マネジメント学会 坂本 すが 編	学研	2008
テキスト	看護学生してはいけないケース ファイル 臨地実習禁忌集	下司栄一 他著	丸善出版	2013

●準備学習（予習・復習）

【予習】医療安全に関する動画を視聴すること。

【復習】再度医療安全動画を視聴すること。

わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 医療概論、倫理学、コミュニケーション論、看護学全般

2 年 看護学全般

3 年の科目全般

●予定表 *AB 合同クラス・CD 合同クラスの 2 クラス制で行う

*時限 - 上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 6. 17	水	4 3	看護と医療事故	1. 看護をめぐる医療事故の現状 2. 看護業務の特性と事故： 多重課題、業務の分断、チーム医療と事 故	1	柴田 (雅)
2	2020. 6. 24	水	4 3				
3	2020. 7. 08	水	4 3				
4	2020. 7. 10	金	2 1	医療安全対策	1. 医療安全対策 1) インシデントレポートの実際（記入の 仕方）⇒当校使用 2) アクシデントレポートの実際（記入の 仕方） 3) 報告・連絡・相談 ロールプレイ	2	
5	2020. 7. 14	火	3 4				
6	2020. 7. 15	水	4 3				
7	2020. 7. 21	火	1	まとめ		1 2	

2 年

専門基礎分野

緩和医療

対象学年 : 2 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 五嶋 洋子
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

苦痛緩和や生活の質を高めるための緩和ケアを実践するために、基礎的能力を身につける。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 緩和ケアとは何かを理解し、看護の役割についての説明ができる。 |
| ☐ | 2. 緩和ケアにおけるコミュニケーションや意思決定支援についての説明ができる。 |
| ☐ | 3. 症状マネジメントについての説明ができる。 |
| ☐ | 4. 精神的ケア・社会的ケア・スピリチュアルケアについての説明ができる。 |
| ☐ | 5. 家族・遺族ケアについての説明ができる。 |
| ☐ | 6. 緩和ケアにおける倫理的課題についての説明ができる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。4. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。5. アイデンティティ<ol style="list-style-type: none">1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。 |
|---|

●担当教員

五嶋 洋子

牧 克仁 : 昭和大学病院 緩和ケアセンター 緩和ケア認定看護師

我妻 志保 : 保健医療学部 看護学科

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
五嶋 洋子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
牧 克仁	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	katsuhito-maki@cmed.showa-u.ac.jp
我妻 志保	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	swagatsuma@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して QOL を向上させるアプローチである。そこで、本授業は、緩和ケアに対する理解を深め、苦痛緩和や生活の質を高めるための援助を学び、緩和ケアを実践するための基礎的能力を養う内容とする。

●教材（テキスト、推奨参考書、プリント等）

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
教科書	系統看護学講座 別巻 緩和ケア	恒藤 暁 他編	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認しテキスト等を予習してから講義にのぞむこと。わからない単語・用語をレポートにまとめること。講義終了後は、事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し理解できなかったことは次回の講義やオフィス・アワー質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、各領域の科目
2 年 各領域の科目
3 年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 10 . 23	金	2	緩和ケアの歴史と現状	1. 定義、歴史 2. わが国での緩和ケアの現状と 看護の役割 3. わが国のがん対策と緩和ケア	1	五嶋
2	2020. 11. 06	金	2	コミュニケーションや意思決定支援	1. 患者が納得して医療を受ける ためのコミュニケーション 2. 意思決定を共有するためのコ ミュニケーションスキル	2	五嶋
3	2020. 11. 13	金	2	症状マネジメント	1. 症状のメカニズムとマネジメ ント 1) 疼痛 2) 悪心 3) 嘔吐 4) 呼吸困難感 5) 食欲不振 6) 全身倦怠感など	3	牧
4	2020. 11 . 19	木	2				牧

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
5	2020. 1. 07	木	2	精神的ケア・社会的ケア スピリチュアルケア	1. 精神的ケア 1) 精神的ケアの理論と実践 2. 精神症状のマネジメントとケア 1) 適応障害 2) うつ病 3) せん妄 4) 不眠など 3. 社会的ケア 1) 社会的苦痛 2) 社会的苦痛へのアプローチ 4. スピリチュアルケア 1) スピリチュアリティとは 2) スピリチュアルペインの把握 3) スピリチュアルケアの実践	4	我妻
6	2020. 1. 21	木	2				
7	2020. 1. 28	木	2	家族ケアと緩和ケアにおける倫理的課題	1. 家族の理解とケア 1) ニードの充足 2) 予期的悲嘆への援助 3) 遺族ケアなど 2. 緩和ケアをめぐる倫理的課題 1) 鎮静について 2) アドバンス・ケア・プランニング 3) アドバンスディレクティブ 4) リビングウィル	5 6	我妻

臨床医学VI

対象学年 : 2 学年 前期

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 下平 和久

宮上 景子

関口 紗弓

高橋 彩子

谷 将之

松丸 憲太郎

高橋 太郎

加藤 高裕

授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために疾患の病態生理・症状・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 妊娠の成立が説明できる。
- ☐ 2. 妊娠中の異常な病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
- ☐ 3. 分娩時の異常な病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
- ☐ 4. 主な婦人科系疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
- ☐ 5. 乳腺疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。
- ☐ 6. 精神疾患の分類・診断について述べることができる。
- ☐ 7. 主な精神疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠に基づいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
3. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
4. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

下平 和 久：大学院保健医療学研究科
 宮上 景子：医学部 産婦人科
 関口 紗弓：ブレストセンター 乳がん看護認定看護師
 高橋 彩子：医学部 精神医学
 谷 将之：医学部 精神医学
 松丸 憲太郎：医学部 精神医学
 高橋 太郎：医学部 精神医学
 加藤 高裕：医学部 精神医学

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
下平 和久	授業終了後、その教室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	shimo@med.showa-u.ac.jp
宮上 景子		mygmik@med.showa-u.ac.jp
関口 紗弓		flc0217@cmed.showa-u.ac.jp
高橋 彩子		看護専門学校教員室を窓口とする。
谷 将之		taniamambo@med.showa-u.ac.jp
松丸 憲太郎		matsumaru@med.showa-u.ac.jp
高橋 太郎		taro5150@med.showa-u.ac.jp
加藤 高裕		takahiro@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各分野の代表的疾患について、解剖学・生理学・病理学で学んだことを振り返りながら、原因・病態・診断法・治療法・予後について解説する。可能な限り実例を提供する。

●教材

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森 恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論	森 恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座専門分野Ⅱ 成人看護学⑨ 女性生殖器	池田 正 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護の基礎 第5版 第3刷	武井 麻子 他 編	医学書院	2019

●準備学習（予習・復習）

事前にシラバスの講義予定を踏まえ、教科書の関連内容を確認しておく。講義後は、理解できたこと、できなかったことを整理し、テキストなどで調べ学習を行うと共に、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅱ、形態機能学Ⅳ、薬理学、病理学、成人看護援助論Ⅰ、母性看護対象・目的論
 2年 母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱ、小児看護援助論Ⅰ、精神看護対象論、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ、成人看護学実習Ⅰ、成人看護学実習Ⅱ
 3年 母性看護学実習、精神看護学実習

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4.08	水	1	妊娠の成立	1. 妊娠の成立、徴候、診断、胎盤の形成、胎児の発育と生理、予定日決定	1	下平
2	2020. 4.15	水	1	妊娠中の異常な病態生理・症状・検査・治療	1. 妊娠期の異常（悪阻、子宮外妊娠、流産、早産、胎状奇胎、妊娠高血圧症候群、感染症） 2. 合併妊娠（糖尿病合併妊娠、心疾患合併妊娠） 3. 妊娠後期の出血（前置胎盤、常位胎盤早期剥離）	2	
3	2020. 4.22	水	1				
4	2020. 5.13	水	1				
5	2020. 5.20	水	1	分娩時の異常な病態生理・症状・検査・治療	1. 帝王切開（適応、方法） 鉗子分娩・吸引分娩 2. 骨盤位分娩 3. 弛緩出血 4. 子癇	3	
6	2020. 5.27	水	1	乳腺疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 乳腺の検査、疾患、治療（乳癌）	5	関口
7	2020. 4.20	水	4	主な婦人科系疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 婦人科に関する解剖、内分泌の基礎 2. 婦人科系疾患の主な検査法 3. 婦人科系疾患と治療法	4	宮上
8	2020. 4.22	水	4				
9	2020. 5.13	水	4				
10	2020. 4.20	月	1	総論	1. 精神疾患の捉え方 2. 精神疾患の診断と分類 3. 精神疾患の基本的な症状 1) 思考 2) 感情 3) 意欲 4) 知覚 5) 意識 6) 記憶の障害	6 7	高橋 太郎
11	2020. 4.27	月	1	統合失調症	1. 原因 2. 診断 3. 症状・治療・経過・予後		加藤
12	2020. 5.18	月	1	気分障害（うつ病、双極性障害）	1. 原因 2. 診断 3. 症状・治療・経過・予後		高橋 彩子

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
13	2020. 5. 22	金	4	睡眠障害 成人の人格・行動障害	1. 睡眠障害 2. ナルコレプシー 3. パーソナリティ障害 4. 神経発達障害群 1) 知的能力障害 2) 成人の発達障害の特徴	6 7	松丸
14	2020. 5. 25	月	1	神経症性障害 ストレス関連障害など	1. 不安障害 2. 強迫性障害 3. ストレス障害 4. 適応障害 5. 解離性障害など		高橋 彩子
15	2020. 6. 01	月	1	薬物・アルコール依存症	1. 原因 2. 診断 3. 症状 4. 治療・離脱症状 5. 経過・予後		

臨床医学Ⅶ

対象学年 : 2 学年 前期
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 小川 良雄
岩渕 成祐
時田 江里香
野垣 岳稔
藤居 直和
笠 ゆりな
栗原 祐史
土佐 泰祥
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために疾患の病態生理・症状・検査・治療について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| ☐ | 1. 主な泌尿器系疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。 |
| ☐ | 2. 主な眼疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。 |
| ☐ | 3. 主な耳鼻咽喉疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。 |
| ☐ | 4. 主な皮膚疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。 |
| ☐ | 5. 主な歯・口腔疾患の病態生理・症状・検査・治療が説明できる。 |
| ☐ | 6. 主な形成外科の疾患と基本的な手術について説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| 1. プロフェッショナリズム |
| 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。 |
| 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。 |
| 2. 専門的実践能力 |
| 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠に基づいて判断し、
たうえて、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。 |
| 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。 |
| 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと
努力している。 |
| 3. 自己研鑽 |
| 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。 |
| 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることが
できる。 |
| 4. アイデンティティ |
| 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。 |

●担当教員

小川 良雄 : 医学部 泌尿器科学
 岩渕 成祐 : 医学部 眼科学
 時田 江里香 : 医学部 耳鼻咽喉科学
 野垣 岳稔 : 医学部 耳鼻咽喉科学
 藤居 直和 : 医学部 耳鼻咽喉科学
 笠 ゆりな : 医学部 皮膚科学
 栗原 祐史 : 歯学部 顎口腔疾患制御外科学
 土佐 泰祥 : 医学部 形成外科学

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小川 良雄	講義終了後、その教室で、質問などを受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	ogawayos@med.showa-u.ac.jp
岩渕 成祐		iwabuchi@med.showa-u.ac.jp
時田 江里香		etokita@med.showa-u.ac.jp
野垣 岳稔		nogaki@med.showa-u.ac.jp
藤居 直和		kuro0975@med.showa-u.ac.jp
笠 ゆりな		yurina.k@med.showa-u.ac.jp
栗原 祐史		ykurihara@dent.showa-u.ac.jp
土佐 泰祥		ytosa@med.showa-u.ac.jp

●授業概要

各分野の代表的疾患について、解剖学・生理学・病理学で学んだことを振り返りながら、原因・病態・診断法・治療法・予後について解説する。可能な限り実例を提供する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器	大東貴志 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑬ 眼	大鹿哲朗 他著	医学書院	2020
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉	小松浩子 他著	医学書院	2020
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑫ 皮膚	渡辺晋一 他著	医学書院	2020
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑮ 歯・口腔	渋谷絹子 他著	医学書院	2020
参考図書	ナースのための新形成外科学	鬼塚卓弥 編	金原出版	2015

●準備学習（予習・復習）

事前にシラバスの講義予定を踏まえ、教科書の関連内容を確認しておく。講義後は、理解できたこと、できなかったことを整理し、テキストなどで調べ学習を行うと共に、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅱ～Ⅳ・薬理学・病理学Ⅰ
 2年 成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ・基礎看護学実習Ⅱ・成人看護学実習Ⅰ
 3年 成人看護学実習Ⅱ・老年看護学実習Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 27	木	4	主な泌尿器系疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 尿管結石症 2) 膀胱腫瘍 3) 前立腺肥大症 4) 前立腺癌 5) 尿の異常 6) 疼痛 7) 排尿障害、 8) 性交・生殖障害	1	小川
2	2020. 5. 07	木	4		2. 主な検査と治療 1) 尿道・膀胱造影 2) 尿道・膀胱鏡 3) 前立腺生検 4) 残尿測定 5) 精液検査 6) 内分泌療法、手術療法、薬物療法、 免疫補助療法、人工授精など		
3	2020. 6. 05	金	4				
4	2020. 4. 15	水	4	主な眼疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 白内障 2) 緑内障 3) 網膜剥離、 4) 角膜ヘルペス 5) 充血、眼脂、眼瞼浮腫、眼痛、 視力障害、眼精疲労など	2	岩渕
5	2020. 5. 20	水	4		2. 主な検査と治療 1) 視力・屈折検査 2) 色覚検査 3) 光覚検査 4) 眼圧検査 5) 眼底 6) 写真撮影、涙液分泌検査など 7) 手術療法、光凝固、冷凍凝固など		
6	2020. 6. 03	水	4				
7	2020. 4. 10	金	4	主な耳鼻咽喉疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) メニエール病 2) 副鼻腔炎 3) アレルギー性鼻炎 4) 咽喉頭癌 5) 難聴、耳鳴、めまい、耳漏、 鼻閉、鼻出血、嗅覚障害 6) 嚥下障害	3	時田
8	2020. 4. 17	金	4				野垣

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
9	2020. 4. 24	金	4	主な耳鼻咽喉疾患の病態生理・症状・検査・治療	7) 音声・言語障害 2. 主な検査と治療 1) 聴力検査 2) 平衡機能検査、 3) 眼振検査、喉頭鏡検査 4) 噴霧、吸引、置換法、手術療法	3	藤居
10	2020. 5. 18	月	4	主な皮膚疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 湿疹 2) アトピー性皮膚炎 3) 帯状疱疹、疥癬 4) かゆみ、発疹、蕁麻疹、熱傷など	4	笠
11	2020. 5. 25	月	4		2. 主な検査と治療 1) パッチテスト 2) 直接鏡検 3) ガラス板圧診法 4) サーモグラフィなど 5) 凍結療法、光線療法、レーザー療法		
12	2020. 4. 14	火	2	主な歯・口腔疾患の病態生理・症状・検査・治療	1. 主な疾患とその症状と病態生理 1) 歯肉出血 2) 開口障害 3) 咀嚼障害 4) 口臭、歯髄炎など	5	栗原
13	2020. 4. 21	火	2		2. 主な検査と治療 1) 歯周ポケット検査 2) 歯石除去 3) 歯肉剥離掻爬 4) 固定		
14	2020. 4. 21	火	4	主な形成外科の疾患と基本的な手術	1. 主な形成外科疾患 1) 口唇口蓋裂 2) 合指・多指症など	6	土佐
15	2020. 4. 28	火	4		2. 基本的な手術療法 1) 縫合法、植皮術など		

臨床医学Ⅷ

対象学年：2学年 通年

単位・時間数：1単位 30時間

責任者名：神谷 太郎（小児科学）

八塚 正四（小児外科学部門）

授業形式等：講義

●一般目標（GIO）

看護を実践する上で必要な疾患についての知識を身につけるために子どもの疾患の病態生理・症状・検査・治療・予防について理解する。

●行動目標（SBOs）

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--------------------------------|
| ☐ | 1. 子どもの主な疾患について、その特徴を説明できる。 |
| ☐ | 2. 子どもの主な疾患の検査・治療・予防について説明できる。 |
| ☐ | 3. 小児救急の特殊性と処置について説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| 1. プロフェッショナリズム |
| 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。 |
| 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。 |
| 2. 専門的実践能力 |
| 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠に基づいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。 |
| 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。 |
| 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。 |
| 3. 自己研鑽 |
| 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。 |
| 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。 |

●担当教員

神谷 太郎：医学部 小児科学	長谷部義幸：医学部 小児科学	中村 俊紀：医学部 小児科学
岡田 祐樹：医学部 小児科学	小林 梢：医学部 小児科学	加古 結子：医学部 小児科学
藤井 隆成：医学部 小児科学	北條 彰：医学部 小児科学	
阿部 祥英：医学部 小児科学	八塚 正四：医学部 外科学（小児外科学部門）	

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
神谷 太郎	講義終了後、その教室で、質問などを受け付ける。	kamiya-t@med.showa-u.ac.jp
八塚 正四		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
長谷部 義幸		yobu_hase@med.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
中村 俊紀	講義終了後、その教室で、質問などを受け付ける。	toshinori@med.showa-u.ac.jp
岡田 祐樹		y.okada@med.showa-u.ac.jp
小林 梢		kozue322@med.showa-u.ac.jp
加古 結子		yk208@med.showa-u.ac.jp
藤井 隆成		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
北條 彰		a.hojo@med.showa-u.ac.jp
阿部 祥英		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要

各分野の代表的疾患について、解剖学・生理学・病理学で学んだことを振り返りながら、原因・病態・診断法・治療法・予後について解説する。可能な限り実例を提供する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学② 小児臨床看護各論	奈良間美保 他著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

事前にシラバスの講義予定を踏まえ、教科書の関連内容を確認しておく。講義後は、理解できたこと、できなかったことを整理し、テキストなどで調べ学習を行うと共に、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	形態機能学Ⅰ～Ⅳ・生化学・薬理学・病理学・栄養学・微生物学・小児看護対象論・小児看護目的論
2 年	小児看護援助論Ⅰ・Ⅱ
3 年	小児看護学実習・在宅看護論実習

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 09	木	2	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-1-	1. 新生児の疾患 1) 新生児仮死、 2) 一過性多呼吸 2. 低出生体重児の生理的特徴 3. 低出生体重児の疾患（RDS） 4. 染色体異常と先天異常	1 2	長谷部
2	2020. 4. 16	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-2-	1. 呼吸器疾患 1) 肺炎 2) 急性気管支炎 3) マイコプラズマ肺炎		神谷
3	2020. 4. 23	木	2	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-3-	1. 消化器疾患（乳児下痢症など）		中村
4	2020. 4. 30	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-4-	1. 免疫疾患 2. アレルギー性疾患 （食物アレルギー） 3. リウマチ性疾患 4. 気管支喘息 5. 若年性関節リウマチ		岡田

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
5	2020. 5. 07	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-5-	1. 精神疾患 1) 発達障害 2) 神経症圏の発達 2. 虐待の特徴、予防		小林
6	2020. 5. 21	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-6-	1. 血液・造血器疾患 1) 血友病 2) 特発性血小板減少性紫斑病 3) 再生不良性貧血 2. 悪性 新生物 1) 白血病 2) 悪性リンパ腫		加古
7	2020. 5. 21	木	2	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-7-	1. 循環器疾患 1) 心室中隔欠損症、 2) 心房中隔欠損症、 3) ファロー四徴症 4) 動脈管開存 5) 川崎病	1 2	藤井
8	2020. 5. 28	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-8-	1. 感染症 1) 小児の感染症の特徴 2) 麻疹 3) 水痘 4) 風疹 5) 突発性発疹 6) 百日咳 7) 結核 2. 予防接種などの感染防止対策		神谷
9	2020. 6. 04	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-9-	1. 代謝性疾患 1) I 型糖尿病など 2. 内分泌疾患		加古
10	2020. 6. 25	木	1	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-10-	1. 神経疾患 1) てんかん 2) 熱性けいれん 3) 髄膜炎		北條
11	2020. 7. 02	木	2	子どもの主な疾患の特徴・ 検査・治療・予防-11-	1. 腎・泌尿器疾患 1) ネフローゼ症候群 2) 急性糸球体腎炎 2. 生殖器疾患 (※外科疾患以外)		阿部

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
12	2020. 10. 7	水	2	各年齢期における知っておくべき外科疾患の概念・症状・検査・治療	1. 小児外科の守備範囲 2. 小児外科診療の特徴 3. ヒューマンエラー 4. 新生児の外科疾患(1) 1) 食道閉鎖症 2) 先天性腸閉鎖症 3) ヒルシュスプリング病	1 2 3	八塚
13	2020. 10. 14	水	2		5. 新生児の外科疾患(2) 1) 直腸肛門奇形 2) 消化管穿孔 3) 横隔膜ヘルニア 4) 臍帯ヘルニア・腹壁破裂 6. 小児の胆道系疾患(1) 1) 胆道閉鎖症		
14	2020. 10. 21	水	2		7. 乳幼児の外科疾患(1) 1) 鼠径ヘルニア・陰嚢水腫など 8. 乳幼児の外科疾患(2) 1) 肥厚性幽門狭窄症 2) 腸重積症 3) 急性虫垂炎 9. 小児の胆道系疾患(2) 1) 胆道拡張症		
15	2020. 10. 28	水	2		10. 小児三大悪性固形腫瘍 1) 神経芽腫 2) 肝芽腫 3) ウイルムス腫瘍(腎芽腫) 11. 小児救急 1) 消化管異物 2) 腹部鈍的外傷		

臨床医学IX

対象学年 : 2 学年 前期
 単位・時間数 : 1 単位 15 時間
 責任者名 : 桧山 優子
 授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

科学的根拠に基づいた看護実践するために、高齢者の加齢に伴う身体的変化をふまえ、高齢者に起こりやすい健康障害について理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 高齢者におこりやすい主な疾患・症状・治療について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 臨時試験 (筆記試験・レポート課題) 20%・終講試験 (演習の成果物) (80%)
 評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠に基づいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している
3. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
4. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

上田 衛 : 昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師
 平田 亮人 : 医学部 精神医学
 柴田 雅子
 桧山 優子
 江副 秀美
 菅原 睦子

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
上田 衛	講義終了後、その教室で、質問などを受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
平田 亮人	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	qkccb508@med.showa-u.ac.jp

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
桧山 優子		yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要

高齢者医療の現状・認知症・加齢に伴う身体変化が疾患に及ぼす影響について学ぶ。
--

●教材

講義時にプリントを配布する

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論	佐々木英忠 著	医学書院	2018

●準備学習（予習・復習）

事前にシラバスの講義予定を踏まえ、教科書の関連内容を確認しておく。講義後は、理解できたこと、できなかったことを整理し、テキストなどで調べ学習を行うと共に、オフィス・アワーを活用し、担当教員に質問すること。
--

●全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、病理学、老年看護対象・目的論
2 年 老年看護援助論Ⅰ～Ⅲ
3 年 老年看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 10	金	1	高齢者医療の現状と将来	1. 高齢者医療の現状と将来 2. 高齢者の地域医療	1	上田
2	2020. 4. 09	木	1	認知症	1. 認知症の症状・検査・診断・分類・治療・予後・予防 2. 軽度認知機能障害		平田
3	2020. 4. 23	木	1				
4	2020. 9. 10	木	3	高齢者に多い疾患の原因・治療方針・予後・生活への影響	1. 演習にて加齢に伴う身体変化が疾患に及ぼす影響について学ぶ。 1) 高齢者に多い骨折 2) 脳梗塞 3) 心不全		柴田 (雅) 桧山 江副 菅原
5	2020. 9. 10	木	4				
6	2020. 9. 15	火	3				
7	2020. 9. 15	火	4				

2 年

専門分野 I

看護過程の展開

対象学年 : 2 学年 前期
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 五嶋 洋子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

看護を实践するうえで必要な看護過程の基礎知識とプロセスを身につけるために、具体的な事例を用いて看護過程を学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 健康状態をアセスメントし記述できる。
- ☐ 2. 看護問題を特定し記述できる。
- ☐ 3. 模擬患者の主観的事実や客観的事実を評価し記述できる。
- ☐ 4. 事例に基づいた看護過程を系統的に記述できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 終講試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナルリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。

●担当教員

浅田 恵子（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
浅田 恵子	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

- 【概要】看護の対象となるあらゆる人々に合わせた看護を提供する為の方法論の一つである看護過程を学ぶ。ここで学んだ基礎知識は、基礎看護学実習で実践する。その為にも、臨地実習での実践の準備として、事例を活用し、看護過程の展開の実践能力を養う。
- 【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、看護過程の展開の実践能力の知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	看護過程の解体新書	石川ふみよ 編著	(株)学研メディカル秀潤社	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる 他著	医学書院	2017

●準備学習（予習・復習）

- 【予習】各領域の発達段階の特徴・課題、看護理論（薄井坦子の唱える科学的看護論）
各講義のSBOsを確認し、テキストを予習する。わからない用語や内容はノートにまとめておき、講義時に確認する。
- 【復習】講義時の配布資料、テキストを復習する。わからない点があれば、オフィス・アワーを活用して確認する。

●全学年を通しての関連科目

- 1年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ 臨床医学Ⅰ～Ⅴ、看護学概論、看護理論、共通基本技術、
フィジカル・アセスメント、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、基礎看護学実習Ⅰ
- 2年 臨床医学Ⅵ～Ⅸ、治療処置における援助《理論編・実践編》

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 09	木	4	看護過程の基礎知識	1. 看護過程とは 2. 看護過程の意義 3. 看護過程の構成要素 1) アセスメント 2) 看護問題の明確化 3) 計画	1 2	浅田
2	2020. 4. 14	火	1		1. 事例展開 1) アセスメント	3 4	
3	2020. 4. 17	金	2	看護過程の基礎知識	1. 事例展開 2) 看護問題の明確化 3) 計画	3 4	浅田
4	2020. 4. 21	火	1				
5	2020. 4. 24	金	2		1. 看護過程の構成要素 1) 実施 2) 評価	2	
6	2020. 4. 27	月	2	事例展開	1. アセスメント 1) 情報収集 2) 関連図の書き方	3 4	浅田
7	2020. 5. 01	金	1				
8	2020. 5. 22	金	1				
9	2020. 5. 27	水	3		2. 全体像 3. 看護問題の明確化		
10	2020. 5. 29	金	1				
11	2020. 6. 23	火	1		看護計画の立案		

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
12	2020. 6. 23	火	2	事例展開	1. 看護計画の立案	3 4	浅田
13	2020. 6. 29	月	1		2. 実施記録 3. 計画の評価		
14	2020. 6. 29	月	2				
15	2020. 7. 02	木	3	まとめ	1. 臨地実習で使用する記録用紙 について 1) 受け持ち患者の病態（障害 された部位を図示）・症状・ 治療の整理 2) 講義全体のまとめ	1 2 3 4	浅田

治療処置における援助《理論編》

対象学年 : 2 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 30 時間

責任者名 : 五嶋 洋子

授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

診療に伴う看護援助を実施するために、各種検査、処方との薬の知識と意義を学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| ☐ | 1. 排痰ケアを説明できる。 |
| ☐ | 2. 酸素吸入療法を説明できる。 |
| ☐ | 3. 無菌操作・創傷の管理を説明できる。 |
| ☐ | 4. 排泄の管理を説明できる。 |
| ☐ | 5. 罨法の援助を説明できる。 |
| ☐ | 6. 与薬の技術を説明できる。 |
| ☐ | 7. 輸血管理を説明できる。 |
| ☐ | 8. 検査の意義、検査に伴う看護の役割を説明できる。 |
| ☐ | 9. 救命救急処置技術を説明できる |

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。5. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。 |
|--|

●担当教員

浅田 恵子 (実務教員)	田中 比露美 (実務教員)	塩川 優子 (実務教員)
植田 光剛 (実務教員)	梁瀬 真由美 (実務教員)	英 千秋 (実務教員)
玉川 百里 (実務教員)		

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
浅田 恵子	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百里		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

【概要】医療の現場で日常的に行われる治療に関連した技術について、根拠をふまえて実践の方法を学修する。 【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、事例を紹介しながら知識・スキル・態度を教授する。
--

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永勝彦 他編	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる 他著	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ	任 和子 他編	医学書院	2017
テキスト	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド社	2015

●準備学習 (予習・復習)

【予習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。 【復習】テキストおよびプリントを見直し、理解できなかった点については次回講義時またはオフィス・アワーに質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	形態機能学Ⅰ～Ⅲ、薬理学、微生物学、臨床医学Ⅰ～Ⅱ、看護学概論、共通基本技術、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、フィジカル・アセスメント
2 年	治療処置における援助《実践編》、成人看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱ、基礎看護学実習Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 07	火	3	呼吸を楽にする技術	1. 呼吸を楽にする援助の実際 1) 効果的な呼吸方法 2) 痰を喀出させる方法 3) 吸入・吸引方法 4) 酸素療法	1 2	田中
2	2020. 4. 15	水	2				
3	2020. 4. 17	金	3	皮膚・創傷を管理する技術	1. 皮膚・損傷を管理するための基礎知識 2. 創傷の分類と治癒課程 3. 創傷の管理	3	浅田
4	2020. 4. 20	月	2				浅田
5	2020. 6. 22	月	3	排泄を促す技術	1. 排尿の援助の実際	4 5	塩川
6	2020. 6. 30	火	2	排泄を促す技術 体温を調節する技術	1. 排便の援助の実際 2. 温電法の援助の実際 3. 冷電法の援助の実際		
7	2020. 9. 29	火	3	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術	1. 与薬とは 2. 与薬における法的根拠 3. 与薬のための基礎知識 4. 与薬のための援助技術 5. 与薬における安全管理	6	植田
8	2020. 10. 02	金	4		1. 注射の基礎知識 2. 注射のための援助技術の実際 1) 皮下注射 2) 皮内注射 3) 筋肉内注射		築瀬
9	2020. 10. 06	水	3		1. 注射のための援助技術の実際 1) 静脈内注射 2) ワンシヨット 3) 点滴静脈内注射 4) 中心静脈カテーテル		
10	2020. 10. 16	金	4		1. 注射のための援助技術の実際 1) 輸液ポンプ 2) シリンジポンプ		
11	2021. 1. 07	木	4		1. 輸血の基礎知識 2. 輸血のための援助技術の実際	7	英

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
12	2021. 1. 13	水	2	検査・治療を安全かつ正確に行う技術	1. 検体検査 1) 血液検査 2) 尿検査 3) 便検査 4) 喀痰検査	8	玉川
13	2021. 1. 15	金	4				
14	2021. 1. 20	水	1				
15	2021. 1. 27	水	1	救急救命処置を行う技術	1. 救急時における敏速な介入の 必要性 2. 救急時における看護者の役割 3. 一次救命処置 4. 応急処置 5. 救急救命処置の開始・中止・断 念 6. 感染予防	9	英

治療処置における援助《実践編》

対象学年：2学年 通年

単位・時間数：1単位 30時間

責任者名：五嶋 洋子

授業形式等：講義・演習

●一般目標 (GIO)

診療に伴う看護援助を実施するために、検査・処置・与薬に必要な基本的技術を安全・安楽にできる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| ☐ | 1. 吸引がモデルを用いて実施できる。 |
| ☐ | 2. 酸素吸入が実施できる。 |
| ☐ | 3. 無菌操作で創傷処置が実施できる。 |
| ☐ | 4. 導尿がモデルを用いて実施できる。 |
| ☐ | 5. 浣腸がモデルを用いて実施できる。 |
| ☐ | 6. 経口与薬が実施できる。 |
| ☐ | 7. 皮下注射がモデルを用いて実施できる。 |
| ☐ | 8. 筋肉内注射がモデルを用いて実施できる。 |
| ☐ | 9. 点滴静脈注射の管理ができる。 |
| ☐ | 10. 静脈採血がモデルを用いて実施できる。 |
| ☐ | 11. 一次救命処置が実施できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（実技試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナルリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。 |
|---|

●コンピテンシーとの関連

5. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
- 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。

●担当教員

担当教員一覧参照

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
田中 比露美	授業終了時、質問の受付と時間調整をする。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛		mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
梁瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp
玉川 百里		yuri.nana@cmed.showa-u.ac.jp
英 千秋		chiaki0902@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

【概要】治療処置における援助《理論編》で学んだ根拠をもとに、実際の医療器具を使用して実践する。

【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて、デモンストレーションを行い、現場の実践をイメージ付ける。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永勝彦 他編	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる 他著	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ	任 和子 他編	医学書院	2017
テキスト	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド社	2015

●準備学習（予習・復習）

- 【予習】テキストの該当頁、関連書籍の該当頁を熟読するとともに、理解できない個所を明確にする。また、関連動画がある場合は視聴する。
- 【復習】テキストおよびプリントを見直し、理解できなかった点については次回講義時またはオフィス・アワーに質問すること。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年次 形態機能学Ⅰ～Ⅲ、薬理学、微生物学、臨床医学Ⅰ～Ⅱ、看護学概論、共通基本技術、臨床看護総論、フィジカル・アセスメント、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、
- 2 年次 治療処置における援助《理論編》、成人看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅱ、小児看護目的論、基礎看護学実習Ⅱ

●予定表

*AB 合同クラス・CD 合同クラスの2 クラス制で行う。

*時限－上段：AB クラス 下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 5. 08	金	3 4	呼吸を楽にする技術	1. 口腔内・鼻腔内吸引の実施 2. 閉鎖式気管内吸引用カテーテルの体験	1	田中
2	2020. 5. 29	金	3 4		3. 酸素吸入療法の実施 4. 酸素ボンベの取り扱いの実施	2	
3	2020. 6. 26	金	3 4	皮膚・創傷を管理する技術	1. 滅菌物の取り扱い 2. 創傷処置の実施	3	浅田
4	2020. 9. 04	金	3 4				
5	2020. 9. 11	金	4 3	排泄を促す技術	1. 一時的導尿の実施	4 5	塩川
6	2020. 9. 18	金	4 3		2. 浣腸の実施		
7	2020. 9. 30	水	4 3	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術	1. 経口与薬の実施	6 7 8	植田
8	2020. 10. 07	水	4 3		2. 皮下注射の実施		福永
9	2020. 10. 14	水	4 3		3. 筋肉注射の実施		
10	2020. 10. 21	水	4 3	与薬・輸血を安全かつ正確に行う技術	1. 輸液ポンプの取り扱いの実施 2. シリンジポンプ取り扱いの実施	9	英
11	2020. 10. 28	水	4 3		3. 点滴静脈注射の管理		築瀬
12	2020. 11. 04	水	4 3		4. 点滴静脈注射の管理		
13	2020. 11. 25	水	4 3		5. 点滴静脈注射の管理		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
14	2021. 1. 22	金	3 4	検査・治療を安全かつ正確に行う技術	1. 静脈採血の実施	10	玉川
15	2021. 1. 29	金	3 4	救急救命処置を行う技術	1. 一次救命処置	11	英

実技試験	2021. 2. 09	火	3・4	試験内容：未定
------	----------------	---	-----	---------

●担当教員一覧

福永 聖子（実務教員）	五嶋 洋子（実務教員）	花井 恵美子（実務教員）
浅田 恵子（実務教員）	神尾 由紀（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）
関根 和佳（実務教員）	植田 光剛（実務教員）	柴田 恵美（実務教員）
江副 秀美（実務教員）	五味 淳子（実務教員）	桧山 優子（実務教員）
加賀美 美穂子（実務教員）	菅原 睦子（実務教員）	宮崎 志穂（実務教員）
長谷川 和美（実務教員）	小塚 智子（実務教員）	矢嶋 裕里（実務教員）
田中 比露美（実務教員）	塩川 優子（実務教員）	柴田 浩子（実務教員）
室屋 真由美（実務教員）	藤田 明里咲（実務教員）	築瀬 真由美（実務教員）
玉川 百里（実務教員）	英 千秋（実務教員）	

基礎看護学実習Ⅱ

対象学年 : 2 学年 前期

単位・時間数 : 2 単位 90 時間

責任者名 : 五嶋 洋子

授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

看護を展開する基礎的能力を養うために、患者と直接かわり、患者の基本的ニーズへの援助活動を通して看護過程の展開の実践方法を学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 患者の情報を「生命を維持する過程」、「生活習慣を獲得し発展させる過程」、「社会関係を維持発展させる過程」の視点で収集できる。 |
| ☐ | 2. 患者の反応が意味することを分析・解釈し、看護問題をあげることができる。 |
| ☐ | 3. アセスメントに基づき患者の関連図を図示し、患者の全体像を文章化できる。 |
| ☐ | 4. 看護問題に対し、目標の優先順位をつけることができる。 |
| ☐ | 5. 看護問題に対する期待される成果（看護目標）を設定し、記述できる。 |
| ☐ | 6. 看護計画を具体的に記述できる。 |
| ☐ | 7. 患者を尊重し、インフォームド・コンセントに基づいた援助ができる。 |
| ☐ | 8. 患者とコミュニケーションを取りながら援助ができる。 |
| ☐ | 9. 患者の反応を確認しながら援助の実施ができる。 |
| ☐ | 10. 安全・安楽・自立を考えた援助ができる。 |
| ☐ | 11. 患者に合わせて創意・工夫した援助ができる。 |
| ☐ | 12. 行った援助の結果を客観的に記述することができる。 |
| ☐ | 13. 看護目標に基づいて達成度を評価し、記述することができる。 |
| ☐ | 14. 看護における疑問や問題に気づき、その解決に向けて積極的に取り組むことができる。 |
| ☐ | 15. 学習者としてふさわしい態度を示せる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容 (80%) 実習態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <div>1. プロフェッショナルリズム</div> <div>1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。</div> <div>2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。</div> <div>2. コミュニケーション</div> <div>1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。</div> <div>2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。</div> <div>3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。</div> <div>3. チーム医療</div> <div>1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。</div> <div>2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。</div> |
|---|

●コンピテンシーとの関連

4. 専門的実践能力

- 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
- 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
- 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。

5. 社会的貢献

- 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
- 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。

7. アイデンティティ

- 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

担当教員一覧参照

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること。主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導にあたる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
福永 聖子	実習時間内に質問、時間の調整を受け付ける。 指示時、電子メールでも質問を受け付ける。	fukunaga@cmed.showa-u.ac.jp
五嶋 洋子		yoko.goto@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
神尾 由紀		yuki-kamio@cmed.showa-u.ac.jp
秋庭 良子		akiba.r@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

- 【概要】科学的思考、問題解決的思考をもとに、看護の過程における思考の方法（看護過程）を学修し、看護専門職として、患者のニーズを満たし、質を保証するケア提供の技術を修得する。
- 【教員】担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて教授する。

●教材

基礎看護学実習に関連した科目の講義時のプリント

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永勝彦 他編	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ	茂野香おる 他著	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ	任 和子 他編	医学書院	2017
テキスト	看護実践の為の根拠がわかる 基礎看護技術	角濱晴美・梶谷佳子 編著	メヂカルフレンド社	2015

●準備学習（予習・復習）

- 【予 習】実習病棟の特徴を踏まえ、必要な知識の理解ができるよう、疾患・治療・看護について学修しておく。
また、看護技術、フィジカル・アセスメントの技術においても実施できるよう練習をしておく。
- 【実習中】知識があいまいな点は、テキストに戻り確認する。
- 【復 習】実習記録を元に、行った看護をテキストに戻り振り返りを行う。

●全学年を通しての関連科目

1 年	教育学、心理学、認識論、人間関係論、生活科学、健康科学、家族関係論、コミュニケーション論、形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、薬理学、医学概論、栄養学、健康教育論、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、看護学概論、看護倫理、共通基本技術、日常生活援助《理論編・実践編》、臨床看護総論、フィジカル・アセスメント、基礎看護学実習Ⅰ
2 年	看護過程の展開、治療処置における援助《理論編・実践編》、成人看護対象・目的論、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅲ、精神看護対象論、精神看護目的論、在宅看護援助論、看護の統合と実践Ⅰ・Ⅱ

●予定表

「2020 年度 基礎看護学実習Ⅱの実習要項」を参照

●担当教員一覧

福永 聖子（実務教員）	五嶋 洋子（実務教員）	花井 恵美子（実務教員）
浅田 恵子（実務教員）	神尾 由紀（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）
福永 聖子（実務教員）	五嶋 洋子（実務教員）	浅田 恵子（実務教員）
神尾 由紀（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）	関根 和佳（実務教員）
植田 光剛（実務教員）	柴田 恵美（実務教員）	江副 秀美（実務教員）
五味 淳子（実務教員）	桧山 優子（実務教員）	加賀美 美穂子（実務教員）
菅原 睦子（実務教員）	宮崎 志穂（実務教員）	長谷川 和美（実務教員）
小塚 智子（実務教員）	矢嶋 裕里（実務教員）	田中 比露美（実務教員）
塩川 優子（実務教員）	柴田 浩子（実務教員）	室屋 眞由美（実務教員）
築瀬 真由美（実務教員）	玉川 百里（実務教員）	英 千秋（実務教員）

2 年

専門分野Ⅱ

成人看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 60 時間
責任者名 : 関根 和佳
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

生命の危機状態にある成人の看護を実践するために、健康状態が急激に変化する対象の特性について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 急激な生命の危機状態にある成人の身体的・心理的・社会的特徴が説明できる。 |
| ☐ | 2. 周術期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。 |
| ☐ | 3. 周術期（手術や麻酔）に関連した生体侵襲・回復過程について説明できる。 |
| ☐ | 4. 循環器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。 |
| ☐ | 5. 呼吸器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。 |
| ☐ | 6. 運動器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。 |
| ☐ | 7. 消化器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。 |
| ☐ | 8. 脳神経系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。 |
| ☐ | 9. 女性生殖器系に障害を持つ対象の周術期看護について説明できる。 |
| ☐ | 10. 血液・造血器系に障害を持つ対象の看護について説明できる。 |
| ☐ | 11. 事例に基づいた看護過程を系統的に記述できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：臨時試験・定期試験（筆記試験）（80%）・演習態度（10%）・課題レポート（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナルリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

関根 和佳 (実務教員)
 五味 淳子 (実務教員)
 植田 光剛 (実務教員)
 柴田 恵美 (実務教員)
 浅田 恵子 (実務教員)
 三浦 まき (実務教員) : 大学病院 救急看護認定看護師
 関口 紗弓 (実務教員) : 大学病院 ブレストセンター 乳がん看護認定看護師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
三浦 まき	授業終了後または、次回の講義で質問を受ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	tmnaki@cmed.showa-u.ac.jp
関口 紗弓		flc0217@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子	(月)～(金) 16:30～17:30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。 電子メールでも質問を受け付ける。	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
五味 淳子		showa53105@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳		waka001@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛	原則 (月)～(金) 9:00～17:00 時間帯とする。 事前にメール等でアポイントメントをとる。	mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

生命の危機に直結する急性期にある患者の看護について、救命救急やICU、手術室など特殊な環境での治療についても併せて学修する。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて成人看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。また、救急看護、乳がん看護、排泄ケア看護については、実際の医療現場で活躍している認定看護師から直接教授を受ける。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	成人看護学 成人看護学概論	大西和子・岡部聡子 編	ヌーヴェルヒロ カワ	2009
テキスト	系統看護学講座 別巻 救急看護学	山勢博彰 他著	医学書院	2018
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器	浅野浩一郎 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器	上塚芳郎 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 血液・造血器	飯野京子 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器	金田 智 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経	竹村信彦 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑨ 女性生殖器	池田 正 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器	田中 栄 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉	小松浩子 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永勝彦 他著	医学書院	2017
テキスト	周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体 反応から導く看護	鎌倉やよい・深田順子	医学書院	2016

●準備学習（予習・復習）

成人看護援助論1は、学習容が多岐にわたり、授業時間も長いことから、各授業の前には、必ず事前に使用テキストを確認して、学習内容の項目に目を通しておくこと。
授業終了後には、テキスト、講義資料、参考文献を整理して、事後学修をすすめること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、薬理学、生化学、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人対象・目的論
2年 看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 09	木	3	生命の危機状態にある成人の 身体的・心理的・社会的特徴	1. 救急看護の特徴 1) 救急看護とは 2) 対象の特徴	1	三浦
2	2020. 4. 15	水	3	生命の危機状態に陥り易い主 な疾患の看護	1. 救急患者の主要病態と治療・処 置 1) ショック状態 2) 心肺停止状態 3) 急性症状の応急処置 4) 外傷・熱傷・中毒の応急処置 5) 環境要因による障害の応急処 置	1	
3	2020. 4. 21	火	3		2. 救急患者の看護		
4	2020. 4. 28	火	2	循環器系に障害を持つ成人の 周術期看護	1. 急性心筋梗塞を発症した患者 の特徴 1) 病態の特徴 2) 検査・治療・処置	4 11	関根
5	2020. 4. 30	木	2		2. 急性心筋梗塞を発症した患者 の看護 1) 看護のアセスメント		
6	2020. 5. 07	木	2		3. 事例学習を実施 1) 関連図の作成 2) 看護のアセスメント		
7	2020. 5. 11	月	1	ICU の特性と看護	1. 環境の特性 2. ICU に入室する患者の特性 3. ICU の看護 1) 人工呼吸器（非侵襲含む） 2) 胸腔ドレーン管理 3) スワングアンツ 4) コーチⅡ	1 2 3	関根
8	2020. 5. 12	火	2	周術期における成人の身体的・心理的・社会的特徴	1. 周術期の成人の特徴 2. 身体の一部を喪失した患者の 特徴	1 2 3	植田
9	2020. 5. 18	月	2	周術期（手術や麻酔）に関連 した生体侵襲・回復過程	1. 周術期看護の特徴 1) 手術療法 2) 侵襲 3) ムーア		
10	2020. 5. 25	月	2	周術期の段階に応じた看護	1. 手術前の患者の特徴 2. 手術中の患者の特徴 3. 手術後の患者の特徴 4. 事例による術前・術後の身体評 価 1) 看護のアセスメント		

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
11	2020. 6. 03	木	3	女性生殖器系に障害を持つ成人の周術期看護	1. 乳房切除術を受ける患者の看護 1) 皮下ドレーンの管理 2) リンパマッサージ 3) 乳房の触診	2 3 9	関口
12	2020. 9. 01	火	4	臨時試験（範囲：1回～11回）			
13	2020. 9. 04	金	1	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護	1. 開腹術（胃切除術）を受ける患者の特性 2. 開腹術（胃切除術）を受ける患者の看護 1) 腹腔ドレーンの管理 2) 看護のアセスメント	2 3 7	植田
14	2020. 9. 14	月	2	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護	1. 内視鏡下手術を受ける患者の特性（胃切除術） 2. 内視鏡下手術を受ける患者の看護（胃切除術）	2 3 7	植田
15	2020. 9. 07	月	2	消化器系に障害を持つ成人の周術期看護	1. 人工肛門造設術を受ける患者の特性	2 3 7	浅田
16	2020. 9. 10	木	1		2. 人工肛門造設術を受ける患者の看護		
17	2020. 9. 17	木	1		3. 食道切除・再建術を受ける患者の特性 4. 食道切除・再建術を受ける患者の看護		植田
18	2020. 9. 28	月	2	運動器系に障害を持つ成人の周術期看護	1. 整形外科的な手術を受ける患者の特性 2. 整形外科的な手術を受ける患者の看護	2 3 6	植田
19	2020. 10. 01	木	3	呼吸器系に障害を持つ成人の周術期看護	1. 肺切除術を受ける患者の特性 2. 肺切除術を受ける患者の看護 胸腔ドレーン	2 3 5	植田
20	2020. 10. 02	金	2	脳神経系に障害を持つ成人の周術期看護	1. 脳神経外科的な手術を受ける患者の特性	2 3 8	関根
21	2020. 10. 08	木	1		2. 脳神経外科的な手術を受ける患者の看護		

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
22	2020. 10. 15	木	1	血液・造血器系に障害を持つ 成人の看護	1. 急性骨髄性白血病患者の特性 2. 急性骨髄性白血病患者の看護	1 10 11	柴田
23	2020. 10. 20	火	3		3. 事例学習を実施 1) 情報収集 2) 関連図作成 3) 看護問題の抽出 4) 看護目標の設定 5) 看護計画の立案		柴田 関根 植田 五味
24	2020. 10. 22	木	3				
25	2020. 10. 26	月	2				
26	2020. 10. 29	木	2				
27	2020. 11. 05	木	1				
28	2020. 11. 16	月	1	術後に必要な看護管理の特徴	1. 術後管理の実際 1) コーチⅡ 2) ハフティング 3) 体位ドレナージ 4) ドレーン管理 5) 下肢静脈血栓の予防 6) 水分出納管理 7) 点滴管理 8) 乳房リンパマッサージ 2. 術後の観察	1 2 3	植田 関根 五味 柴田
29	2020. 11. 16	月	2				
30	2020. 11. 16	月	3	術後に必要な看護管理の特徴	1. 術後管理の実際 1) コーチⅡ 2) ハフティング 3) 体位ドレナージ 4) ドレーン管理 5) 下肢静脈血栓の予防 6) 水分出納管理 7) 点滴管理 8) 乳房リンパマッサージ 2. 術後の観察を体験する	1 2 3	植田 関根 五味 柴田

成人看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 45 時間
責任者名 : 関根 和佳
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

長期間にわたる療養生活が必要な成人の看護を実践するために、慢性期にある対象の特性について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1. 長期にわたり疾病コントロールを必要とする対象の特性が説明できる。 |
| ☐ | 2. 循環器障害にある対象の看護について説明できる |
| ☐ | 3. 腎機能障害にある対象の看護について説明できる。 |
| ☐ | 4. 呼吸器障害にある対象に看護について説明できる。 |
| ☐ | 5. 肝機能障害にある対象の看護について説明できる。 |
| ☐ | 6. 内分泌・代謝障害にある対象の看護について説明できる。 |
| ☐ | 7. 看護過程を活用し、対象のセルフマネジメントを推進する援助方法を説明できる。 |
| ☐ | 8. インスリン自己注射の技術を説明できる。 |
| ☐ | 9. 自己の血糖測定を実施する。 |
| ☐ | 10. 事例に基づいた看護過程を系統的に記述できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 臨時試験・定期試験 (筆記試験) (90%)・演習態度 (5%)・課題レポート (5%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。 |
|--|

●コンピテンシーとの関連

5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

関根 和佳（実務教員）
 五味 淳子（実務教員）
 植田 光剛（実務教員）
 柴田 恵美（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
関根 和佳	（月）～（金）16：30～17：30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。 電子メールでも質問を受け付ける。	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
五味 淳子		showa53105@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛	原則（月）～（金）9：00～17：00 時間帯とする。 事前にメール等でアポイントメントをとる。	mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

慢性疾患の代表的な疾患を主軸にして、長期療養が必要な患者の看護の特徴を学修する。
 演習においては、看護計画を立案した上で自己血糖測定、実施後の記録までの過程を具体的にイメージできるように事例を活用する。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	成人看護学 成人看護学概論	大西和子・岡部聰子 編	ヌーヴェルヒロカワ	2009
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器	上塚芳郎 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑤ 消化器	金田 智 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝	黒江ゆり子 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑧ 腎・泌尿器	大東貴志 他著	医学書院	2019

●準備学習（予習・復習）

事前に人体の構造と機能（膵臓・肝臓・心臓・腎臓）疾病の成り立ちと回復の促進（糖尿病・肝炎・肝硬変・肝がん・腎不全・心不全）についてテキストを活用して課題学習を行う。
授業後には問題点を明確にして、各授業の理解を深められるように事後学修をすすめること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床看護総論、成人対象・目的論
2年 看護過程展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 6.01	月	2	慢性疾患にある患者の特徴	1. 慢性疾患の看護の基本 1) 長期にわたる疾病コントロール 2) 慢性疾患に必要な看護の視点 3) 病みの軌跡理論	1	五味
2	2020. 6.04	木	3	循環機能障害患者の看護	1. 不整脈のある患者の看護 1) 病態の特徴 2) 治療・検査 3) 看護のアセスメント	2 10	植田
3	2020. 6.25	木	3		1. 心不全にある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置		
4	2020. 7.01	水	1		1. 心不全にある患者の看護 1) 看護のアセスメント		
5	2020. 7.02	木	2		1. 事例学習の実施を実施 1) 関連図の作成 2) 看護のアセスメント		
6	2020. 9.07	月	3	腎機能障害患者の看護	1. 腎不全にある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	3	
7	2020. 9.10	木	2		2. 腎不全にある患者の看護 1) 看護のアセスメント		
8	2020. 9.14	月	3	呼吸器障害患者の看護	1. 慢性閉塞性肺疾患にある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	4	関根
9	2020. 9.17	木	2		2. 慢性閉塞性肺疾患にある患者の看護 1) 看護のアセスメント		
10	2020. 10.01	木	1	臨時試験（範囲：1回～9回）			

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
11	2020. 10. 15	木	2	肝機能障害患者の看護	1. 肝炎・肝硬変・肝（臓）がんにある患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	5 10	関根
12	2020. 10. 22	木	4		2. 肝炎・肝硬変・肝（臓）がんにある患者の看護 1) 看護のアセスメント		
13	2020. 11. 02	月	3		3. 事例学習を実施 1) 関連図の作成 2) 看護のアセスメント		
14	2020. 1. 06	水	2	内分泌・代謝障害患者の看護	1. 糖尿病患者の特徴 1) 病態の特徴 2) 治療・検査・処置	6	五味
15	2020. 1. 12	火	3		2. 糖尿病患者の看護 1) 看護のアセスメント		
16	2020. 1. 13	水	4		3. 糖尿病患者に対する看護の実 際 1) 自己管理のポイント 2) インスリン自己注射		
17	2020. 1. 20	水	4	成人のセルフマネジメントを 推進する看護	1. 糖尿病患者の事例展開を実施 1) 関連図の作成 2) 看護のアセスメント 3) SOAP	6 10	五味
18	2020. 1. 26	火	2				
19	2020. 1. 27	水	4				
20	2020. 1. 19	火	2	成人のセルフマネジメントを 推進する看護の実践	1. 自己血糖測定の演習	7	五味 植田 植田 関根
21	2020. 1. 19	火	3				
22	2020. 2. 02	火	2	まとめ（範囲：11 回～16 回）			

成人看護援助論Ⅲ

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 関根 和佳
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

対象の QOL を維持または拡大する看護を実践するために、生活の再構築に必要な看護について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| ☐ | 1. 生活行動に障害のある成人の特性と援助方法について説明できる。 |
| ☐ | 2. 視聴覚機能障害のある成人の特性と援助方法について説明できる。 |
| ☐ | 3. 脊髄神経機能障害にある成人の特性と援助方法について説明できる。 |
| ☐ | 4. 身体防御機能の障害がある成人の特性と援助方法について説明できる。 |
| ☐ | 5. 自己の死生観について述べられる。 |
| ☐ | 6. 終末期にある成人に必要な看護の役割について、述べられる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（80%）課題レポート（20%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、
真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

五味 淳子（実務教員）

関根 和佳（実務教員）

植田 光剛（実務教員）

柴田 恵美（実務教員）

秋間 悦子（実務教員）：昭和大学病院 感染管理認定看護師

井口 佳子（実務教員）：昭和大学病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
秋間 悦子	授業終了後、または、次回の講義で質問を受ける。電子メールでも質問を受け付ける。	ns.akima.e@cmed.showa-u.ac.jp
井口 佳子		keychan@cmed.showa-u.ac.jp
関根 和佳	(月)～(金) 16:30～17:30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。電子メールでも質問を受け付ける。	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
五味 淳子		showa53105@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛	原則 (月)～(金) 9:00～17:00 時間帯とする。事前にメール等でアポイントメントをとる。	mitsuyoshi@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

成人期にある対象が障害によって、生活の再構築を余儀なくされる中で健康障害の程度に応じた看護援助の基礎を学修する。また、終末期にある対象と家族に寄り添うために、成人期である自己の死生観にも関心を向けつつ、看護師の役割について学修をすすめる。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。感染管理、脳卒中リハビリテーション看護については、実際の現場で活躍されている認定看護師より教授を受ける。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	成人看護学 成人看護学概論	大西和子・岡部聡子 編	ヌーヴェルヒロカワ	2009
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑩ 運動器	織田弘美 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護	武田 宜子他	医学書院	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑭ 耳鼻咽喉	小松浩子 他著	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経	竹村信彦 他著	医学書院	2019
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑪ アレルギー 膠原病 感染症	岩田健太郎 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑬ 眼	大鹿哲朗 著	医学書院	2017

●準備学習（予習・復習）

各授業の前には、必ず事前に使用テキストを確認して、学習内容の項目に目を通しておくこと。
授業後には問題点を明確にして、各授業の理解を深められるように事後学修をすすめること。

●全学年を通しての関連科目

1 年	社会学、教育学、心理学、倫理学、人間教育論、家族関係論、コミュニケーション論、形態機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ、医療概論、公衆衛生学、関係法規、健康教育論、薬理学、リハビリテーション論、看護学概論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人対象目的論、日常生活援助、臨床看護総論、社会福祉
2 年	緩和医療

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9. 28	月	1	中途障害のある成人の特性と看護	1. 中途障害のある患者の特性 2. 中途障害のある患者の看護の特徴	1	五味
2	2020. 10. 05	月	2	感覚機能障害のある成人の特性と看護	1. 視覚機能障害患者の看護 1)看護アセスメント	2	五味
3	2020. 10. 13	火	3		2 聴覚機能障害患者の看護 1)看護のアセスメント		
4	2020. 10. 26	月	1		3. 失声患者の看護 1)看護アセスメント		
5	2020. 11. 05	木	4	生活行動に障害のある成人の特性と看護	1. 脊髄損傷患者の特性 1)病態の特徴 2)治療・検査 3)看護のアセスメント	3	五味
6	2020. 11. 10	火	3		2. 脊髄損傷患者の看護 1)治療・検査・処置 2)看護のアセスメント		
7	2020. 11. 05	木	1		3. 脳梗塞患者の看護 1)病態の特徴 2)治療・検査・処置 3) 看護のアセスメント	1	井口
8	2020. 11. 12	木	4				
9	2020. 11. 24	火	2				
10	2020. 12. 01	火	1	感染により障害を受けた成人の特性と看護	1. 感染により障害を受けた成人の特性と看護	4	秋間
11	2020. 1. 12	火	2		2. HIV 感染症・AIDS 患者の特性と看護		
12	2020. 1. 26	火	1	終末期にある成人の特性	1. 終末期にある患者の特性 2. 終末期にある患者と家族のニーズと看護	5 6	柴田
13	2020. 2. 03	水	3	自己の死生観	1. 死生観とは 1)個人ワーク、グループワークを実施する		
14	2020. 2. 03	水	4	終末期にある成人に必要な看護の役割	1. 終末期にある成人に必要な看護 1)看護のアセスメント 2. 具体的なケアの実際		
15	2020. 2. 08	月	3	まとめ			

成人看護学実習 I

対象学年 : 2 学年 後期
単位・時間数 : 3 単位 135 時間
責任者名 : 関根 和佳
授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

成人期にある対象の特性をふまえた看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 身体的・心理的・社会的（家族も含む）情報を得ることができる。 |
| ☐ | 2. フィジカルイグザミネーションを使用して観察をすることができる。 |
| ☐ | 3. 全体像（発達段階・健康障害・治療上の規制・生活状況）を説明することができる。 |
| ☐ | 4. 得られた情報を関連させて分析・解釈・判断の記述ができる。 |
| ☐ | 5. 健康障害が対象に及ぼす影響を看護問題として抽出できる。 |
| ☐ | 6. 問題を解決するための期待される成果（看護目標）を設定することができる。 |
| ☐ | 7. 個別性をふまえた看護計画を立案することができる。 |
| ☐ | 8. 自己の傾向をふまえ、主体的に対象と関係を築くことができる。 |
| ☐ | 9. 安全・安楽・自立を考慮した援助が実施できる。 |
| ☐ | 10. 立案した看護計画の妥当性を評価し、修正できる。 |
| ☐ | 11. 看護実践を振り返り、個別性（対象のパワーリソース、生活環境、生活習慣）のある看護計画とは何かを考察し記述ができる。 |
| ☐ | 12. 対象が持つ力を引き出す看護とは何かを考察し記述ができる。 |
| ☐ | 13. 病棟の特徴を理解し、自らの看護実践に応用する。 |
| ☐ | 14. 学習者としてふさわしい態度を示せる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：実習内容・記録（80％）態度（20％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

担当者一覧参照

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
関根 和佳	(月)～(金) 16:30～17:30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。 電子メールでも質問を受け付ける。	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
五味 淳子		showa53105@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛	原則 (月)～(金) 9:00～17:00 時間帯とする。 事前にメール等でアポイントメントをとる。	mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

成人期にある対象を受け持ち、看護実践を展開する中でフィジカルイグザミネーションを使用した観察、発達段階、健康障害や治療上の規制など様々な側面から対象を理解し、個別性をふまえた看護のあり方を学修する。臨地実習においては、臨地実習指導者と実務教員が実習指導にあたる。

●教材

成人看護学実習Ⅰに関連した科目の講義時のプリント

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	系統看護学講座（基礎、専門Ⅰ・Ⅱ、別巻） 全般		医学書院	
テキスト	成人看護学 成人看護学概論	大西和子・岡部聡子 編	ヌーヴェル ヒロカワ	2009
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永勝彦 他著	医学書院	2017
テキスト	周術期の臨床判断を磨く 手術侵襲と生体反 応から導く看護	鎌倉やよい・深田順子	医学書院	2016

●準備学習（予習・復習）

- 【予 習】病棟の特殊性をふまえた疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【実習中】受け持ち患者に関連した疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【復 習】実習記録を基に、実践した看護の振り返り

●全学年を通しての関連科目

1 年	社会学、教育学、心理学、倫理学、人間教育論、家族関係論、病理学、健康教育論、薬理学、生化学、コミュニケーション論、形態機能Ⅰ～Ⅳ、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ～Ⅴ、看護学概論、看護理論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人対象目的論、臨床看護総論、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、診療に伴う看護、日常生活援助《理論編》・《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
2 年	看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》、緩和医療、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老人看護援助論Ⅱ・Ⅲ臨床医学Ⅵ・Ⅶ・Ⅸ、基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ

●予定表

「2020年度 成人看護学実習Ⅰの実習要項」参照

●担当教員一覧

柴田 雅子（実務教員）	室屋 眞由美（実務教員）	五嶋 洋子（実務教員）
福永 聖子（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）	五味 淳子（実務教員）
浅田 恵子（実務教員）	植田 光剛（実務教員）	菅原 睦子（実務教員）
神尾 由紀（実務教員）	関根 和佳（実務教員）	柴田 恵美（実務教員）
桧山 優子（実務教員）	江副 秀美（実務教員）	加賀美 美穂子（実務教員）
長谷川 和美（実務教員）	柴田 浩子（実務教員）	田中 比露美（実務教員）
花井 恵美子（実務教員）	小塚 智子（実務教員）	塩川 優子（実務教員）
矢嶋 裕里（実務教員）	富崎 志穂（実務教員）	

老年看護援助論Ⅱ

対象学年：2学年 通年

単位・時間数：1単位 30時間

責任者名：桧山 優子

授業形式等：講義・演習

●一般目標 (GIO)

健康障害をもちながら生活する高齢者とその家族へ援助をするために、健康の段階に応じた高齢者看護について学修する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| ☐ | 1. 疾病の治療・回復の特徴を踏まえた高齢者の看護について説明できる。 |
| ☐ | 2. 入院治療を受ける高齢者の看護について説明できる。 |
| ☐ | 3. 薬物療法を受ける高齢者の看護について説明できる。 |
| ☐ | 4. 手術療法を受ける高齢者の看護について説明できる。 |
| ☐ | 5. リハビリテーションを受ける高齢者の看護について説明できる。 |
| ☐ | 6. 認知症高齢者への看護について説明できる。 |
| ☐ | 7. 終末期にある高齢者の看護について説明できる。 |
| ☐ | 8. 事例検討を通して、健康障害のある高齢者の援助方法が記述できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（90%）・レポート（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションがとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。 |
|---|

● コンピテンシーとの関連

5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

● 担当教員

桧山 優子 (実務教員) 江副 秀美 (実務教員)
 菅原 睦子 (実務教員) 柴田 雅子 (実務教員)
 伊藤 雄一郎 (実務教員) : 昭和大学病院 認知症看護認定看護師
 石原 ゆきえ (実務教員) : 昭和大学江東豊洲病院 老人看護専門看護師

● オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桧山 優子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 雅子		m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
伊藤 雄一郎		hughie@cmed.showa-u.ac.jp
石原 ゆきえ		atorichan@cmed.showa-u.ac.jp

● 授業概要・教員紹介

高齢者は複数の疾患を抱えて健康障害をもちながら生活していることが多い。高齢者が療養生活する中でも、特に多い疾患を授業内で学習する。また、入院から退院までの経過で高齢者に多くみられる症状、治療を継続する上での課題など、臨床現場の現状を学ぶ。事例展開では、看護上必要な援助について理解を深めていく。老年看護専門看護師、認知症看護認定看護師による専門的な知識・技術の教授、老年看護の臨床経験のある教員による講義を行う。

● 教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学	北川公子 他著	医学書院	2018
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論	佐々木英忠 著	医学書院	2018

● 準備学習 (予習・復習)

授業を受ける範囲のテキストを事前に読み、わからないことを明確にして臨む。関連動画がある場合には視聴する。復習してもわからない点はノートにまとめ、聴講時に確認する。

● 全学年を通しての関連科目

1 年 形態機能学Ⅰ～Ⅳ、社会福祉、公衆衛生、家族関係論、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ・Ⅲ
 2 年 在宅看護概論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 5. 19	火	1	認知症高齢者への看護	1. 認知症高齢者の理解 1) 中核症状と行動心理症状の経過 2) 治療的アプローチ 3) コミュニケーションの基本 4) 行動心理症状に対する看護	6	伊藤
2	2020. 5. 26	火	1				
3	2020. 6. 02	火	1		2. 認知症患者に対する社会的 支援・制度	6	桧山
4	2020. 10. 22	木	1	疾病の治療・回復の特徴を踏 まえた高齢者の看護	1. 高齢者の疾病の治療・回復の特 徴 2. 強みに着目する看護	1	桧山
5	2020. 10. 27	火	3	健康障害のある高齢者の 援助方法	1. 事例展開の実際 1) 複数の疾患をかかえた高齢者 の看護	8	桧山 菅原 江副
6	2020. 10. 29	木	1	入院治療を受ける高齢者の看 護	1. 入院における看護 1) 入院生活の適応と援助 2) せん妄・うつ病の評価と援助 3) 環境の変化と安全 4) 検査・治療に伴う援助	2	柴田
7	2020. 11. 04	水	1	薬物療法を受ける高齢者の看 護	1. 加齢に伴う薬物動態の変化 1) 薬物療法を受ける高齢者の 援助 2) 服薬管理とリスクマネジメン ト	3	江副
8	2020. 11. 10	火	2	手術を受ける高齢者の看護	1. 麻酔・手術侵襲が高齢者に与え る影響 1) 術前準備・術中の援助 2) 高齢者に起こりやすい術後合 併症の予防と援助	4	江副
9	2020. 11. 12	木	2		2. 高齢者に多い手術 1) 人工骨頭置換術を受ける高齢 者の看護	4	江副
10	2020. 11. 12	木	1	退院に向けた高齢者の看護	1. 退院する高齢者の特徴 1) 退院に向けての援助 2) 退院する患者に対する援助の ポイント	2	柴田
11	2020. 11. 17	火	2		2. 継続する高齢者の看護 1) 外来における看護 2) 看護の継続 (施設・在宅) 3) 家族への援助		

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBO	担当
12	2020. 11. 24	火	1	リハビリテーションを受ける 高齢者の看護	1. 高齢者に対するリハビリテー ションの意義と特徴 1) リハビリテーションを必要と する高齢者 2) 生活機能向上につなぐ援助	5	桧山
13	2020. 11. 17	火	1	終末期にある高齢者の看護	1. 高齢者におけるエンドオブライ フケア 1) 終末期のプロセス 2) 生ききことを支えるケア 2. 意思決定への支援 1) アドバンスケアプランニング 2) 死にかかわる権利と医療・ケア 提供者の義務・役割 3. 終末期看護の実践 1) 苦痛の緩和 2) 家族への看護	7	石原
14	2020. 11. 30	月	1				
15	2021. 1. 14	木	1	疾病の治療・回復の特徴を踏 まえた高齢者の看護	1. まとめ 1) 事例展開の具体策	1 ～ 8	桧山

老年看護援助論Ⅲ

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 桧山 優子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

高齢者が疾患や障害をもちながらも、その人が望む生活を考えながら援助するために、老年看護に必要な看護アプローチを身につける。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| ☐ | 1. 高齢者とのコミュニケーションの特徴と看護について説明できる。 |
| ☐ | 2. 運動障害のある高齢者への看護が説明できる。 |
| ☐ | 3. 視聴覚障害のある高齢者への看護が説明できる。 |
| ☐ | 4. 主要症状に対する高齢者への看護が説明できる。 |
| ☐ | 5. 高齢者の転倒・転落の予防と発生時の看護が説明できる。 |
| ☐ | 6. 廃用症候群の予防と看護について説明できる。 |
| ☐ | 7. 摂食・嚥下障害のある高齢者への看護が説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（80％）参加態度・レポート（20％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションがとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。5. 社会的貢献<ol style="list-style-type: none">1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。 |
|--|

●コンピテンシーとの関連

6. 自己研鑽
- 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
- 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

桧山 優子（実務教員） 江副 秀美（実務教員）
 菅原 睦子（実務教員） 浅田 恵子（実務教員）
 路川 環（実務教員）：昭和大学病院 摂食嚥下障害認定看護師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桧山 優子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
路川 環		t.m@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

高齢者に多くみられる症状・疾患とその看護について学ぶ。それぞれの症状について、学んだアセスメント方法を活用し、演習を通して援助方法を学ぶ。高齢者の尊厳を尊重し、その人が望む生活を支えるための援助について理解を深める。認定看護師による専門的な知識・技術の教授、老年看護の臨床経験がある教員による講義・演習を行う。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学	北川公子 他著	医学書院	2018
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論	佐々木英忠 著	医学書院	2018

●準備学習（予習・復習）

事前にテキスト等を読み、わからないことを明確にして講義に臨む。関連動画がある場合には視聴する。復習してもわからない点はノートにまとめ、聴講時に確認する。

●全学年を通しての関連科目

- 1年 老年看護学対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、関係法規、社会福祉、公衆衛生、老年看護援助論Ⅱ
 2年 在宅看護概論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 4. 20	月	3	高齢者とのコミュニケーション	1. コミュニケーションを障害する 要因 2. コミュニケーションに必要な 方法	1	菅原
2	2020. 4. 28	火	1	運動障害のある高齢者への看護①	1. 移動動作を障害する要因 2. 運動障害のある高齢者への看護 の基本	2	菅原
3	2020. 5. 01	金	3		1. 運動障害のある高齢者への看護 の実際 1) 更衣 2) オムツ交換 3) 起居動作 4) 杖歩行	2	菅原 桧山 江副
4	2020. 5. 01	金	4				
5	2020. 5. 11	月	2	視聴覚障害のある高齢者への看護	1. 生活への影響 2. 看護の基本	3	菅原
6	2020. 5. 18	月	3	掻痒感・脱水時の看護	1. 症状の特徴と生活への影響 2. 看護の基本	4	江副
7	2020. 5. 25	月	3	転倒・転落の予防、発生時の看護	1. 高齢者の転倒・転落のリスク 2. 転倒・転落の予防と看護の基本	5	江副
8	2020. 9. 07	月	4	廃用症候群の予防と看護 褥瘡の要因と看護	1. 高齢者の廃用症候群発生のリスク 2. 廃用症候群の予防と看護の基本 3. 褥瘡予防と看護の基本	6	浅田
9	2020. 10. 01	木	4	摂食・嚥下障害のある高齢者への看護	1. 摂食・嚥下障害のアセスメント 2. 援助方法の基本 1) 誤嚥性肺炎のリスクと予防 2) 口腔ケアの基本	7	路川
10	2020. 10. 05	月	1				
11	2020. 10. 08	木	3		1. 摂食・嚥下障害のある高齢者に対する看護の実際 1) 誤嚥性肺炎の予防方法 2) 口腔ケア	7	江副 桧山 菅原
12	2020. 10. 08	木	4				
13	2020. 9. 09	水	1	運動障害のある高齢者への看護②	1. 高齢者に多い運動障害と看護 1) パーキンソン症候群 2) 骨粗鬆症 3) 脊椎圧迫骨折 4) 膝関節炎	3	菅原
14	2020. 9. 30	水	1				
15	2020. 10. 16	金	2	まとめ	1. 高齢者の主な症状、障害と看護	1 ～ 8	桧山

老年看護学実習 I

対象学年 : 2 学年 前期
単位・時間数 : 1 単位 45 時間
責任者名 : 桧山 優子
授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

地域の福祉施設を利用しながら生活する高齢者の健康を整える看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 老年期にある対象の特徴について説明できる。
- ☐ 2. 高齢者がどのような環境のなかで生活しているかを説明できる。
- ☐ 3. 基本的ニーズを充足するための日常生活への援助の実際を説明できる。
- ☐ 4. 高齢者への関心をもち、個人として尊重した態度がとれる。
- ☐ 5. 高齢者を取り巻く社会状況を考察し記述できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションがとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。

●コンピテンシーとの関連

7. アイデンティティ

- 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

担当教員一覧参照

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認する。
主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導にあたる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桧山 優子	実習中は、電話にて質問を受け付ける。 学内日は、看護専門学校にて 17:00～17:30 に質問を受け付ける。	03-3784-8095 yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		03-3784-8095 h-ezoe@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		03-3784-8095 suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

高齢者在宅サービスセンター等福祉施設での実習で、様々な健康状態にある高齢者が通所する施設での関わりをとおして、老年期にある対象の特性を理解し、その多様性に対しての看護について学ぶ。
通所する高齢者や家族に対して「高齢者に対する国連原則」をもとに尊厳を持ったかかわり方、コミュニケーションの取り方や、アクティビティ、加齢現象による影響に対しての援助方法を学び体験をする。
担当教員は病院で看護師としての実務経験があり、実務経験に基づき、必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

老年看護学実習Ⅰに関連した科目の講義時のプリント

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学	北川 公子他	医学書院	2018
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患編	鳥羽 研二他	医学書院	2018
プリント	年表			

●準備学習（予習・復習）

【予習】事前にテキスト等を読み予習し、わからないことを明確にして講義に臨むこと。事前ワークシート等の配布時は、学習をしてから臨む。各 SBOs を確認してから講義に臨み、演習時は事前に映像教材を用いて予習し、資料を再確認して臨む。グループワークなどの場合は、ディスカッションに必要な資料、テキストを準備し臨む。

【復習】講義終了後、理解できたこと、できなかったことを整理して復習し、事後学修してもわからないことはオフィス・アワーを活用し、確認行為を自らとること。

演習後など追加学習をして参考図書を明記する。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、形態機能学Ⅰ～Ⅳ、リハビリテーション論、関係法規、社会福祉、公衆衛生、家族関係論、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、フィジカル・アセスメント、日常生活援助〈理論〉〈実践論〉、コミュニケーション論、薬理学、臨床看護総論、臨床医学Ⅰ～Ⅴ
- 2 年 治療処置における援助、老年看護援助論Ⅱ、Ⅲ、緩和医療、臨床医学Ⅵ～Ⅷ

●予定表

「2020 年度 老年看護実習Ⅰの実習要項」参照

●担当教員一覧

桧山 優子 (実務教員)	江副 秀美 (実務教員)	菅原 睦子 (実務教員)
長谷川 和美 (実務教員)	加賀美 美穂子 (実務教員)	田中 比露美 (実務教員)
福永 聖子 (実務教員)	浅田 恵子 (実務教員)	柴田 恵美 (実務教員)
五嶋 洋子 (実務教員)	神尾 由紀 (実務教員)	秋庭 良子 (実務教員)
関根 和佳 (実務教員)	五味 淳子 (実務教員)	植田 光剛 (実務教員)

小児看護目的論

対象学年 : 2 学年 前期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 柴田 浩子
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

健康障害を持つ子どもと家族が、より良い健康状態を保ちながら生活できるように援助するために、病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響と援助方法を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 子どもの権利を守るための小児医療・小児看護における倫理的配慮について説明できる。
- ☐ 2. 病気に対する子どもの理解について説明できる。
- ☐ 3. 病気や診療・入院が子どもに与える影響と看護を説明できる。
- ☐ 4. プレパレーションの方法および活用方法が説明できる。
- ☐ 5. 子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護を説明できる。
- ☐ 6. 外来における子どもと家族への看護が説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（100%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。

●コンピテンシーとの関連

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
- 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。

7. アイデンティティ

- 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

花井 恵美子（実務教員）

副島 賢和：昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
花井 恵美子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	sari2542@cmed.showa-u.ac.jp
副島 賢和	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	akahana@nr.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

病気や診療・入院が子どもと家族へ与える影響について、小児各期（乳児期・幼児期・学童期・思春期）の認知発達の特徴から理解を深めるように学習する。

また、子どもの権利を守るために、看護者としてどのような倫理的配慮が必要かを学ぶ。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて小児看護に関する必要な知識を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間美保 他著	医学書院	2015

●準備学習（予習・復習）

小児看護対象論の小児各期の成長・発達の特徴を復習してから授業に臨む。

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、小児看護対象論

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9. 03	木	2	子どもの権利	1. 小児医療における子どもの権利の変遷 2. 小児医療・小児看護における倫理的配慮 3. 諸統計からみた子どもと家族の健康課題と倫理的配慮 4. 子どもと社会を取り巻く社会資源の活用	1	花井
2	2020. 9. 08	火	1	病気に対する子どもの理解と説明	1. 病気に対する子どもの理解の特徴 2. 子どもの理解に関係する要因 3. 発達に応じた病気の説明 4. インフォームド・アセント	2	花井
3	2020. 9. 14	月	1	プレパレーション	1. 子どもへの説明と同意 2. 家族の準備状態の把握 3. 検査・処置を受ける子どもと家族への支援	4	花井
4	2020. 9. 17	木	3	病気や診療・入院が子どもと与える影響と看護	1. 病気や診療・入院が成長・発達に及ぼす影響 2. 病気や診療・入院に伴うストレスと影響要因 3. 子どもの反応とストレス対処行動 4. 病気や入院に伴う子どもへの支援	3	花井
5	2020. 9. 09	水	3				副島
6	2020. 9. 28	月	3	子どもの病気や診療・入院がきょうだい・家族に及ぼす影響と看護	1. 子どもの病気や診療・入院に伴うきょうだい・家族のストレス 2. きょうだい・家族のストレスへの支援	5	花井
7	2020. 9. 29	火	2	外来における子どもと家族への看護	1. 外来における緊急時の把握・トリアージ 2. 外来における感染症対策 3. 受診時の子どもと家族の緊張と不安の軽減 4. 健康診査・育児相談	6	花井

小児看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 柴田 浩子
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

健康課題をもつ子どもと家族がより良い健康状態を保ちながら生活できるように援助するために、さまざまな健康障害や健康状態に応じた子どもと家族に必要な援助方法を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| ☐ | 1. 急性期にある子どもと家族への看護の基本が説明できる。 |
| ☐ | 2. 特別な状況に応じた子どもと家族への看護の基本が説明できる。 |
| ☐ | 3. 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族への看護の基本が説明できる。 |
| ☐ | 4. 終末期にある子どもと家族への看護が説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (100%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している5. 社会的貢献<ol style="list-style-type: none">1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。6. 自己研鑽<ol style="list-style-type: none">1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。 |
|--|

●コンピテンシーとの関連

7. アイデンティティ

- 1) 看護を实践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

柴田 浩子 (実務教員)

花井 恵美子 (実務教員)

星野 友佳里 (実務教員)：昭和大学病院 小児医療センター 小児救急看護認定看護師

鈴木 さおり (実務教員)：株式会社三成電器製作所 あいりす 訪問看護師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 浩子	講義終了後、その場で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2542@cmed.showa-u.ac.jp
星野 友佳里	講義終了後、その場で質問を受け付ける。	y.hayakawa@cmed.showa-u.ac.jp
鈴木 さおり		看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要・教員紹介

小児に多い症状、および疾患の特徴を想起し、急性期・慢性期・終末期の各経過に合わせた看護の基本を系統的に学習する。また特別な状況である災害時、および虐待についての病態、診断、治療、看護について系統的に学習する。

子どもの発達段階に応じ、家族への働きかけが重要となる。

各経過に特徴的な診断・治療方針を想起し、子どもの成長・発達を妨げないで生活を整える支援の方法の基本を学ぶ。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて小児看護に関する必要な知識を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間美保 他著	医学書院	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学② 小児臨床看護各論	奈良間美保 他著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

臨床医学Ⅷで学修した小児特有の疾患の病態生理、診断基準、治療方針、経過をよく復習して臨むこと。
また事前にテキストの該当箇所を熟読して講義に臨むこと。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 小児看護対象論、臨床看護総論
2 年 臨床医学Ⅷ、小児看護目的論

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 10. 01	木	2	急性期にある子どもと家族への 看護の基本—1	1. 急性症状のある子どもと家族 への看護 1) 発熱 2) 脱水 3) 下痢・嘔吐 4) 呼吸困難 5) けいれん 6) 痛み	1	柴田
2	2020. 10. 05	月	4				
3	2020. 10. 13	火	2				
4	2020. 10. 16	金	1				
5	2020. 11. 18	水	4	急性期にある子どもと家族への 看護の基本—2	2. ハイリスク新生児と家族の看護 1) ハイリスク新生児、低出生体重 児の特徴 2) ハイリスク新生児の集中 治 療における援助 3) 親子、家族関係確立への 支援	1	
6	2020. 10. 20	火	2	急性期にある子どもと家族への 看護の基本—3	1. 救急救命処置が必要な子ども と家族への看護 1) 子どもの救急におけるトリア ージと対応 2) 子どもの意識レベル 3) 主な誤飲物質と処置 4) 子どもの熱傷の特徴・重傷度 および処置 5) 溺水と処置 6) 子どもの一次救命処置 7) 生命が危険な状況にある 子どもと家族への援助	1	星野
7	2020. 10. 27	火	2	急性期にある子どもと家族への 看護の基本—4①	1. 周手術期における子どもと家 族への看護 1) 子どもの手術の特徴 2) 手術を要する健康障害と手術 の時期 3) 計画手術・緊急手術 4) 日帰り手術 5) 子どもと家族の術前準備 6) 子どもの安全。安楽への援助	1	星野
8	2020. 11. 09	月	4	急性期にある子どもと家族への 看護の基本—4②	1. 周手術期における子どもと家 族への看護 1) 手術中・手術直後の家族への 援助 2) 手術後の身体状態のアセスメ ントと援助 3) 退院に向けての援助	1	星野

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
9	2020. 11. 16	月	4	急性期にある子どもと家族への 看護の基本—5	1. 活動制限が必要な子どもと家族への看護 1) 目的 2) 身体的、心理社会的影響 3) 子どもの発達に応じた日常生活への援助 2. 隔離が必要な子どもと家族への看護 1) 目的・方法 2) 身体的、心理社会的影響 3) 子どもの発達に応じた日常生活への援助 4) 家族の面会や付き添いにおける援助	1	星野
10	2020. 11. 30	月	4	特別な状況にある子どもと 家族への看護の基本—1	1. 虐待を受けている子どもと家族への看護 1) 子どもへの虐待の特徴 2) 虐待のリスク要因と虐待の早期発見 3) 虐待の未然防止に向けての支援 4) 多機関・多職種の連携・協働	2	花井
11	2021. 1. 18	月	4	特別な状況にある子どもと 家族への看護の基本—2	1. 災害を受けた子どもと家族への看護 1) 災害による子どもへの影響とストレス 2) 災害を受けた子どもと家族への援助 3) 災害時における緊急度の把握・トリアージ	2	花井
12	2021. 1. 25	月	4	慢性的な疾患・障害がある 子どもと家族への看護—1	1. 慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療 2. 小児慢性特定疾患治療研究事業 3. 疾患による子どもと家族の生活の変化 4. 学習支援・復学支援 5. 発達に応じたセルフケア能力の獲得 6. セルフケア能力の獲得のための養育と家族への支援 7. 地域との連携・調整	3	鈴木

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
13	2021. 2. 01	月	4	慢性的な疾患・障害がある 子どもと家族への看護-2	1. 先天性疾患のある子どもと 家族への看護 1) 先天異常の種類と特徴 2) 先天異常をもつ子どもの 発 達段階に応じた援助 3) 子どもの疾患に対する家族の 理解と受容 4) 養育とケア技術獲得に関する 家族への援助 2. 心身障害のある子どもと家族 への看護 1) 心身障害の定義と種類 2) 家族と子どもの障害の受容 3) 重症心身障碍児と家族 4) 医療的ケアの必要な超重症児 と家族	3	鈴木
14	2021. 2. 08	月	4	慢性的な疾患・障害がある 子どもと家族への看護-3	1. 医療的ケアを必要として退院 する子どもと家族への看護 1) 入院生活から在宅への移行に 向けた支援 2) 多職種との連携と社会資源 の活用 3) 在宅療養中の子どもと家族 4) 子どものセルフケア行動の促 進	3	鈴木
15	2021. 2. 15	月	4	終末期にある子どもと家族への 看護	1. 子どもの死の概念 2. 死に対する子どもの反応 3. 終末期にある子どもの心身 状態と緩和ケア 4. 子どもの死を看取る家族の 反応	4	花井

小児看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 柴田 浩子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

各健康障害に応じた子どもと家族に必要な看護援助を実践するために、小児特有の疾患の基本的な知識と看護援助について修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 小児各期（乳児期・幼児期・学童期・思春期）に必要な看護技術の基本が説明できる。
- ☐ 2. 代表的な健康課題をもつ子どもと家族の経過に基づく看護を説明できる。
- ☐ 3. 事例に基づいた看護過程の展開が記述できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（90%）、演習参加態度・内容（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

柴田 浩子 (実務教員)

花井 恵美子 (実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 浩子	講義終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子		sari2542@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

急性期・慢性期・終末期の各経過に合わせた看護の基本を学修したことを想起しながら、代表的な小児疾患における具体的な病態、診断、治療に合わせた看護の方法を学修する。

健康障害を持ちながらも、成長・発達を続ける小児にとって、治療、入院生活を余儀なくされる体験をイメージしながら、子ども・家族の思いに寄り添い、生活を支援する方法を学ぶ。

また子どもの発達段階に応じた、看護技術を提供できるよう、原理・原則を学ぶ。

急性期の健康障害を持つ子どもの看護過程の展開を通して、アセスメントの具体的な方法を学ぶ。

担当教員は、病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて小児看護に関する必要な知識を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論	奈良間 美保 他著	医学書院	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学② 小児臨床看護各論	奈良間 美保 他著	医学書院	2020

●準備学習（予習・復習）

臨床医学Ⅷで学習した小児特有の疾患の病態生理、診断基準、治療方針、経過をよく復習して臨むこと。

また事前にテキストの該当箇所を熟読して講義に臨むこと。

看護技術に関しては、基礎看護学で学習した看護技術の目的、留意点をよく復習し、根拠を明確にして臨むこと。

看護過程の展開に関しては、看護過程の展開の知識を活用できるよう、復習を行うこと。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 日常生活援助技術、小児看護対象論
- 2 年 臨床医学Ⅷ、小児看護目的論、小児看護援助論Ⅰ

●予定表

*2・3・4回 時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 10. 26	月	4	小児各期に必要な看護技術	1. 診療（検査、処置）に伴う技術と看護 1) プレバレーションと看護の際—薬液吸入	1	柴田 花井
2	2020. 10. 28	水	3 4		2. バイタルサインの測定		
3	2020. 11. 04	水	3 4		3. 日常生活援助 1) 排泄の援助（オムツ交換）		
4	2020. 11. 25	水	3 4	小児各期に必要な看護技術	1. 安全を守る技術 1) 事故防止のための環境調整 ベッド柵の取り扱い 2) 環境整備		
5	2020. 11. 06	金	1	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護	1. 呼吸器疾患を持つ子どもと家族への看護の実際 ・事例を用いたグループワーク	2	柴田 花井
6	2020. 11. 13	金	1				
7	2020. 12. 01	火	2		2. 急性期にある子どもと家族への援助の基本① 1) 気管支喘息患児の看護		
8	2021. 1. 06	水	3		3. 急性期にある子どもと家族への援助の基本② 1) 川崎病患児の看護		
9	2021. 1. 13	水	3		4. 急性期にある子どもと家族への援助の基本③ 1) 尿路感染症患児の看護		
10	2021. 1. 20	水	3		5. 慢性期にある子どもと家族への援助の基本 1) 急性リンパ性白血病患児の看護		
11	2021. 1. 27	水	3		6. 周手術期にある子どもと家族への援助の基本 1) 口唇口蓋裂形成手術を受ける患児の看護		
12	2021. 2. 02	火	1	健康課題をもつ子どもと家族への経過に基づく看護	1. 急性期にある子どもと家族への援助の基本 1) 急性気管支炎患児と家族への看護 事例展開	3	柴田 花井
13	2021. 2. 05	金	2				
14	2021. 2. 09	火	1				
15	2021. 2. 12	金	2				

母性看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 60 時間
責任者名 : 小塚 智子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

周産期にある女性とその家族をウェルネスの観点から援助するために妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族の身体的、心理的、社会的特徴と健康の保持増進、正常からの逸脱予防、親役割適応過程の支援について知り、必要な看護技術と実践方法を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 妊娠・分娩・産褥の生理や正常な経過を説明できる。 |
| ☐ | 2. 妊婦の健康管理についてその意義と内容を説明できる。 |
| ☐ | 3. 妊婦のセルフケア能力を高めるための保健指導の内容を説明できる。 |
| ☐ | 4. 分娩経過をアセスメントする観察点を挙げることができ、分娩各期における看護について記述できる。 |
| ☐ | 5. 産褥期における復古促進・乳汁分泌促進・母乳育児のための援助を説明できる。 |
| ☐ | 6. 褥婦のセルフケア能力を高めるための保健指導の内容を説明できる。 |
| ☐ | 7. 妊婦・産婦・褥婦の心理的・社会的特徴を説明でき、親役割獲得のための支援について説明できる。 |
| ☐ | 8. 新生児の生理的特徴と胎外生活適応の過程について説明できる。 |
| ☐ | 9. 新生児期の看護を説明できる。 |
| ☐ | 10. 周産期にある対象の看護に必要な援助技術を実施できる。 |
| ☐ | 11. 周産期にある対象が看護者に求める役割について説明できる。 |
| ☐ | 12. 演習に積極的に参加できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：臨時試験・定期試験（筆記試験）（90%）・参加度及びレポート（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <p>1. プロフェッショナリズム</p> <p>1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。</p> <p>2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。</p> <p>2. コミュニケーション</p> <p>1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。</p> <p>2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。</p> <p>3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。</p> <p>3. 専門的実践能力</p> <p>1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。</p> <p>4. 社会的貢献</p> <p>1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。</p> <p>5. 自己研鑽</p> <p>1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。</p> |
|---|

●担当教員

小塚 智子（実務教員）
 矢嶋 裕里（実務教員）
 塩川 優子（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小塚 智子	（月）～（金）12:10～13:00、16:10～17:00 の時間帯で随時教員室で質問を受け付ける。 実習等で不在の場合は電子メールで質問を受ける。ただし返信は1週間ほどの猶予が必要な場合がある。	tomokozu@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里	（月）～（金）12:10～13:00、16:10～17:00 の時間帯で随時教員室で質問を受け付ける。 実習等で不在の場合は電子メールで質問を受ける。ただし返信は1週間ほどの猶予が必要な場合がある。	yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
塩川 優子	（月）～（金）12:10～13:00 の時間帯で随時教員室で質問を受け付ける。	uko.930.ss@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

母性看護の対象の中でも特に変化が激しい周産期にある女性のその家族に必要な看護を学ぶ。ここで学ぶ知識は母性看護学実習において看護を実践する際、重要な知識である。

担当教員は病院で助産師として勤務した経験があり、実務経験に基づき母性看護に必要な知識を教授する。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論	森 恵美 他著	医学書院	2016

●準備学習（予習・復習）

既習科目である臨床医学Ⅵを講義前に復習しておくこと。授業前に各講義のSBOsを確認し教科書を予習してから臨むこと。授業終了後教科書、プリントを見直しても理解できなかった点は講義終了後や次回の講義時またはオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 母性看護対象・目的論
 2 年 臨床医学Ⅵ・母性看護援助論Ⅱ
 3 年 母性看護学実習

●予定表

*15. 16 回目は、時限上段：AB クラス、下段：CD クラス

27. 28 回目は、時限上段：CD クラス、下段：AB クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 5. 22	金	3	正常妊娠における母体の生理的変化	1. 正常妊娠(母体の生理的変化) 1) 妊娠の生理 2) 母体の生理的変化	1 7	小塚
2	2020. 6. 05	金	3	妊婦の心理的・社会的特徴	1. 妊婦の心理的・社会的特徴 1) 妊婦の心理 2) 妊婦とその家族		
3	2020. 6. 26	金	2	妊娠の診断と胎児の発育	1. 正常妊娠(胎児の発育) 1) 妊娠とその診断 2) 妊娠期に行う検査 3) 胎児の発育と健康状態の診断		
4	2020. 7. 03	金	1	妊婦と胎児の経過の判断	1. 妊娠経過の診断 2. 妊婦と胎児の身体的健康状態の判断 3. 妊婦の日常生活に関する判断	2	小塚
5	2020. 9. 01	火	2	妊婦と家族の看護	1. 妊婦の保健指導 1) 栄養指導 2) 生活指導 3) マイナートラブル 4) 親になるための準備教育	2 3 11	小塚
6	2020. 9. 04	金	2				
7	2020. 9. 11	金	2				
8	2020. 9. 18	金	2				
9	2020. 10. 02	金	3	分娩の正常経過	1. 分娩の定義・分娩の三要素 2. 分娩機序・分娩各期の特徴 3. 産痛のメカニズム・母子への影響 4. 産婦の心理社会的特徴		
10	2020. 10. 06	火	2				
11	2020. 10. 08	木	2				
12	2020. 10. 23	金	3	分娩経過をアセスメントする観察点 分娩各期における看護	1. 産婦と胎児の健康状態の判断 2. 産婦と家族の心理社会的特徴 3. 産婦の看護 1) 分娩期の看護目標 2) 安全な分娩の看護 3) 安楽な分娩の看護 4) 出産体験が肯定的になるための看護 5) 基本的ニーズに関する看護 6) 家族発達を促す看護 7) 分娩各期の看護	4 7 11	小塚
13	2020. 10. 28	水	1				
14	2020. 10. 30	金	2				
15	2020. 10. 14	水	3	妊婦の保健指導・分娩準備教育	1. 演習 1) 妊婦体験 2) 分娩準備教育(呼吸法)	2 3 10 11	小塚 矢嶋 塩川
		水	4				
16	2020. 10. 21	水	3				
		水	4				

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBO	担当
17	2020. 11. 11	水	3	正常な産褥経過	1. 産褥経過 1) 子宮の復古と悪露 2) 乳汁分泌 3) 全身の変化	1	矢嶋
18	2020. 11. 13	金	3	褥婦の心理的・社会的特徴と親役割獲得への援助	1. 褥婦の心理的・社会的特徴と看護	7	
19	2020. 11. 18	水	3	産褥期における復古促進・乳汁分泌促進・母乳保育のための援助 褥婦のセルフケア能力を高めるための援助、親役割獲得のための援助	1. 褥婦の健康状態の判断 1) 退行性変化 2) 進行性変化 3) 生活パターンとセルフケア 4) 不快症状と対処行動 5) 心理的变化 6) 親役割獲得 7) サポート体制	5 6 11	矢嶋
20	2020. 11. 26	木	1		2. 褥婦の看護 1) 身体機能の回復促進		
21	2020. 11. 27	金	3		2) セルフケア能力獲得		
22	2021. 1. 06	水	4		3) 退行性変化促進 4) 母乳育児 5) 育児技術獲得 6) 退院後の生活		
23	2021. 1. 08	金	2	新生児の生理的特徴と胎外生活への適応過程	1. 新生児の生理 2. 新生児の機能 3. 新生児の診断 4. 新生児の健康状態の判断 1) 基礎的情報から考えるリスク因子	8 9	小塚
24	2021. 1. 13	水	1		2) 子宮外生活適応の判断		
25	2021. 1. 15	金	3		3) 新生児の哺乳状態 4) 保育環境		
26	2021. 1. 19	火	1		5. 新生児の看護 1) 出生直後の看護 2) 出生後から退院までの経過に合わせた看護 3) 退院時の看護		
27	2021. 1. 22	金	3	産褥期における復古促進・乳汁分泌促進・母乳保育のための援助	1. 演習 1) 妊婦・褥婦の看護 (妊婦・褥婦の観察方法、妊婦体験等)	5 9 10 11	小塚 矢嶋 塩川
28	2021. 1. 29	金	4		2) 新生児の看護 (沐浴など)		
29	2021. 2. 10	水	1	新生児の看護	1. 新生児の異常と看護 1) 新生児仮死	9	小塚
30	2021. 2. 15	月	3		2) 分娩外傷 3) 低出生体重児 4) 高ビリルビン血症		

母性看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 小塚 智子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

周産期にある女性とその家族を援助するために正常から逸脱した妊婦・産婦・褥婦・新生児および家族の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助と、正常な褥婦と早期新生児を事例を用いて看護展開する方法を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1. 妊娠経過に異常のある妊婦の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助が説明できる。 |
| ☐ | 2. 分娩経過に異常のある産婦の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助が説明できる。 |
| ☐ | 3. 産褥経過に異常のある褥婦の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助が説明できる。 |
| ☐ | 4. 褥婦に起こりやすい健康問題と必要な援助について説明できる。 |
| ☐ | 5. 周産期に起こりうる予期しない危機状態に必要な援助が説明できる。 |
| ☐ | 6. 性生活に伴う健康障害の身体的、心理的、社会的特徴と必要な援助が説明できる。 |
| ☐ | 7. 褥婦・新生児の状態をウェルネスの観点でとらえ、情報を分析・統合できる。 |
| ☐ | 8. 褥婦・新生児の看護上の問題を導き出し、より良い状態となる具体的な援助を記述できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (90%) ・ レポート (10%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| 1. プロフェッショナリズム |
| 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。 |
| 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。 |
| 2. コミュニケーション |
| 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。 |
| 3. 専門的実践能力 |
| 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。 |
| 4. 社会的貢献 |
| 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。 |
| 5. 自己研鑽 |
| 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。 |
| 6. アイデンティティ |
| 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。 |

●担当教員

小塚 智子（実務教員）

矢嶋 裕里（実務教員）

佐藤 陽子（実務教員）：大学病院 母性看護専門看護師 助産師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小塚 智子	（月）～（金）12:10～13:00、16:10～17:00 の時間帯で随時教員室で質問を受け付ける。実習等で不在の場合は電子メールで質問を受ける。ただし返信は1週間ほどの猶予が必要な場合がある。	tomokozu@cmed.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里	（月）～（金）12:10～13:00、16:10～17:00 の時間帯で随時、教員室で質問を受け付ける。実習等で不在の場合は電子メールで質問を受ける。ただし、返信は1週間ほどの猶予が必要な場合がある。	yuriyajil128@cmed.showa-u.ac.jp
佐藤 陽子	講義終了後10分間講義室で質問を受ける。または次回の講義時に質問を受ける。	satoyoh@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

母性看護の対象の中でも特に変化が激しい周産期にある女性とその家族について、正常から逸脱した場合に必要な看護を学ぶ。周産期に関して正常・異常を学習した上で、褥婦・新生児の看護上の問題を導き出し、具体的な援助方法について考えてほしい。

担当教員は病院で助産師として勤務した経験があり、実務経験に基づき母性看護に必要な知識を教授する。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森 恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論	森 恵美 他著	医学書院	2016

●準備学習（予習・復習）

既習科目である臨床医学Ⅵを講義前に復習しておくこと。授業前に各講義のSBOsを確認し教科書を予習してから臨むこと。授業終了後教科書、プリントを見直しても理解できなかった点は講義終了後や次回の講義時またはオフィス・アワーで質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 形態機能学Ⅱ・母性看護対象・目的論

2年 臨床医学Ⅵ・母性看護援助論Ⅰ

3年 母性看護学実習

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBO	担当
1	2020. 9. 29	火	4	妊娠経過に異常のある妊婦の 看護	1. 妊娠初期・中期に起こりやすい 主な異常の看護（悪阻、流産）	1	佐藤
2	2020. 10. 06	火	4		1. 妊娠後期に起こりやすい主な 異常の看護 （早産、常位胎盤早期剥離、 前置胎盤、妊娠高血圧症候群） 周産期医療のシステム（母体搬 送）		
3	2020. 10. 13	火	4	妊娠経過に異常のある妊婦の 看護	1. ハイリスク妊婦の看護 （高年・若年妊婦、多胎妊娠） 2. 合併症妊婦の看護 （糖尿病、心疾患）	1	佐藤
4	2020. 10. 20	火	4	分娩経過に異常のある産婦の 看護	1. 分娩三要素（産道・娩出力・胎 児とその付属物）における異常 の看護 骨盤位、多胎、臍帯下垂・脱出、 前期・早期破水、微弱・過強陣 痛、弛緩出血、吸引分娩、鉗子 分娩、帝王切開、会陰裂傷、頸 管裂傷	2	佐藤
5	2020. 10. 27	火	4				
6	2020. 11. 10	火	4				
7	2020. 11. 17	火	4	産褥経過に異常のある褥婦の 看護	1. 子宮復古不全 2. 乳房・乳頭トラブル 3. 感染症（産褥熱、乳腺炎、尿路 感染症） 4. 産褥血栓症 5. 産後うつ病、産褥精神病	3	佐藤
8	2020. 11. 24	火	4				
9	2021. 1. 12	火	4	感染症をもっている褥婦の看 護 性生活に伴う健康障害と看護	1. B型肝炎、 2. ATL、 3. AIDS 4. 不妊治療を受けている夫婦の 看護	4 6	佐藤
10	2021. 1. 19	火	4	予期しない危機状態にある対 象への看護	1. 母子分離時の褥婦の看護 2. 児を亡くした褥婦・家族の看護	5	佐藤
11	2021. 1. 20	水	2	褥婦・新生児の状態をウェル ネスの観点でとらえ、情報を 分析・統合 褥婦・新生児の看護上の問題 を導き出し、より良い状態と なる具体的な援助	1. 事 例 検 討 1) 正常な経過にある褥婦 2) 正常な経過にある早期新生児	7 8	小塚 矢嶋
12	2021. 1. 25	月	3				
13	2021. 1. 28	木	1				
14	2021. 2. 04	木	2				
15	2021. 2. 09	火	2				

精神看護対象論

対象学年：2学年 前期

単位・時間数：1単位 15時間

責任者名：富崎 志穂

授業形式等：講義

●一般目標 (GIO)

精神保健看護の対象となる人間理解を深めるために、精神保健の考え方や心の機能と人格の発達、看護の対象としての家族と集団、精神障害がセルフケアに与える影響について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|-------------------------------|
| ☐ | 1. 精神保健の考え方について説明できる。 |
| ☐ | 2. 心の機能と人格の発達について説明できる。 |
| ☐ | 3. 看護の対象としての家族と集団について説明できる。 |
| ☐ | 4. 精神障害がセルフケアに与える影響について説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（80%） 個人・グループワークの記録（10%） 授業態度（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。4. 専門的実践能力<ol style="list-style-type: none">1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。5. 社会的貢献<ol style="list-style-type: none">1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。 |
|---|

●コンピテンシーとの関連

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
- 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。

7. アイデンティティ

- 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

富崎 志穂 (実務教員)

室屋 眞由美 (実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
富崎 志穂	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
室屋 眞由美	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。電子メールでも質問を受け付ける。	mayumi4126@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

精神保健看護の対象となる人間理解を深めるために、精神の健康、精神の健康に影響を与える要因、精神障害が日常生活に及ぼす影響を講義で学修する。さらに、精神障害をもつ対象に必要な看護を導き出すためのアセスメント方法としてオレム看護理論についても講義で学修していく。担当教員は臨床での実務経験があり、精神看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学① 精神看護の基礎	武井 麻子 他 編	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学② 精神看護の展開	武井 麻子 他 編	医学書院	2017

●準備学習 (予習・復習)

各講義のSBOsを確認し、テキストを予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。テキストおよびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

- 1年 心理学、倫理学、家族関係論、成人看護対象・目的論
- 2年 臨床医学Ⅵ、緩和医療、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 5. 08	金	2	精神保健の考え方	1. 精神の健康とは 2. 精神障害の捉え方 3. ストレスと健康の危機 4. 心的外傷が精神の健康に及ぼす影響 5. 回復（リカバリー）を支える力 1) ストレngthス 2) レジリエンス 3) エンパワメント	1 2	室屋
2	2020. 5. 13	水	3				
3	2020. 5. 20	水	3	心の機能と人格の発達	1. 心のしくみと人格の発達 1) ライフサイクルとアイデンティティ 2) フロイトの精神力動理論 3) 対象関係論 4) ボウルビーの愛着理論 5) 甘え理論	2 3	
4	2020. 5. 27	水	2	看護の対象としての家族と集団	1. 全体としての家族 2. 人間と集団		
5	2020. 9. 01	火	3	精神障害とセルフケア	1. オレム看護理論とは 2. 個人・グループワーク 1) セルフケア不足理論を用いたアセスメント 2) セルフケア不足への援助	4	富崎
6	2020. 9. 03	木	1				
7	2020. 9. 09	水	2				

精神看護目的論

対象学年：2学年 前期

単位・時間数：1単位 15時間

責任者名：富崎 志穂

授業形式等：講義

●一般目標 (GIO)

精神保健看護に必要な諸制度の基本的内容を修得するために、精神医療の変遷および精神保健福祉に関する基本的な枠組み、法律・制度を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 精神保健医療福祉の歴史について説明できる。
- ☐ 2. 精神保健福祉の現状と課題について説明できる。
- ☐ 3. 精神保健福祉に関する法律・制度について説明できる。
- ☐ 4. 精神保健医療に関する社会資源の活用とケアマネジメントについて説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（80%） 個人・グループワークの記録（10%）・授業態度（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。

●コンピテンシーとの関連

6. 自己研鑽
- 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
- 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

富崎 志穂（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス
富崎 志穂	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

精神障害をもつ対象を取り巻く状況を、精神医療の歴史的変遷と関連する法律や制度、社会資源の活用と調整・ケアマネジメントについて講義にて学修し、精神障害をもつ対象を取り巻く状況を考察し、精神看護の役割を理解していく。担当教員は臨床での実務経験があり、精神看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学① 精神看護の基礎	武井 麻子 他 編	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学② 精神看護の展開	武井 麻子 他 編	医学書院	2017

●準備学習（予習・復習）

各講義のSB0sを確認し、テキストを予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。テキストおよびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 心理学、医療概論、社会福祉、公衆衛生学、関係法規

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 5. 28	木	2	精神医療の歴史と関連する法律	※第1回から5回は、個人・グループワークを行う。 1. 緒外国における精神医療の変遷 2. 日本における精神医療の変遷 3. 世界からみた日本の精神保健福祉医療の現状	1 2	富崎
2	2020. 6. 01	月	3	精神保健福祉の現状と課題	1. 精神保健福祉法制度 1) 精神保健福祉法の基本的な考え方 2) 入院形態 3) 精神保健指定医 4) 精神医療審査会 5) 入院患者の基本的な処遇	2	
3	2020. 6. 04	木	2		1. 精神保健医療福祉の改革ビジョン 2. 精神障害者の偏見・差別・スティグマ	2 3	
4	2020. 6. 23	火	4				
5	2020. 6. 25	木	2				
6	2020. 6. 30	火	3	精神保健医療に関する社会資源の活用	1. 市区町村、保健所、精神保健福祉センターの役割と機能 2. 地域精神保健活動に関わる人々 3. 訪問看護・精神科訪問看護、精神科デイケア・ナイトケア・デイナイトケ 4. 障害者総合支援法による支援 1) 自立支援給付 2) 地域生活支援事業	3 4	
7	2020. 7. 03	金	2				

精神看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 富崎 志穂
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

精神保健看護の保持増進・疾病予防と回復に必要な看護援助方法を修得するために、リエゾンナースの役割や看護師のメンタルヘルス、主な精神科診療および精神科診療に伴う看護の方法について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 1 リエゾン精神看護とその役割について説明できる。 |
| ☐ | 2. 看護師のメンタルヘルスについて説明できる。 |
| ☐ | 3. 精神科領域における安全管理について説明できる。 |
| ☐ | 4. 災害による精神への影響と必要な看護について説明できる。 |
| ☐ | 5. 臨床検査及び心理検査と看護について説明できる。 |
| ☐ | 6. 精神療法・薬物療法・電気けいれん療法にともなう看護について説明できる。 |
| ☐ | 7. 主な精神疾患をもつ対象への看護について説明できる。 |
| ☐ | 8. 入院患者の地域移行に向けての看護について説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（90%） 授業態度（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| 1. プロフェッショナリズム |
| 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。 |
| 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。 |
| 2. コミュニケーション |
| 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。 |
| 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。 |
| 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。 |
| 3. チーム医療 |
| 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。 |
| 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。 |
| 4. 専門的実践能力 |
| 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。 |
| 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。 |
| 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している |
| 5. 社会的貢献 |
| 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。 |

●コンピテンシーとの関連性

6. 自己研鑽
- 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
- 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

富崎 志穂 (実務教員)
 室屋 眞由美 (実務教員)
 平井 尚子 (実務教員)：昭和大学附属烏山病院 精神看護専門看護師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
富崎 志穂	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
室屋 眞由美	授業終了後、講義室または演習会場で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	mayumi4126@cmed.showa-u.ac.jp
平井 尚子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。

●授業概要・教員紹介

精神保健看護を実践するための基盤を構築するために、主な精神科診療および精神科診療に伴う看護の方法について学修する。本授業は、精神科の臨床現場で働く看護師と精神科専門看護師、リエゾン精神専門看護師、精神科認定看護師も担当し、実践での専門的な知識を基盤に授業を行う。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学① 精神看護の基礎	武井 麻子 他 編	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学② 精神看護の展開	武井 麻子 他 編	医学書院	2017

●準備学習（予習・復習）

各講義の SBOs を確認し、テキストを予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。テキストおよびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1 年 心理学、倫理学、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ
 2 年 緩和医療、在宅看護概論、臨床医学Ⅵ、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0	担当
1	2020. 9. 09	水	4	リエゾン精神看護	1. リエゾン精神看護とその活動 1) リエゾン精神看護とは 2) リエゾナーズの活動の実際 3) 看護師の精神的健康の支援	1	室屋
2	2020. 9. 16	水	2	看護師のメンタルヘルス	1. 看護師の不安と防衛 2. 感情労働としての看護 3. 看護師の感情ワーク 4. 看護における共感 5. 感情労働の代償と社会 6. レジリエンス	2	
3	2020. 9. 30	水	2	精神科における安全管理	1. リスクマネジメントの考え方 と方法 1) 安全の条件 2) リスクマネジメントと行動制 限 3) 身体拘束時のケア 2. 緊急事態の対処 1) 自殺 2) 暴力 3) 無断離院 4) スタッフサポート 5) 院内の防災	3	
4	2020. 10. 05	月	3	災害と精神看護 臨床検査・心理検査と看護	1. 災害発生時の状況 2. 災害時の心理的回復プロセス 3. 地域における災害時のアプロ ーチ 4. 臨床検査と看護 1) 脳波 2) 脳の画像検査 5. 心理検査と看護 1) 知能検査 2) 人格検査 3) 記銘力検査（認知機能検査	4	
					5		
5	2020. 10. 14	水	1	精神療法と看護	1. 個人療法 2. 集団精神療法 3. 家族療法	6	
6	2020. 10. 21	水	1	薬物療法・電気けいれん療法 に伴う看護	1. 薬物療法 1) コンプライアンスとアドヒア ランス 2. 電気けいれん療法	6	
7	2020. 10. 23	金	1				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0	担当
8	2020. 10. 30	金	1	主な精神疾患もつ対象への 看護	1. 統合失調症、 2. 気分（感情）障害	7	平井
9	2020. 11. 11	水	1				
10	2020. 11. 19	木	1				
11	2021. 1. 08	金	1		1. 神経性症障害、ストレス関連障 害、身体表現性障害(性一性障 害含む) 2. 生理的障害・身体的要因に関連 した行動症候群		
12	2021. 1. 15	金	1		1. パーソナリティ障害 2. 神経発達障害群		
13	2021. 1. 22	金	1		1. 器質性精神障害 2. 精神作用物質使用による精 神・行動の障害 3. 習慣および衝動の障害		
14	2021. 1. 29	金	1	入院患者の地域移行に向けて の看護	1. 入院患者の地域移行への支援 1) 作業療法 2) 精神科リハビリテーション 3) デイケア 4) 生活技能訓練（SST） 5) 長期入院患者	8	室屋
15	2021. 2. 05	金	1		2. ケアマネジメントの発想と方 法 3. クライアントとしてのコミュ ニティー		

精神看護援助論Ⅱ

対象学年：2学年 通年

単位・時間数：1単位 30時間

責任者名：富崎 志穂

授業形式等：講義・演習

●一般目標 (GIO)

精神障害をもつ対象に対する看護を実践するために、具体的な事例を用いて患者・看護者関係成立と発展のための看護過程を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 患者・看護者関係成立と発展のための援助技術の方法を説明できる。 |
| ☐ | 2. プロセスレコードが記述できる。 |
| ☐ | 3. セルフケア不足理論を活用して、精神障害をもつ対象の看護過程を系統的に記述できる。 |
| ☐ | 4. グループワークにおいて、自己の意見を述べ、相手の意見を聴き、協調して討議できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（50%）、プロセスレコード記録（20%）、事例展開の記録（20%）、授業態度（10%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| <div>1. プロフェッショナリズム</div> <div>1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。</div> <div>2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。</div> <div>2. コミュニケーション</div> <div>1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。</div> <div>2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。</div> <div>3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。</div> <div>3. チーム医療</div> <div>1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。</div> <div>2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。</div> <div>4. 専門的実践能力</div> <div>1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。</div> <div>2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。</div> <div>3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。</div> <div>5. 社会的貢献</div> <div>1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。</div> <div>6. 自己研鑽</div> <div>1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。</div> <div>2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。</div> <div>7. アイデンティティ</div> <div>1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。</div> |
|--|

●担当教員

富崎 志穂 (実務教員)

築瀬 真由美 (実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス
富崎 志穂	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
築瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

精神障害をもつ対象に応じた支援を提供できるように、患者との専門的な援助関係の構築方法やプロセスレコード、うつ病と統合失調症患者の事例展開を行いながら学修する。担当教員は臨床での実務経験があり、精神看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学① 精神看護の基礎	武井 麻子 他 編	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学② 精神看護の展開	武井 麻子 他 編	医学書院	2017
テキスト	精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学	川野 雅資 編	ヌーベル ヒロカワ	2015

●準備学習 (予習・復習)

各講義のSBOsを確認し、テキストを予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。テキストおよびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年	心理学、倫理学、成人看護対象・目的論、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ
2年	緩和医療、臨床医学Ⅵ、在宅看護概論、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ・精神看護援助論Ⅱ

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 9.08	火	4	精神看護における 患者－看護者関係成立と発 展のための援助技術	1. 信頼関係の基礎作り 2. 患者－看護師関係の発展と終結	1	富崎
2	2020. 9.14	月	4				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
3	2020. 11. 02	月	2	プロセスレコード	1. プロセスレコードの基本 1) プロセスレコードとは 2) プロセスレコードの書き方・読み方	2	富崎 築瀬
4	2020. 11. 06	金	3		1. プロセスレコードの活用の実際 ＜演習＞		
5			4				
6	2021. 1. 07	木	3	セルフケア不足理論を活用 した看護過程の展開	1. セルフケア不足理論を適用した 事例展開＜演習＞ 1) うつ病（回復期）をもつ対象への看護 2) ホリスティックアプローチ	3 4	
7	2021. 1. 14	木	2				
8	2021. 1. 18	月	2				
9			3				
10	2021. 1. 22	金	2				
11	2021. 1. 25	月	1		1. セルフケア不足理論を適用した 事例展開＜演習＞ 1) 統合失調症（急性期）をもつ対象への看護		
12	2021. 1. 27	水	2				
13	2021. 2. 01	月	1				
14	2021 2. 08	月	1				
15	2021 2. 15	月	2				

2 年

統合分野

在宅看護概論

対象学年 : 2 学年 前期
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 長谷川 和美
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

在宅看護の実践に必要な基礎的知識を修得するために、在宅看護の概念や地域包括ケアシステムにおける在宅看護、地域療養を支える制度、在宅看護の動向と今後の展望について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 在宅看護が推進される社会的背景を説明できる。
- ☐ 2. 日本の在宅看護の変遷を説明できる。
- ☐ 3. 在宅看護の特徴・役割・機能を説明できる。
- ☐ 4. 在宅看護の対象者の特徴を説明できる。
- ☐ 5. 地域包括ケアシステムにおける在宅看護について説明できる。
- ☐ 6. 地域包括ケアシステムにおける多職種連携・地域連携について説明できる。
- ☐ 7. 地域療養を支える制度について説明できる。
- ☐ 8. 在宅療養を支える訪問看護について説明できる。
- ☐ 9. 在宅看護活動における今後の課題について考察できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（85％）・課題レポート（10％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- 1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
- 2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
- 3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
- 4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
- 5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
- 6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
- 7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

長谷川 和美 (実務教員)
 乗松 和宏 (実務教員)：社会福祉法人 春光福祉会 社会福祉士
 田中 千賀子 (実務教員)：田園調布医師会立訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師
 渡邊 由美 (実務教員)：あげいん訪問看護ステーション 管理者 訪問看護認定看護師
 藤元 流八郎 (実務教員)：荏原ホームケアクリニック 医師

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
長谷川 和美	講義終了後、5～10分講義室にて質問を受け付ける。それ以外の時間の場合は、臨時の会議や出張などにより担当教員が不在となる可能性もあるため、事前に日程調整してからとする。電子メールでも質問を受け付ける。	k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
乗松 和宏	授業終了後、5～10分講義室で質問を受ける。または、次回の講義にて質問を受ける。	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
田中 千賀子		again-kango@goen.me
渡邊 由美		fujimoto-r@homecareclinic.or.jp
藤元 流八郎		

●授業概要・教員紹介

我が国で在宅看護が推進される社会的背景及び在宅看護の変遷を学修する。また、地域包括ケアシステム・地域療養を支える制度・訪問看護を学修し、「地域で生き生きとその人らしく療養生活を送る」ために看護師が果たす役割・責任を考えられるようにする。さらに、今後の在宅看護の動向と発展に向けた取り組みについて理解できるようにする。担当教員は在宅医療に従事している医師、福祉施設に勤務する社会福祉士、病院や訪問看護ステーションで看護師として勤務している者が担当する。これらの実務経験に基づいて在宅看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域医療を支えるケア	臺由香 他	メディカ出版	2019

●準備学習（予習・復習）

各講義のSBOsを確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。事前課題として「日常生活において他者に頼っていることは何か」を記述し、提出すること。講義終了後は事後学修として、理解できたこと、できなかったことを整理し、理解できなかったことは、オフィス・アワーを活用し、担当教員に直接質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 社会福祉、関係法規、家族関係論、社会学、老年看護対象・目的論、基礎看護学概論
 2年 老年看護援助論Ⅰ～Ⅲ
 3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 10	金	2	在宅看護の背景と看護活動	1. 在宅看護が社会に必要とされる 社会背景 1) 社会背景と国民の価値の変容 2) 地域包括ケアの推進 2. 日本の在宅看護の変遷と今後 3. 在宅看護の対象の特徴 1) 年齢・疾患・障害・療養別 4. 在宅看護活動の特徴 1) 個人と家族を対象とする在宅看護 2) 集団を対象とする公衆衛生看護	1 2 3 4 9	長谷川
2	2020. 4. 10	金	3				
3	2020. 4. 14	火	3	地域連携システム	1. 地域包括ケアシステムとは 1) 地域包括ケアシステムの機能 2) 自助・互助・共助・公助 2. 生活の場に応じた看護とサービス 提供機関 1) 提供されるサービス 2) 今後の課題とナースの役割 3. 地域包括支援センター 1) 機能 2) 業務 3) 包括的支援事業	5	乗松
4	2020. 4. 20	月	4	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携	1. 地域包括支援センターとの連携 1) 在宅ケアで連携する主な保健・医療・福祉関連職種 2) 居宅介護支援事業所との連携 3) 住民との連携と見守りネットワーク 4) 専門職以外の人々と地域の目	6	
5	2020. 4. 28	火	3	地域療養を支える制度	1. 社会資源の活用 1) 看護職の役割 2. 医療保険と介護保険制度 1) 介護保険制度 2) 訪問看護の利用者の年齢と疾病からみた介護保険・医療保険の訪問看護の対象者 3) 介護保険と医療保険の使い分け 3. 障害者総合支援法 4. 難病法	7 8	
6	2020. 5. 12	火	3				
7	2020. 5. 12	火	4				

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
8	2020. 5. 19	火	2	在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント	1. 看護が担うケースマネジメント/ケアマネジメントの概要 1) ケースマネジメント/ケアマネジメントの概念 2) ケースマネジメント/ケアマネジメントの背景 3) 広義のケアマネジメント 4) 狭義のケアマネジメント 2. 介護保険制度におけるケアマネジメント 3. ケースマネジメント/ケアマネジメントの過程 1) 介護保険制度におけるケアマネジメントの過程 2) 介護保険制度におけるケアマネジメントのポイント 4. 地域包括ケアと地域ケア会議 1) 地域ケア会議とは 2) 地域ケア会議の5つの機能 3) 地域ケア会議の設置主体と関係職種 4) 地域ケア会議における看護職の役割	5	乗松
9	2020. 5. 26	火	2				
10	2020. 6. 03	水	1	療養の場の移行にともなう看護	1. 療養の場の移行にともなう看護 1) 患者・家族の意思決定支援と調整 2) 退院支援・退院調整 3) 退院支援のプロセスと退院支援に関するしくみ 4) 入退院時における医療機関との連携 5) 医療施設や介護施設などとの連携	5 6 7	田中
11	2020. 6. 03	水	2				
12	2020. 6. 24	水	3	在宅療養を支える訪問看護	1. 訪問看護ステーションに関する規程 1) 介護保険法に基づく訪問看護事業 2) 健康保険法に基づく訪問看護事業 2. 訪問看護利用までの手順 1) 介護保険 2) 医療保険・後期高齢医療 3) 訪問看護指示書の交付 3. 訪問看護の費用（利用料） 1) 保険者から訪問看護事業所への費用支払い 2) 利用者が支払う利用料 3) 高額介護サービス費・高額療養費などの適応 4. 訪問看護サービスの質保証 5. 訪問看護サービスの管理・運営 6. 訪問看護の記録	8	渡邊
13	2020. 6. 24	水	4				

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
14	2020. 7. 01	水	2	在宅看護の動向と今後の展望	1. 在宅看護の先駆的な取り組み 1) 演習にて海外の在宅ケアの特徴と共通性を検討 2. これからの在宅看護の発展に向けて	9	田中
15	2020. 7. 01	水	4		3. 在宅医療の現状と課題 1) 医療従事者不足 2) 医療施設不足 3) その他の課題	9	藤元

在宅看護援助論 I

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 45 時間
責任者名 : 長谷川 和美
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

在宅で療養する人々と家族を生活者としてとらえ、そのニーズを尊重した看護援助をするために療養生活の支援方法について理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 在宅で療養する人々と家族を生活者としてとらえ、その人らしく療養生活を送るための支援について記述できる。
- ☐ 2. 家族の支援方法について説明できる。
- ☐ 3. 在宅療養の場に応じた援助技術の方法について説明できる。
- ☐ 4. 療養者の状況に応じた在宅看護の特異的なケアを具体的に実施できる。
- ☐ 5. 在宅療養の場に応じた援助技術の方法について記述できる。
- ☐ 6. 在宅療養の場におけるリスクマネジメントについて記述できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（70％）・参加態度・課題レポート（30％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

加賀美 美穂子（実務教員）
 長谷川 和美（実務教員）
 田中 比露美（実務教員）

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
加賀美 美穂子	講義終了後、10 分程度、講義室にて質問を受け付ける。それ以外の時間の場合は、臨時の会議や出張などにより担当教員が不在となる可能性もあるため、事前に日程調整してからとする。電子メールでも質問を受け付ける。	m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

在宅看護は、あらゆる年代、あらゆる健康状態にある人々を対象としている。医療依存度の高い人や複数の疾患を有する人も地域で療養生活をしており、多くの医療処置が実施されている。ここでは、在宅で療養する人々と家族への支援について学ぶ。具体的には、療養者のとらえ方・家族支援の際に必要な理論・リスクマネジメント・在宅療養の場における援助技術のアセスメントと具体的な展開方法を学ぶものとする。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて訪問看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域医療を支えるケア	臺由香 他	メディカ出版	2019
テキスト	看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術	正野逸子・本田影子 編著	メヂカルフレンド社	2019

●準備学習（予習・復習）

予習においては、テキストの該当項、関連書籍の該当項を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においては、テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める。

●全学年を通しての関連科目

1 年 看護学概論、看護理論、共通基本技術、日常生活援助《理論編》・日常生活援助《実践編》、成人看護目的・対象論、老年看護対象・目的論
 2 年 在宅看護概論、治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、フィジカル・アセスメント、老年看護援助論Ⅲ、小児看護目的論、小児看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ
 3 年の科目全般

●予定表

*時限—上段：AB クラス、下段：CD クラス

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 9. 08	火	2	在宅療養者と家族の支援	1. その人らしく地域で生活するための支援（演習） 1) その人らしさとは 2) 在宅で療養する人がその人らしく療養生活を送るための看護の視点	1	長谷川 加賀美 田中
2	2020. 9. 08	火	3				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
3	2020. 9. 11	金	1	在宅療養者と家族の支援	2. 家族の支援 1) 療養者を介護する家族の特徴 2) 家族に関する基礎理論 3) 家族形態に応じた支援	2	長谷川
4	2020. 9. 15	火	1				
5	2020. 9. 28	月	4				
6	2020. 10. 02	金	1	在宅療養の場における日常生活援助技術	1. 食事 1) 在宅での食事援助の特徴 2) アセスメントと援助 3) 食事及び摂取障害時の援助	3	加賀美
7	2020. 10. 16	金	3		2. 排泄 1) 在宅での排泄行為の特徴 2) 排泄のアセスメント 3) 排泄援助と自立への支援 4) 排泄障害への援助		
8	2020. 10. 22	木	2		3. 清潔 1) 在宅での清潔・入浴の特徴 2) 清潔のアセスメントと援助方法		
9	2020. 10. 26	月	3		4. 移動 1) 在宅での移動・活動の特徴 2) 移動、活動のアセスメント 3) 移動、活動での援助 リフトによる移動動作を含む		
10	2020. 11. 04	水	2	在宅療養の場における処置に伴う援助技術	1. 在宅中心静脈栄養法 (皮下埋め込み式カテーテル法) 1) 在宅中心静脈栄養法導入支援 2) 看護技術の実際	3	加賀美
11	2020. 11. 11	水	2		2. 在宅酸素療法 1) 在宅酸素療法の適応 2) 在宅酸素療法導入支援と看護技術の実際		
12	2020. 11. 17	火	3		3. 在宅人工呼吸法 1) 在宅人工呼吸療法の適応 2) 在宅人工呼吸療法で用いる人工呼吸器の種類と特徴 3) 在宅人工呼吸療法導入支援と看護技術の実際 (家族への吸引指導含む)		

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
13	2020. 11. 24	火	3	在宅療養の場における処置に伴う援助技術	4. 腹膜透析 1) 在宅での腹膜透析における看護技術 2) 在宅での腹膜透析導入支援と看護技術の実際	3	加賀美
14	2020. 1. 15	金	2		5. 在宅経腸栄養法 (胃瘻法・経鼻経管栄養法・空腸瘻法) 1) 在宅経腸栄養法の種類と特徴 2) 在宅経腸栄養法の導入支援と看護技術の実際		
15	2020. 1. 21	木	3	在宅療養の場におけるリスクマネジメント	1. 訪問看護のリスクの特徴・リスクマネジメントの目的 2. 訪問看護の場で起こりやすいヒヤリハット・事件事例と対策	6	長谷川
16	2020. 1. 21	木	4		3. 訪問看護の場での感染予防 4. 災害に対する準備と対応 5. 事故対策 1) 事故発生時の対応ポイント 2) 苦情・相談・ご意見への対応		長谷川 加賀美 田中
17	2020. 1. 25	月	2		6. 訪問看護の場に潜む危険と対策について演習で検討する		長谷川
18	2020. 1. 28	木	3	在宅療養の場における看護技術の実際		3 4 5	加賀美 長谷川 田中
19	2020. 1. 28	木	4		1. 洗髪 2. 在宅経腸栄養法 1) 胃ろう 2) 経鼻経管栄養法		加賀美 長谷川 田中
20	2020. 2. 01	月	2				
21	2020. 2. 01	月	3				
22	2020. 2. 09	火	3 4		3. 家庭訪問・初回訪問 1) 家庭訪問とは 2) 初回訪問のプロセス 4. 訪問看護師の1日 5. 訪問看護師の接遇（演習含む）	3 4 5	加賀美 長谷川

在宅看護援助論Ⅱ

対象学年 : 2 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 長谷川 和美
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

在宅で療養する人々と家族を生活者としてとらえ、多職種と協働して看護援助するために療養者・家族の状況に応じた支援方法を理解できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 在宅看護介入時期の特徴について説明できる。
- ☐ 2. 日中独居の認知症療養者の支援方法について説明できる。
- ☐ 3. 壮年期の ALS 療養者の支援方法について記述できる。
- ☐ 4. 在宅でストーマ管理を開始する療養者の支援方法について説明できる。
- ☐ 5. 在宅で終末期を迎える療養者の支援方法について記述できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：定期試験（筆記試験）（65%）・課題レポート（35%）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

小川 綾乃 (実務教員)：ソフィア訪問看護ステーション雪谷 管理者
 長谷川 和美 (実務教員) 加賀美 美穂子 (実務教員) 田中 比露美 (実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小川 綾乃	授業終了後、5～10分講義室で質問を受ける。または、次の講義にて質問を受ける	看護専門学校教員室を連絡窓口とする。
加賀美 美穂子	講義終了後、5～10分講義室にて質問を受け付ける。それ以外の時間の場合は、臨時の会議や出張などにより担当教員が不在となる可能性もあるため、事前に日程調整してからとする。電子メールでも質問を受け付ける。	m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

在宅看護は、あらゆる年代、あらゆる健康状態にある人を対象としている。また、医療依存度の高い人や複数の疾患を有する人も地域で療養生活をしており、多くの医療処置が実施されている。ここでは、さまざまな事例から療養者と家族、その取り巻く環境と状況に応じた支援方法の実際を学び、既存の看護の知識を応用し、在宅看護の実践に結びつけることができようとする。担当教員は訪問看護ステーションに勤務している訪問看護認定看護師及び病院で看護師として勤務していた。その実務経験に基づいて訪問看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域医療を支えるケア	臺由香 他	メディカ出版	2019
テキスト	看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術	正野逸子・本田影子 編著	メヂカルフレンド社	2019

●準備学習（予習・復習）

各授業に向かう前には、事前に関連する項目をテキストで予習し、授業に臨むこと。授業終了後には、テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修内容を整理し、理解を深める。

●全学年を通しての関連科目

1年 看護学概論、看護理論、共通基本技術、日常生活援助《理論編》、日常生活援助《実践編》、成人看護対象・目的論、老年看護対象・目的論
 2年 在宅看護概論、在宅看護援助論Ⅰ、治療処置における援助《理論編》、治療処置における援助《実践編》、フィジカル・アセスメント
 老年看護援助論Ⅲ、小児看護目的論、小児看護援助論Ⅰ、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ
 3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SB0s	担当
1	2020.9.29	火	1	在宅看護介入期の特徴	1. 在宅療養準備期 2. 在宅療養移行期 3. 在宅療養安定期 4. 急性増悪期 5. 終末期（看取り期） 6. 在宅療養終了期	1	小川

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
2	2020. 10. 06	火	1	対象に応じた支援方法	1. 日中独居の認知症療養者 1) 在宅における療養者とその 家族の生活上の課題 2) 在宅支援の方法と家族状況 に応じた生活支援の方法 (多職種との連携を含む)	2	小川
3	2020. 10. 13	火	1		2. 壮年期の ALS 療養者 1) 演習にて在宅における療養 者とその家族の生活上の課 題を検討する。 2) 演習にて在宅支援の方法と 家族状況に応じた生活支援 の方法を検討する。	3	小川 長谷川 加賀美
4	2020. 10. 20	火	1				
5	2020. 10. 27	火	1		3. 在宅でストーマ管理を開始す る療養者 1) 在宅における療養者とその 家族の生活上の課題 2) 在宅支援の方法とその家族 状況に応じた生活支援の方 法	4	小川
6	2020. 11. 09	月	1		4. 在宅で終末期を迎える療養者 1) 演習にて 在宅における療養 者とその家族の生活上の課 題を検討する。 2) 演習にて在宅支援の方法と 家族状況に応じた生活支援 の方法を検討する。	5	小川 長谷川 加賀美
7	2020. 11. 09	月	2				

在宅看護援助論Ⅲ

対象学年 : 2 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 長谷川 和美
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

療養の場で、多職種と協働し看護援助をする上で必要な能力を修得するために、具体的な事例を用いて看護過程を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 療養者と家族の課題・問題を明確にするための情報が収集できる。
- ☐ 2. 療養者と家族の生活上の課題や、看護上の課題・問題をアセスメントし記述できる。
- ☐ 3. 療養者と家族が望む療養生活を実現するための目標と看護計画が具体的に記述できる。
- ☐ 4. 在宅看護の概念を適用し、事例に基づいた看護過程を系統的に記述できる。
- ☐ 5. グループワークで、看護の妥当性について協調して討議できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（課題レポート）（90％）・参加度（10％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

田中 比露美 (実務教員)

加賀美 美穂子 (実務教員)

長谷川 和美 (実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
田中 比露美	講義終了後、5～10分講義室にて質問を受け付ける。それ以外の時間の場合は、臨時の会議や出張などにより担当教員が不在となる可能性もあるため、事前に日程調整してからとする。 電子メールでも質問を受け付ける。	hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
長谷川 和美		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

在宅療養の場における看護は、何よりも療養者を生活者としてとらえ、フォーマル・インフォーマルなサービスをケアマネジメントしながら多職種と看護を展開していくことが重要となる。そのため、ここでは、在宅看護における看護過程の展開方法を学ぶ。在宅で多くみられる事例をとおり、療養者と家族の生活、その環境などを具体的に理解し、学修した知識を想起・活用・統合しながら在宅看護の実践について主体的に考え、看護過程の基礎的能力を培う。 担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり実務経験に基づいて在宅看護に必要な知識を教授する。
--

●教材

講義時にプリントを配布する

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域医療を支えるケア	臺有 桂 他	メディカ出版	2019

●準備学習（予習・復習）

予習においては、テキストの該当項、関連書籍の該当項を熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。 復習においては、テキスト、講義資料、参考文献などを用いて、学修した内容を整理し、理解を深める。

●全学年を通しての関連科目

1年 看護学概論、看護理論、成人看護対象・目的論、老年看護対象・目的論
2年 在宅看護援助論Ⅰ、老年看護援助論Ⅲ、成人看護援助論Ⅰ～Ⅲ、老年看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ
3年の科目全般

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 1. 14	木	3	在宅における看護過程	1. 在宅における看護過程の特徴 1) 問題解決型 2) 目標志向型 ICFの概念を活用 2. 事例紹介	1	田中
2	2020. 1. 14	木	4				
3	2020. 1. 26	火	3		3. 事例検討 1) 情報収集 2) アセスメント 3) 看護計画の立案 4) 実施・評価・修正	1 2 3 4 5	田中 加賀美 長谷川
4	2020. 1. 26	火	4				
5	2020. 2. 04	木	3				
6	2020. 2. 04	木	4				
7	2020. 2. 10	水	2		4. 発表とまとめ		

看護の統合と実践 I

対象学年 : 2 学年 通年

単位・時間数 : 1 単位 15 時間

責任者名 : 浅田 恵子

授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

看護の質の向上に向けた探求心、根拠をもった看護実践ができるために、基本的な倫理的知識と看護研究を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 看護職に必要な倫理について説明できる。
- ☐ 2. 法的責任を理解し、倫理的な観点について説明できる
- ☐ 3. 倫理的意思決定に必要な判断基準について説明できる。
- ☐ 4. 看護実践における研究の目的・種類・方法が説明できる。
- ☐ 5. 看護実践における研究の意義について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（60％）・（レポート）（40％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。

●コンピテンシーとの関連

7. アイデンティティ

1) 看護を实践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

柴田 雅子(実務教員)

浅田 恵子(実務教員)

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

医療の高度化・複雑化が進むなかで、今日、倫理的な配慮や判断が求められる課題はますます増加している。看護職を目指す学生が患者・利用者にとってより良い看護を提供するために、看護職に必要な倫理や法的責任、倫理的意思決定のプロセスについて学ぶ。

また、看護実践の質を高められるよう看護研究に取り組むことが専門職として不可欠である。そのため、研究の目的、種類やプロセスについて基本を学び、看護研究の意義について考える。また、看護研究への動機づけとなるよう実際に看護学生研究学会へ参加し、視野を広げていく。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて倫理や研究に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学① 看護学概論	藤崎 郁 他著	医学書院	2016
テキスト	よくわかる看護者の倫理綱領	東京医科大学 看護専門学校	照林社	2010
参考 図書	黒田裕子の看護研究 Step by Step	黒田 裕子	医学書院	2017

●準備学習（予習・復習）

講義のSB0sを確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。

また、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ

2年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 4. 07	火	2	看護者に必要な倫理	1. 倫理の原則 2. 自己決定権の尊重 3. 看護の特性と倫理 4. 看護者の倫理	1 2 3	柴田 雅子
2	2020. 4. 14	火	4	ケアに必要な看護者の倫理 法的責任の理解と倫理的な 観点	1. 患者の権利 ・リスボン宣言 ・個人情報保護に関する法律 2. インフォームドコンセント 3. 看護と法的根拠		
3	2020. 5. 12	火	1	看護倫理問題解決プロセスと 倫理的意思決定に必要な判断 基準	1. 看護場面における看護倫理の 問題点 ・アドバンス・ケア・プラン ニング ・アドバンス・ディレクティブ 2. 倫理的意思決定のプロセスの 実際		
4	2020. 10. 15	木	4	看護実践における研究の 目的・種類・方法	1. 研究の目的・意義 2. 看護研究の種類 3. 看護研究の進め方 4. 研究計画書の書き方	4 5	浅田
5	2020. 10. 19	月	3	看護実践における研究の意義	看護学生学会参加		
6	2020. 10. 19	月	4				
7	2020. 10. 23	金	4				

看護の統合と実践Ⅱ

対象学年 : 2 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 浅田 恵子
授業形式等 : 講義・演習

●一般目標 (GIO)

対象に安全・安心な医療と看護を保障するために、基本的な医療安全・災害看護について専門職として必要な基礎的知識を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 安全管理のシステムについて説明できる。
- ☐ 2. 医療事故防止について説明できる。
- ☐ 3. 医療事故が起きた際の対処方法について説明できる。
- ☐ 4. 災害看護の概要及びトリアージの原則について説明できる。
- ☐ 5. 災害発生時の看護師の役割について説明できる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 定期試験 (筆記試験) (30%) ・ (レポート) (70%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●担当教員

柴田 雅子(実務教員)	浅田 恵子 (実務教員)	富崎 志穂(実務教員)
江副 秀美(実務教員)	加賀美 美穂子(実務教員)	柴田 恵美(実務教員)
植田 光剛(実務教員)	五味 淳子 (実務教員)	関根 和佳(実務教員)
舍利倉 幸香(実務教員) : 昭和大学病院 災害看護専門看護師		
山本 友依 (実務教員) : 昭和大学病院 救急認定看護師		

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナルリズム
 - 1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。
2. コミュニケーション
 - 1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。
 - 2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。
3. チーム医療
 - 1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。
 - 2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。
4. 専門的実践能力
 - 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している。

●コンピテンシーとの関連

5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
 - 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
浅田 恵子		showaasada@cmed.showa-u.ac.jp
舍利倉 幸香		初回授業の時に伝える。
山本 友依		初回授業の時に伝える。

●授業概要・教員紹介

対象に安全な医療サービスを提供することは医療における最優先課題である。臨床では多重業務・業務の中断・チーム医療というヒューマンエラーを引き起こしやすい業務形態の中で看護師はその責務を果たさなければならない。そのため、医療安全の基礎知識を習得し、医療安全に対する意識を高め事故防止に対応する能力を養えるよう、講義・演習・グループワークを行っていく。

災害看護は災害による一時的、二次的な被害を含め生命や健康、生活に及ぼす被害を可能な限り少なくするための看護活動である。資源や人材が潤沢にある平常時と異なる医療環境を学び、緊急時に対応できる技術を実際の演習を通して学んでいく。また、災害時における看護師の役割について考えられる機会とする。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて医療安全や災害看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学① 看護学概論	藤崎 郁 他著	医学書院	2016
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理	吉田 千文 他編	メディカ出版	2018
テキスト	5 日間で学ぶ医療安全	監修日本医療マネジメント学会 坂本 すが 編	学研	2008
テキスト	超入門看護学生してはいけない ケースファイル 臨地実習禁忌集	下司栄一 他著	丸善出版	2013

●準備学習（予習・復習）

講義のSB0sを確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。

また、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年	基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
2年	専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
3年	専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象 SB0s	担当
1	2020. 5. 19	火	3	安全管理のシステム	1. 医療安全の推進と背景 2. 医療安全の取り組み 3. 医療者の社会的責任としての医療安全 4. 医療訴訟の現状	1	柴田 (雅)
2	2020. 5. 26	火	3	医療事故防止について コミュニケーションエラーを防ぐための方法	1. ヒューマンエラー 2. 安全管理のための自己モニタリング・自己コントロールの方法 3. 看護実践に潜む危険 1) インシデント 2) ヒヤリ・ハット 3) アクシデント 4. 報告・連絡・相談の定義 1) SBAR 5. 報告・連絡・相談のロールプレイ 6. 看護実践に潜む危険を予知する方法 1) KYT 7. 看護実践に潜む危険を回避する方法	2 3	柴田 (雅) 浅田 富崎 江副 加賀美 柴田 (恵) 植田 五味 関根
3	2020. 5. 26	火	4				
4	2020. 10. 29	木	3				
5	2020. 10. 29	木	4				
6	2020. 11. 26	木	2				
7	2020. 11. 26	木	3				
8	2020. 11. 30	月	2				
9	2020. 11. 30	月	3				
10	2020. 7. 20	月	1	災害看護の概要と トリアージの原則	1. 災害の定義・分類 2. 災害医療・看護 3. 災害サイクルに応じた看護展開 4. トリアージ・応急処置の原則	4	舎利倉
11	2020. 7. 22	水	1				山本
12	2020. 7. 22	水	2				舎利倉
13	2020. 9. 02	水	2	災害発生時の看護師の役割	1. 災害発生時の看護とその役割 1) トリアージ 2) 応急処置の原則 3) 搬送・移送	5	舎利倉
14	2020. 9. 02	水	3				山本
15	2020. 9. 02	水	4				

3 年

専門分野Ⅱ

成人看護学実習Ⅱ

対象学年 : 3 学年 通年
単位・時間数 : 3 単位 135 時間
責任者名 : 関根 和佳
授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

健康障害をもつ成人・老年期にある対象と家族の生活を整える看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 対象の身体・心理・社会的変化、価値観、加齢や健康状態の変化に対する認識、生活への影響等に関する情報が収集できる。
- ☐ 2. 自分の言動がケアの受け手に与える影響を意識しながらコミュニケーションを図ることができる。
- ☐ 3. ケアの受け手の言動が、自分に与えている影響を意識しながらコミュニケーションを図ることができる。
- ☐ 4. 言語表現・非言語表現を用いた相互作用を通してケアの受け手との関係性を形成することができる。
- ☐ 5. 収集した情報を整理し包括的視野をもってアセスメントすることができる。
- ☐ 6. 対象の全体像を捉え、解決すべき問題点を明確にできる。
- ☐ 7. 解決すべき問題点の優先順位が決定できる。
- ☐ 8. 安全、安楽、倫理的配慮に基づき、対象にとって最善な看護計画を立案できる。
- ☐ 9. 安全、安楽、倫理的配慮を意識した最善の援助が実施できる。
- ☐ 10. 実際の援助行動が立案した計画どおりであったかを目標や具体策に照らし合わせて評価できる。
- ☐ 11. 実施した看護計画の妥当性を、看護理論を活用して^{えんえき}演繹ができる。
- ☐ 12. 看護の実践体験から自己の深化を目指し、看護専門職のあり方を具体的に省察できる。
- ☐ 13. 病棟や見学部署の特徴を多角的に理解し、自らの看護実践に応用する。
- ☐ 14. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。
 - 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
3. チーム医療
 - 1) 医療とともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。
 - 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。
4. 専門的実践能力
 - 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
 - 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

担当教員一覧表参照

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること
主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
関根 和佳	(月)～(金) 16:30～17:30 の時間帯に、随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。 電子メールでも質問を受け付ける。	waka001@cmed.showa-u.ac.jp
五味 淳子		showa53105@cmed.showa-u.ac.jp
柴田 恵美		emishib@cmed.showa-u.ac.jp
植田 光剛	原則 (月)～(金) 9:00～17:00 時間帯とする。 事前にメール等でアポイントメントをとる。	mitsuyoshi@med.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

健康障害をもつ成人・老年期にある対象を受け持ち、身体・心理・社会的変化、日常生活への影響等を包括的視野からアセスメントし、対象と家族の生活を整えるための看護実践能力を身につける。
臨地実習においては、臨地実習指導者と実務教員が実習指導にあたる。

●教材

成人看護学実習Ⅰに関連した科目の講義時のプリント

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	系統看護学講座（基礎、専門Ⅰ・Ⅱ、別巻） 全般		医学書院	
テキスト	成人看護学 成人看護学概論	大西和子・岡部聡子 編	ヌーヴェル ヒロカワ	2009
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論	矢永勝彦 他編	医学書院	2017
テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論	北島政樹 他編	医学書院	2017

●準備学習（予習・復習）

- 【予 習】病棟の特殊性をふまえた疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【実習中】受け持ち患者に関連した疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【復 習】実習記録を基に、実践した看護の振り返り

●全学年を通しての関連科目

1 年	社会学、教育学、心理学、倫理学、人間教育論、家族関係論、病理学、健康教育論、薬理学、生化学、コミュニケーション論、形態機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、看護学概論、看護理論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人対象・目的論、臨床看護総論、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、診療に伴う看護、日常生活援助《理論編》・《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
2 年	看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》、緩和医療、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老人看護援助論Ⅱ・Ⅲ臨床医学Ⅵ・Ⅶ・Ⅸ、基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ、成人看護学実習Ⅰ

●予定表

「2020年度 分野別実習要項」参照

●担当教員一覧

柴田 雅子（実務教員）	室屋 眞由美（実務教員）	五嶋 洋子（実務教員）
福永 聖子（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）	植田 光剛（実務教員）
浅田 恵子（実務教員）	五味 淳子（実務教員）	加賀美 美穂子（実務教員）
神尾 由紀（実務教員）	菅原 睦子（実務教員）	柴田 恵美（実務教員）
関根 和佳（実務教員）	長谷川 和美（実務教員）	桧山 優子（実務教員）
江副 秀美（実務教員）	田中 比露美（実務教員）	柴田 浩子（実務教員）
花井 恵美子（実務教員）	小塚 智子（実務教員）	矢嶋 裕里（実務教員）
塩川 優子（実務教員）	富崎 志穂（実務教員）	

老年看護学実習Ⅱ

対象学年 : 3 学年 通年
単位・時間数 : 3 単位 135 時間
責任者名 : 桧山 優子
授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

健康障害をもつ成人・老年期にある対象と家族の生活を整える看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 対象の身体・心理・社会的変化、価値観、加齢や健康状態の変化に対する認識、生活への影響等に関する情報が収集できる。
- ☐ 2. 自分の言動がケアの受け手に与える影響を意識しながらコミュニケーションを図ることができる。
- ☐ 3. ケアの受け手の言動が、自分に与えている影響を意識しながらコミュニケーションを図ることができる。
- ☐ 4. 言語表現・非言語表現を用いた相互作用を通してケアの受け手との関係性を形成することができる。
- ☐ 5. 収集した情報を整理し包括的視野をもってアセスメントすることができる。
- ☐ 6. 対象の全体像を捉え、解決すべき問題点を明確にできる。
- ☐ 7. 解決すべき問題点の優先順位が決定できる。
- ☐ 8. 安全、安楽、倫理的配慮に基づき、対象にとって最善な看護計画を立案できる。
- ☐ 9. 安全、安楽、倫理的配慮を意識した最善の援助が実施できる。
- ☐ 10. 実際の援助行動が立案した計画どおりであったかを目標や具体策に照らし合わせて評価できる。
- ☐ 11. 実施した看護計画の妥当性を、看護理論を活用して^{えんえき}演繹ができる。
- ☐ 12. 看護の実践体験から自己の深化を目指し、看護専門職のあり方を具体的に省察できる。
- ☐ 13. 病棟や見学部署の特徴を多角的に理解し、自らの看護実践に応用する。
- ☐ 14. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- 1. プロフェッショナルリズム
 - 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
- 2. コミュニケーション
 - 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。
 - 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
- 3. チーム医療
 - 1) 医療とともに担う多職種役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。
 - 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。

●コンピテンシーとの関連

4. 専門的実践能力

- 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
- 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。
- 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。

5. 社会的貢献

- 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
- 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。

7. アイデンティティ

- 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

担当教員一覧参照

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
桧山 優子	(月)～(金) 16:30～17:30 の時間帯に、随時教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。	03-3784-8095 yuko1978@cmed.showa-u.ac.jp
江副 秀美		03-3784-8095 h-ezoe8@cmed.showa-u.ac.jp
菅原 睦子		03-3784-8095 suga-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

健康障害をもつ老年期にある受け持ち、身体・心理・社会的変化、生活の影響等に関する情報を収集し、包括的視野をもってアセスメントすることで、対象と家族の生活を整える看護の実践を学修する。
臨地実習においては、臨地実習指導者と実務教員が実習指導にあたる。

●教材

老年看護学に関連した科目の講義時のプリント

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学	北川公子 他著	医学書院	2018
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾患論	鳥羽研二 他著	医学書院	2018
参考図書	写真でわかる高齢者ケアアドバンス 高齢者の心と体を理解し生活の営みを支える	古田愛子 監修	インター メディカ	2017

●準備学修（予習・復習）

- 【予 習】病棟の特殊性をふまえた疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【実習中】受け持ち患者に関連した疾患（病態、症状）、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【復 習】実習記録を基に、実践した看護の振り返り

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 社会学、教育学、心理学、倫理学、人間教育論、家族関係論、病理学、健康教育論、薬理学、生化学、コミュニケーション論、形態機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、リハビリテーション論、病理学、臨床医学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ、看護学概論、看護理論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント、成人看護対象・目的論、臨床看護総論、老年看護対象・目的論、老年看護援助論Ⅰ、診療に伴う看護、日常生活援助《理論編》・《実践編》、基礎看護学実習Ⅰ
- 2 年 看護過程の展開、治療処置における援助《理論編》・《実践編》、緩和医療、成人看護援助論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護援助論Ⅱ・Ⅲ、臨床医学Ⅵ・Ⅶ・Ⅸ、基礎看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ、成人看護学実習Ⅰ

●予定表

「2020 年度 分野別実習要項」参照

●担当教員一覧

柴田 雅子（実務教員）	室屋 眞由美（実務教員）	五嶋 洋子（実務教員）
福永 聖子（実務教員）	秋庭 良子（実務教員）	植田 光剛（実務教員）
浅田 恵子（実務教員）	五味 淳子（実務教員）	加賀美 美穂子（実務教員）
神尾 由紀（実務教員）	菅原 睦子（実務教員）	柴田 恵美（実務教員）
関根 和佳（実務教員）	長谷川 和美（実務教員）	桧山 優子（実務教員）
江副 秀美（実務教員）	田中 比露美（実務教員）	柴田 浩子（実務教員）
花井 恵美子（実務教員）	小塚 智子（実務教員）	矢嶋 裕里（実務教員）
塩川 優子（実務教員）	富崎 志穂（実務教員）	

小児看護学実習

対 象 学 年 : 3 学年 通年
単 位 ・ 時 間 数 : 2 単位 90 時間
責 任 者 名 : 柴田 浩子
授 業 形 式 等 : 実習

●一般目標 (GIO)

健康障害をもつ子どもおよびその家族の特性と必要な看護を理解するために必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 子どもの発達段階 (身体的・知的機能、情緒、社会性) の特徴を説明できる。
- ☐ 2. 健康状態、診断、治療、生活状況、発達段階などに関する情報を収集できる。
- ☐ 3. 自分の言動が子どもに与える影響を意識して、コミュニケーションを図ることができる。
- ☐ 4. 子どもの表現から、子どもの情緒や思いについて述べられる。
- ☐ 5. 収集した情報を整理し、病気や入院生活が子どもに及ぼす影響を踏まえて包括的な視野でアセスメントすることができる。
- ☐ 6. 子どもと家族の看護問題を抽出できる。
- ☐ 7. 倫理的配慮に基づき、安全を考え、子どもにとって最良の看護計画を具体的に記述できる。
- ☐ 8. 立案した計画に沿った援助を子どもの状況を考慮したうえで安全に実施できる。
- ☐ 9. 実施した援助の結果および実施した援助に対する子どもの反応を記述できる。
- ☐ 10. 援助行動が立案した計画通りであったか、期待される成果、具体策に照らして評価できる。
- ☐ 11. 病棟の特徴を理解し、自らの看護実践に活かせることを述べられる。
- ☐ 12. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- 1. プロフェッショナリズム
 - 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
- 2. コミュニケーション
 - 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。
 - 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
- 3. チーム医療
 - 1) 医療をともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。
 - 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。

●コンピテンシーとの関連

4. 専門的実践能力

- 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
- 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。
- 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。

5. 社会的貢献

- 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
- 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。

7. アイデンティティ

- 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

柴田 浩子 (実務教員)

花井 恵美子 (実務教員)

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 浩子	(金) 16:30～17:00 の時間帯に、教員室で質問を受け付ける。	tonari9521@cmed.showa-u.ac.jp
花井 恵美子	(金) 16:30～17:00 の時間帯に、教員室で質問を受け付ける。	Sari2452@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

受け持ち実習では乳児期・幼児期・学童期のいずれかの発達段階にある子どもを受け持ち、看護過程の展開をとおりて小児看護の実際を学ぶ。また、臨床の看護師に付き看護のシャドーイングを通して、検査・処置時やケア時の子どもの反応から成長発達の理解を深め、小児看護の実際を学ぶ。
臨地実習においては、臨地実習指導者と実務教員が実習指導にあたる。

●教材

小児看護学実習に関連した科目の講義時のプリント

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学① 小児看護概論 小児臨床看護総論	奈良間 美保 他著	医学書院	2015
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学② 小児臨床看護各論	奈良間 美保 他著	医学書院	2015

●準備学習(予習・復習)

- 【予 習】病棟の特殊性を踏まえた疾患(病態、症状)、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【実習中】受け持ち患児に関連した疾患(病態、症状)、治療、検査、処置、看護、看護技術練習
 【復 習】実習記録を元に、実施した援助の振り返り

●全学年を通しての関連科目

- | | |
|-----|---|
| 1 年 | 看護学概論、日常生活援助《理論編》《実践編》、家族関係論、共通基本技術、フィジカル・アセスメント・母性看護対象・目的論、小児看護対象論 |
| 2 年 | 小児看護目的論、小児看護援助論Ⅰ、小児看護援助論Ⅱ |

●予定表

「2020 年度 小児看護学実習の実習要項」参照

母性看護学実習

対象学年 : 3 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 90 時間
責任者名 : 小塚 智子
授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

周産期にある女性と子どもを中心とした家族の看護をウェルネスの観点から実践するために、褥婦と新生児を受け持ち援助することで必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 周産期にある対象の健康状態に影響する因子を理解し、より良い状態を目指すための方法を理解できる。
- ☐ 2. 褥婦の健康状態を査定し、退行性変化、進行性変化を促す看護を実践できる。
- ☐ 3. 母子ともに高い健康状態を維持し続けるために必要なセルフケアを理解し、その能力獲得を支援する看護が実践できる。
- ☐ 4. 新生児の健康状態を査定し、子宮外生活への適応を促す看護を実践できる。
- ☐ 5. 褥婦と新生児の家族を全体としてとらえ、新生児を加えた家族関係の変化に気づき、適応を促す過程を支援し、家族に必要な社会的支援を理解することができる。
- ☐ 6. 母性看護対象目的論、母性看護援助論Ⅰ 母性看護援助論Ⅱで獲得した知見及び、褥婦及び新生児の家族の看護実践から、周産期にある女性とその家族の看護について自らの考えを明らかにする。
- ☐ 7. 学習者としてふさわしい態度を示せる

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。
 - 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
3. チーム医療
 - 1) 医療とともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。
 - 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。
4. 専門的实践能力
 - 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。

●コンピテンシーとの関連

5. 社会的貢献

- 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
- 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。

7. アイデンティティ

- 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

小塚 智子（実務教員） 矢嶋 裕里（実務教員） 塩川 優子（実務教員）

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
小塚 智子	(月)～(金) 12:10～13:00、16:10～17:30 の 時間帯で随時教員室で質問を受け付けるが、教 員の不在の場合もある為、事前の日時調整が望 ましい。	tomoko@cmcd.showa-u.ac.jp
矢嶋 裕里		yuriyajil128@cmcd.showa-u.ac.jp
塩川 優子		uko.930.ss@cmcd.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

この実習は周産期にある対象（褥婦、早期新生児）を受け持ち、ウェルネスの視点から看護を考え実践することで、女性とその家族をより健康に導く看護の基礎的能力を養うものである。

担当教員は病院で助産師として勤務した経験があり、実務経験に基づき母性看護に必要な知識を教授する。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論	森恵美 他著	医学書院	2016
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論	森 恵美 他著	医学書院	2016

●準備学習（予習・復習）

【予 習】実習前に母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱの講義内容を復習してから臨むこと。母性看護学に関連する国家試験問題を1回以上解いてから実習に臨むこと。

【実習中】実習中は母性看護援助論Ⅰ、母性看護援助論Ⅱの講義プリントを携帯すること。

【復 習】母性看護学に関連する国家試験問題を解く。

●全学年を通しての関連科目

1 年 母性看護対象・目的論
2 年 臨床医学Ⅵ・母性看護援助論Ⅰ・母性看護援助論Ⅱ

●予定表

「2020年度 母性看護学実習の実習要項」参照

精神看護学実習

対象学年 : 3 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 90 時間
責任者名 : 富崎 志穂
授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

精神障害をもつ対象の特性をふまえた看護を実践するために、必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 1. 全人的な視点から情報を収集し、記述できる。 |
| ☐ | 2. 対象のセルフケアに及ぼす影響を記述できる。 |
| ☐ | 3. 対象の発達段階・課題がどの段階にあるか記述できる。 |
| ☐ | 4. 対象の言動を否定や評価せずに、対象のあるがままを受け入れることができる。 |
| ☐ | 5. 対人関係スキルを活用しながら関わることができる。 |
| ☐ | 6. 対象の主体性を尊重し、自律を促していく関りができる。 |
| ☐ | 7. 退院後の生活を踏まえた長期目標を記述できる。 |
| ☐ | 8. 対象の特性を踏まえ、看護問題を抽出できる。 |
| ☐ | 9. 看護問題を踏まえ、短期目標が記述できる。 |
| ☐ | 10. 短期目標を達成するための援助を記述できる。 |
| ☐ | 11. 対象の認識や反応をみて、その日の内に計画を追加・修正できる。 |
| ☐ | 12. 自己の関りが、対象に与える影響について考察し記述できる。 |
| ☐ | 13. 実施した看護を、その日の内に SOAP 記録に記述できる。 |
| ☐ | 14. 精神看護における看護師の役割についてカンファレンス等で述べられる。 |
| ☐ | 15. デイケアを見学し、デイケアの目的や活動内容、看護師の役割等について記述できる。 |
| ☐ | 16. 学習者としてふさわしい態度を示せる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. プロフェッショナリズム<ol style="list-style-type: none">1) 常に自己の倫理的課題を解決するための方法を考えることができる。2) 看護者の役割と責任を理解し、対象に不利益や苦痛がないように配慮できる。2. コミュニケーション<ol style="list-style-type: none">1) 対象の文化的背景・価値観・信条・ライフスタイルを尊重し、相手のあり様をあるがままに受け入れることができる。2) 相手の思いを感じとろう、分かろうとする姿勢でコミュニケーションとれる。3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーション方法を考えることができる。3. チーム医療<ol style="list-style-type: none">1) 臨地実習を通して、多職種間の相互理解と連携・協力の必要性を理解できる。2) 臨地実習を通して、チーム医療における看護の専門性について考えることができる。 |
|---|

●コンピテンシーとの関連

4. 専門的実践能力

- 1) 対象を生活者としてとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
- 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に看護師とともによりよい看護を提供できる。
- 3) 自己の看護を客観的に評価し、実践で得られた価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かそうと努力している

5. 社会的貢献

- 1) 保健・医療・福祉制度に関する国際社会及び地域社会の動向に関心を寄せて、看護の役割や課題について理解できる。

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの課題を明確にする。
- 2) 看護体験を看護理論、あるいは文献的考察に基づいて推論し、問題解決への科学的思考を身につけることができる。

7. アイデンティティ

- 1) 看護を実践する人として、常に真心をもち相手の立場に立って考えるという誠実さを身につける。

●担当教員

富崎 志穂 (実務教員)

室屋 真由美 (実務教員)

築瀬 真由美 (実務教員)

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること
主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
富崎 志穂	電子メールで質問を受け付ける。 対面での質問の場合は、電子メールで事前にアポイントを取り、時間調整を行う。	artmsh1999@cmed.showa-u.ac.jp
室屋 真由美		mayumi4126@cmed.showa-u.ac.jp
築瀬 真由美		mayumi-ota@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

本実習は、精神看護の基礎的能力を養うために、精神科病棟（急性期・慢性期）において、セルフケア不足の視点で精神看護を考え実践していく。実習場では、臨地実習指導者と実務教員が実習指導にあたる。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	改訂年
テキスト	精神看護学Ⅰ 精神保健学	吉松 和哉 編	ヌーベル ヒロカワ	2015
テキスト	精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学	川野 雅資 編	ヌーベル ヒロカワ	2015
テキスト	精神看護学 第2版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開	田中 美恵子 編	医歯薬出版	2015

●準備学習（予習・復習）

【予 習】指定した事前学習内容を含め、精神看護に必要な看護技術の練習

【実習中】受け持ち患者の退院後の生活を踏まえ、全人的に患者を捉え指導者や教員の助言を受けながら個別性のある精神看護について考えを深める。

【復 習】実習記録を基に、実践した看護を振り返る。

●全学年を通しての関連科目

- | | |
|-----|--|
| 1 年 | 心理学、倫理学、家族関係論、成人看護対象・目的論、リハビリテーション論、臨床医学Ⅰ、医療概論、社会福祉、公衆衛生学、関係法規 |
| 2 年 | 緩和医療、臨床医学Ⅵ、在宅看護概論、精神看護目的論、精神看護援助論Ⅰ、精神看護援助論Ⅱ |
| 3 年 | 成人看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅱ、母性看護学実習、小児看護学実習、在宅看護論実習、統合実習 |

●予定表

「2020 年度 分野別実習要項」を参照

3 年

統合分野

在宅看護論実習

対 象 学 年 : 3 学年 通年
単 位 ・ 時 間 数 : 2 単位 90 時間
責 任 者 名 : 長谷川 和美
授 業 形 式 等 : 実習

●一般目標 (GIO)

在宅で療養する人々と家族を看護する基礎的能力を養うために必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 療養者と家族を地域社会における生活者としてとらえ、その人らしい生活について事例を挙げて自らの考えを述べられる。
- ☐ 2. 自分の言動が療養者と家族に与える影響を意識しながら、コミュニケーションを図ることができる。
- ☐ 3. 療養者や家族の言動や行動を理解しようとする姿勢をもちながらコミュニケーションを図ることができる。
- ☐ 4. 療養者と家族の健康状態、心身機能・身体構造、活動と参加、環境・個人因子、療養生活の希望を情報収集できる。
- ☐ 5. 療養者と家族の生活上の課題や、看護上の課題・問題を整理して説明できる。
- ☐ 6. 療養者と家族の看護上の目標を記述できる。
- ☐ 7. 看護師が計画した看護を理解し、可能な範囲で看護師とともに援助を実施できる。
- ☐ 8. 問題解決のために療養者と家族に活用できる社会資源を提案できる。
- ☐ 9. 同行訪問において実施した援助の結果を評価できる。
- ☐ 10. 日々の目標に照らし合わせて同行訪問での学びを記述できる。
- ☐ 11. 療養者と家族がその人らしく療養生活をおくるために、看護師の役割と責任について説明できる。
- ☐ 12. 療養者が生活する地域の特徴について説明できる。
- ☐ 13. 在宅介護支援センターの役割・機能について事例を挙げ記述できる。
- ☐ 14. 地域療養を支える多職種、多機関、地域連携・協働における看護師の役割について事例を挙げ記述できる。
- ☐ 15. 療養者や家族が生活している場を理解し在宅療養における安全性の確保について、事例を挙げ説明できる。
- ☐ 16. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●評価方法・評価基準

評価方法：実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。
 - 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
3. チーム医療
 - 1) 医療をともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。
 - 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。
4. 専門的実践能力
 - 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
 - 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

担当教員一覧参照

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認すること
主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
長谷川 和美	実習中は、電話にて質問を受け付ける。 学内日は、看護専門学校で 17:00～17:30 に質問を受ける。	m-kagami@cmed.showa-u.ac.jp
加賀美 美穂子		k-hasegawa@cmed.showa-u.ac.jp
田中 比露美		hiro-showa@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

在宅介護支援センター実習では、地区ケア会議・サービス担当者会議・その他、地域支援事業の見学や介護認定調査、モニタリング、相談業務、安否確認訪問に同行することで、在宅介護支援センターの役割・機能及び多職種・多機関連携を学ぶ。

訪問看護ステーション実習では、療養者とその家族のケアニーズ及びその支援活動について学ぶ。

担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて訪問看護に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論	河原 加代子 他著	メディカ出版	2017
テキスト	看護実践のための根拠がわかる 在宅看護技術	正野逸子・本田影子 編著	メヂカル フレンド社	2015
資料	在宅看護概論・在宅看護援助論Ⅰ～Ⅲの講義にて配布した資料			

●準備学習（予習・復習）

【予 習】「在宅看護論実習の実習要項」を参照
【実習中】在宅療養者への看護を理解するために実習において分からないことがある場合には、実習施設の指導者または責任者に積極的に質問し、自己学修につなげられるようにすること。
【復 習】実習事例を通して、療養の場においてどのような看護が実際に行われているかを整理し、在宅療養におけるケアマネジメントや看護師の役割と責任についての理解を深める。

●全学年を通しての関連科目

1 年	家族関係論、公衆衛生学、関係法規、社会福祉、各領域の対象論・目的論、基礎看護学実習Ⅰ
2 年	在宅看護概論、在宅看護援助論Ⅰ～Ⅲ、各領域の対象論・目的論、各領域の援助論 基礎看護学実習Ⅱ、成人看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅰ
3 年	成人看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅱ、精神看護学実習、母性看護学実習、小児看護学実習 統合実習

●予定表

「2020 年度 在宅看護論実習の実習要項」を参照

●担当教員一覧

長谷川 和美 (実務教員)	加賀美 美穂子 (実務教員)	田中 比露美 (実務教員)
福永 聖子 (実務教員)	浅田 恵子 (実務教員)	江副 秀美 (実務教員)
五嶋 洋子 (実務教員)	神尾 由紀 (実務教員)	菅原 睦子 (実務教員)
秋庭 良子 (実務教員)	関根 和佳 (実務教員)	五味 淳子 (実務教員)
柴田 恵美 (実務教員)	植田 光剛 (実務教員)	桧山 優子 (実務教員)

看護の統合と実践Ⅲ

対象学年 : 3 学年 後期
単位・時間数 : 1 単位 15 時間
責任者名 : 浅田 恵子
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護サービスマネジメントに必要な基本的知識を修得するために、看護管理、国際看護、看護の動向を理解する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| ☐ | 1. 看護サービスのマネジメントの目的を説明できる。 |
| ☐ | 2. 看護管理の機能と概要を説明できる。 |
| ☐ | 3. 看護管理に必要な要素を説明できる。 |
| ☐ | 4. 組織の中における自己の役割を説明できる。 |
| ☐ | 5. 看護の専門性と責任を説明できる。 |
| ☐ | 6. 看護の動向と看護政策について説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- | |
|--|
| 1. プロフェッショナリズム |
| 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。 |
| 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。 |
| 2. コミュニケーション |
| 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。 |
| 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。 |
| 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。 |
| 3. チーム医療 |
| 1) 医療とともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有する。 |
| 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。 |
| 4. 専門的実践能力 |
| 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。 |
| 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。 |
| 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。 |
| 5. 社会的貢献 |
| 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。 |

●コンピテンシーとの関連

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
- 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。

7. アイデンティティ

- 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

柴田 雅子（実務教員）

河野 杏奈（実務教員）：聖路加国際大学 大学院看護学研究科修士課程 国際看護学

高原 静子（実務教員）：東京都看護連盟 会長

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
柴田 雅子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。 電子メールでも質問を受け付ける。	m-shiba@cmed.showa-u.ac.jp
河野 杏奈	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	初回授業の時に伝える。
高原 静子	授業終了後、講義室で質問を受け付ける。	初回授業の時に伝える。

●授業概要・教員紹介

日本看護協会では「臨床における看護管理とは、患者や家族に、看護ケア、治療への助力、安楽を与えるために看護職員が行う仕事の過程である。看護管理者は最良の看護を患者や家族に提供するために、計画し、組織化し、支持し、調整し、統制を行う」としている。看護管理の中心的概念は、患者－看護師関係で患者に提供する「ケア」をマネジメントすることで、患者に提供する「ケア」を組織的にマネジメントするのが「看護サービス」のマネジメントである。さらに看護サービスを提供する場である組織と社会との関連を説明する制度・政策がある。これらについて学んでいく。

また、グローバル化が進んだ現代の世界においては、わが国だけでなく地球上のあらゆる人々の健康上の問題を知り、人々の苦しんでいることや、それに対して何ができるかを考えるのが国際看護学である。

この授業では実際に国際看護の体験を聞き、現状と課題を知り、国際看護における看護師の役割について学ぶ。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

講義時にプリントを配布する。

種 別	図 書 名	著 者 名	出版社名	発行年
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学① 看護学概論	藤崎 郁 他著	医学書院	2016
テキスト	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理	吉田 千文 他編	メディカ出版	2018

●準備学習（予習・復習）

講義のSBOsを確認し、教科書を予習してから講義に臨むこと。なお、わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。

また、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後や次回の講義時に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年	基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
2年	専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
3年	専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
1	2020. 11. 09	月	1	看護管理の目的・機能および 必要な要素	1. 看護管理の目的 2. 看護管理者の機能 3. 医療の仕組み・診療報酬 4. 看護管理の対象 5. 看護管理者 6. 病院組織の特徴と管理 7. 組織の運営と評価 8. 看護組織とその特徴	1 2 3	柴田 (雅)
2	2020. 11. 09	月	2	看護サービスのマネジメント に必要な要素	1. 看護の経済性、効率 2. 人材フロー 3. 人事・労務管理 4. 他職種との協働 5. 人材教育	4	
3	2020. 11. 10	火	3		1. リスクマネジメントとは 2. 病院におけるリスクマネー ジメントの実際 3. リスクマネージャーとは 4. 医療事故の実際	3	
4	2020. 11. 10	火	4	看護の専門性と責任	1. 専門職集団としての役割と機能 2. キャリア開発 3. 医療チームの一員としての看護 の役割 4. チームワークワーク 1) 看護チーム 2) 他職種によるチーム	5	
5	2020. 11. 11	水	1		5. 病院機能評価 6. 看護基準と看護手順・クリティ カルパス		
6	2020. 11. 11	水	2	国際社会に貢献するために必 要な支援	1. グローバリゼーションと看護 2. 保健医療の国際協力 3. 国際看護活動	5	河野
7	2020. 11. 11	水	3	看護の動向と政策	1. 看護の動向 2. 就業状況 3. 看護政策 4. 今後の課題	6	高原

看護の統合と実践Ⅳ

対象学年 : 3 学年 通年
単位・時間数 : 1 単位 30 時間
責任者名 : 浅田 恵子
授業形式等 : 演習

●一般目標 (GIO)

看護を総合的な視点で捉え実践する基盤を築くために、既習の知識・技術を統合し、事例や場面に応じた適切な援助を実施できる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 与えられた情報から適切に状況判断ができる。
- ☐ 2. 対象に合わせた援助方法が選択できる。
- ☐ 3. 安全・安楽・自立を考慮した援助を実施ができる。

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（実技試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。
 - 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
3. チーム医療
 - 1) 医療とともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。
 - 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。
4. 専門的実践能力
 - 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
 - 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

浅田 恵子(実務教員)	富崎 志穂 (実務教員)	植田 光剛 (実務教員)
江副 秀美(実務教員)	加賀美 美穂子(実務教員)	五味 淳子 (実務教員)
柴田 恵美(実務教員)	関根 和佳 (実務教員)	

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
浅田 恵子	(月)～(金)16:30～17:30 の時間帯に随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。 電子メールでも質問を受け付ける。	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

看護に関する各科目において修得した内容をより臨床実践に近い状況で再度、学習し、臨床に適応できるように知識・技術の統合を図ることで、看護の実践者として患者の看護を総合的に展開できるようにする。 与えられた情報から状況を判断し、適切な方法で安全・安楽・自立を考慮した実施ができるように演習を通して自主的に学んでいく機会とする。また、最終的には事例を基にした技術試験を通して評価する。 担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

1年次、2年次に使用したテキストを準備する。

●準備学習（予習・復習）

講義のSB0sを確認し、特に、共通基本技術・日常生活援助（理論）・日常生活援助（実践）・治療処置のおける観を復習して臨む。授業・試験の進め方に関するオリエンテーションは必ず参加する。

●全学年を通しての関連科目

1年 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
2年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
3年 専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SB0s	担当
1	2020.8.26	水	1	安全・安楽・自立を考慮した援助の実施	1. 事例の状況を判断 2. 適切な援助方法の選択	1 2 3	浅田 富崎 江副 加賀美 柴田(恵) 植田 五味 関根
2	2020.8.27	木	3				
3	2020.8.27	木	4				
4	2020.8.28	金	1				
5	2020.8.28	金	2				
6	2020.8.28	金	3				

回	年月日	曜日	時 限	学習項目	学習内容	対象 SBOs	担当
7	2020. 12. 09	水	1	安全・安楽・自立を考慮した 援助の実施	1. 事例の状況を判断 2. 適切な援助方法の選択	1 2 3	浅田 富崎 江副 加賀美 柴田 (恵) 植田 五味 関根
8	2020. 12. 09	水	2				
9	2020. 12. 09	水	3				
10	2020. 12. 09	水	4				
11	2020. 12. 10	木	1				
12	2020. 12. 10	木	2				
13	2020. 12. 10	木	3				
14	2020. 12. 10	木	4				
15	2020. 12. 11	金	1	実技試験			

総合学習

対象学年 : 3 学年 通年
単位・時間数 : 2 単位 90 時間
責任者名 : 浅田 恵子
授業形式等 : 講義

●一般目標 (GIO)

看護実践に必要な応用力を養うために既習知識の定着と統合ができる。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| ☐ | 1. 看護に必要な基礎的知識を想起し、確実な知識として説明できる。 |
| ☐ | 2. 既習の知識を活用し、事例や場面から必要な看護を説明できる。 |

●評価方法・評価基準

評価方法：終講試験（筆記試験）（100％）

評価基準：履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

1. プロフェッショナリズム
 - 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
2. コミュニケーション
 - 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。
 - 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
3. チーム医療
 - 1) 医療とともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。
 - 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。
4. 専門的实践能力
 - 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。
5. 社会的貢献
 - 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。
6. 自己研鑽
 - 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
 - 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。
7. アイデンティティ
 - 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

教員一覧参照

●オフィス・アワー

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
浅田 恵子	(月)～(金)16:30～17:30 の時間帯に随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

本科目は看護実践に必要な応用力を養うために既習知識の定着と統合ができることを目指している。看護に必要な基礎的知識を想起し、確実な知識として定着ができるよう学んでいく。また、既習の知識を活用し、事例や場面から必要な看護を考えることができるよう学ぶ。担当教員は病院で医師・看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材

1年次、2年次に使用したテキストを準備する。

●準備学習（予習・復習）

時間割を確認し、科目を復習して授業に参加する。わからない単語・用語や疑問点はノートにまとめておき、聴講時に確認すること。
また、教科書およびプリントを見直しても理解できなかった点については、講義終了後に教員に質問すること。

●全学年を通しての関連科目

1年	基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
2年	専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
3年	専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表

回	年月日	曜日	時限	学習項目	学習内容	対象SBOs	担当
1 45	2020. 8.24 ～ 2020. 8.26 2020. 12.14 ～ 2020. 12.24			看護に必要な基礎的知識の想起と定着	あらゆる健康の段階・対象に対し、必要な看護を提供するための基礎的知識	1 2	担当 教員 参照

●教員一覧

浅田 恵子(実務教員)
五嶋 洋子(実務教員)
関根 和佳(実務教員)
桧山 優子(実務教員)
富崎 志穂(実務教員)
小塚 智子(実務教員)
柴田 浩子(実務教員)
長谷川 和美(実務教員)
扇谷 芳光(実務教員)：医学部放射線医学（放射線科学部門）
木庭 新治(実務教員)：医学部内科学（循環器内科学部門）
大西 司（実務教員）：医学部内科学（呼吸器・アレルギー内科学部門）
長井 友子(実務教員)：医学部精神医学
五藤 哲（実務教員）：医学部外科学（消化器・一般外科学部門）
吉田 仁（実務教員）：医学部内科学（消化器内科学部門）
伊與田 雅之(実務教員)：医学部内科学（腎臓内科学部門）
福井 智康(実務教員)：医学部内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学部門）
若林 邦伸(実務教員)：医学部内科学（リウマチ・膠原病内科部門）
森 雄作(実務教員)：医学部内科学（糖尿病・代謝・内分泌内科学研究部門）
齋藤 文護(実務教員)：医学部内科学（血液内科学部門）
永井 隆士(実務教員)：医学部 整形外科
鈴木 佳宜(実務教員)：医学部 脳神経外科学
詫間 隆博(実務教員)：医学部内科学（臨床感染症学部門）
小川 良雄(実務教員)：医学部 泌尿器科学
下平 和久(実務教員)：大学院保健医療学研究科
神谷 太郎(実務教員)：医学部 小児科学
八塚 正四(実務教員)：医学部外科学（小児外科部門）
野村 珠美(実務教員)：昭和大学江東豊洲病院 看護師
鬼丸 洋：医学部生理学（生体調節機能学部門）
砂川 正隆：医学部 生体制御学
箕浦 明：衛生学公衆衛生学（公衆衛生学部門）
辻 まゆみ：医学部 薬理学（医科薬理学部門）
三浦 咲子：医学部 臨床病理診断学
福地 邦彦：昭和大学病院 保健医療学研究科
上田 衛：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師
舟橋 久幸：昭和大学医学部附属看護専門学校兼任講師

統合実習

対象学年 : 3 学年 後期
単位・時間数 : 2 単位 90 時間
責任者名 : 浅田 恵子
授業形式等 : 実習

●一般目標 (GIO)

看護を統合的な視点で捉え実践する基盤を築くために、これまでの学習内容を統合し、保健チームの一員として主体的に看護活動および医療に参加し看護職の役割に必要な知識・技術・態度を修得する。

●行動目標 (SBOs)

チェック欄

- ☐ 1. 複数の患者の安全・安楽、緊急性、倫理性などをふまえたケアの優先度の根拠を説明できる。
- ☐ 2. 実施した看護援助とその意味を説明できる。
- ☐ 3. 看護チームの協働、リーダーシップ、フォロワーシップの実際とその意義について説明できる。
- ☐ 4. 看護管理者の行う看護管理の実際とその意義について説明できる。
- ☐ 5. 夜勤実習を通して看護が継続されている実際とその意義について説明できる。
- ☐ 6. 医療現場における医療安全対策や対応方法が説明できる。
- ☐ 7. 病棟における災害対策の実際について説明できる。
- ☐ 8. 専門職業人として看護師の責任と役割について説明できる。
- ☐ 9. 学習者としてふさわしい態度を示せる。

●評価方法・評価基準

評価方法 : 実習内容・記録 (80%) 態度 (20%)

評価基準 : 履修要項に基づく

●コンピテンシーとの関連

- 1. プロフェッショナリズム
 - 1) 自己の倫理的課題を常に意識し、解決するための行動がとれる。
 - 2) 看護者の役割と責任を理解し、対象の尊厳と権利を擁護するために内省を繰り返す態度を身につけることができる。
- 2. コミュニケーション
 - 1) 相手の意見や考えを最大限引き出すとともに、丁寧に耳を傾けることができる。
 - 2) 自分の意見を分かりやすく筋道立てて相手に伝える。
 - 3) 対人関係における自己の傾向を理解し、対象と関係を築くためのコミュニケーションができる。
- 3. チーム医療
 - 1) 医療とともに担う多職種の役割を相互に理解・尊重し良好な人間関係を構築し患者に関わる情報を共有できる。
 - 2) 看護の専門性を発揮し患者中心のチーム医療に参加できる。
- 4. 専門的実践能力
 - 1) あらゆる成長・発達段階、健康レベルにある対象の状況を全人的かつ的確にとらえるために、五感を用いて観察し何が必要な援助なのかを科学的根拠にもとづいて判断したうえで、真心ともてる限りの知識とスキルをもって、看護を実践し評価できる。
 - 2) 自己の限界や力量を考慮して、患者の安全を最優先に必要なときは的確にチームの支援を得ながらよりよい看護を提供できる。
 - 3) 自己の看護を俯瞰し、実践に潜む価値や意味を見出し、よりよい看護実践を考え、次に活かすことができる。

●コンピテンシーとの関連

5. 社会的貢献

- 1) 保健・医療・福祉の動向を踏まえ、看護実践を通して、国民の健康回復・維持・増進および疾病の予防に貢献する。

6. 自己研鑽

- 1) 主体的な学修を継続し、自らの立てた課題を解決するために取り組める。
- 2) 看護師として成長していくために看護体験の中から生じる疑問や興味・関心を惹く事柄を研究テーマとして持つことができる。

7. アイデンティティ

- 1) 常に、医療を担う仲間を敬愛し相互に切磋琢磨できる。

●担当教員

担当教員一覧参照

●オフィス・アワー

実習スケジュールは実習場所によって異なるため、担当教員と連絡を取り、対応時間及び場所を確認する。主に担当教員に指導を受けるが、必要に応じて他の教員も指導に当たる。

担当教員	時間・場所など	メールアドレス・連絡先
浅田 恵子	(月)～(金) 16:30～17:30 の時間帯に随時、教員室で質問を受け付けるが、教員が不在の場合もある為、事前の日時調整が望ましい。	showaasada@cmed.showa-u.ac.jp

●授業概要・教員紹介

看護専門職として統合した判断力・実行力を養うために保健・医療・福祉チームの一員として看護実践することで、看護ケア・看護サービスの質を高めるために看護管理者・リーダーがどのような役割を果たしているかを学ぶ。看護が24時間継続して行われていることを申し送りや夜勤実習を通して学ぶ。また、複数患者を受け持ち看護の優先度を適切に判断し実行していく力、それを評価、修正していく力をつけられる実習を通して身につける機会とする。担当教員は病院で看護師として勤務した実務経験があり、実務経験に基づいて看護の統合と実践に必要な知識・スキル・態度を教授する。

●教材 統合実習に関連した科目の講義時のプリント

●準備学習（予習・復習）

- 【予 習】「看護の統合と実践Ⅲ」の復習。実習病棟の特殊性（疾患・治療・看護など）の学習。
- 【実習中】見学や実施から学びを明確にする。また、患者に必要な看護の優先度の判断や実施おける自己の振り返りを毎日行う。
- 【復 習】自己の学びと課題を明確にする。

●全学年を通しての関連科目

- 1 年 基礎分野・専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ
- 2 年 専門基礎分野・専門分野Ⅰ・専門分野Ⅱ・統合分野
- 3 年 専門分野Ⅱ・統合分野

●予定表「2020 年度 実習要項」参照

●担当教員一覧

柴田雅子(実務教員) 福永聖子(実務教員) 関根和佳(実務教員) 江副秀美(実務教員) 室屋眞由美(実務教員)
 浅田恵子(実務教員) 五嶋洋子(実務教員) 神尾由紀(実務教員) 桧山優子(実務教員) 菅原睦子(実務教員)
 秋庭良子(実務教員) 五味淳子(実務教員) 加賀美美穂子(実務教員) 田中比露美(実務教員) 柴田浩子(実務教員)
 柴田恵美(実務教員) 植田光剛(実務教員) 長谷川和美(実務教員) 花井恵美子(実務教員) 小塚智子(実務教員)
 矢嶋裕里(実務教員) 塩川優子(実務教員) 富崎志穂(実務教員)

授業科目の索引

い

医療概論	125
医療情報と統計処理の基礎	85
医療安全Ⅰ	222

え

栄養学	131
英語Ⅰ	95
英語Ⅱ	97

お

音楽	99
----	----

か

家族関係論	90
看護過程の展開	247
看護学概論	169
看護理論	172
看護の統合と実践Ⅰ	339
看護の統合と実践Ⅱ	342
看護の統合と実践Ⅲ	366
看護の統合と実践Ⅳ	369
緩和医療	227

き

基礎看護学実習Ⅰ	193
基礎看護学実習Ⅱ	259
共通基本技術	174
教育学	69

け

形態機能学Ⅰ	107
形態機能学Ⅱ	110
形態機能学Ⅲ	113
形態機能学Ⅳ	116
健康科学	82
健康教育論	141

こ

公衆衛生学と関係法規	134
国語文章論	101
国際関係論	88
コミュニケーション論	92

さ

在宅看護援助論Ⅰ	330
在宅看護援助論Ⅱ	334
在宅看護援助論Ⅲ	337
在宅看護概論	325
在宅看護論実習	363

し

社会学	67
社会福祉	137
小児看護援助論Ⅰ	295
小児看護援助論Ⅱ	300
小児看護学実習	353
小児看護対象論	210
小児看護目的論	292
心理学	71

せ

生化学	128
生活科学	80
精神看護援助論Ⅰ	316
精神看護援助論Ⅱ	320
精神看護学実習	358
精神看護対象論	310
精神看護目的論	313
成人看護援助論Ⅰ	265
成人看護援助論Ⅱ	271
成人看護援助論Ⅲ	275
成人看護学実習Ⅰ	279
成人看護学実習Ⅱ	347
成人看護対象・目的論	199

そ

総合学習	372
------	-----

ち

治療処置における援助《実践編》	255
治療処置における援助《理論編》	251
地域・在宅看護概論Ⅰ	219

と

統合実習	375
------	-----

に

人間関係論	78
日常生活援助《実践編》	181
日常生活援助《理論編》	177

ひ

微生物学	122
病理学	148

ふ

フィジカル・アセスメント	188
--------------	-----

ほ

母性看護対象・目的論	214
母性看護援助論Ⅰ	303
母性看護援助論Ⅱ	307
母性看護学実習	356

や

薬理学……………119

り

倫理学……………75

臨床医学Ⅰ……………151

臨床医学Ⅱ……………154

臨床医学Ⅲ……………157

臨床医学Ⅳ……………160

臨床医学Ⅴ……………163

臨床医学Ⅵ……………230

臨床医学Ⅶ……………234

臨床医学Ⅷ……………238

臨床医学Ⅸ……………242

臨床看護総論……………185

リハビリテーション論……………144

ろ

論理学……………73

老年看護援助論Ⅰ……………207

老年看護援助論Ⅱ……………282

老年看護援助論Ⅲ……………286

老年看護学実習Ⅰ……………289

老年看護学実習Ⅱ……………350

老年看護対象・目的論……………203

学生便覧・授業計画

2020年4月1日発行

編集発行 昭和大学医学部附属看護専門学校

〒142-0064 東京都品川区旗の台1-2-26

TEL 03 (3784) 8095 教員室

TEL 03 (3784) 8097 事務室
